

ヨコハマ3R^{ス リ ム}夢プランについての
市民・事業所アンケート調査
報告書

平成 29 年 3 月

横浜市資源循環局総務部資源政策課

第1章 調査の概要

1.1 調査目的	1
1.2 調査方法	1
1.3 回収結果	1
1.4 調査結果の表し方	1

第2章 家庭から出るごみについてのアンケート調査結果の分析

2.1 ごみ問題への関心について	3
2.2 ごみの減量や処理についての満足度について	6
2.3 3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）について	9
2.4 ごみの分別ルールについて	26
2.5 ごみと資源物の出し方について	41
2.6 集積場所について	63
2.7 戸別収集について	71
2.8 ごみ処理費用の負担のあり方について	74
2.9 ふれあい収集などのサービスについて	81
2.10 焼却工場について	84
2.11 埋立処分場について	86
2.12 食品ロス・生ごみの削減について	89
2.13 回答者の属性	122

第3章 事業活動により排出するごみについてのアンケート調査結果の分析

3.1 事業所から発生するごみ処理の実態について	124
3.2 ごみの排出量の増減について	149
3.3 ごみ処理上の問題点や対処方法について	155
3.4 ごみの減量・リサイクルへの意識と取組状況について	161
3.5 商品やサービスに対するごみの発生抑制の取組について	168
3.6 生ごみの削減について	172
3.7 小売販売（デパート、スーパー、コンビニエンスストア、物販店舗）	176
3.8 飲食店、ホテル・旅館	178
3.9 回答事業所の属性	182

第4章 資料

4.1 市民向けアンケート調査資料	186
4.2 事業所向けアンケート調査資料	216

第1章 調査の概要

1.1 調査目的

本調査は、横浜市民及び横浜市内に所在する事業所を対象に、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき定めた「ヨコハマ3R夢プラン（一般廃棄物処理基本計画）」についての意識調査を行い、その実態や傾向を把握し、今後の施策検討のための基礎資料とすることを目的に実施した。

1.2 調査方法

- (1) 調査対象：①横浜市内に在住している20歳以上の男女
②横浜市内に所在する事業所
- (2) サンプル数：①3,000人（その内、外国籍68人）
②1,000事業所
- (3) 抽出方法：無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送配布、郵送回収による無記名調査
- (5) 調査期間：調査票の発送日 平成28年12月9日
調査票の回収期間 平成28年12月9日～平成28年12月29日
- (6) 調査実施機関：株式会社アクス

1.3 回収結果

調査対象	サンプル数	未着数	有効回答数	有効回収率
市民	3,000	27	1,473	49.5%
事業所	1,000	19	369	37.6%
合計	4,000	46	1,842	

※未着数とは、宛先不明等で戻ってきた調査票を指す

※有効回収率は「有効回答数／（サンプル数－未着数）÷100」とする

1.4 調査結果の表し方

- (1) 図表中のnは該当設問での回答者数を表す。設問によっては、回答対象が限られるため有効回答数にならない場合がある。その場合は、回答者数をNで表す。
- (2) 百分率はn（N）を100.0%として算出し、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、百分率の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (3) 複数回答の設問では、百分率の合計が100.0%を上回る場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 比率の計算において、「無回答・無効票」は母数に含めるが、回答項目としては表示しないものとする。

(6) この調査の標本誤差は、およそ下記の表の通りである。また、標本誤差は次の式によって得られる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団

n = 比率算出の基数 (回答者数)

P = 回答比率 (%)

統計学上よく使われる信頼度は95% (許容できる誤差の範囲が5%) であり、本アンケート調査の標本誤差も信頼度95%で計算する。

【市民】各回答比率における標本誤差早見表

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,473	2.2%	2.9%	3.4%	3.6%	3.7%
1,200	2.4%	3.3%	3.7%	4.0%	4.1%
1,000	2.7%	3.6%	4.1%	4.4%	4.5%
800	3.0%	4.0%	4.6%	4.9%	5.0%

※母集団は横浜市住民基本台帳20歳以上人口3,086,690である (平成28年8月)

有効回答数(1,473)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%の時、実際の回答は、46.3%~53.7%の間にあると考えてよい。

【事業所】各回答比率における標本誤差早見表

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
369	4.4%	5.9%	6.7%	7.2%	7.3%
300	4.9%	6.5%	7.5%	8.0%	8.1%
250	5.4%	7.1%	8.2%	8.7%	8.9%
200	6.0%	8.0%	9.2%	9.8%	10.0%

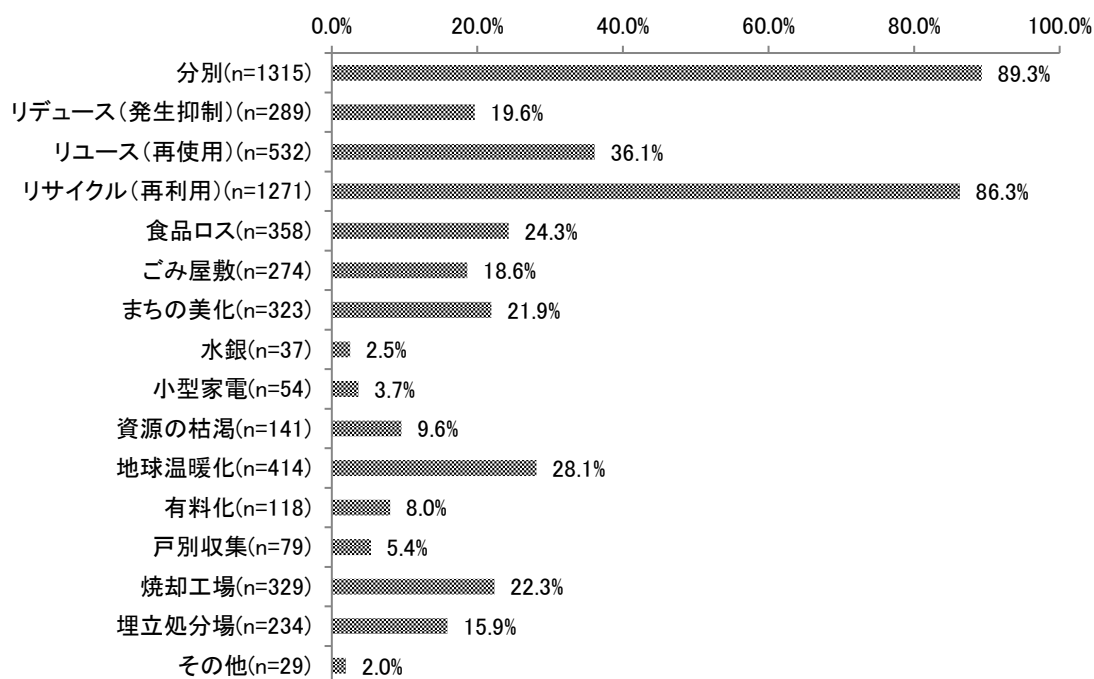
※母集団は横浜市に所在するN T Tタウンページ登録事業所80,353である (平成28年9月)

有効回答数(369)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%の時、実際の回答は、42.7%~57.3%の間にあると考えてよい。

第2章 家庭から出るごみについてのアンケート調査結果の分析

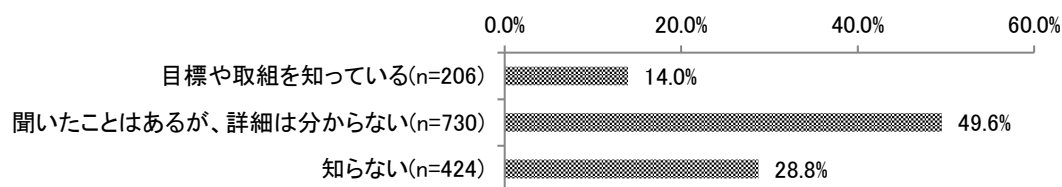
2.1 ごみ問題への関心について

問1 あなたは、「ごみ」や「資源」と聞いて何を思い浮かべますか。○はいくつでも。(n=1,473)



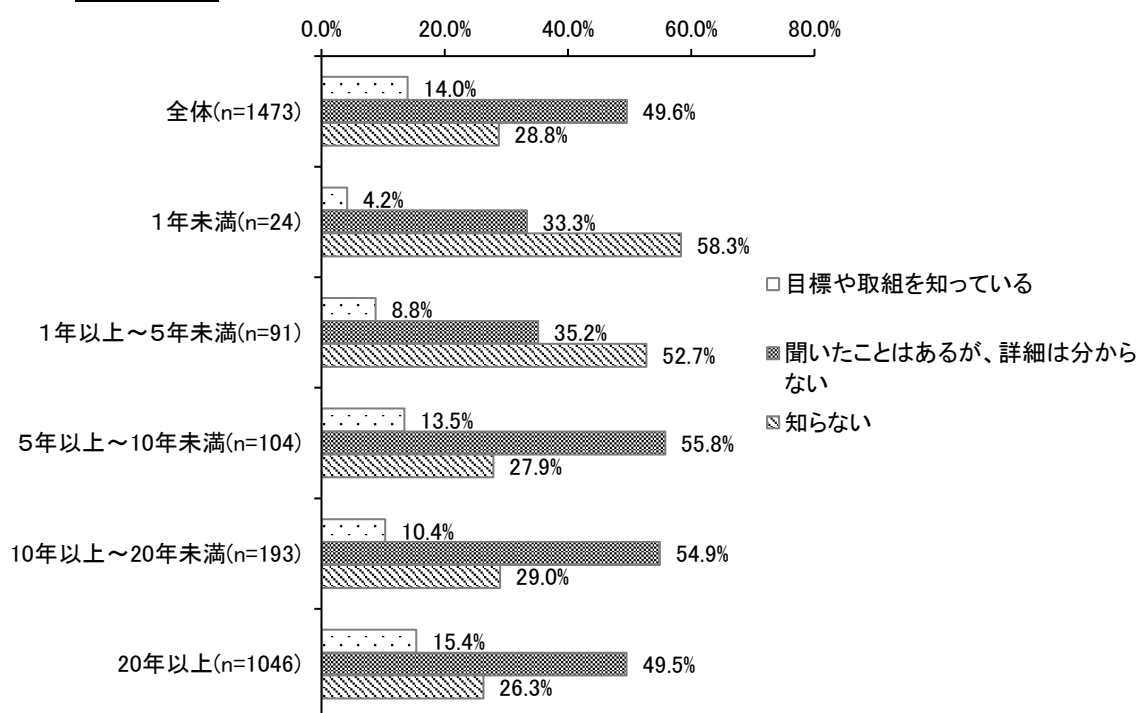
全体集計では、「分別」が89.3%で最も高く、次いで「リサイクル（再利用）」が86.3%、「リユース（再利用）」が36.1%と続いている。

問2 あなたは、「ヨコハマ3R夢プラン」を知っていますか。○はひとつ。(n=1,473)



「聞いたことはあるが、詳細は分からない」が49.6%で最も高く、次いで「知らない」が28.8%、「目標や取組を知っている」が14.0%と続いている。

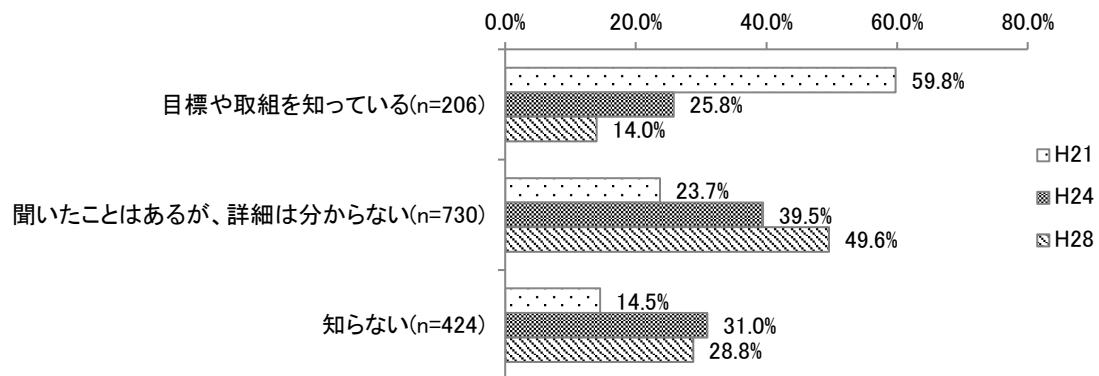
居住年数別



「1年未満」及び、「1年以上～5年未満」では、「知らない」と回答した比率がどちらも50%を超えており、居住年数が短いほど知名度が低いことが分かる。また、居住年数が5年以上の世帯では、「聞いたことはあるが、詳細は分からない」が50%前後となっているため、ヨコハマ3R夢プランの目標や取組の周知が課題だと考えられる。

経年変化

※平成 21 年度調査の設問は、「あなたは『横浜 G 3 0 プラン』又は、『ヨコハマは G 3 0』という言葉を知っていますか。次の中から 1 つ選んでください」だった。



年度別に比較すると、「目標や取組を知っている」の比率は低下しているが、「聞いたことはあるが、詳細は分からない」の比率は高くなっている。「横浜 G 3 0 プラン」と比較すると、「ヨコハマ 3 R 夢プラン」の認知度は低いことが分かった。

■考察 ごみ問題への関心について

「横浜 G 3 0 プラン」の開始当初は、市民への分別説明会、啓発キャンペーン及び、早朝啓発指導を通じて、横浜市と市民が協働でごみの削減に取り組み、目標を上回る大きな成果を上げた。問 37 の自由意見記述において、「横浜 G 3 0 プランの取組と成果は知っていたが、その後のプランのことは知らなかった」という声があった。

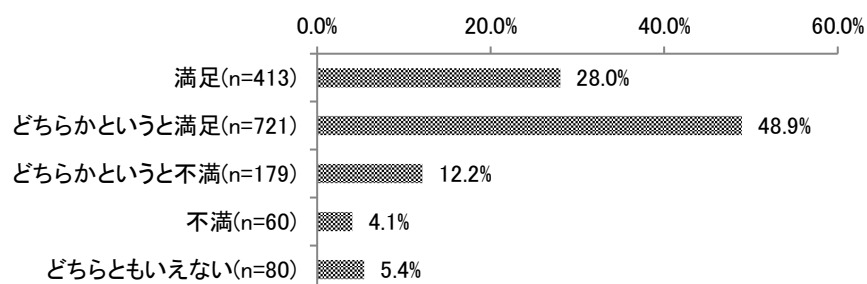
問 1 の回答結果を見ると、分別、リサイクル（再利用）、リユース（再利用）に関心が集まっていることが分かる。この結果は、分別収集品目を拡大し、3 R の推進を図った「横浜 G 3 0 プラン」の取組の成果と言えるのではないかと。「ヨコハマ 3 R 夢プラン」では、ごみそのものを減らす、リデュース（発生抑制）の強化が目標の一つであるが、問 1 の回答結果では、リデュース（発生抑制）は 19.6%にとどまり、リサイクルの 86.3%、リユースの 36.1%とは、その差が大きく開いた。

「ヨコハマ 3 R 夢プラン」は今年で 7 年目に入る計画だ。「横浜 G 3 0 プラン」と同様に、啓発キャンペーンやイベントの実施により、市民への周知を図っている。しかし、およそ半数が「聞いたことはあるが、詳細は分からない」と回答していることから、「横浜 G 3 0 プラン」と比較して、周知の取組が不十分であったと言える。プランの具体的な目標を示し、横浜市と市民が協働で取り組める活動を継続していくことが重要だ。

2.2 ごみの減量や処理についての満足度について

問3 あなたは、横浜市のごみ収集などの取組をどう思いますか。○はそれぞれひとつ。
(n=1,473)

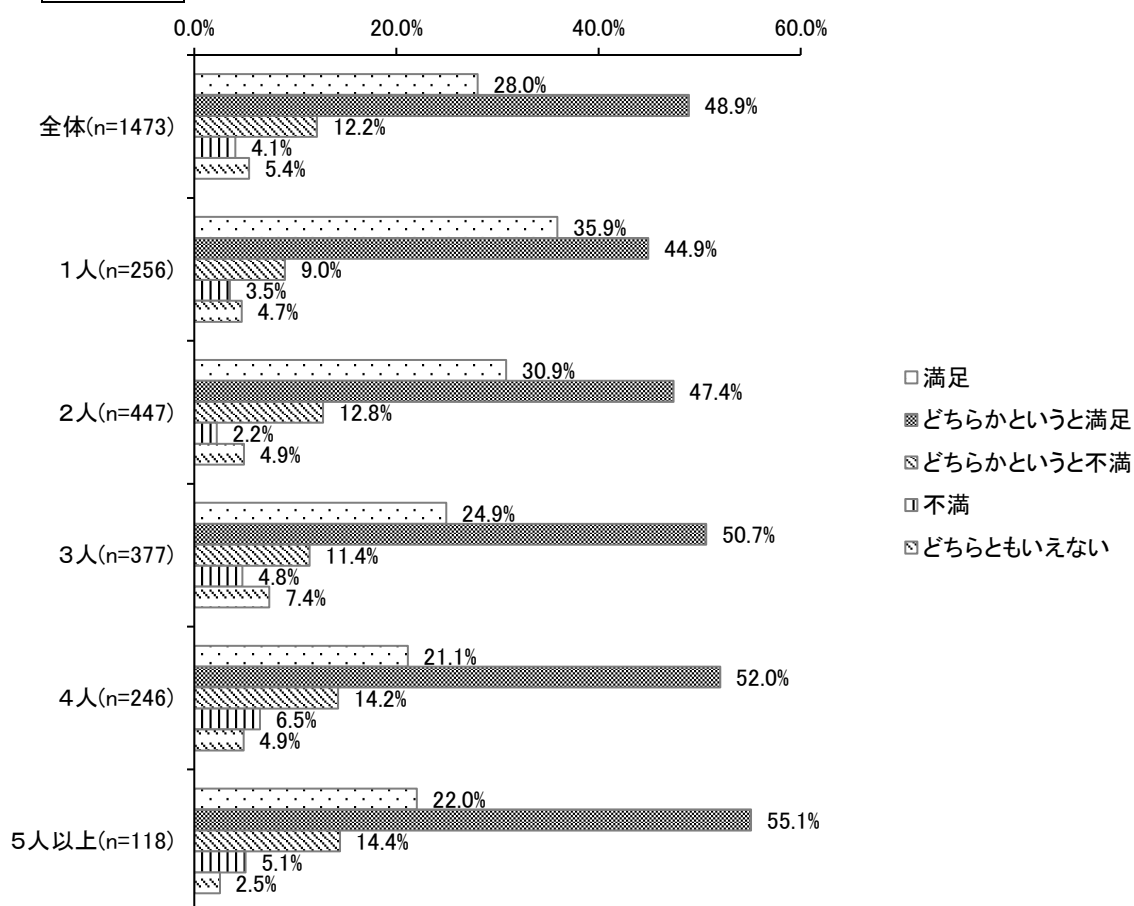
ごみの収集



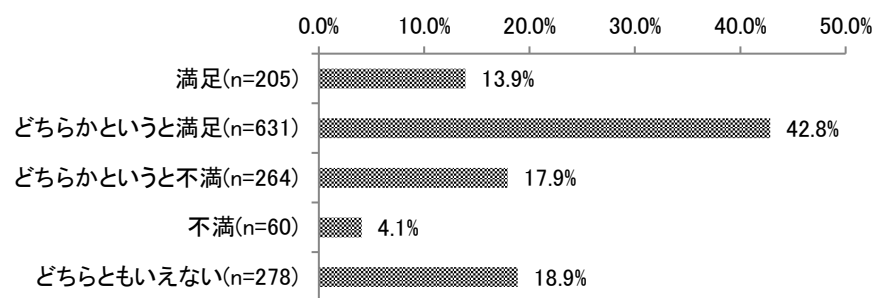
全体集計では、「どちらかという満足」が48.9%で最も高く、次いで「満足」が28.0%、「どちらかという不満」が12.2%と続いている。

同居人数別に比較すると、「満足」と回答した比率は、「1人」世帯が35.9%で最も高く、人数が増えるごとに比率が低下しているが、「どちらかという満足」と回答した比率は、「5人以上」世帯が55.1%で最も高く、人数が減るごとにその比率も低下している。

同居人数別

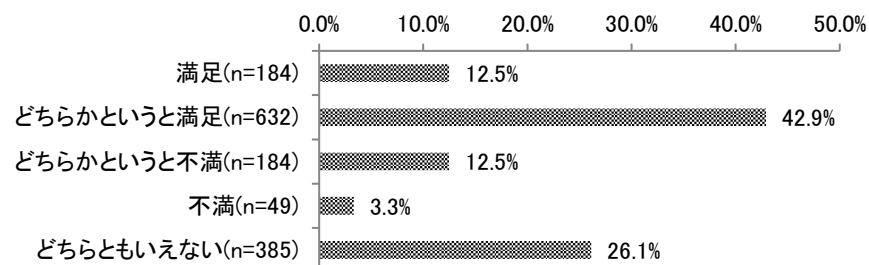


ごみに関する情報提供



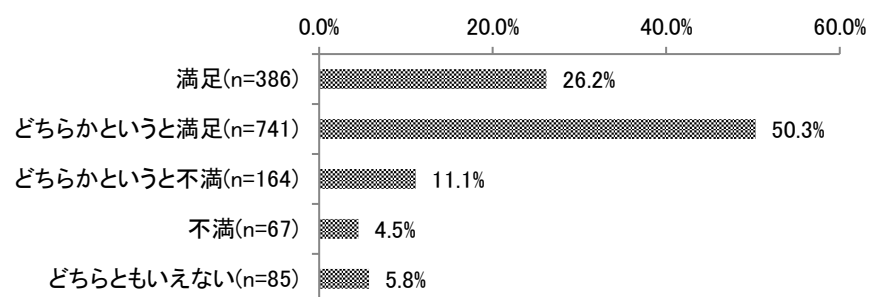
「どちらかという満足」が42.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が18.9%、「どちらかという不満」が17.9%と続いている。

ごみ減量への取組



「ごみに関する情報提供」と同様の傾向になっており、「どちらかという満足」が42.9%で最も高い結果となった。

住んでいる地域の清潔さ



「どちらかという満足」が50.3%で最も高く、次いで「満足」が26.2%となった。「満足」と「どちらかという満足」の累積構成比は76.5%となることから、この設問に関しては、おおむね満足を得られているという結果になった。

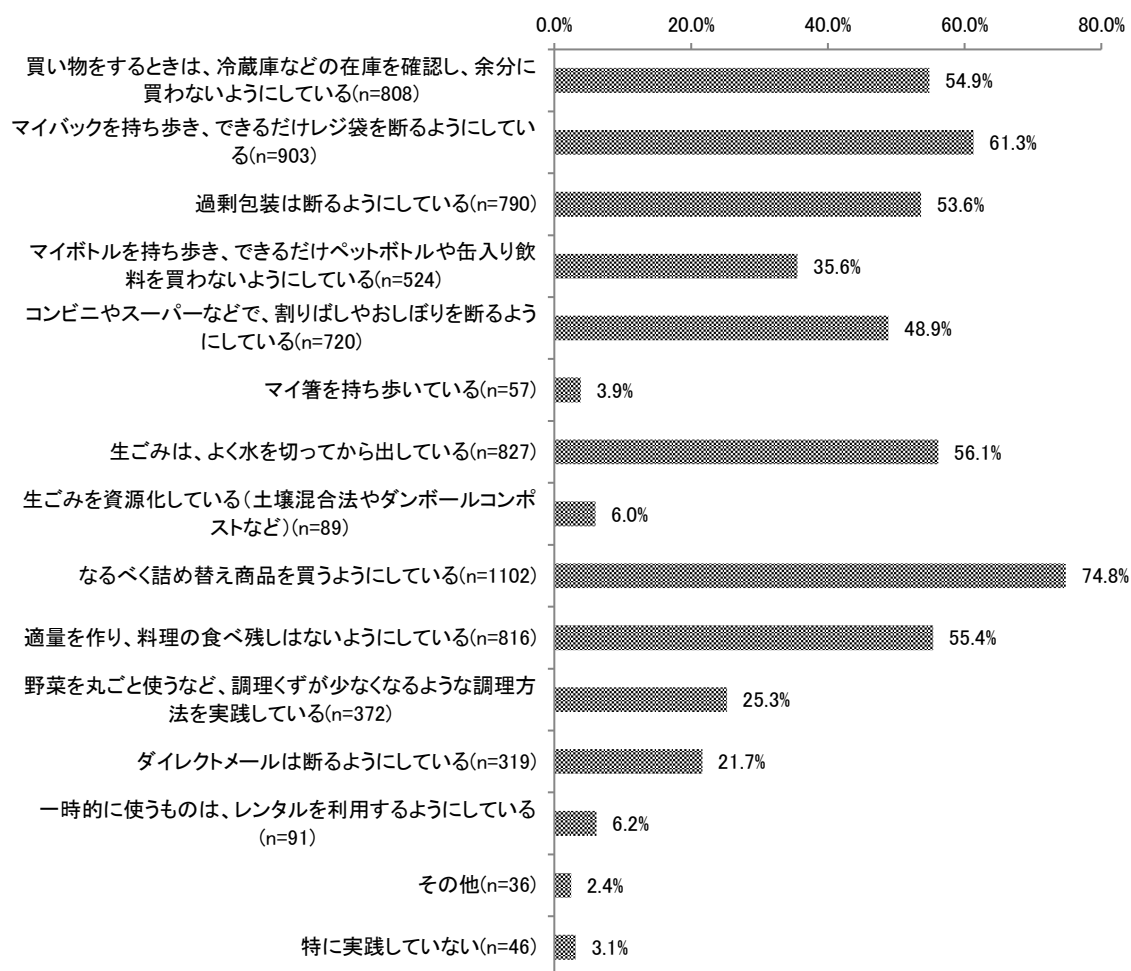
■考察 ごみの減量や処理についての満足度について

横浜市のごみの減量や処理についての取組は、多くの市民が満足している。特に、ごみの収集及び、住んでいる地域の清潔さに関しては、「満足」と「どちらかという満足」の累積構成比は76%を超えている。人口と排出されるごみの量は比例しており、約370万人という横浜市の人口規模から見ると、この満足度は決して低くはない。

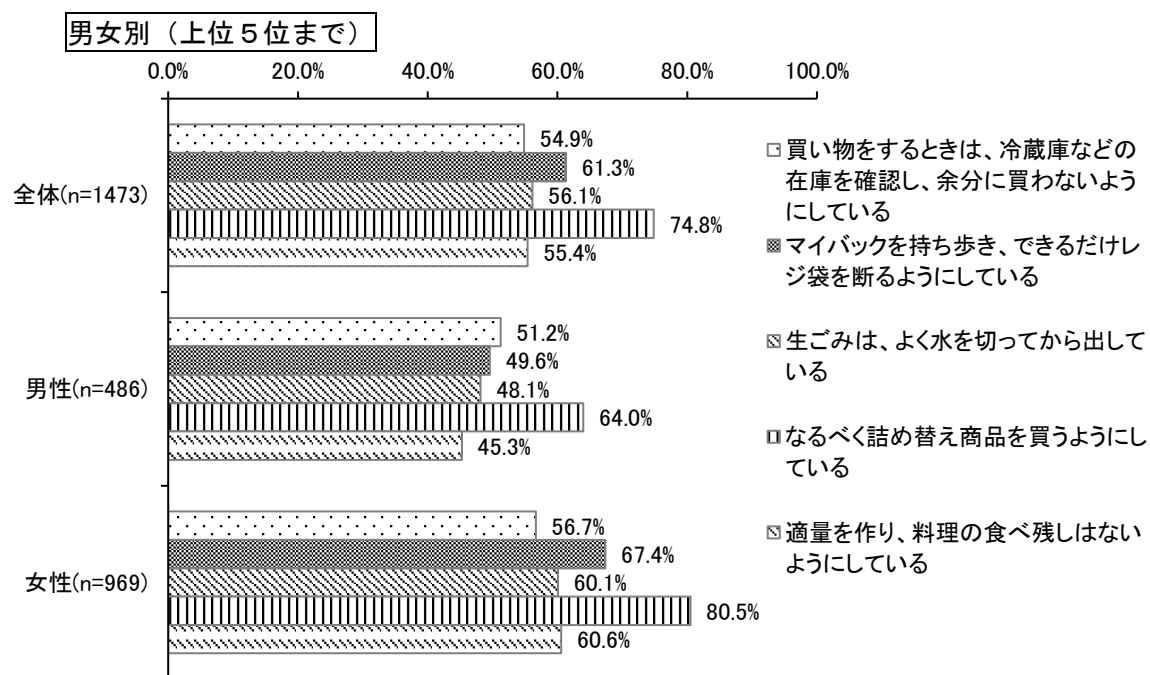
一方、ごみに関する情報提供及び、ごみ減量への取組については、「満足」と「どちらかという満足」の累積構成比は60%に届かなかった。ごみの減量に関して、特出した成果を上げた「横浜G30プラン」の取組は、現在、「ヨコハマ3R夢プラン」に引き継がれている。したがって、横浜市のごみ減量の取組が市民に認知、理解されれば、満足度は上がると考えられる。取組の成果も含めた情報提供に力を入れる必要がある。

2.3 3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）について

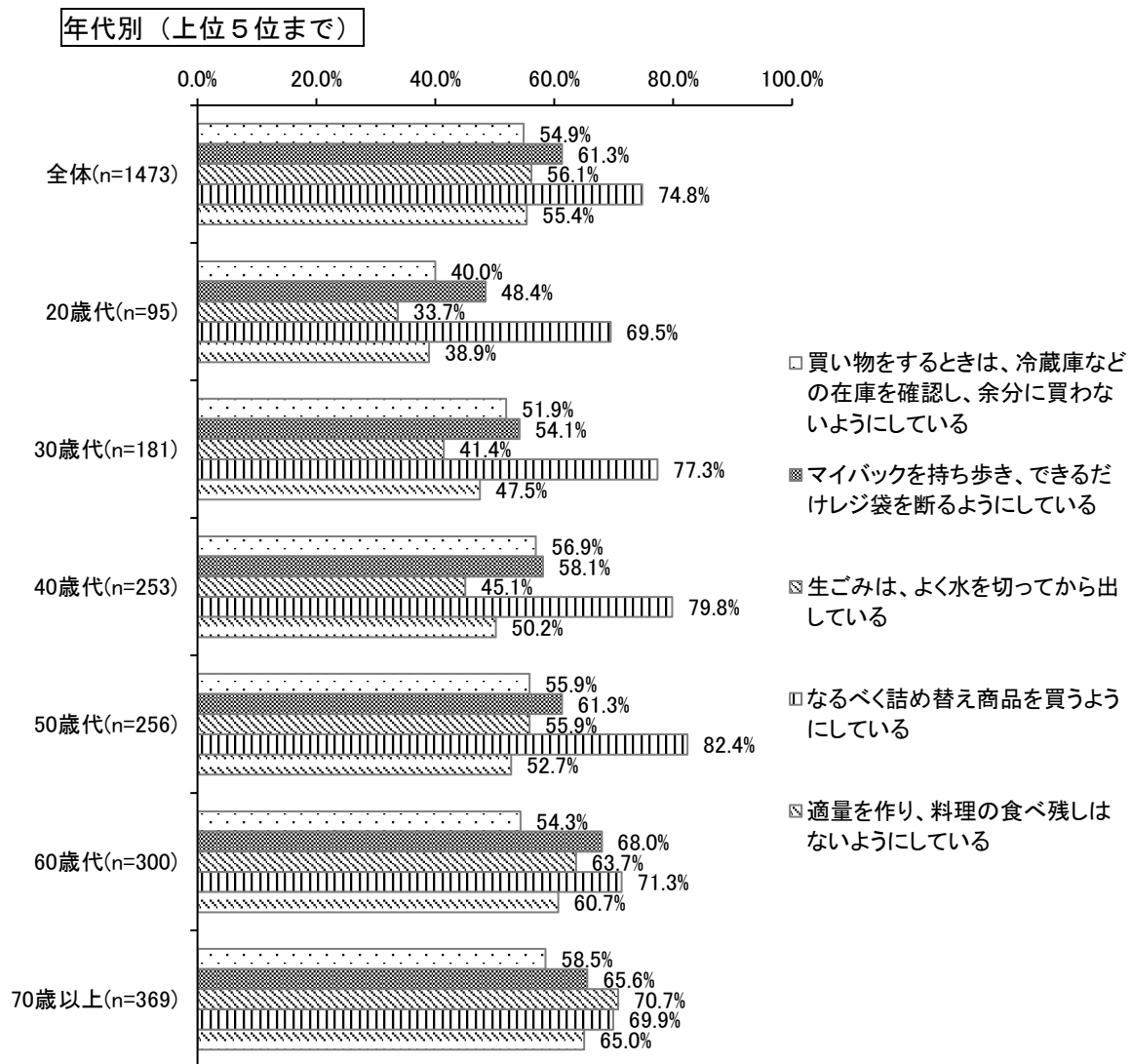
問4 あなたが実践している「ごみを出さない取組（リデュース）」はどれですか。○はいくつでも。(n=1,473)



「なるべく詰め替え商品を買うようになっている」が74.8%で最も高く、次いで「マイバックを持ち歩き、出来るだけレジ袋を断るようになっている」が61.3%、「生ごみは、よく水を切ってから出している」が56.1%と続いている。

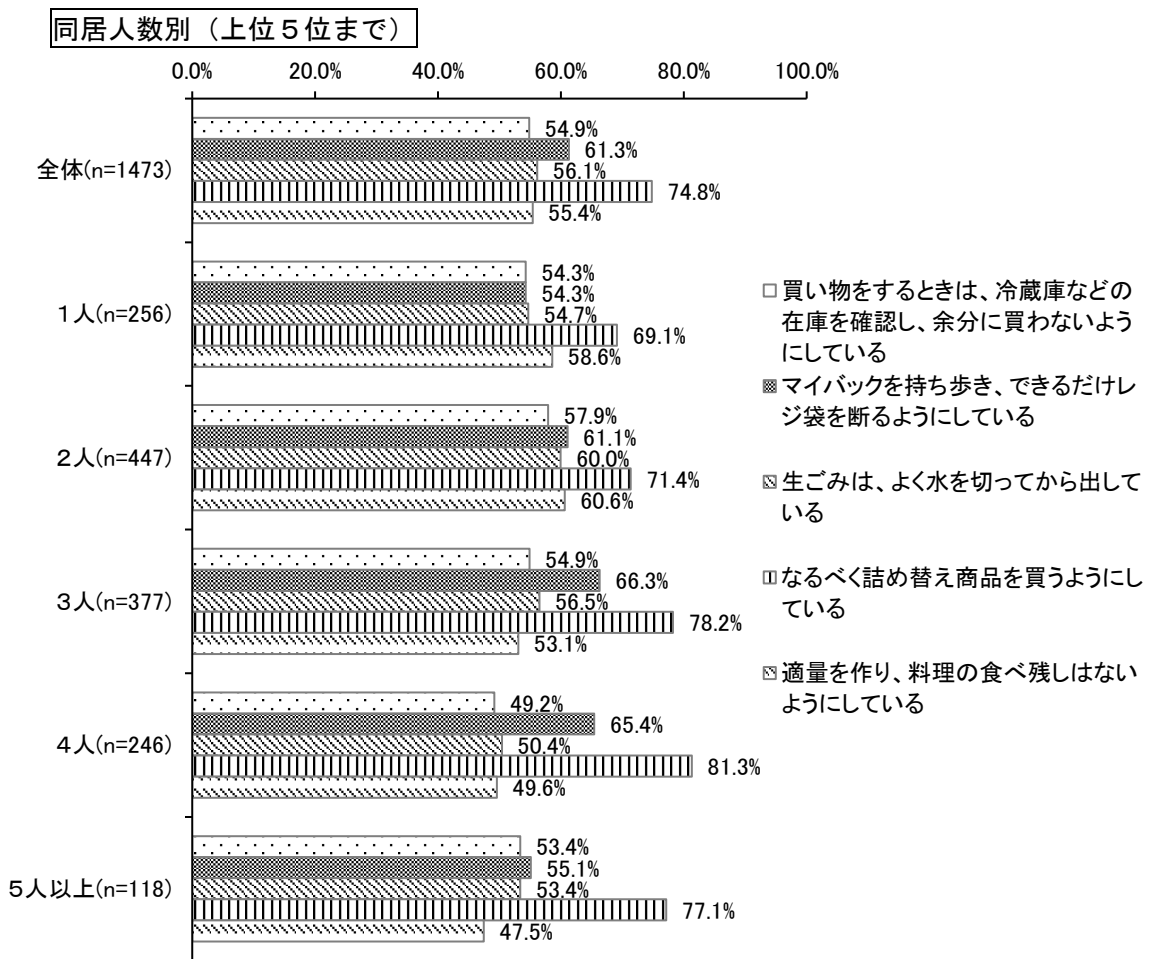


男女別に比較すると、上位5位までは、全ての項目において女性が男性を上回っており、特に、「マイバックを持ち歩き、できるだけレジ袋を断るようになっている」は、「男性」と「女性」で17.8%の差があり、女性がよりごみを出さない取組を実践していることが分かる。



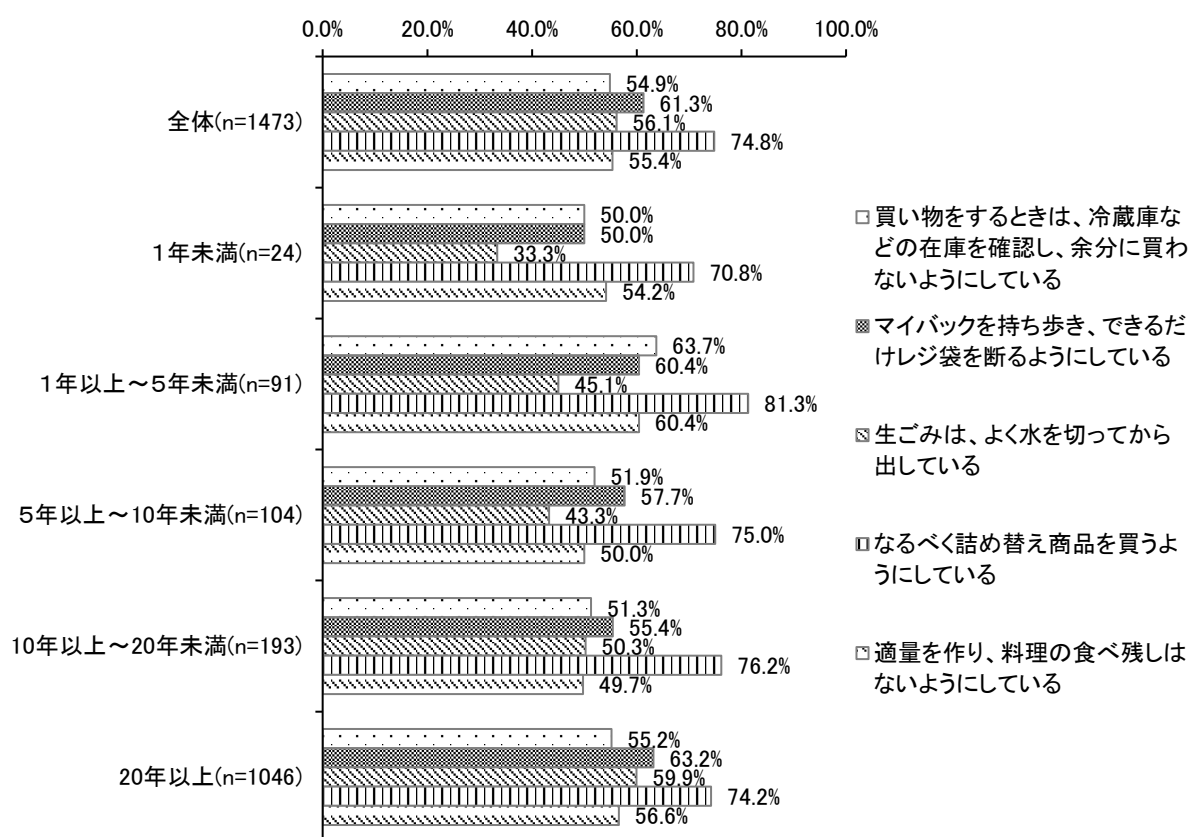
年代別に比較すると、「なるべく詰め替え商品を買うようにしている」と回答した人は、「50歳代」が82.4%で最も高く、次いで「40歳代」が79.8%、「30歳代」が77.3%と続いている。

また、「生ごみは、水をよく切ってから出している」と回答した人は、「70歳以上」が70.7%で最も高く、「20歳代」が33.7%で最も低くなっており、年代が上がるにつれて比率も高くなっている。



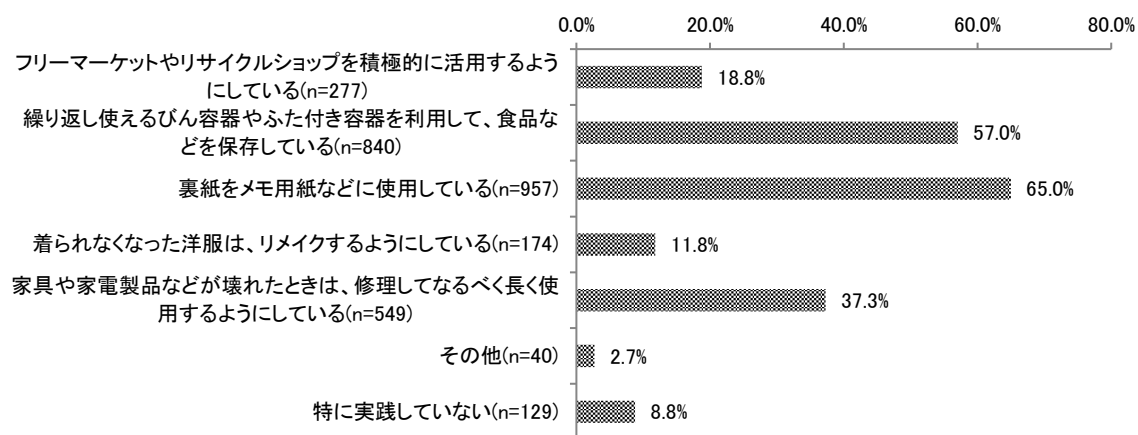
同居人数別に比較すると、「なるべく詰め替え商品を買うようにしている」と回答した比率は、「4人」世帯が81.3%で最も高く、次いで「3人」世帯が78.2%、「5人以上」世帯が77.1%と続いている。

居住年数別（上位5位まで）



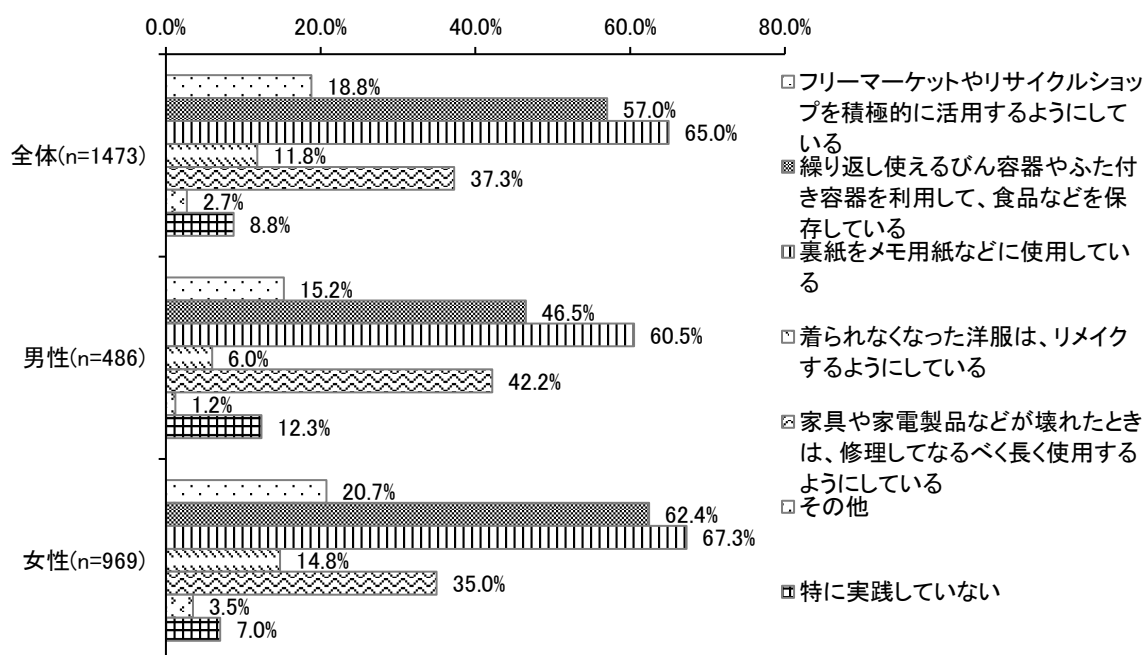
居住年数別に比較すると、「なるべく詰め替え商品を買うようになっている」と回答した人は、「1年以上～5年未満」が81.3%で最も高く、次いで「10年以上～20年未満」が76.2%、「5年以上～10年未満」が75.0%と続いている。

問5 あなたが実践している「繰り返し使う取組（リユース）」はどれですか。○はいくつでも。
(n=1,473)

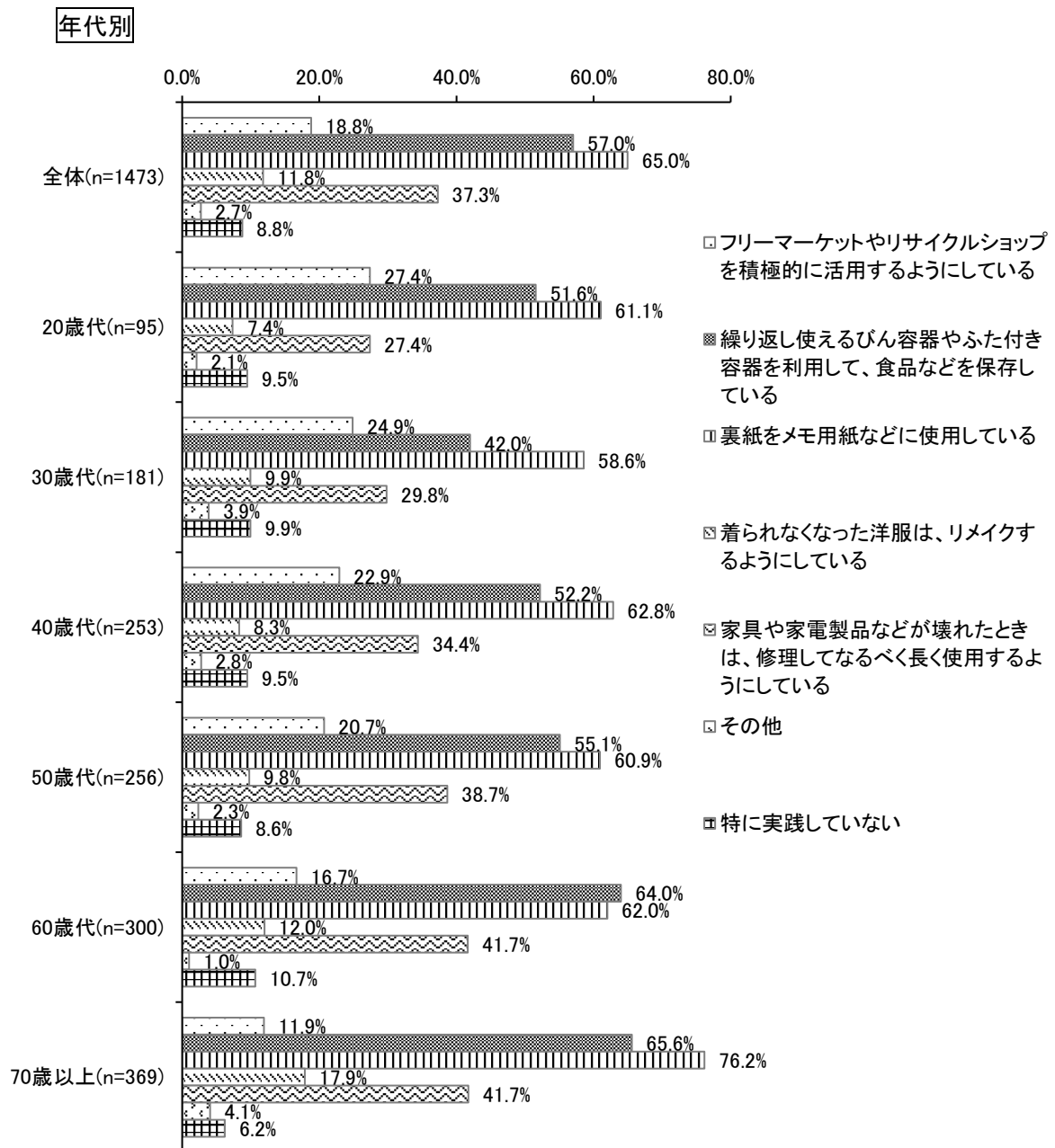


「裏紙をメモ用紙などに使用している」が65.0%で最も高く、次いで「繰り返し使えるびん容器やふた付き容器を利用して、食品などを保存している」が57.0%、「家具や家電製品などが壊れたときは、修理してなるべく長く使用するようにしている」が37.3%という結果になった。

男女別

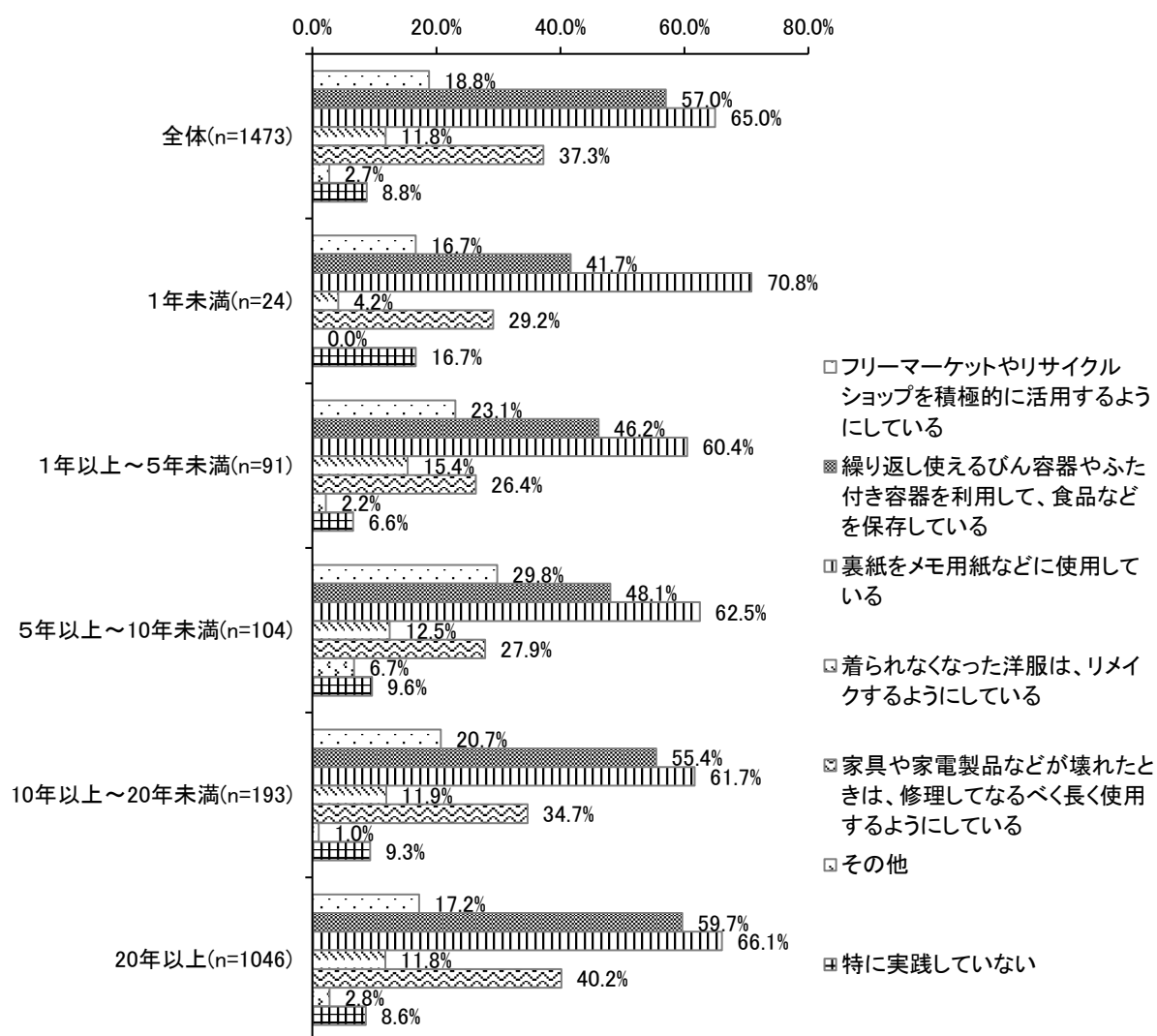


男女別に比較すると、「家具や家電製品などが壊れたときは、修理してなるべく長く使用するようにしている」及び、「特に実践していない」以外の全ての項目で女性が男性を上回っており、特に、「繰り返し使えるびん容器やふた付き容器を利用して、食品などを保存している」は、「男性」と「女性」で15.9%の差があり、女性がより繰り返し使う取組を実践していることが分かる。



年代別に比較すると、「フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に活用するようにしている」及び、「特に実践していない」以外の全ての項目で「70歳以上」が最も高くなっており、年代が上がるほど繰り返し使う取組を実践していることが分かる。

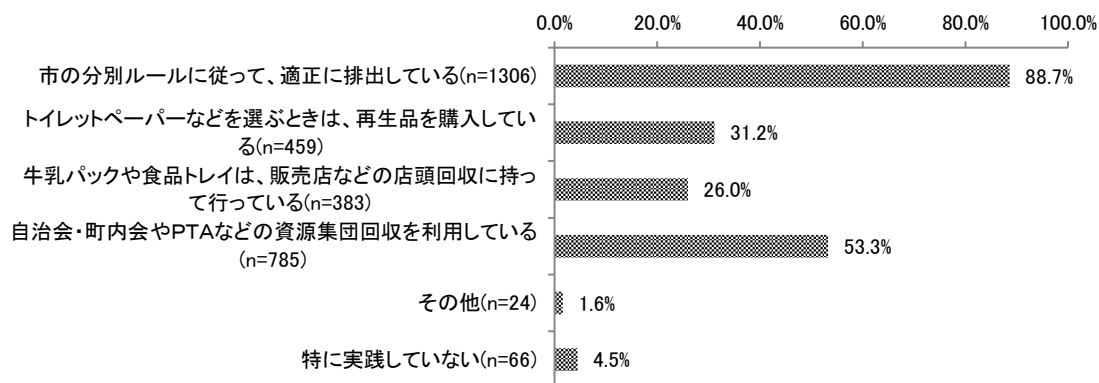
居住年数別（上位5位まで）



居住年数別に比較すると、「裏紙をメモ用紙などに使用している」のは、「1年未満」の70.8%が最も高く、次いで「20年以上」の66.1%、「5年以上～10年未満」の62.5%が続いた。

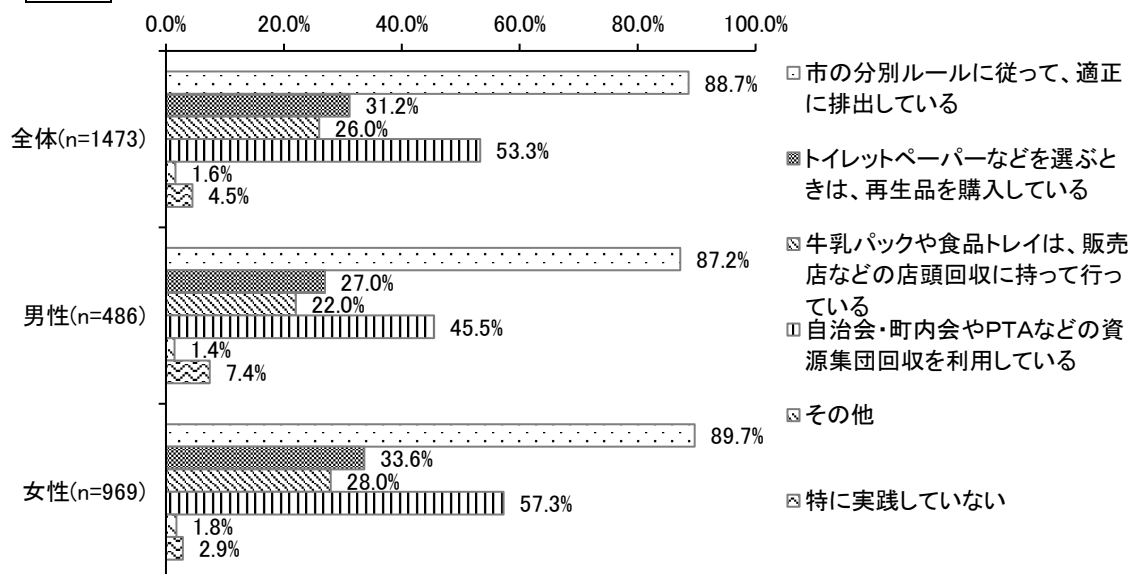
しかし、「特に実践していない」では、「1年未満」の16.7%が最も高く、最も低い「1年以上～5年未満」とは10.1%の差があった。

問6 あなたが実践している「リサイクルに向けた取組」はどれですか。○はいくつでも。
(n=1,473)

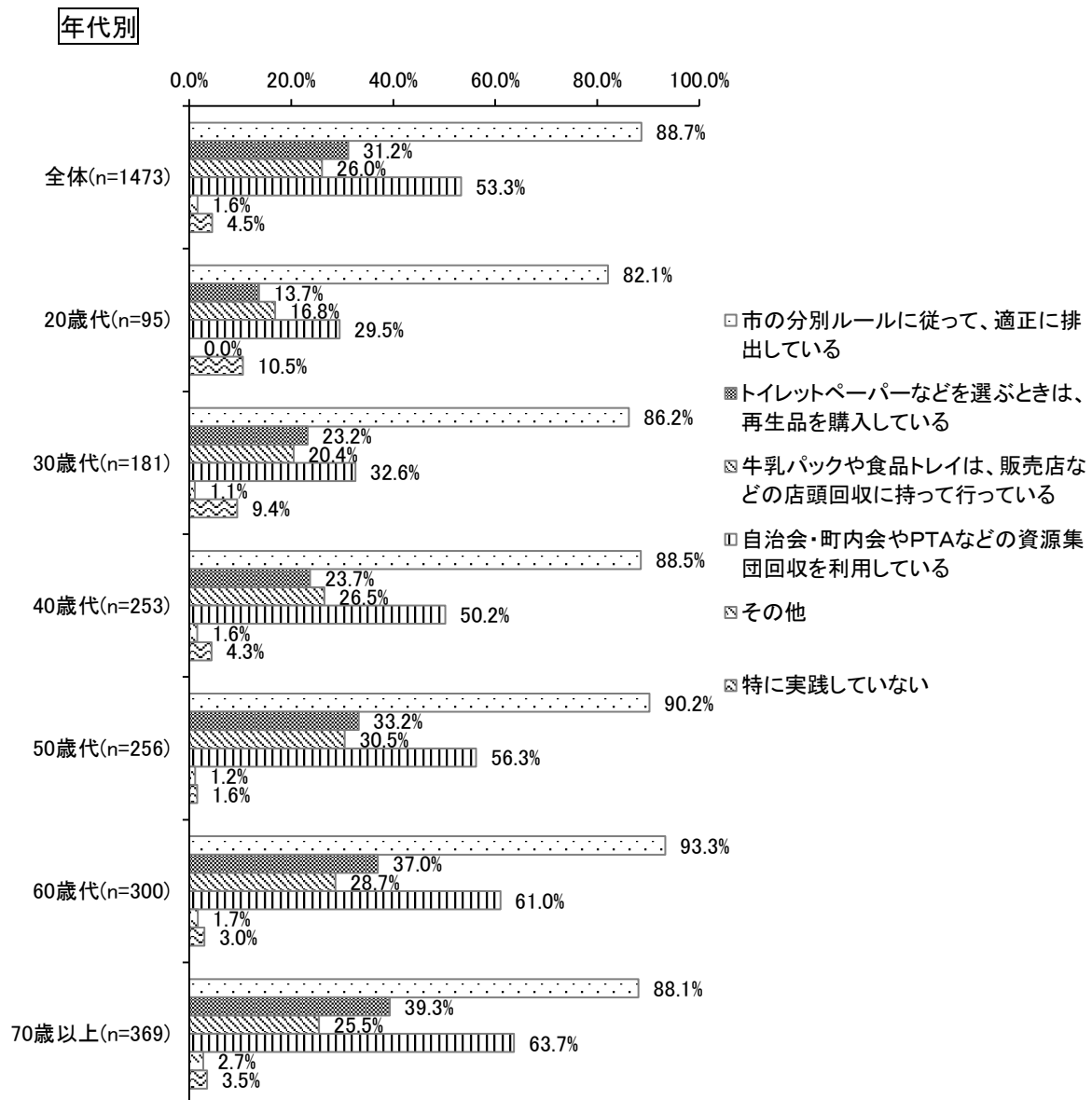


「市の分別ルールに従って、適正に排出している」が88.7%で最も高く、次いで「自治会・町内会やPTAなどの資源集団回収を利用している」が53.3%となった。

男女別



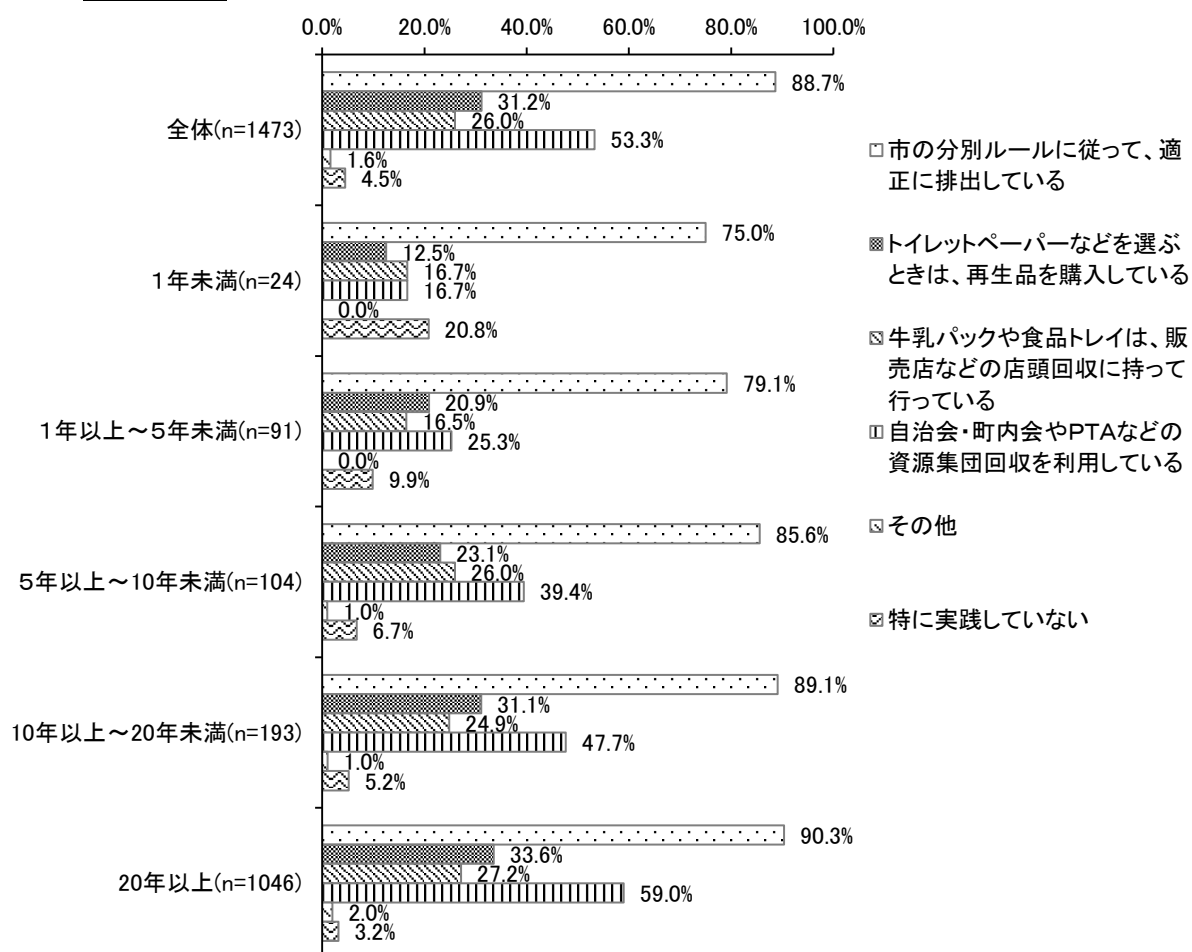
男女別に比較すると、「特に実践していない」以外の全ての項目で女性が男性を上回っており、女性がよりリサイクルに向けた取組を実践していることが分かる。



年代別に比較すると、「市の分別ルールに従って、適正に排出している」と回答した人は、「60歳代」が93.3%で最も高く、次いで「50歳代」が90.2%、「40歳代」が88.5%と続いている。

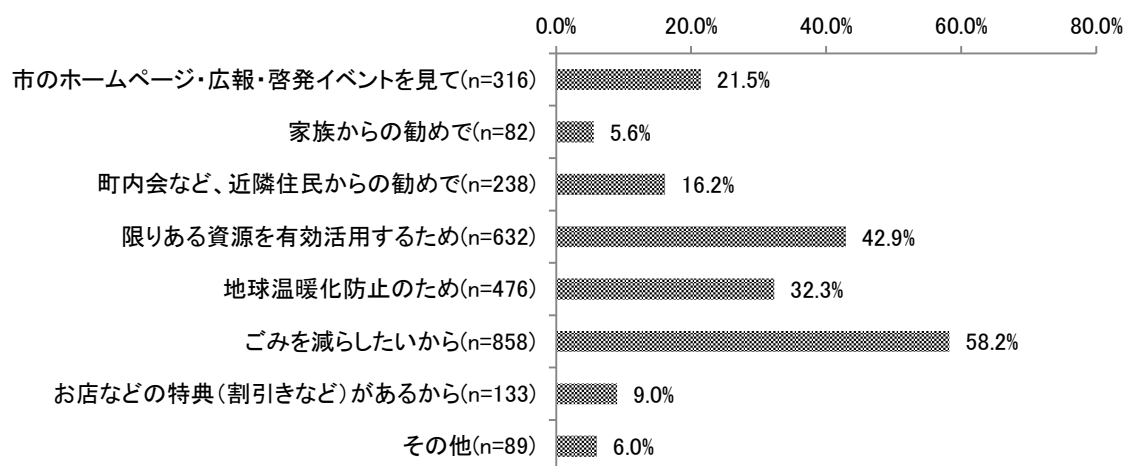
また、「トイレットペーパーなどを選ぶときは、再生品を購入している」及び、「自治会・町内会やPTAなどの資源集団回収を利用している」では、年代が上がるにつれて、比率が高くなる傾向にある。

居住年数別



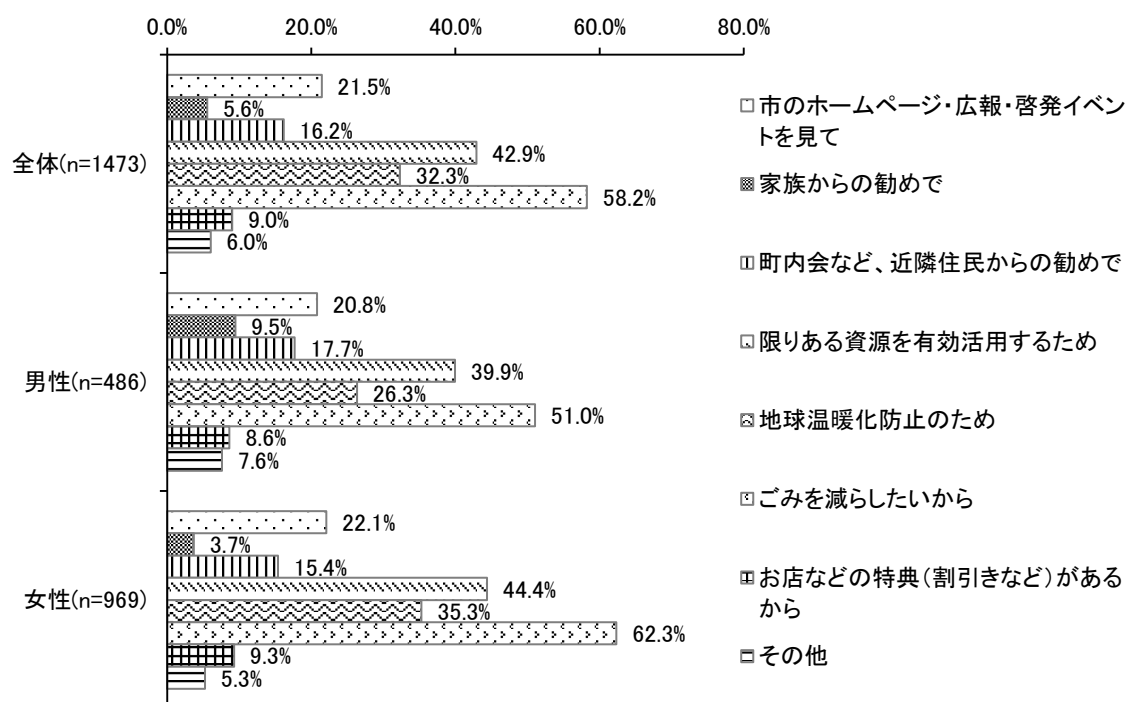
居住年数別に比較すると、どの項目においても居住年数が長いほど取組を行っている傾向にあるが、「特に実践していない」では、「1年未満」が20.8%で最も高いという結果になった。

問7 あなたが3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）を実践するきっかけはどれですか。○はいくつでも。（n=1,473）

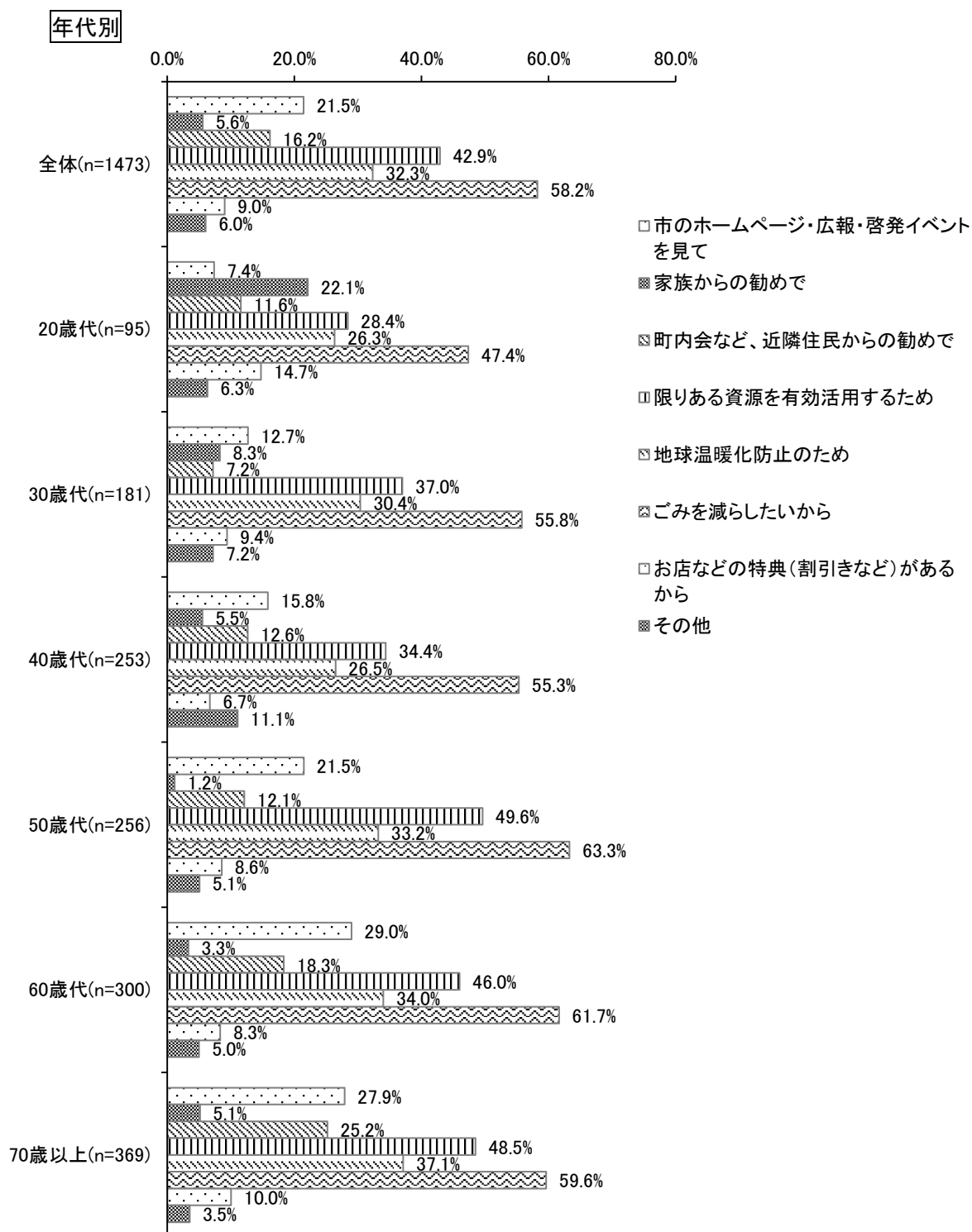


「ごみを減らしたいから」が58.2%で最も高く、次いで「限りある資源を有効活用するため」が42.9%、「地球温暖化のため」が32.3%と続いている。

男女別



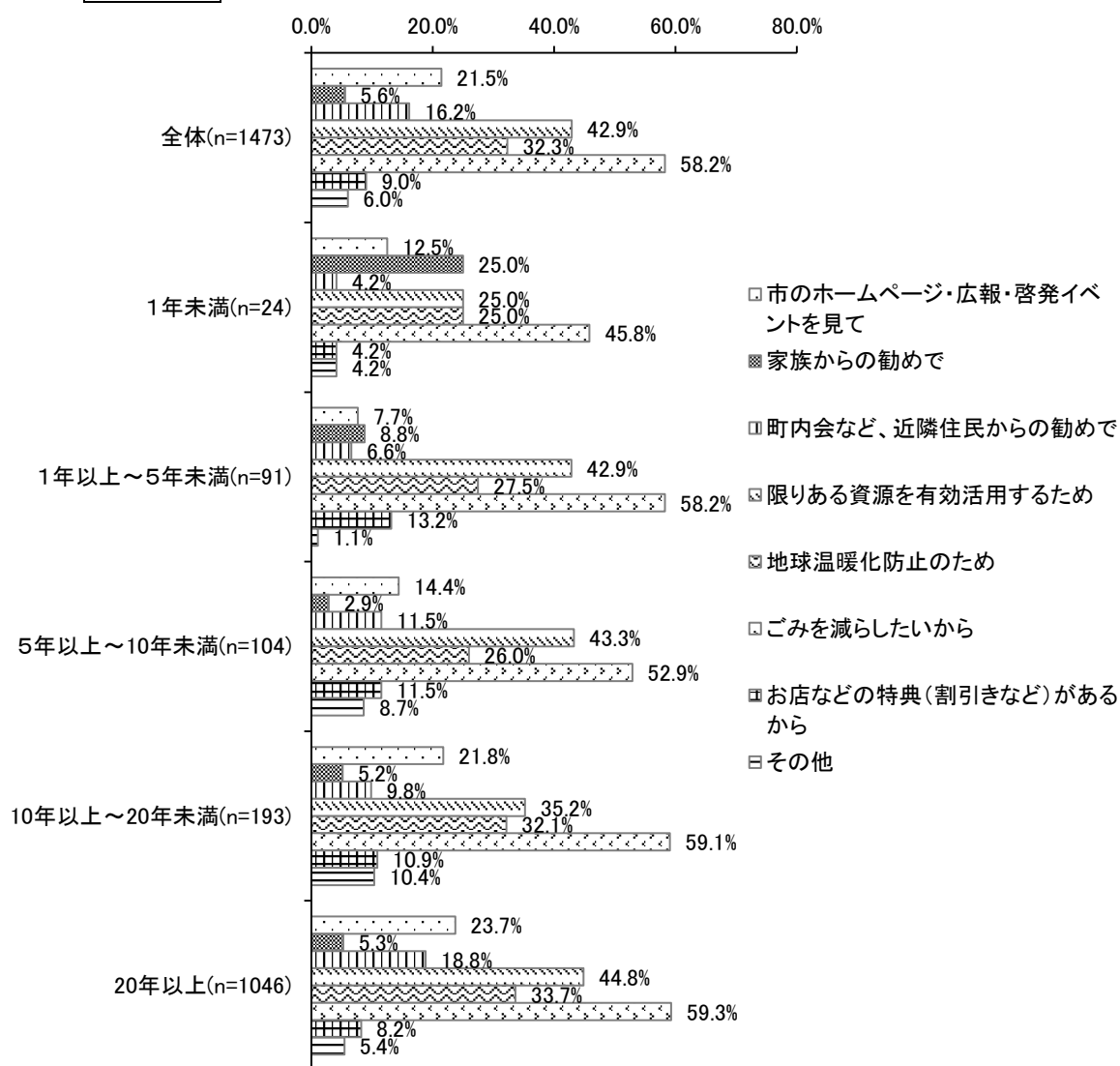
男女別に比較すると、「ごみを減らしたいから」では、「男性」と「女性」で11.3%の差があり、女性がよりごみを減らすために3R行動を実践していることが分かる。



年代別に比較すると、「ごみを減らしたいから」と回答した年代は、「50 年代」が 63.3%で最も高く、次いで「60 歳代」が 61.7%、「70 歳以上」が 59.6%と続いている。

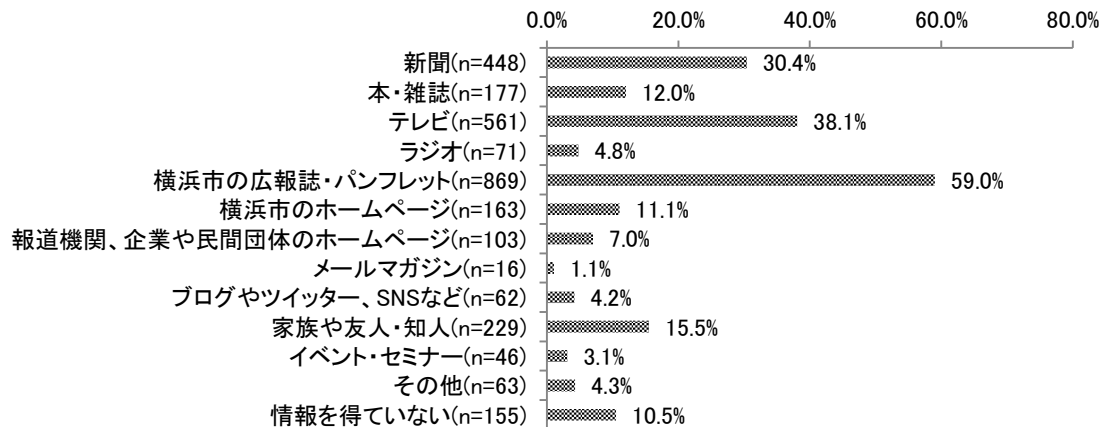
また、50 歳代以上では、「限りある資源を有効活用するため」、「地球温暖化防止のため」の累積構成比が 80.0%以上となることから、年代が上がるほど、身近な要因だけではなく、地球環境も意識して 3 R 行動を実践していることが分かる。

居住年数別



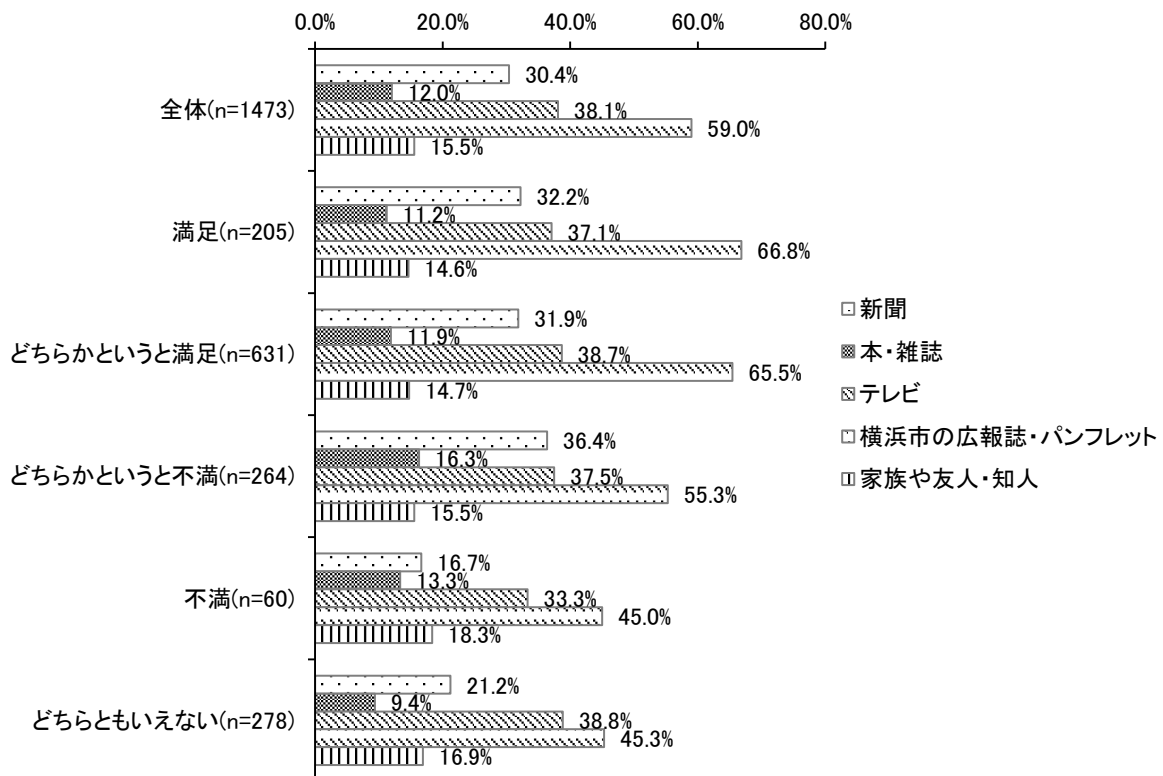
居住年数別に比較すると、「ごみを減らしたいから」と回答した比率は「20年以上」が「59.3%」で最も高く、次いで「10年以上～20年未満」が59.1%、「1年以上～5年未満」が58.2%と続いている。

問8 あなたが3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）などの環境に関する情報を得る主な手段はどれですか。○はいくつでも。(n=1,473)



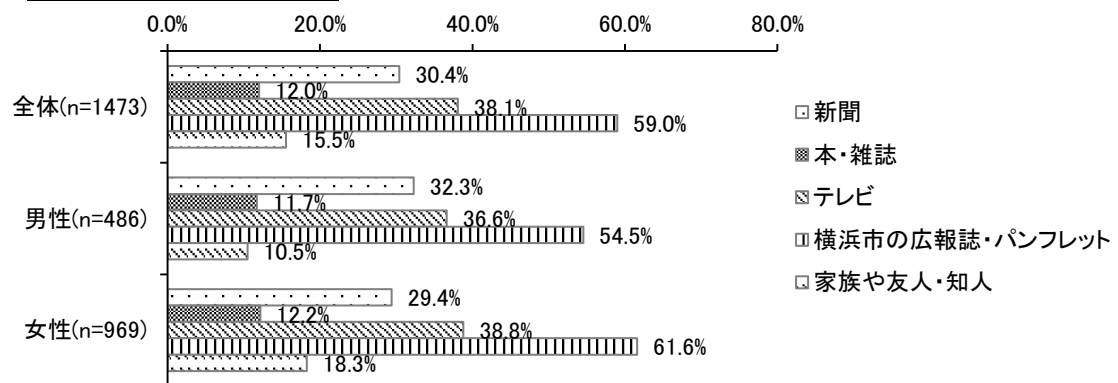
「横浜市の広報誌・パンフレット」が59.0%で最も高く、次いで「テレビ」が38.1%、「新聞」が30.4%と続いている。

問3 ごみに関する情報提供の満足度との関係（上位5つまで）



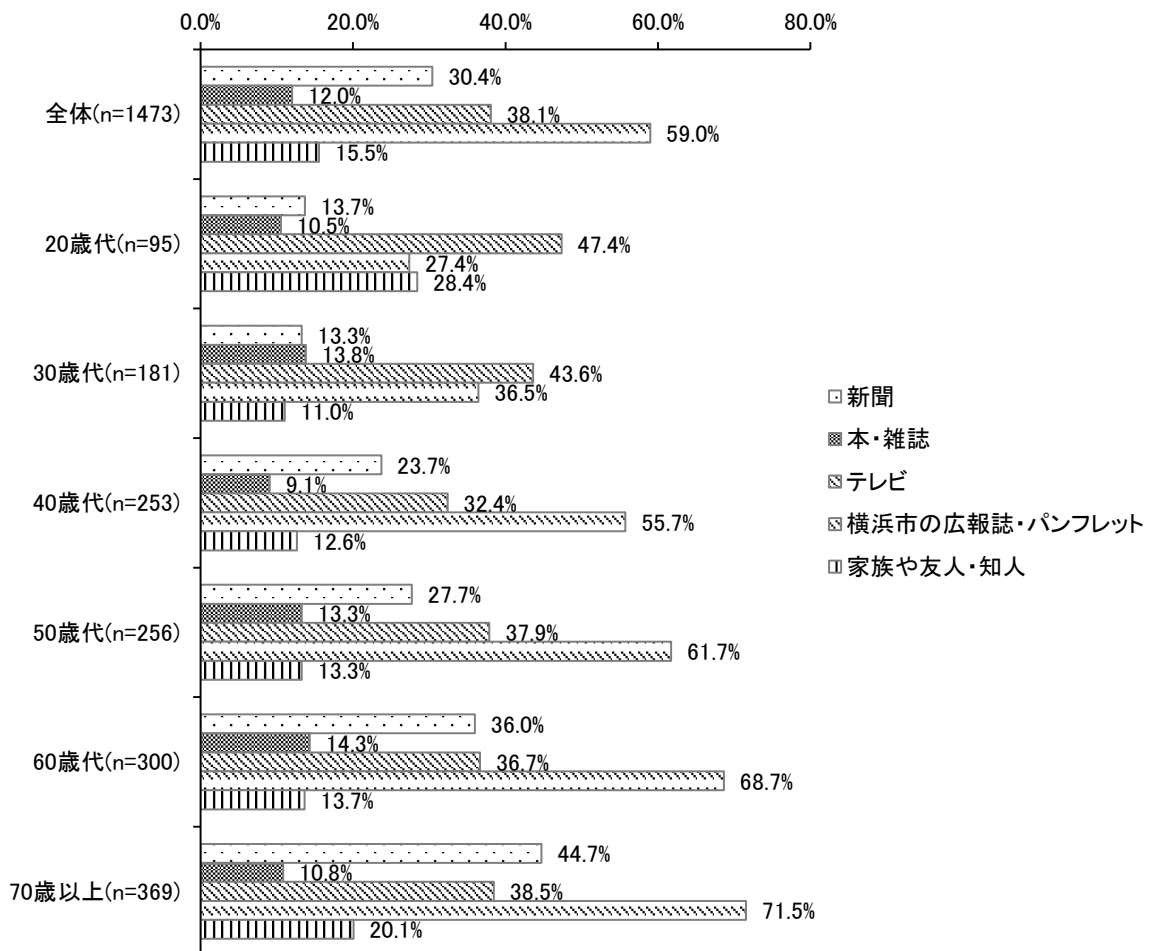
情報提供の満足度別に比較すると、「横浜市の広報誌・パンフレット」から情報を得ている人ほど、ごみに関する情報提供に満足しているという結果になった。また、横浜市の広報誌・パンフレットから情報を得ている人の比率も高いことから、横浜市の広報誌・パンフレットは、情報発信手段として非常に有効であるといえる。

男女別（上位5位まで）

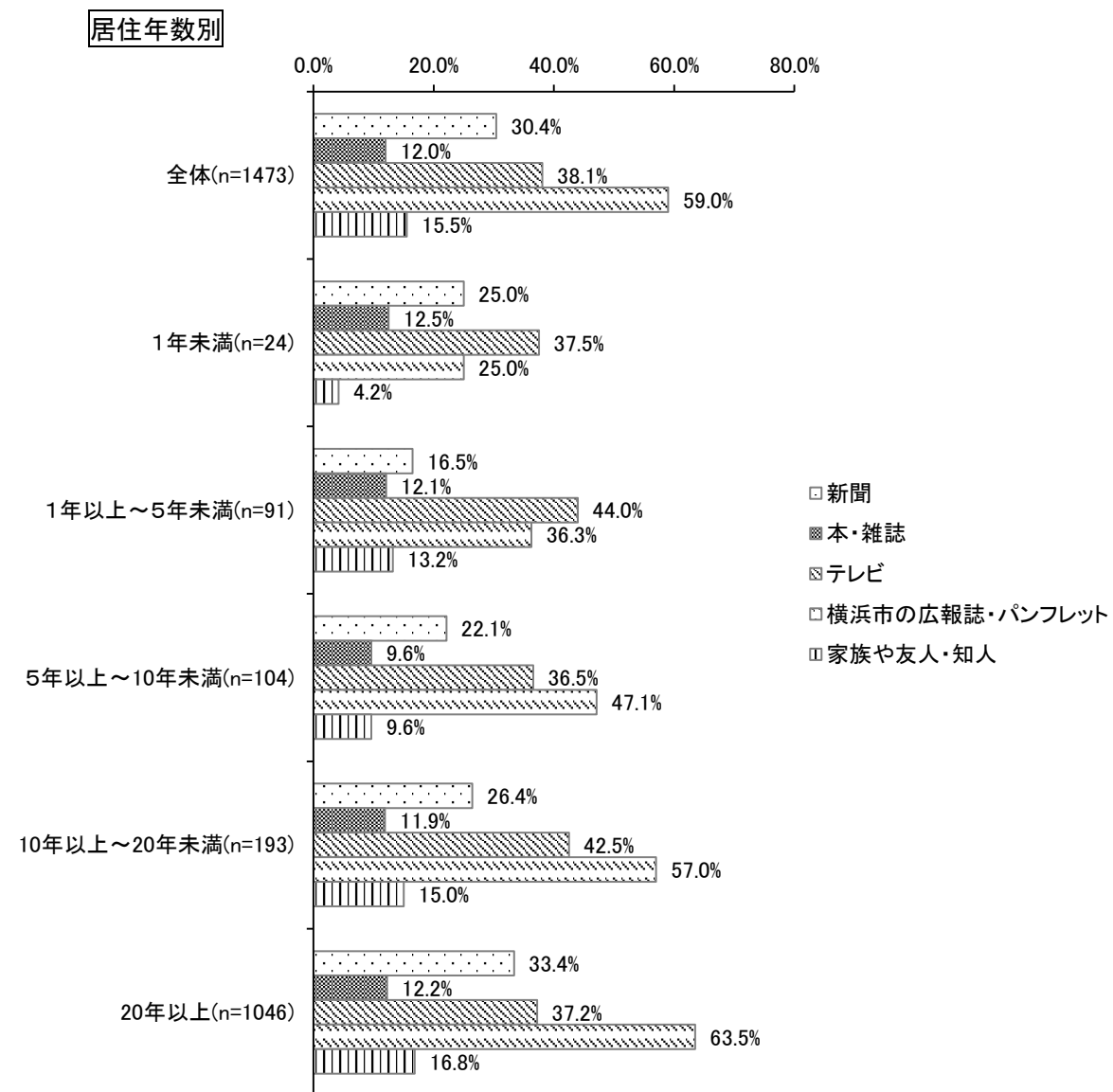


男女別に比較したところ、回答に大きな差は見られなかった。

年代別



年代別に比較すると、「横浜市の広報誌・パンフレット」と回答した年代は「70歳以上」が71.5%で最も高く、次いで「60歳代」が68.7%、「50歳代」が61.7%と続いており、年代が上がるほど横浜市の広報誌・パンフレットから情報を得ていることが分かる。



居住年数別に比較すると、情報を得る主な手段として「横浜市の広報誌・パンフレット」と回答した人は、「20年以上」が63.5%で最も高く、次いで「10年以上～20年未満」が57.0%と続いており、居住年数が長くなるほど「横浜市の広報誌・パンフレット」から情報を得ている傾向があることが分かる。

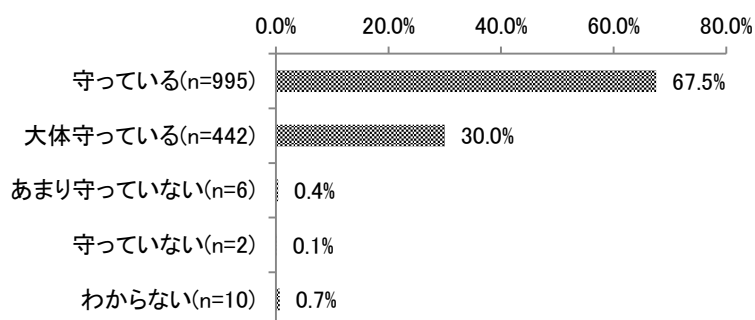
■考察 3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）について

調査結果から、多くの横浜市民が3R行動（リデュース・リユース・リサイクル）に取り組んでいることが分かる。今後、さらに3R行動を推進するためには、市民だけでなく、小売業者の協力も必要だと考えられる。レジ袋の有料化や、小分け食材商品を増やすことも、ごみの発生抑制につながる。

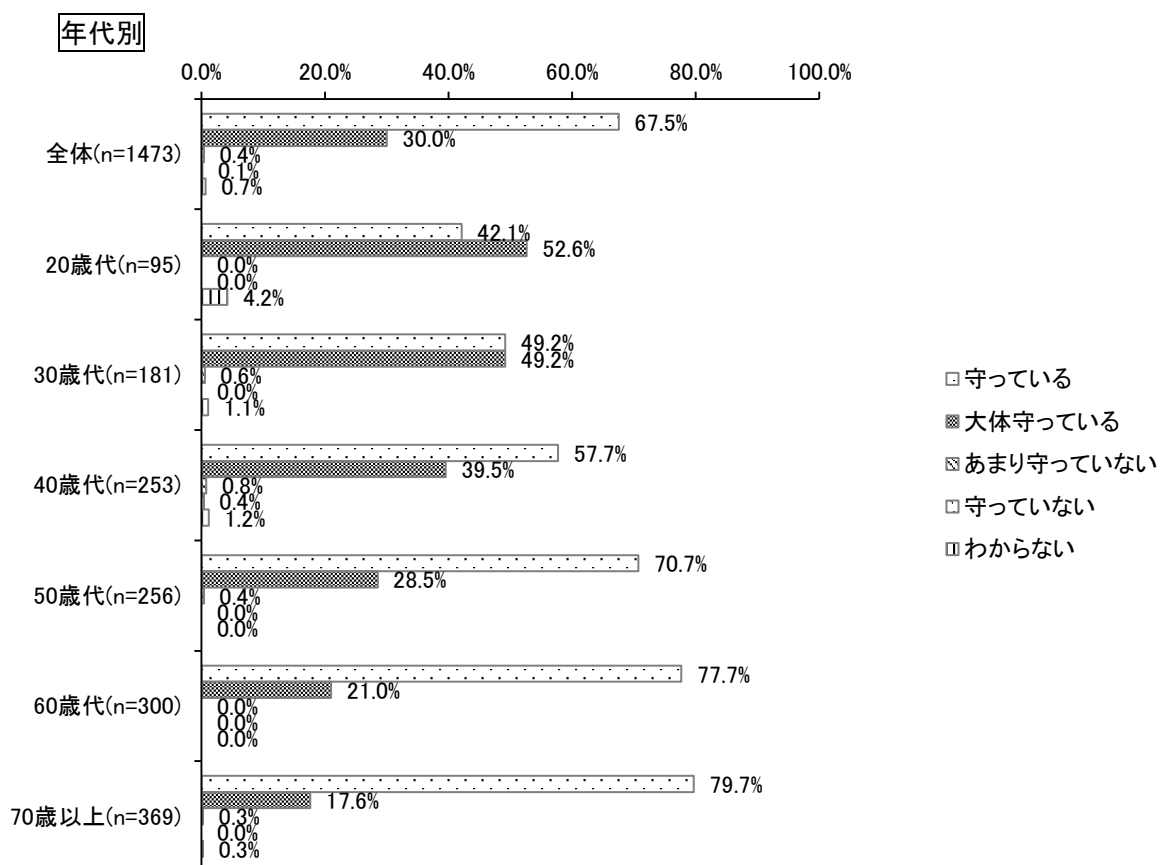
また、横浜市の広報誌・パンフレットから情報を得ている人が多いことから、これらを有効活用し、幅広い年代に3R行動の推進を促していく必要がある。

2.4 ごみの分別ルールについて

問9 あなたは、横浜市の分別ルールを守っていますか。○はひとつ。(n=1,473)

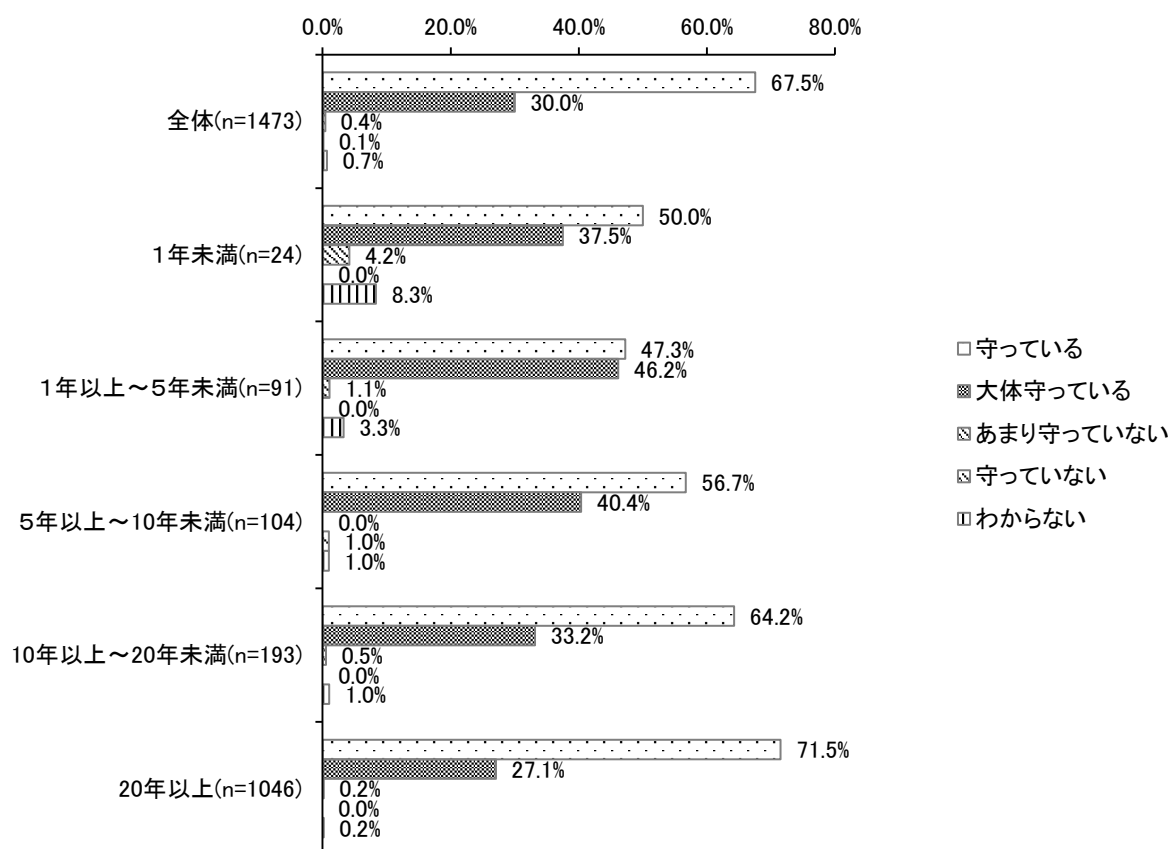


「守っている」が67.5%で最も高く、次いで「大体守っている」が30.0%となっており、非常に多くの人が分別ルールを守っている。



年代別に比較すると、「守っている」と回答した人は、「70歳以上」が79.7%で最も高く、次いで「60歳代」が77.7%、「50歳代」が70.7%と続いており、年代が上がるにつれて分別ルールを守る傾向にあることが分かる。

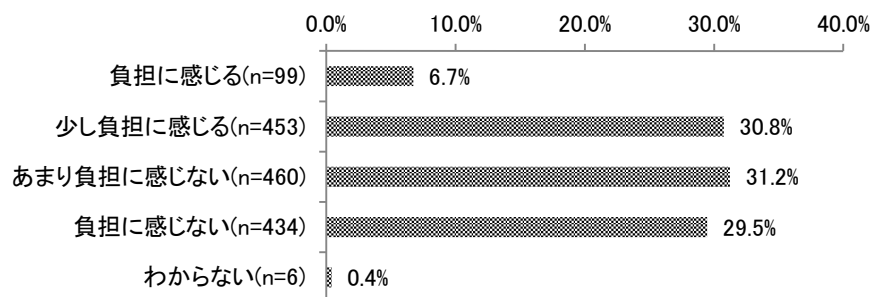
居住年数別



居住年数別に比較すると、「守っている」と回答した人は、「20 年以上」が 71.5%で最も高く、次いで「10 年以上～20 年未満」が 64.2%、「5 年以上～10 年未満」が 56.7%と続いており、年代が上がるほど分別ルールを守っていることが分かる。

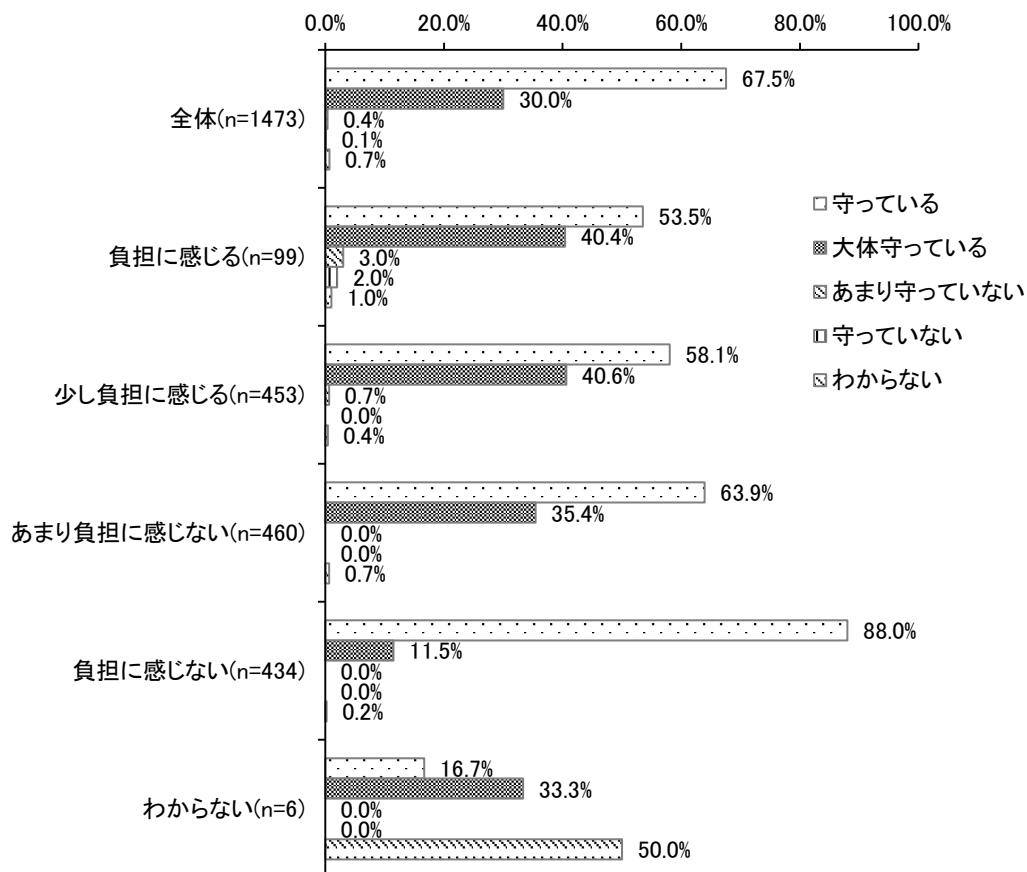
また、「わからない」では、「1 年未満」は 8.3%で最も高く、次いで「1 年以上～5 年未満」は 3.3%で、5 年以上では 1.0%以下となることから、居住年数が短い人の中には、正しく分別できているか分からないまま、ごみを排出している人が一定数いると考えられる。

問 10 あなたは、分別を負担に感じますか。○はひとつ。(n=1,473)



「あまり負担に感じない」が31.2%で最も高く、次いで「少し負担を感じる」が30.8%、「負担に感じない」が29.5%と続いている。

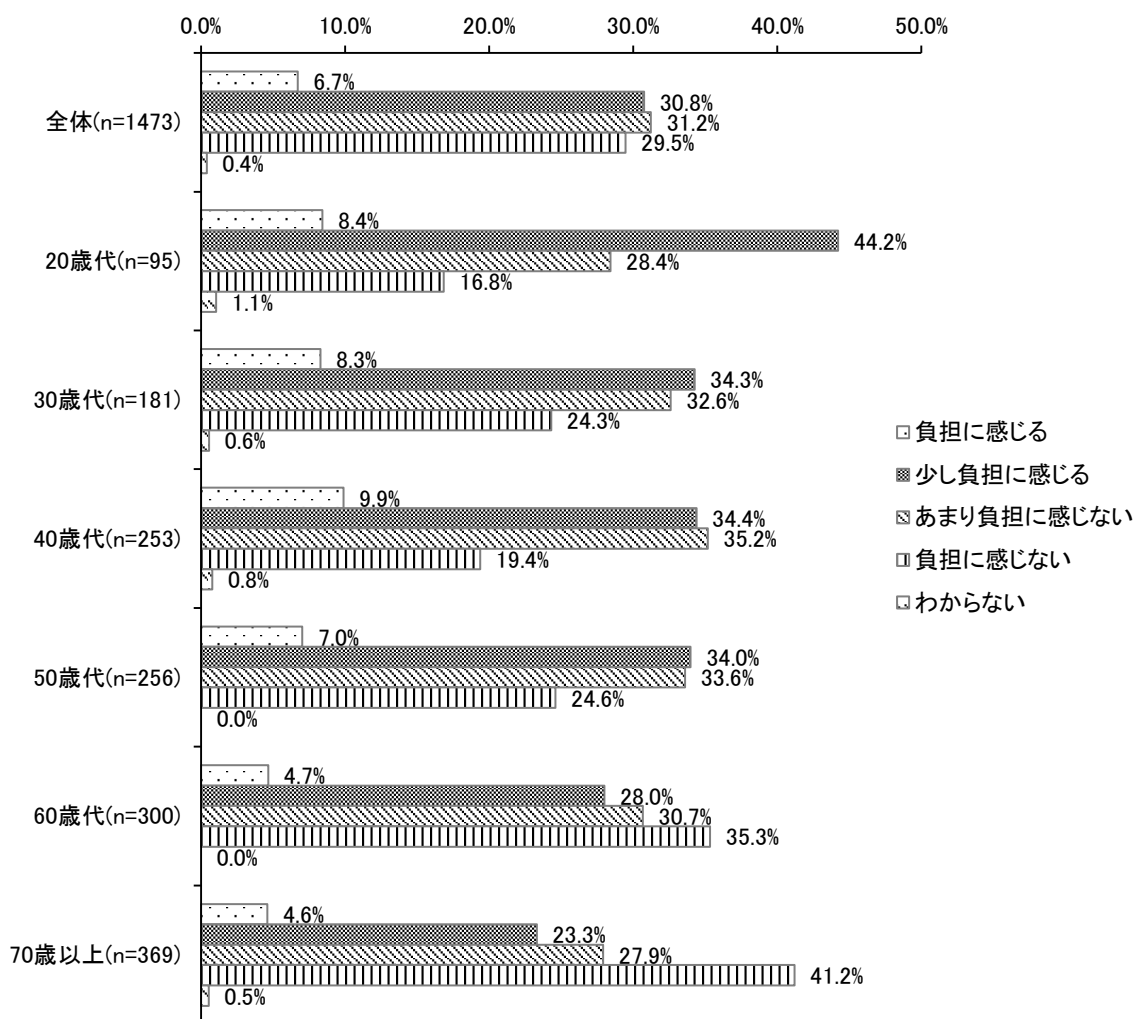
問 9 分別ルール遵守との関係



「負担に感じない」と回答した人の中で、分別ルールを「守っている」と回答した比率は88.0%となっており、「負担を感じる」と回答した人の中では53.5%となっている。

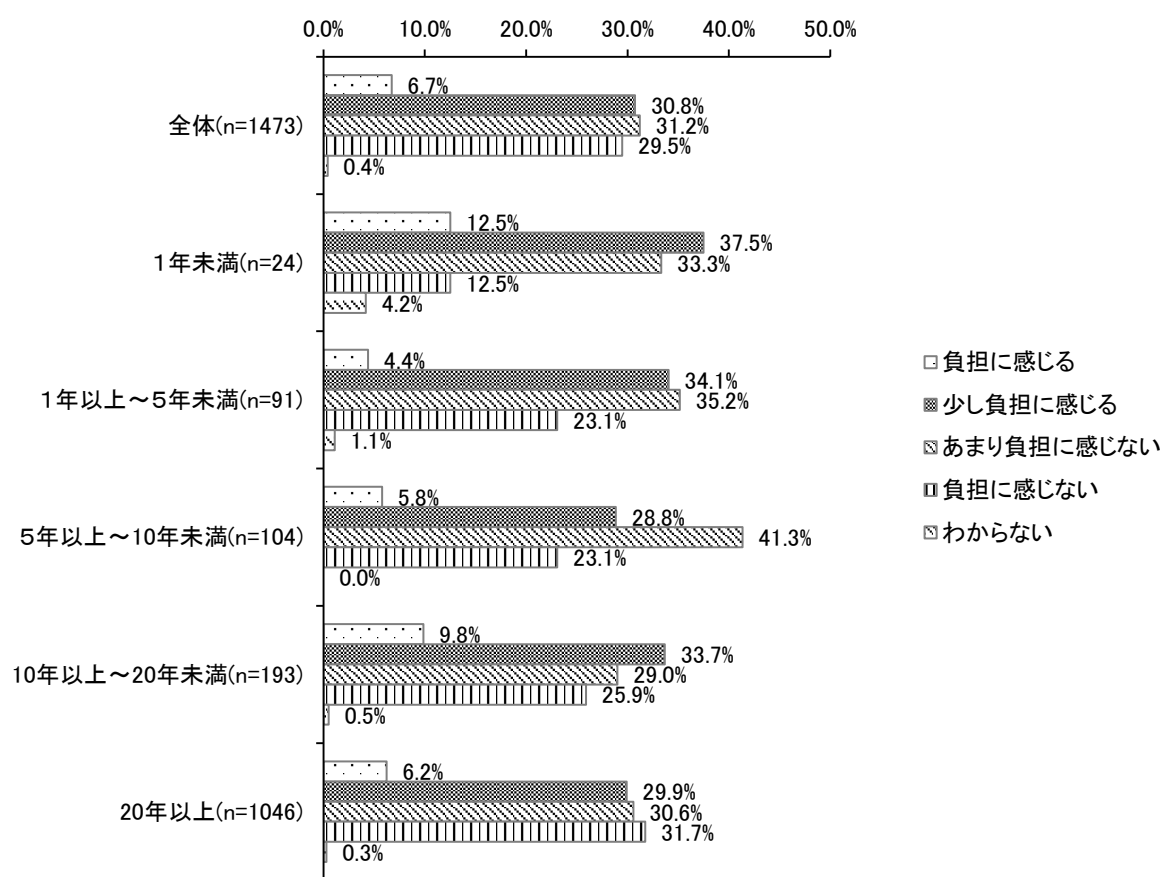
分別ルールを守っている人ほど、分別を負担に感じていないことが分かる。

年代別



年代別に比較すると、「少し負担を感じる」では「20 歳代」が 44.2%で最も高く、「負担に感じない」では、年代が上がるにつれて比率が高くなる傾向があり、「70 歳以上」が 41.2%で最も高い。年代が上がるにつれて、ごみの分別が習慣になり、負担に感じなくなると推察される。

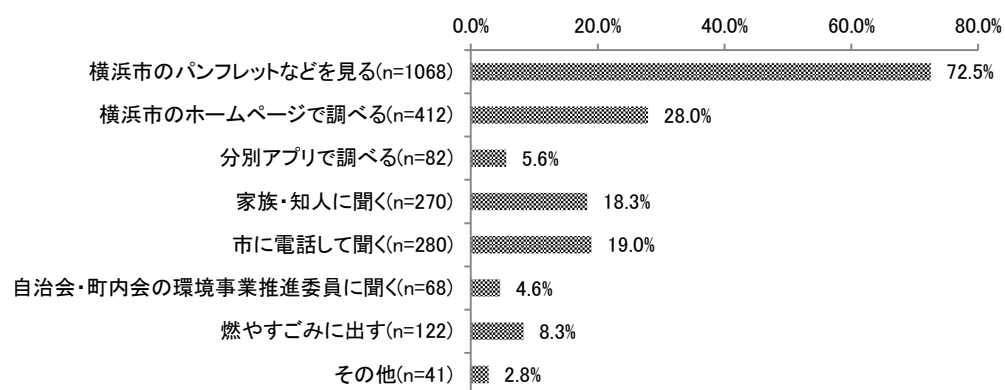
居住年数別



居住年数別に比較すると、「負担に感じない」と回答した年代は、「20年以上」が31.7%で最も高く、年数が短くなるにつれてその比率が低下している。

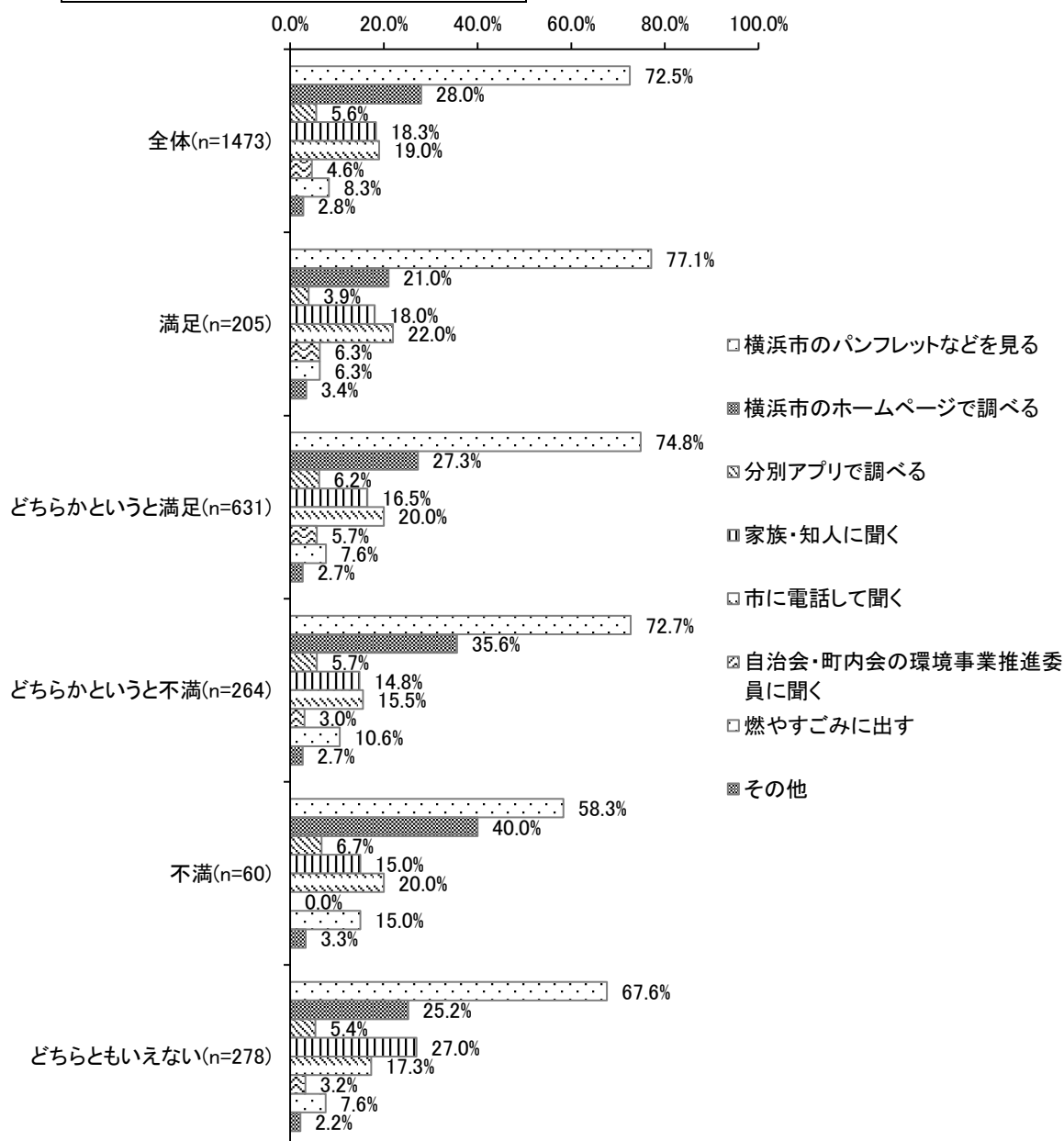
また、「負担を感じる」と「少し負担を感じる」の累積構成比は、「1年未満」が50.0%で最も高くなっており、「わからない」も「1年未満」が4.2%で最も高くなっていることから、居住年数が1年未満の世帯は、横浜市の分別ルールに慣れていないため、負担に感じる比率が高いと推察される。

問 11 あなたは、ごみの出し方が分からないとき、どうしていますか。○はいくつでも。
(n=1,473)



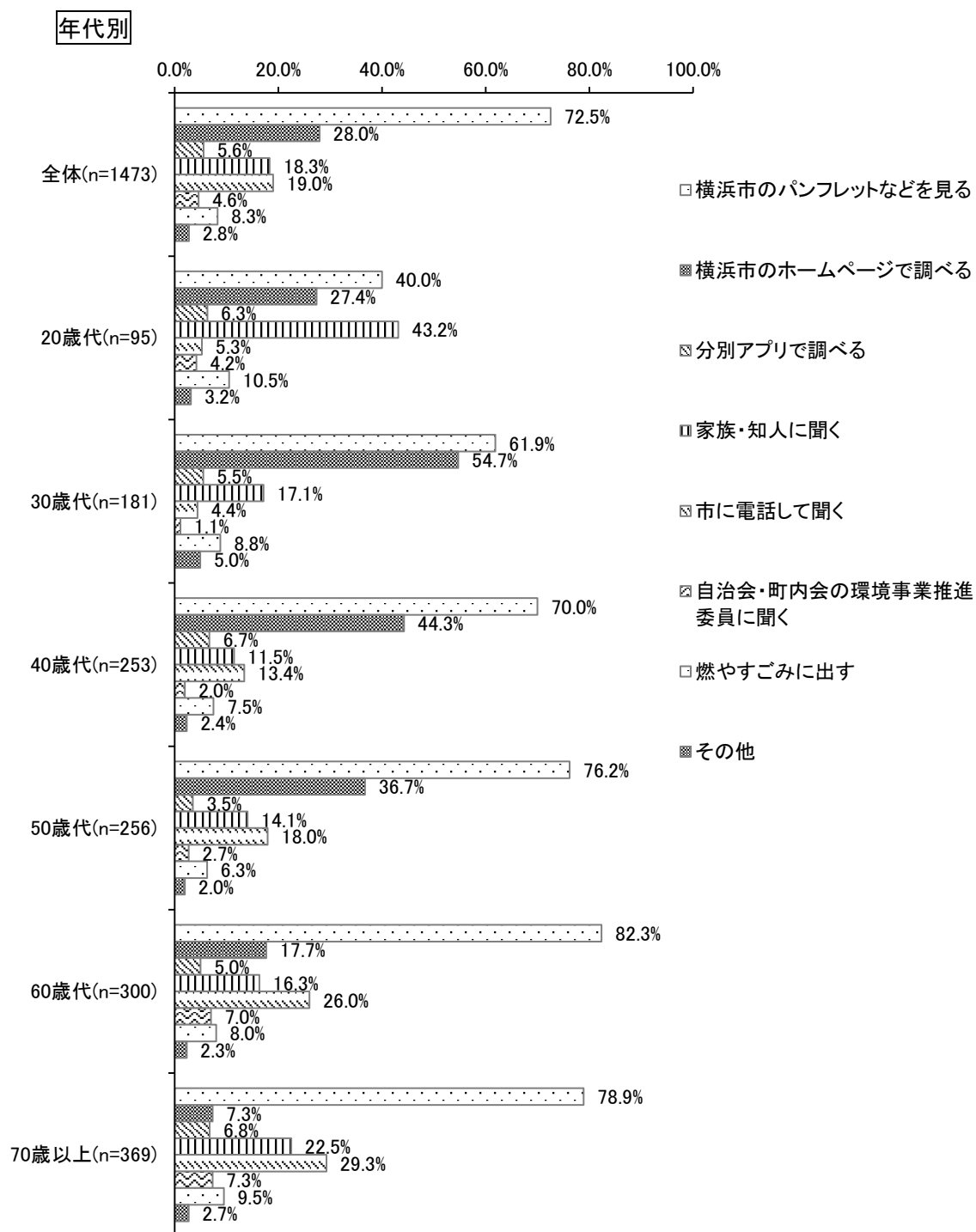
「横浜市のパンフレットなどを見る」が 72.5%で最も高く、次いで「横浜市ホームページで調べる」が 28.0%、「市に電話して聞く」が 19.0%と続いている。

問3 ごみの情報提供の満足度との関係



ごみの情報提供に満足している人の77.1%が「横浜市のパンフレットなどを見る」と回答した一方、不満がある人の58.3%も「横浜市のパンフレットなどを見る」と回答している。「不満」及び、「どちらかという不満」では、「横浜市のホームページで調べる」がそれぞれ35.0%を超えており、ホームページで調べる人は、満足度が低下することが分かる。

ごみの出し方が分からないとき、横浜市のホームページで調べると回答した人が28.0%いることから、ホームページ上の情報もより充実させる必要がある。

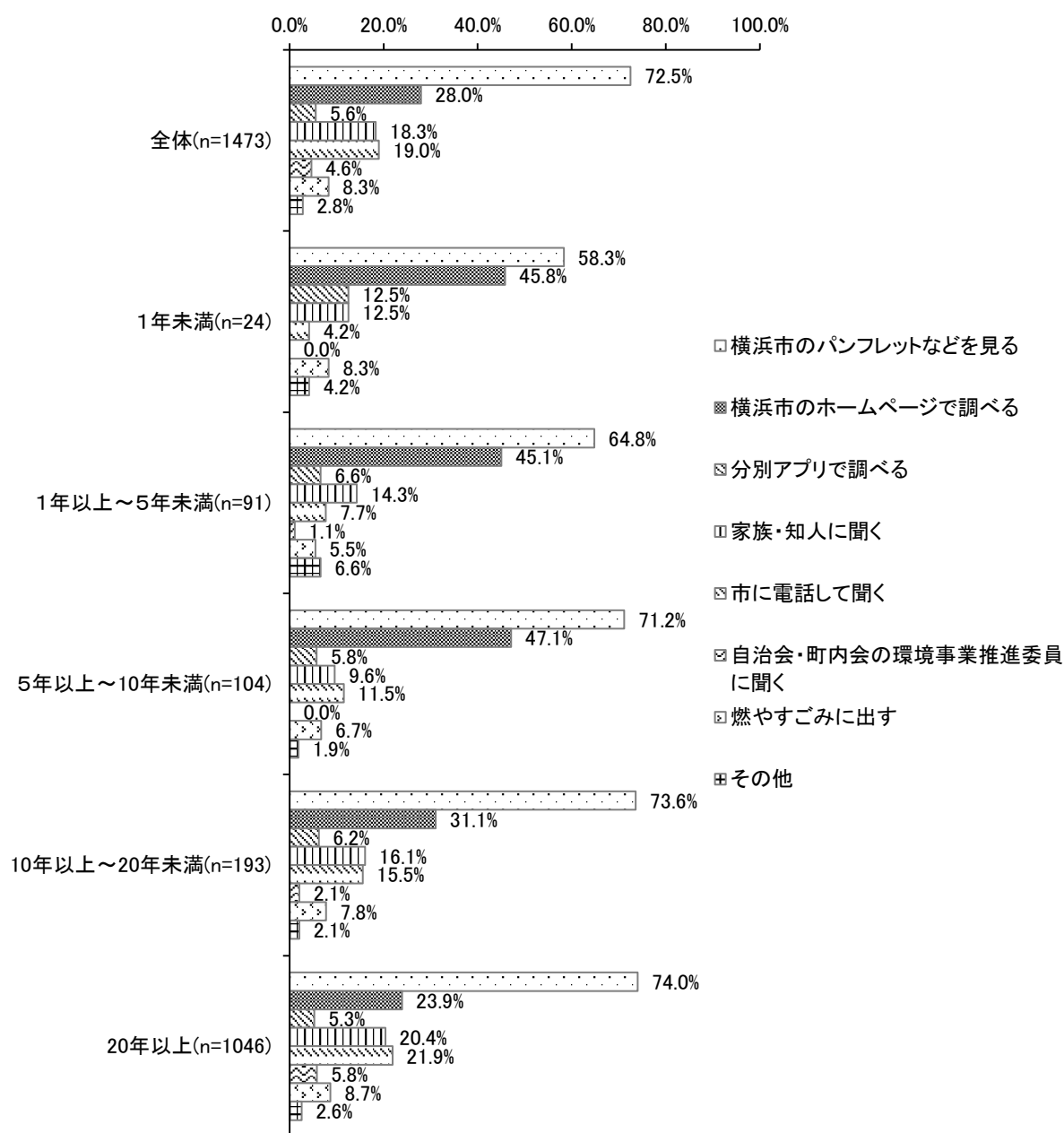


年代別に比較すると、「20 歳代」は、「家族・知人に聞く」が 43.2%で最も高いが、他の年代では「横浜市のパamフレットなどを見る」が最も高くなっており、年代が上がるにつれて、その比率も高くなっている。

「30 歳代」では、「横浜市のホームページで調べる」が 54.7%で他の年代よりも高くなっており、年代が上がるにつれてその比率は低下している。

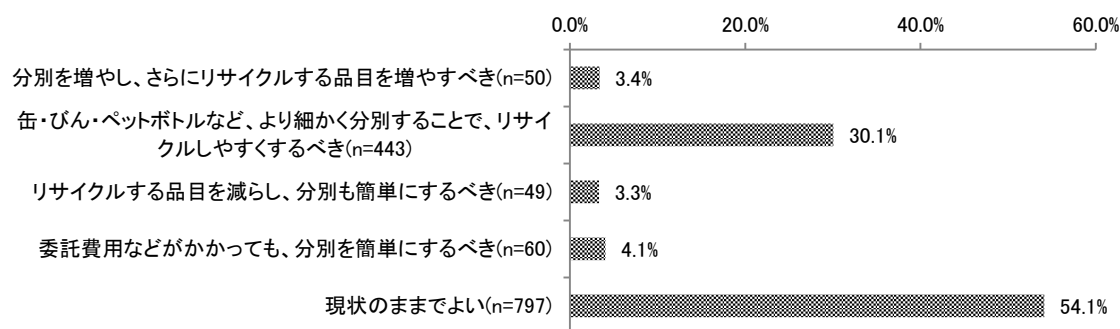
「50 歳代」以上では、「市に電話して聞く」比率も高く、「70 歳以上」の 29.3%、「60 歳代」の 26.0%が、電話で市に問い合わせている。

居住年数別



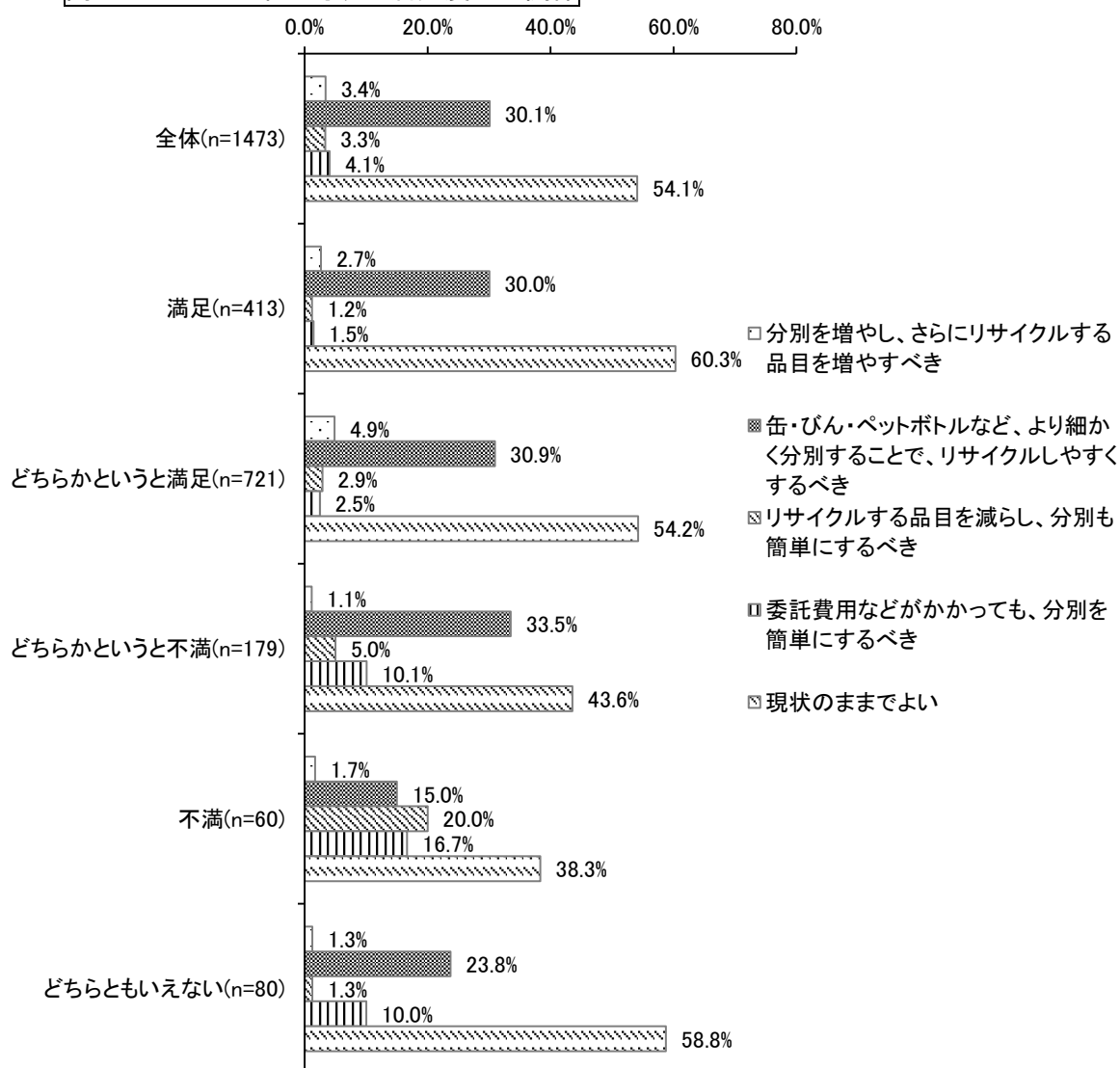
居住年数別に比較すると、「横浜市のパンフレットなどを見る」と回答した人は、「20 年以上」が 74.0%で最も高く、次いで「10 年以上～20 年未満」が 73.6%、「5 年以上～10 年未満」が 71.2%と続いており、居住年数が長くなるほど、横浜市のパンフレットなどから情報を得る傾向にあることが分かる。

問 12 あなたは、分別についての次のような考え方をどう思いますか。○はひとつ。(n=1,473)



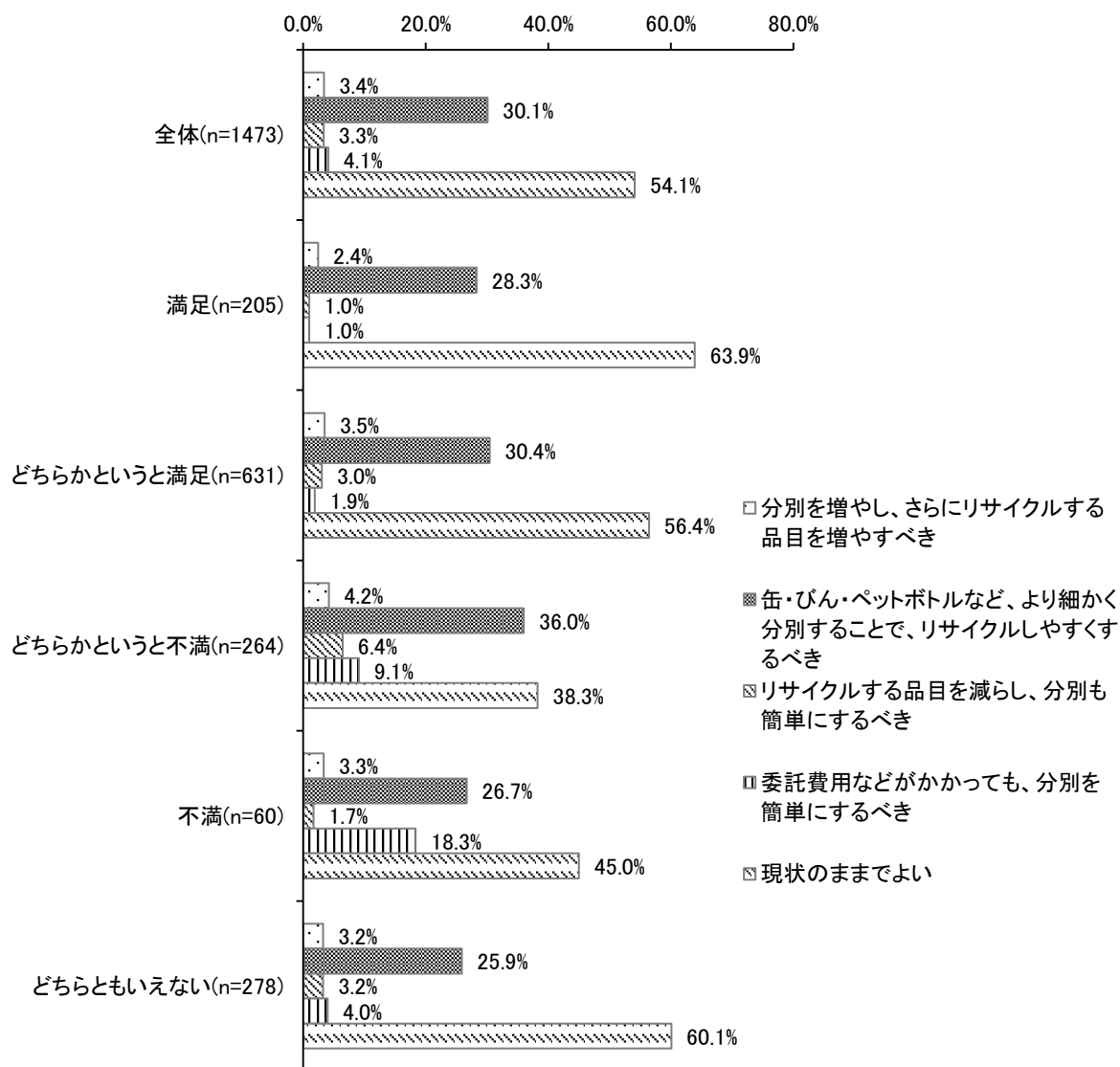
「現状のままでよい」が54.1%で最も高く、次いで「缶・びん・ペットボトルなど、より細かく分別することで、リサイクルしやすくするべき」が30.1%、「委託費用などがかかっても、分別を簡単にすべき」が4.1%と続いている。

問 3 ごみの収集に対する満足度との関係



「不満」では、「リサイクルする品目を減らし、分別も簡単にすべき」が20.0%、「委託費用などがかかっても、分別を簡単にすべき」が16.7%で、他の項目よりも高い比率になっており、ごみの収集に不満を感じている人は、現状の分別ルールでごみを排出することを煩雑に感じていると考えられる。

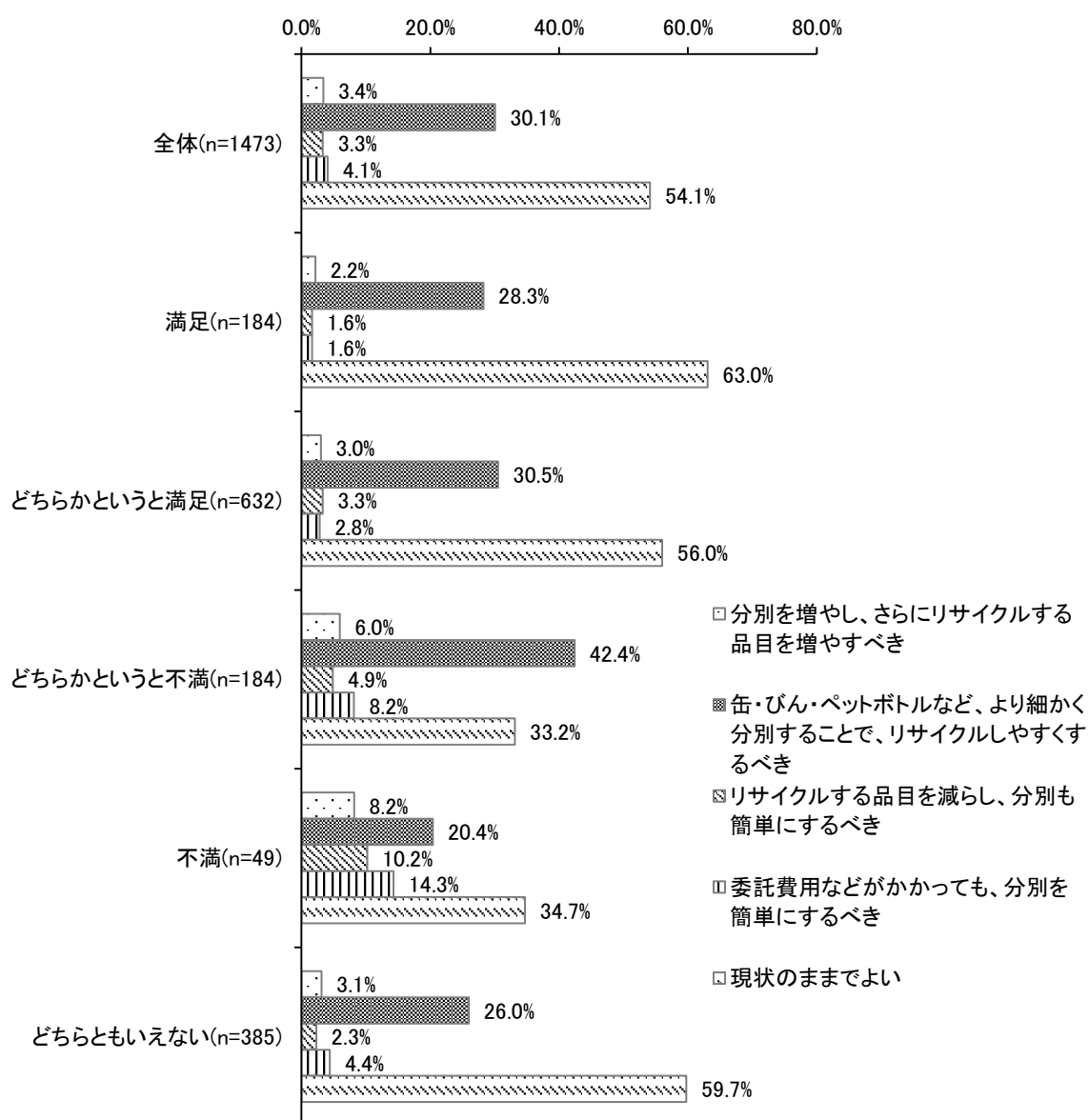
問3 ごみに関する情報提供の満足度との関係



ごみに関する情報提供の満足度との関係を見ると、「満足」と回答した人の63.9%が、「現状のままでよい」が最も高く、「どちらかという不満」では、38.3%が「現状のままでよい」と回答し、最も低い。

ごみに関する情報提供に不満がある人は、現状の分別ルールでごみを排出することを煩雑に感じていると考えられる。

問3 ごみ減量への取組の満足度との関係

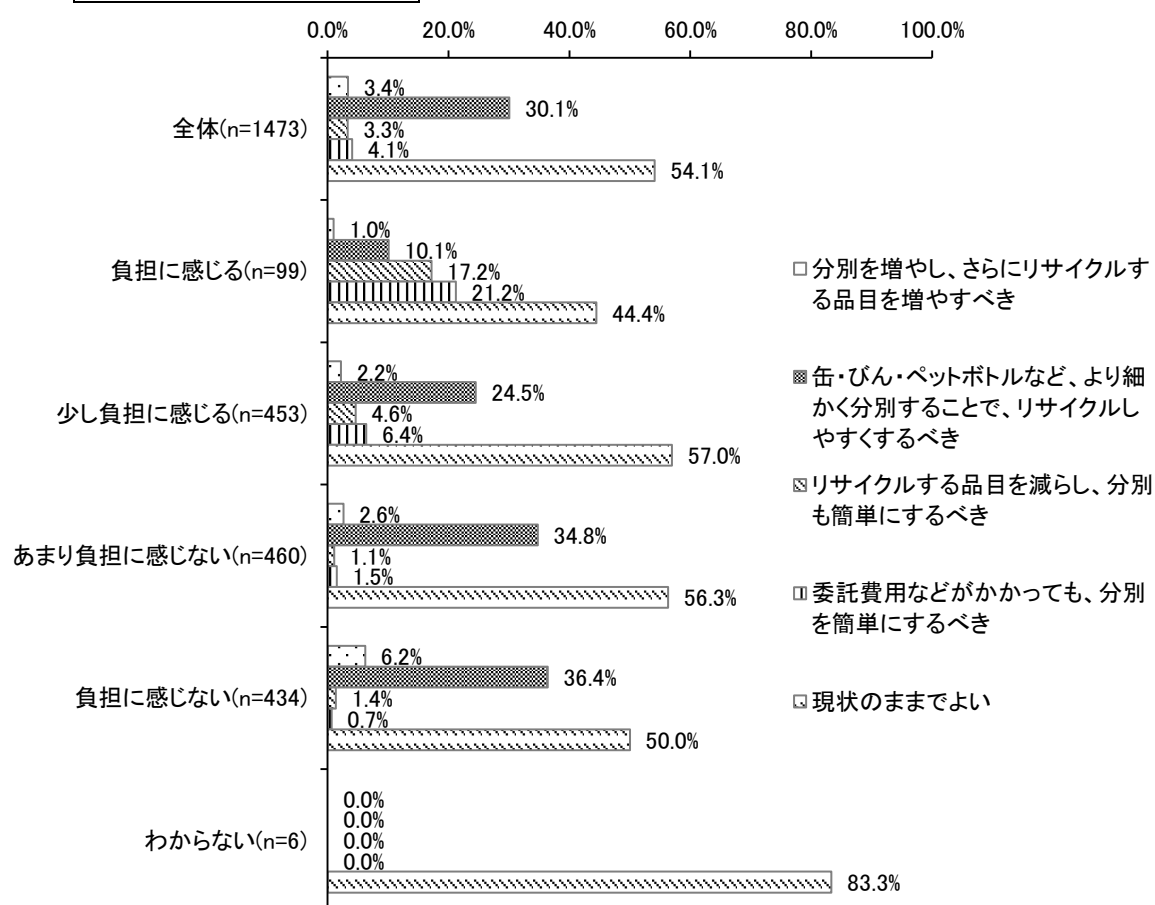


ごみ減量への取組に満足している人は、「現状のままでよい」が63.0%で最も高く、満足度が低下するにつれて、「現状のままでよい」と回答する比率が低下している。

「どちらかという不満」では、「缶・びん・ペットボトルなど、より細かく分別することで、リサイクルしやすくするべき」が42.4%で最も高い。

ごみ減量への取組に満足していない人は、現状の分別に満足しておらず、より細かい分別によるリサイクルの促進を望んでいることが分かる。

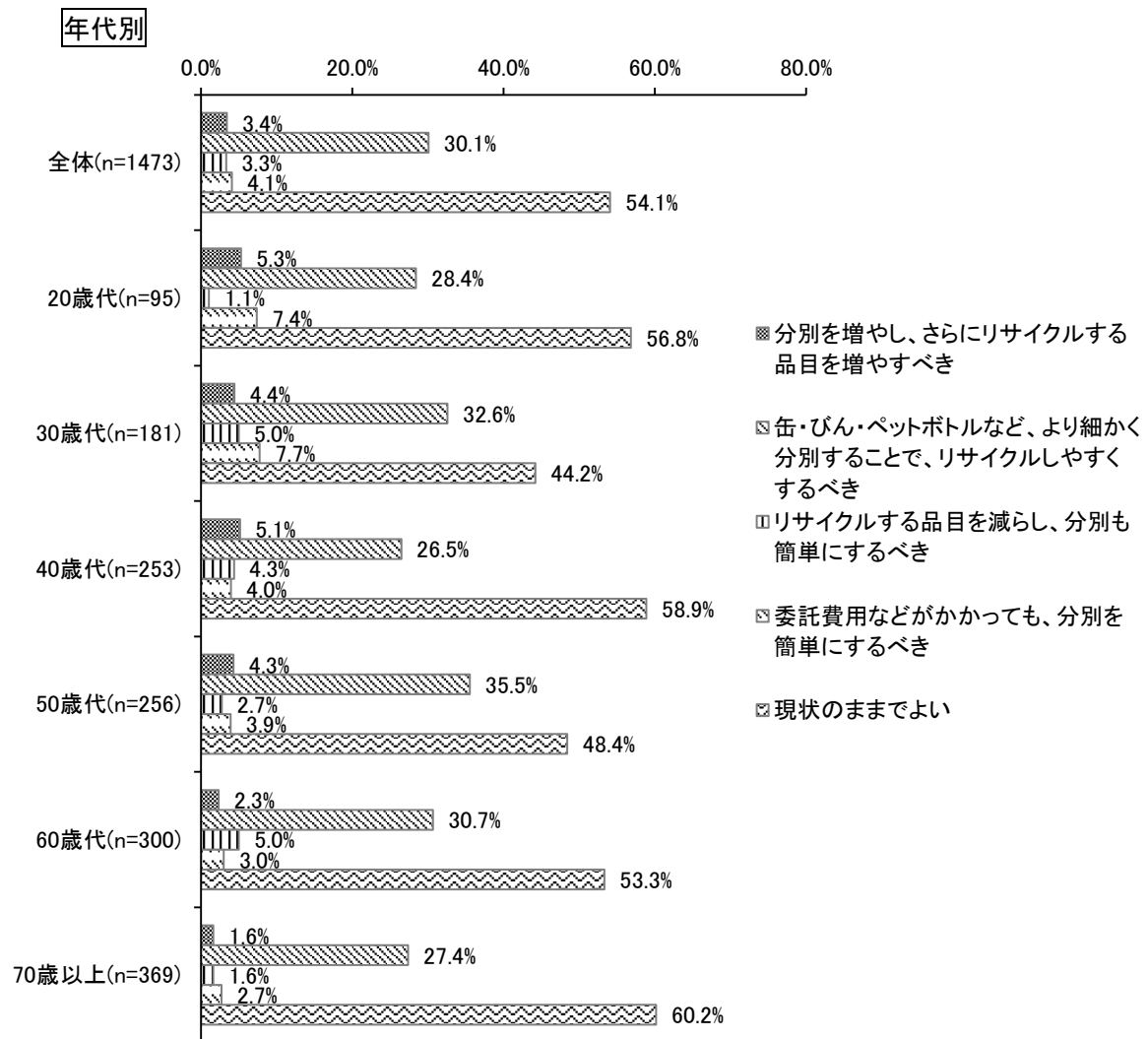
問 10 分別の負担との関係



分別を「負担に感じない」では、「現状のままでよい」が50.0%で最も高く、「缶・びん・ペットボトルなど、より細かく分別することで、リサイクルしやすくするべき」が36.4%と続いており、他の項目と比べて比率が高い。「負担を感じる」では、「缶・びん・ペットボトルなど、より細かく分別することで、リサイクルしやすくするべき」が10.1%と最も低くなっている。

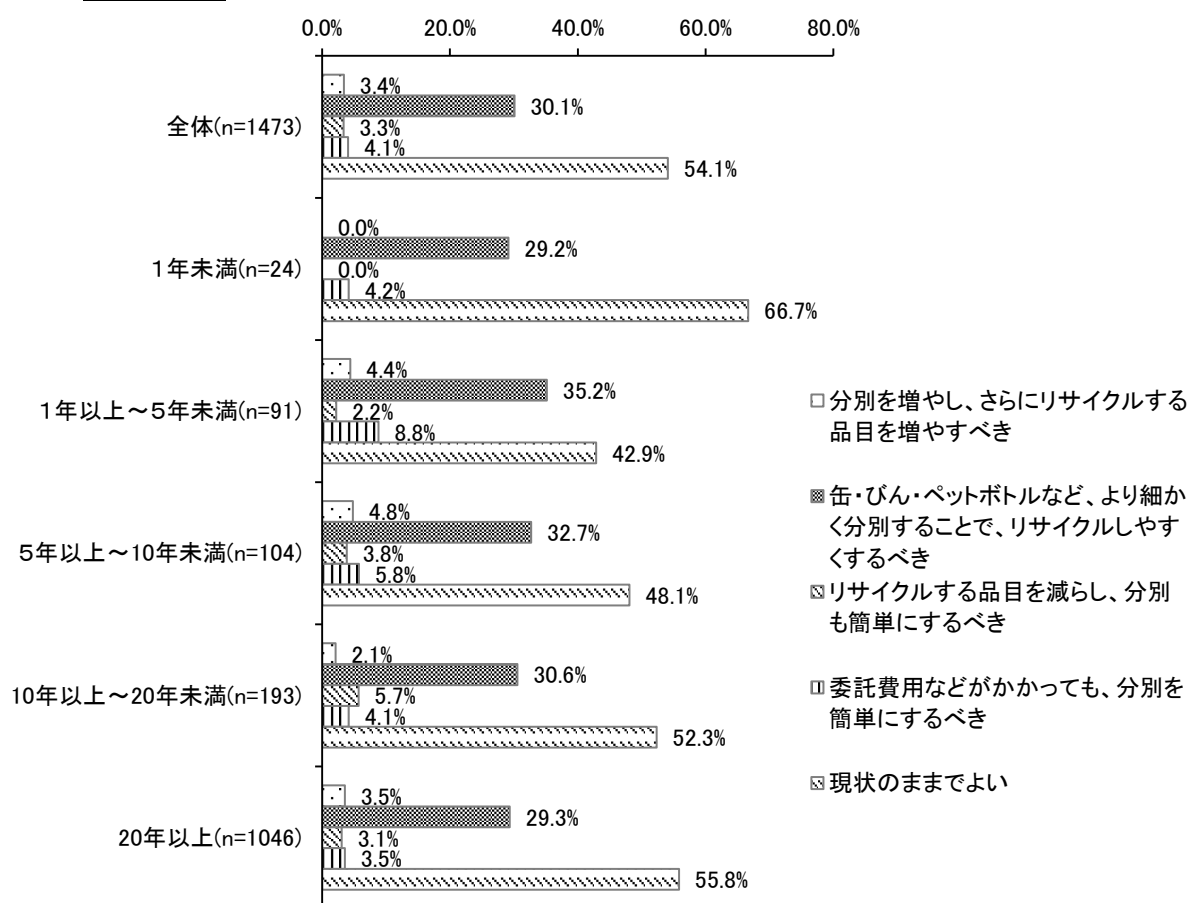
また、「負担を感じる」では、「委託費用などがかかっても、分別を簡単にすべき」が21.1%で最も高く、「負担に感じない」では、0.7%と最も低くなっている。

このことから、分別を負担に感じている人ほど、委託費用がかかっても、分別をより簡単にすべきと考えていることが分かる。しかし、全体では、「現状のままでよい」が54.1%で最も高く、「缶・びん・ペットボトルなど、より細かく分別することで、リサイクルしやすくするべき」が30.1%と続いており、分別を簡単にすべきという回答の比率は、全体の中では低い。



年代別に比較すると、いずれの年代でも「現状のままでよい」が最も高く、「70 歳以上」が 60.2%、「40 歳代」が 58.9%、「20 歳代」が 56.8%と続いている。

居住年数別



居住年数別に比較すると、「現状のままでよい」と回答したのは、「1年未満」が66.7%で最も高く、次いで「20年以上」が55.8%、「10年以上～20年未満」が52.3%と続いている。

また、「缶・びん・ペットボトルなど、より細かく分別することで、リサイクルしやすくすべき」と回答したのは、「1年以上～5年未満」が35.2%で最も高く、次いで「5年以上～10年未満」が32.7%、「10年～20年未満」が30.6%と続いていることから、居住年数が長くなるにつれて、現状の分別が習慣になり、そのままでよいと回答する人が増えると推察される。

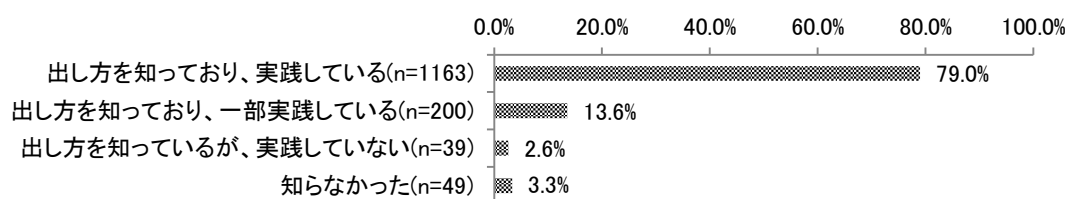
■考察 ごみの分別ルールについて

100%に近い市民が分別ルールを守っていることから、横浜市の分別ルールは市民に受け入れられていると考えられる。しかし、居住年数が1年未満では、「あまり守っていない」及び、「分からない」という回答が見られる。横浜市に転入してくる人には、早い段階で分別ルールを理解してもらう取組が必要だ。

また、分別を負担に感じているのは、居住年数が短い人であることから、分別ルールの周知が進めば、負担に感じる人の比率も低くなるのではないかと推察される。

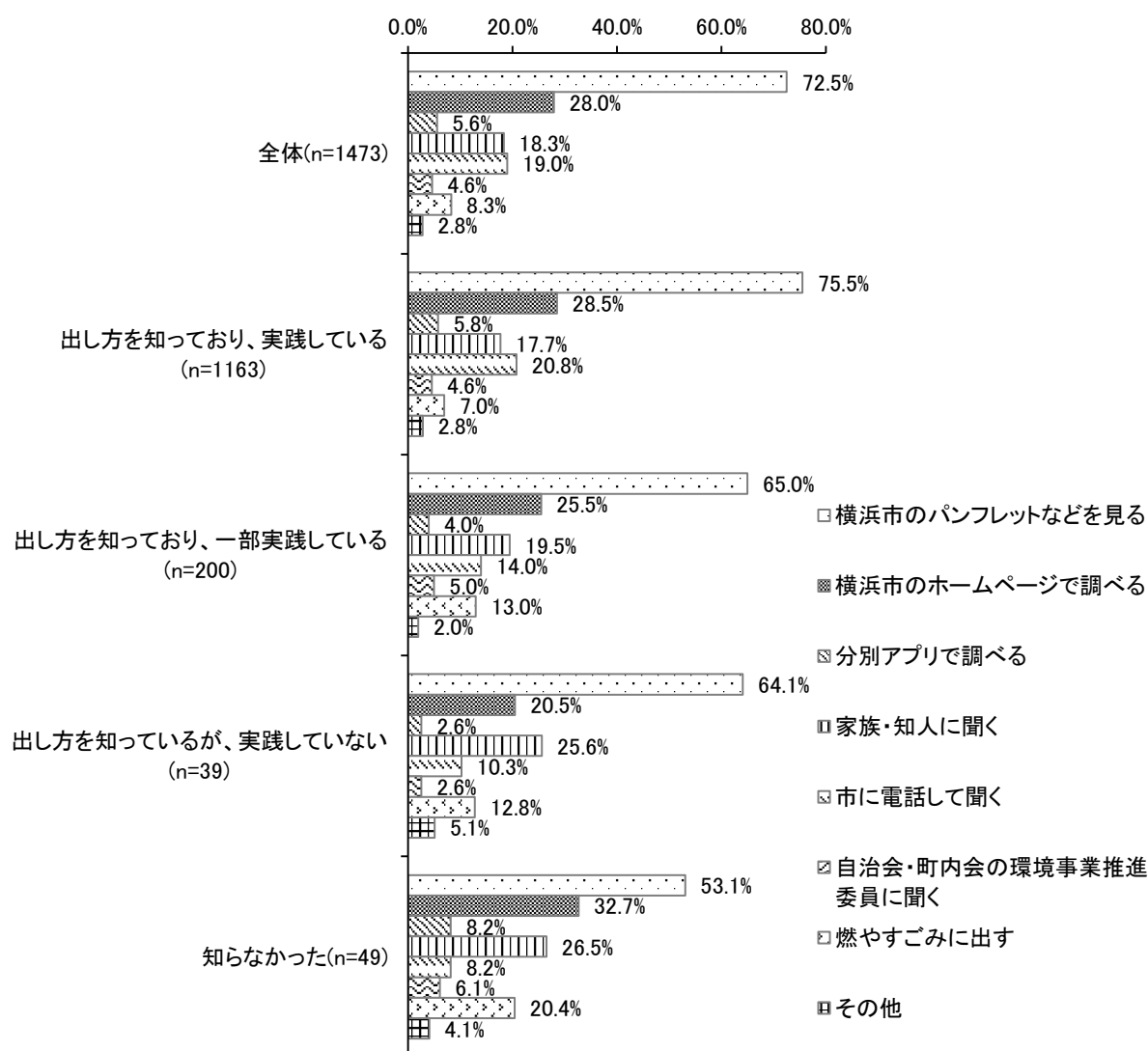
2.5 ごみと資源物の出し方について

問 13 あなたやあなたの家族は、ペットボトルをどのように出していますか。○はひとつ。
(n=1,473)



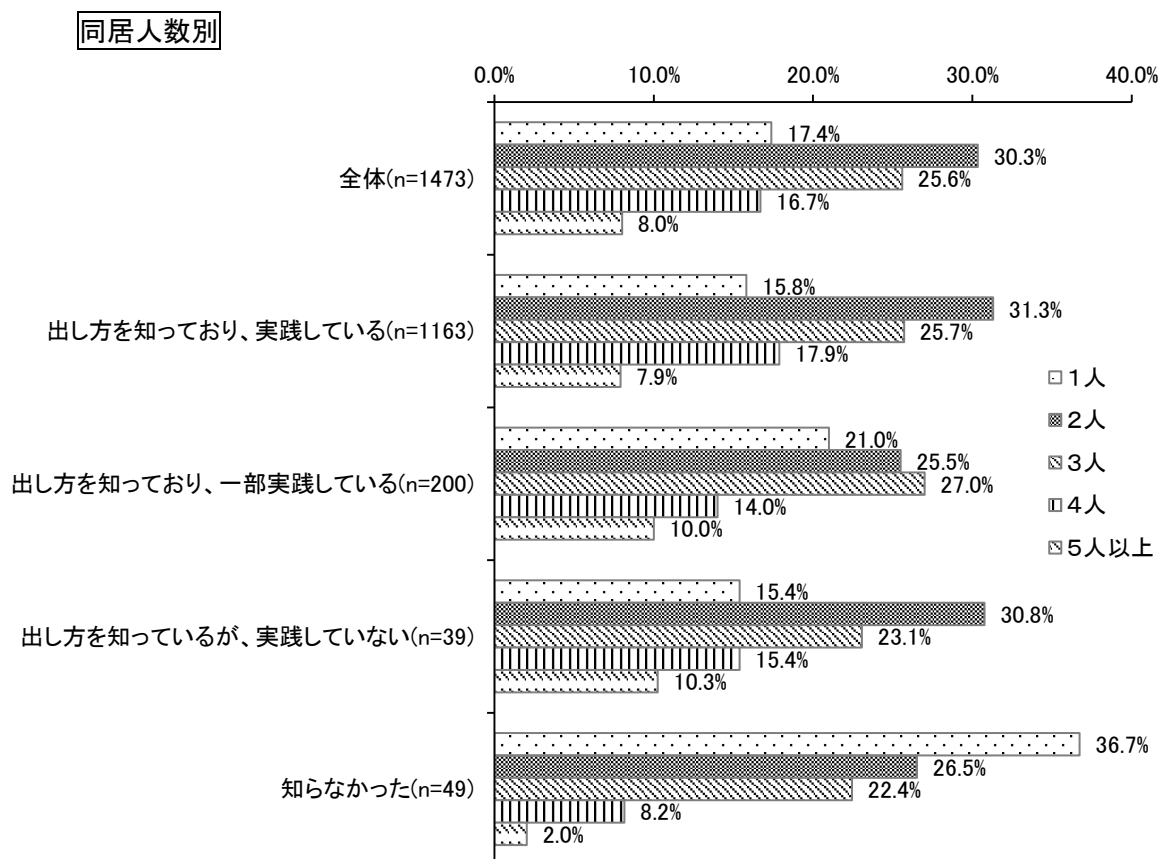
「出し方を知っており、実践している」が79.0%で最も高く、次いで「出し方を知っており、一部実践している」が13.6%、「知らなかった」が3.3%と続いている。

問 11 ごみの出し方が分からないときの情報源との関係



「横浜市のパンフレットなどを見る」と回答した比率が最も高いのは、「出し方を知っており、実践している」の75.5%で、横浜市のパンフレットを参考にしている人は、ペットボトルの分別をルール通りに実践していることが分かる。

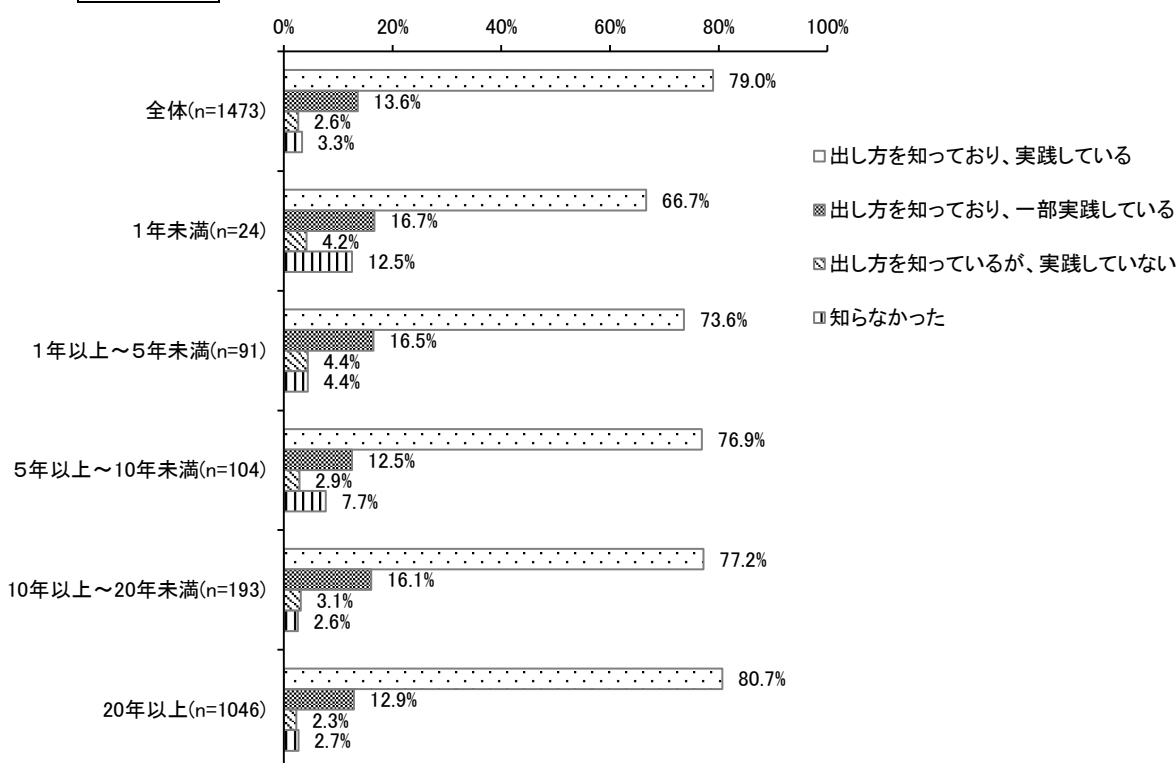
「知らなかった」では、「横浜市のパンフレットなどを見る」が53.1%で、他の項目に比べてその比率が低く、次いで「横浜市のホームページで調べる」が32.7%、「家族・知人に聞く」が26.5%となり、出し方を知っている人と比較すると、出し方を知らない人は、身近な人に聞く傾向にある。また、「燃やすごみに出す」と回答する比率も、20.4%という高い結果になった。



同居人数別に比較すると、「出し方を知っており、実践している」では、「2人」世帯の31.3%が最も高く、次いで「3人」世帯の25.7%となった。しかし、2人世帯は、「出し方を知っているが、実践していない」も30.8%と高い比率になっている。

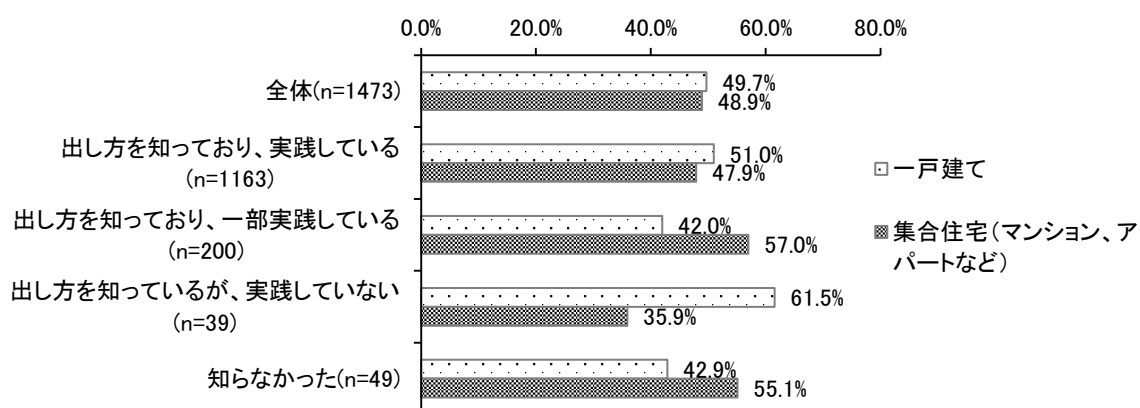
「知らなかった」では、「1人」世帯が36.7%で、他の同居人数と比べてその比率が高い。

居住年数別



居住年数別に比較すると、「出し方を知っており、実践している」と回答したのは、「20年以上」が80.7%で最も高く、次いで「10年以上～20年未満」が77.2%、「5年以上～10年未満」が76.9%と続いている。そのため、居住年数が長くなるほど、ペットボトルの分別をルール通りに実践していることが分かった。

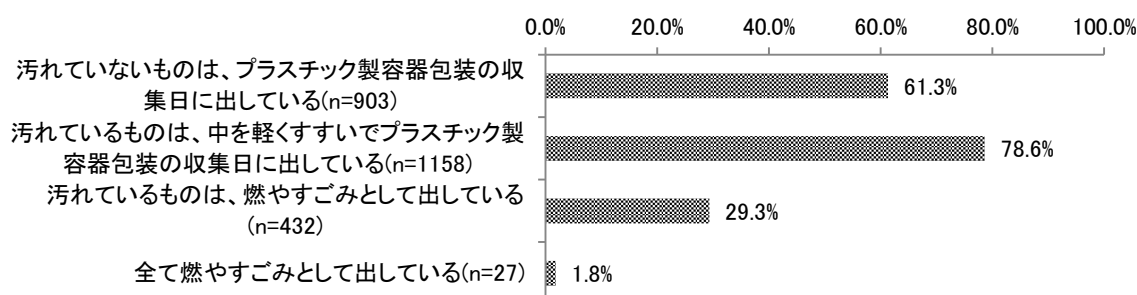
居住形態別



居住形態別に比較すると、「出し方を知っており、一部実践している」及び、「知らなかった」では、集合住宅が一戸建を大きく上回っているが、「出し方を知っているが、実践していない」では一戸建が集合住宅を上回っている。

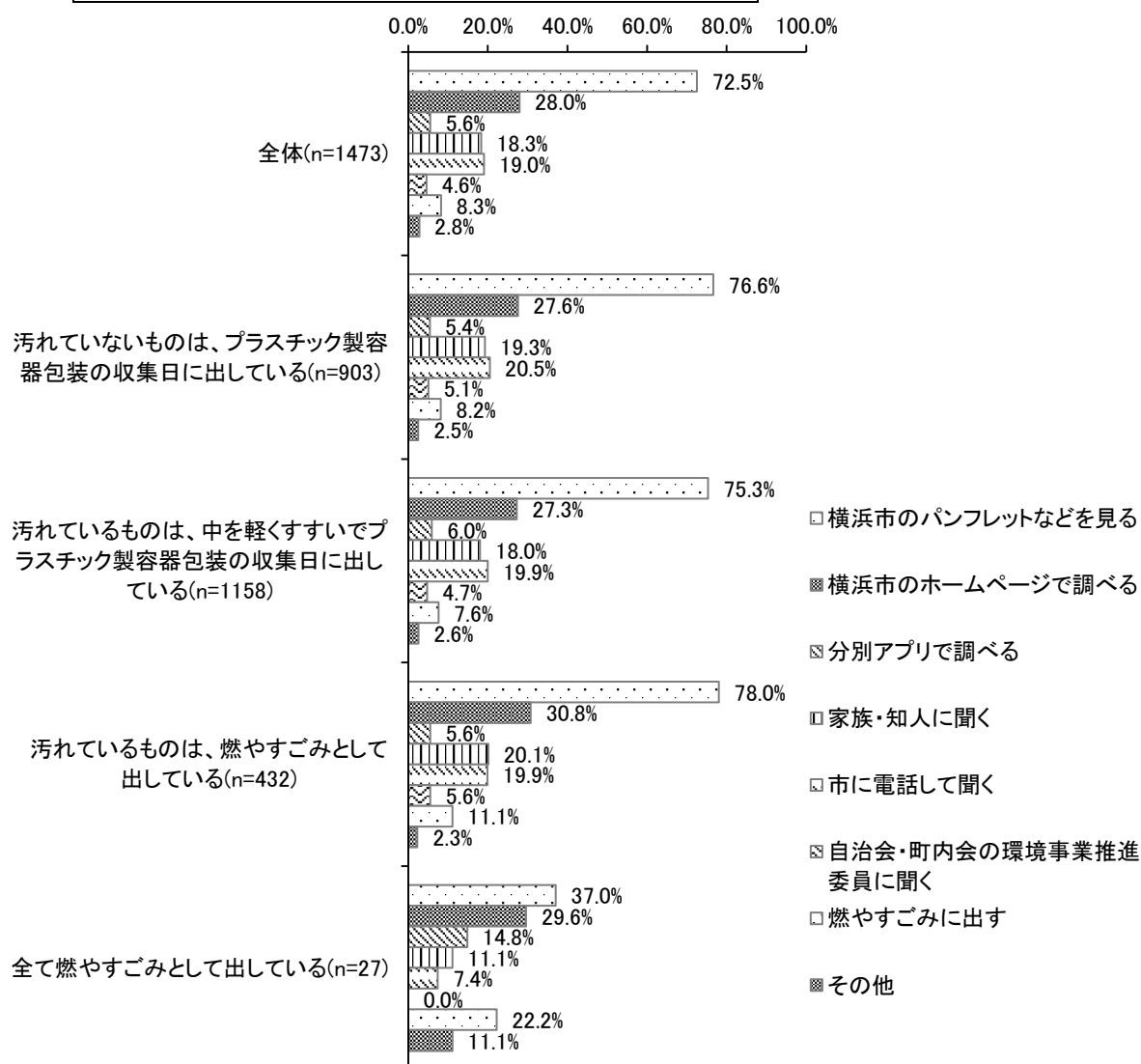
以上の比較結果から、「1人」世帯で、「集合住宅」に居住している市民を中心に、ペットボトルの排出方法を周知する必要があることが分かる。

問 14 あなたやあなたの家族は、プラスチック製容器包装をどのように出していますか。
○はいくつでも。(n=1,473)



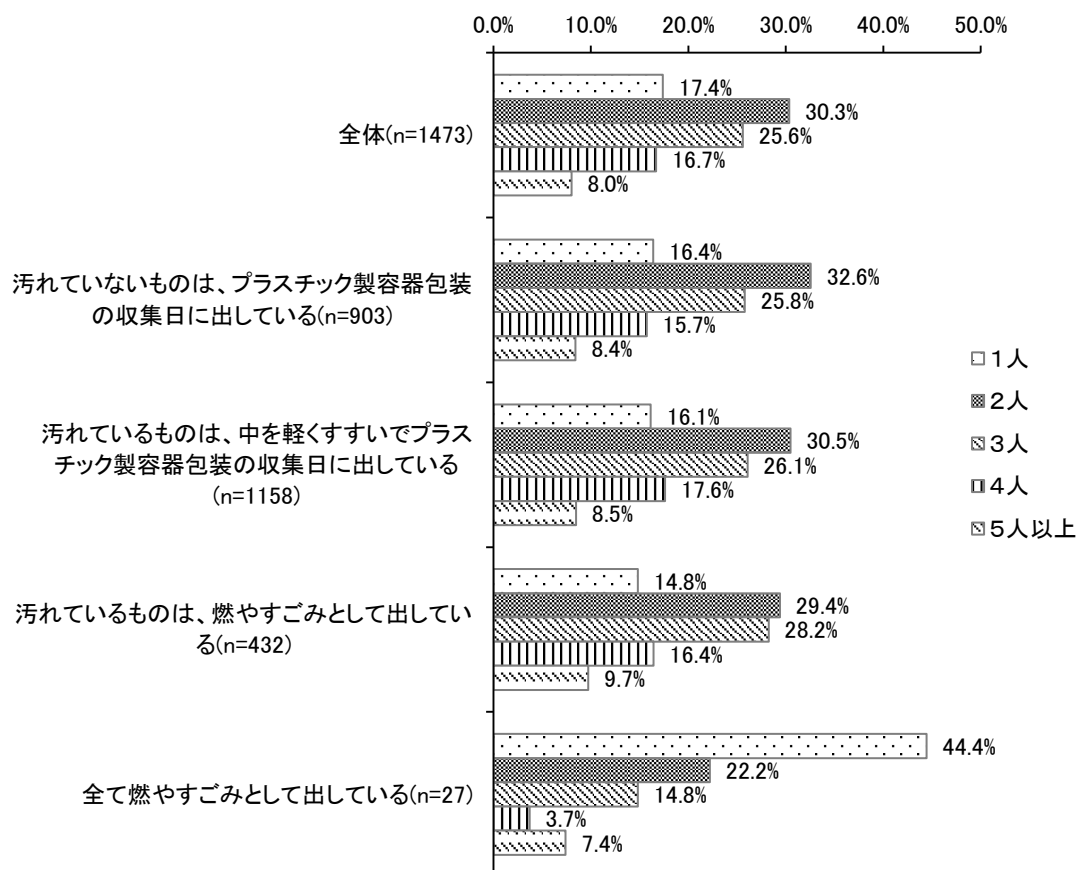
「汚れているものは、中を軽くすすいでプラスチック製容器包装の収集日に出している」が78.6%で最も高く、「汚れていないものは、プラスチック製容器包装の収集日に出している」が61.3%、「汚れているものは、燃やすごみとして出している」が29.3%と続いている。

問 11 ごみの出し方が分からないときの情報源との関係



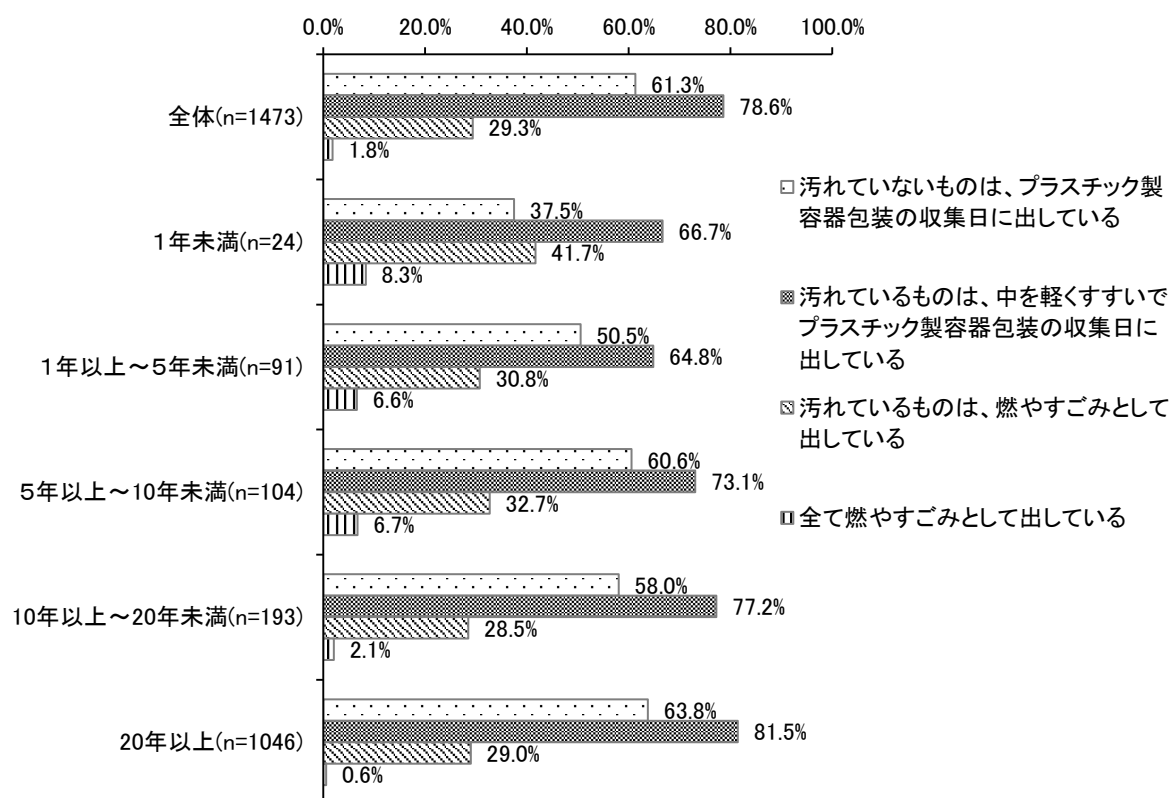
「全て燃やすごみとして出している」では、「横浜市のパンフレットなどを見る」が37.0%で最も高いが、他の項目と比べると大幅に低下しており、「燃やすごみに出す」が22.2%と続いている。そのため、プラスチック製容器包装にかかわらず、ごみの出し方が分からないときは、燃やすごみとして排出していると推察される。

同居人数別



同居人数別に比較すると、「1人」世帯では、「全て燃やすごみとして出している」が44.4%で最も高くなっており、人数が増えるにつれて、「全て燃やすごみとして出している」の比率が低下する傾向がある。

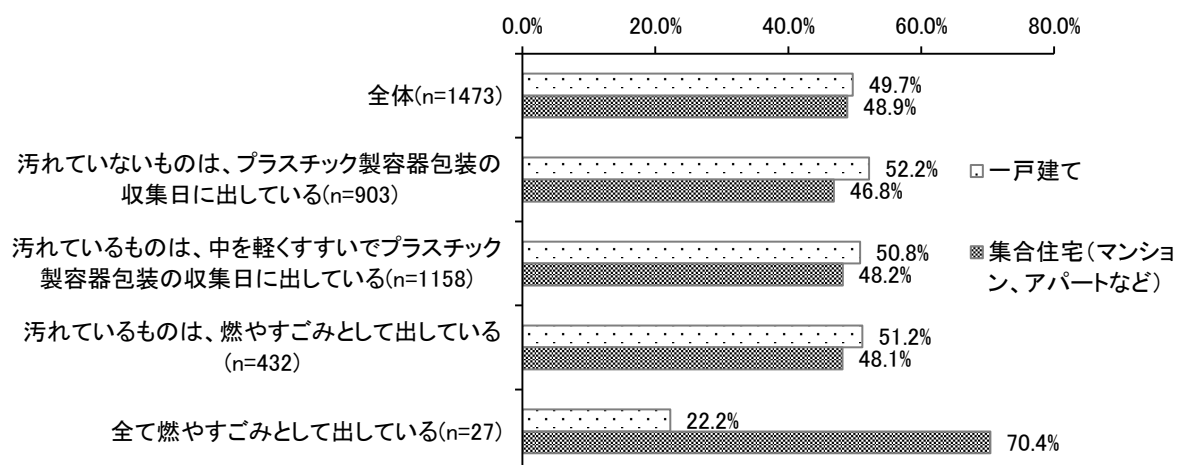
居住年数別



いずれの居住年数でも、「汚れているものは、中を軽くすすいでプラスチック製容器包装の収集日に出している」の比率が最も高いが、居住年数が長くなるほど、その比率が高くなる傾向がある。

「1年未満」では、「汚れているものは、燃やすごみとして出している」及び、「全て燃やすごみとして出している」の比率が、他の年数よりも高くなっている。居住年数が短いほど、分別ルールの認知度も低下すると考えられる。

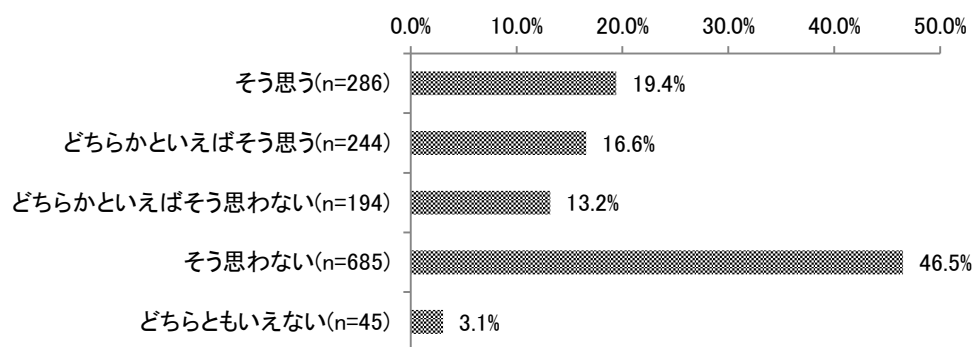
居住形態別



「全て燃やすごみとして出している」では、「集合住宅」が70.4%で、「一戸建て」を大きく上回っている。そのため、一戸建てと比較すると、プラスチック製容器包装の分別が徹底されていないことが分かる。

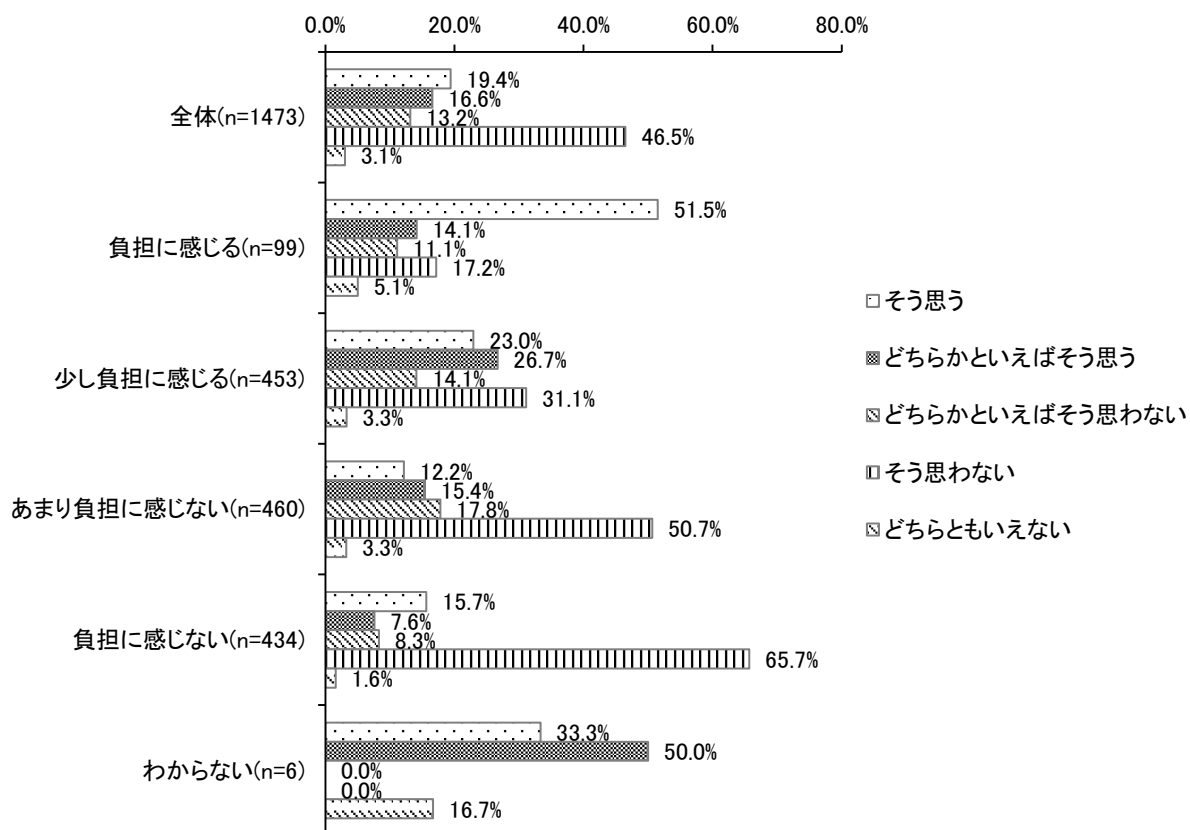
これらの比較結果から、「1人」世帯、居住年数が「1年未満」及び、「集合住宅」に居住する市民を中心に、プラスチック製容器包装の正しい排出方法を周知する必要があることが分かる。

問 15 あなたは、缶・びん・ペットボトルを別々の袋に入れて、缶・びん・ペットボトルの収集日に出すことは負担だと思いますか。○はひとつ。(n=1,473)



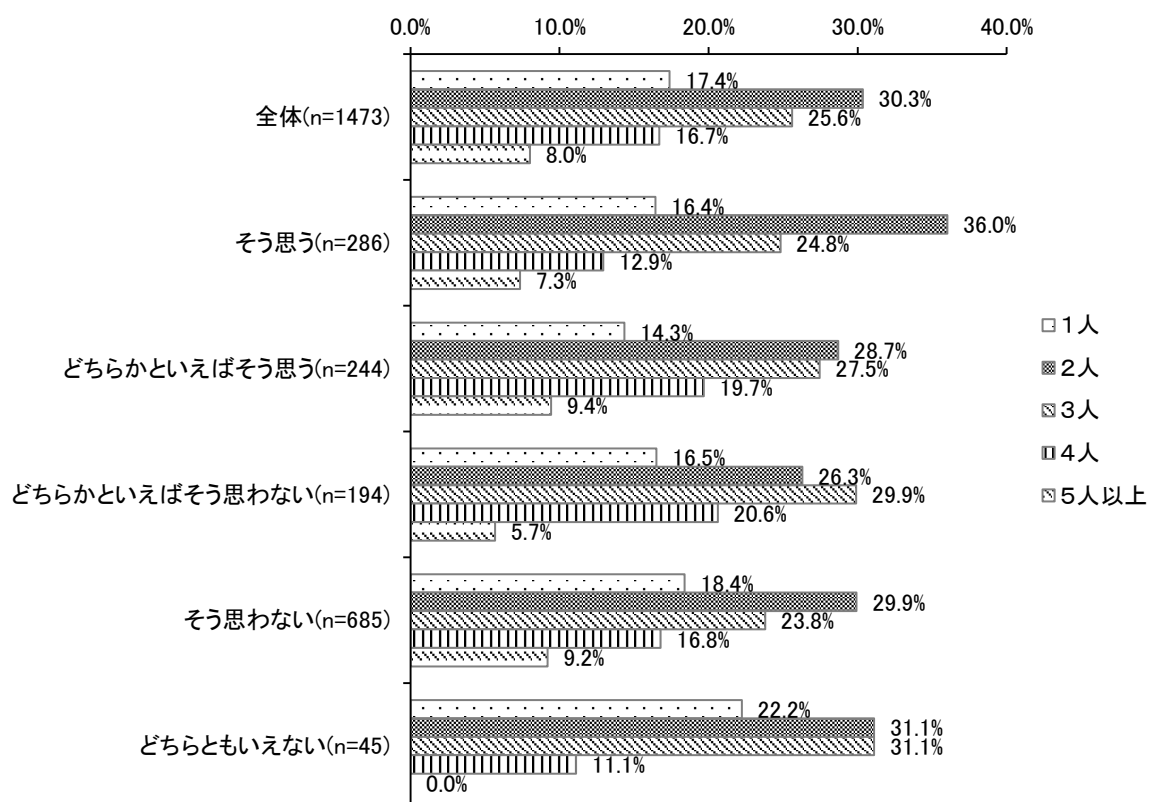
「そう思わない」が46.5%で最も高く、次いで「そう思う」が19.4%、「どちらかといえばそう思う」と続いている。

問 10 分別の負担との関係



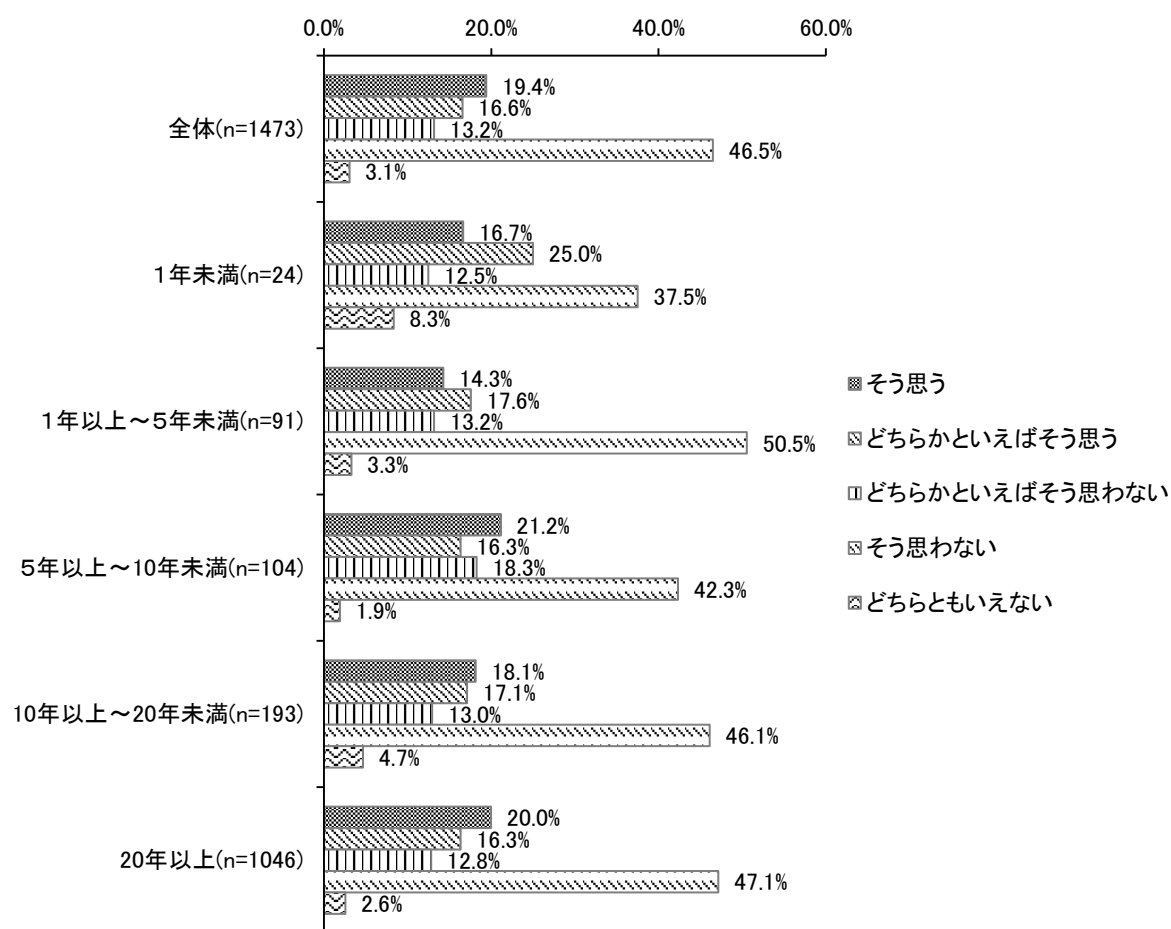
分別を「負担に感じる」と回答した人は、缶・びん・ペットボトルを別々の袋に分けることを負担に思う比率が51.5%で最も高く、分別を「負担に感じない」と回答した人は、別々の袋に分けることを負担に思わない比率が65.7%で最も高くなっている。

同居人数別



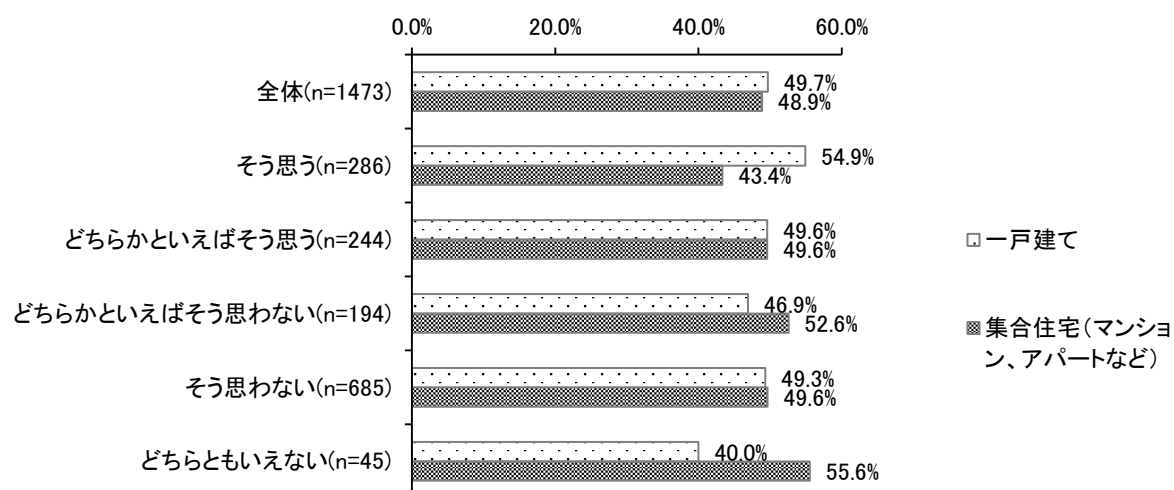
同居人数別に比較すると、「そう思う」では、「2人」世帯の36.0%が最も高く、次いで「3人」世帯の24.8%、「1人」世帯の16.4%と続いた。

居住年数別



居住年数別による大きな差は見られないが、「1年未満」では、「どちらかといえばそう思う」が25.0%で、他の居住年数より比率が高い。また、「そう思わない」は37.5%で、他の居住年数よりその比率が低い。

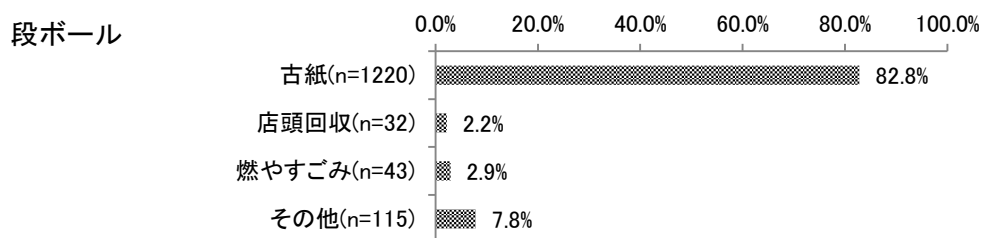
居住形態別



居住形態別に比較すると、「そう思う」では「一戸建て」が54.9%で、集合住宅を大きく上回っているが、「どちらともいえない」では「集合住宅」が55.6%で、一戸建てを上回っている。

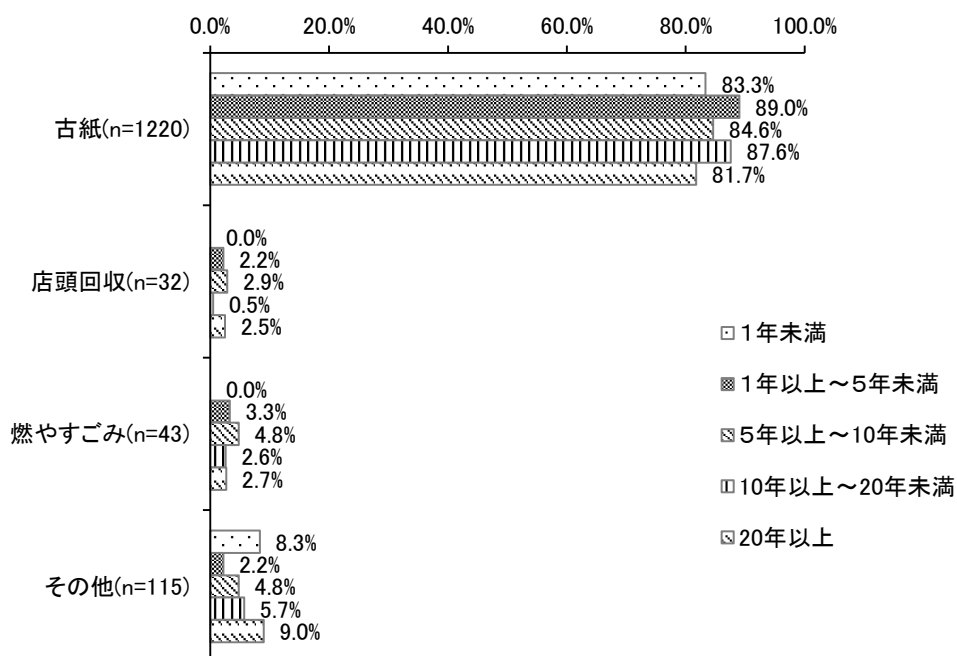
集合住宅は、敷地内にごみ集積場所が設置されているところもあり、分別や持ち出しがそれほど負担ではないと考えられる。

問 16 あなたやあなたの家族は、次の古紙をどのように出していますか。○はいくつでも。
(n=1,473)

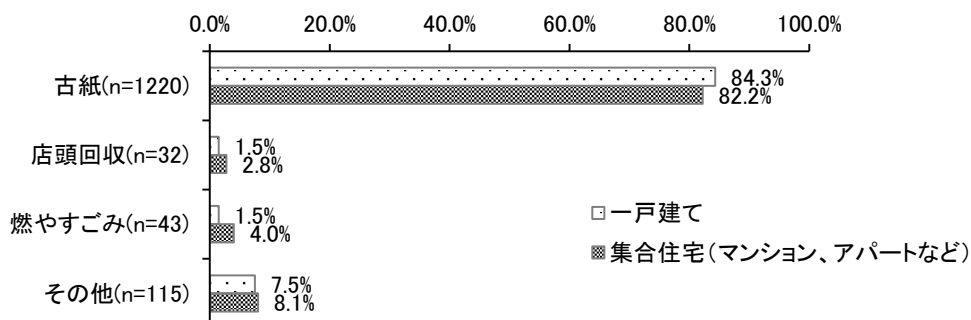


「古紙」として排出する人が 82.8%で最も高く、「段ボールは古紙として排出する」という意識が浸透していることが分かった。

居住年数別



居住形態別



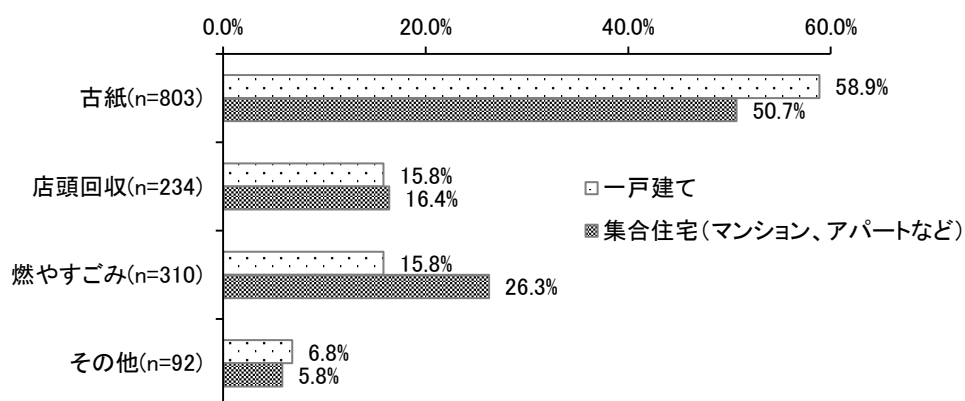
居住年数別、居住形態別にそれぞれ比較しても、全ての項目で「古紙」として排出している比率が 80.0%を超えており、居住年数、居住形態に関わらず、「段ボールは古紙として排出する」という意識が浸透していることが分かる。

紙パック



「古紙」として排出している比率が 54.5% で最も高く、次いで「燃やすごみ」が 21.0%、「店頭回収」が 15.9% と続いている。

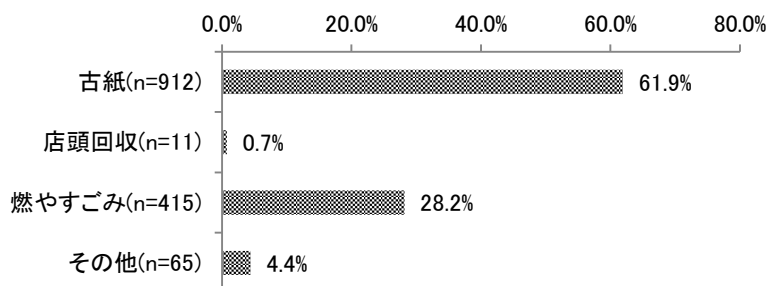
居住形態別



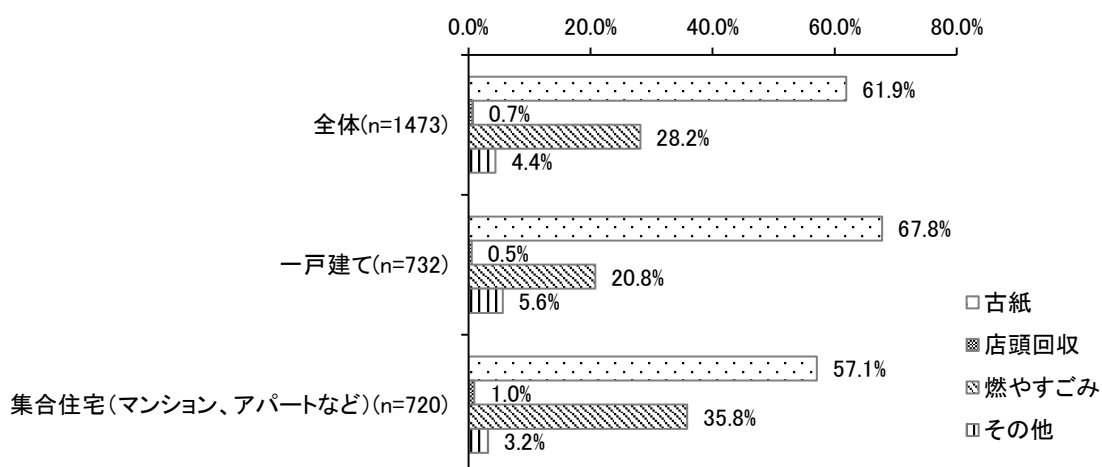
居住形態別に比較すると、「古紙」では、「一戸建て」が 58.9% で「集合住宅」よりも高いが、「燃やすごみ」では「集合住宅」が 26.3% となり、「一戸建て」を大きく上回っている。

80.0% 以上が古紙として排出する段ボールに比べ、特に、集合住宅で古紙と回答する比率が大幅に下がり、燃やすごみと回答する比率が高い。

包装紙

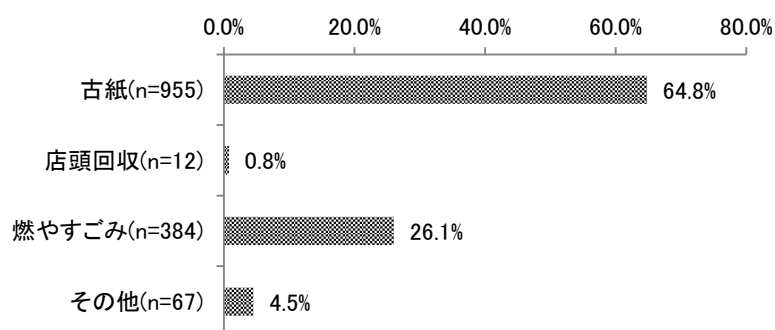


居住形態別

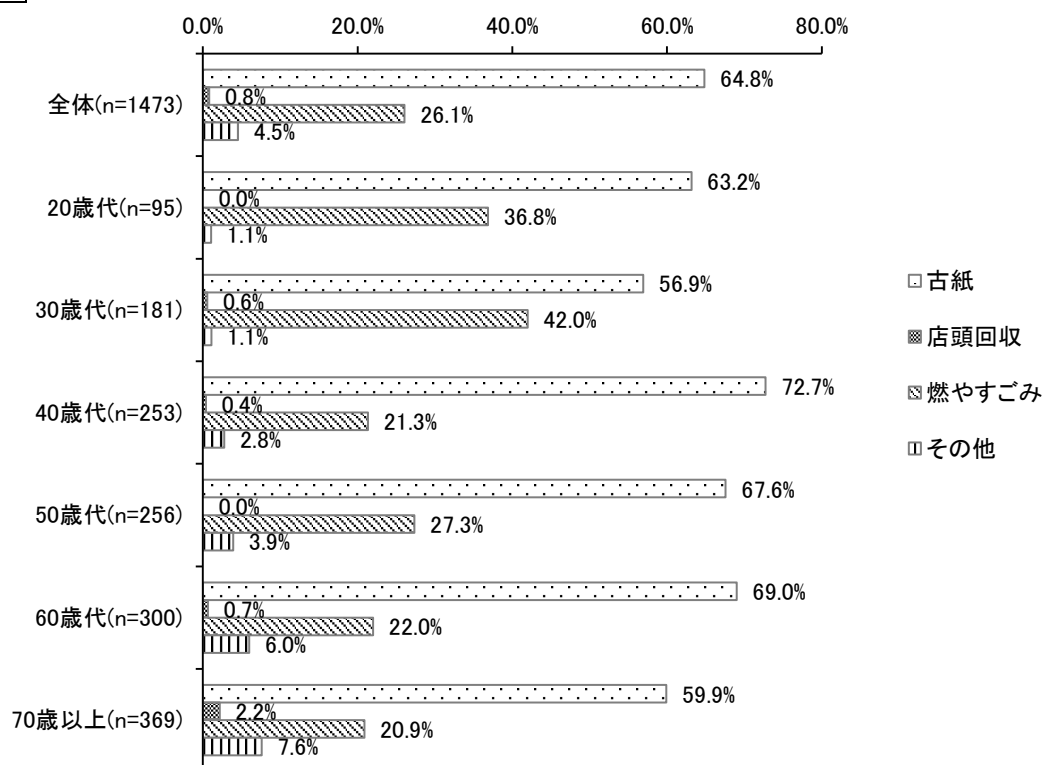


包装紙については、紙パックと同様の傾向であるが、「店頭回収」と回答する比率が1.0%以下となった。居住形態別に比較しても、「燃やすごみ」として排出するのは「集合住宅」が35.8%と比率が高くなっている。

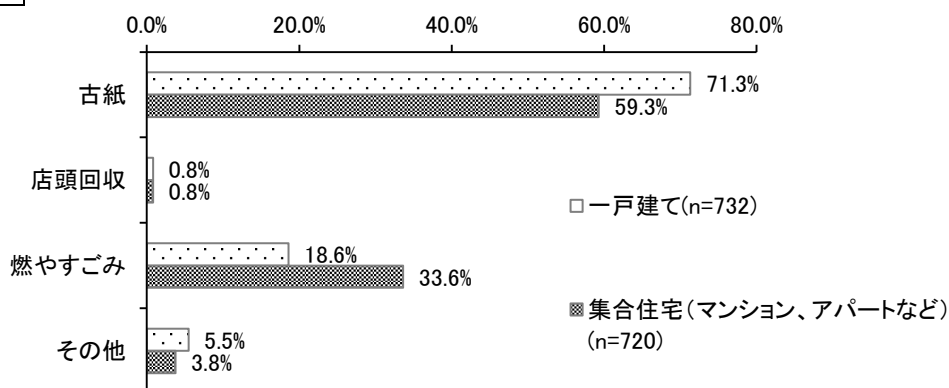
お菓子の紙箱



年代別



居住形態別

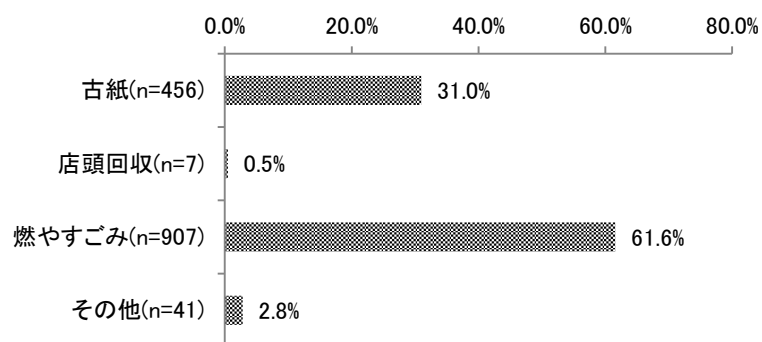


お菓子の紙箱については、紙パック、包装紙と同様の傾向であり、「古紙」として排出する比率は64.8%にとどまり、「燃やすごみ」が26.1%となっている。

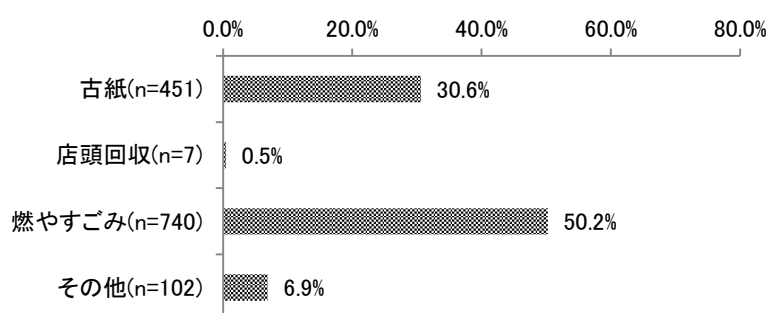
年代別に比較すると、「30歳代」の42.0%、「20歳代」の36.8%が「燃やすごみ」と回答しており、お菓子の紙箱以外の紙（紙パック、包装紙、メモ用紙、シュレッター紙、レシート）についても、20歳代及び、30歳代は他の年代と比べ、燃やすごみと回答する人の比率が高い傾向にあった。

居住形態別に比較すると、「燃やすごみ」では、「集合住宅」が33.6%となり、「一戸建て」の18.6%を大きく上回っている。

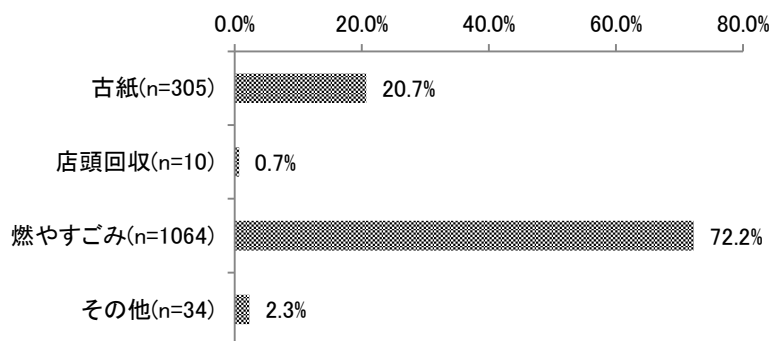
メモ用紙



シュレッダー紙



レシート

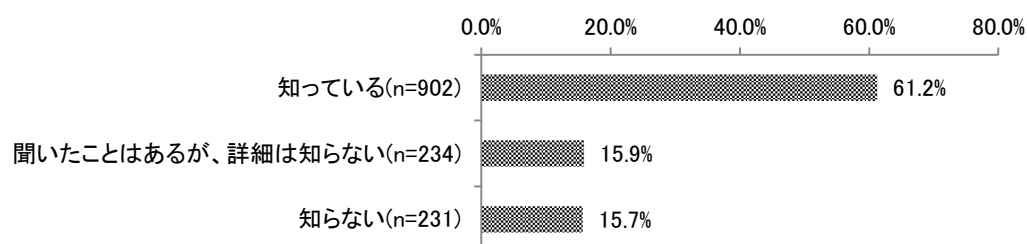


メモ用紙、シュレッダー紙、レシートについては、それぞれ同様の傾向で、「燃やすごみ」が50.0%以上となり、「古紙」の20.7%～31.0%を大きく上回る結果となった。

これらの古紙については、問37の自由意見記述において、「メモなど個人情報の分かるものを出すことに抵抗がある」という意見や、「古紙の収集日が少ない」という意見があった。

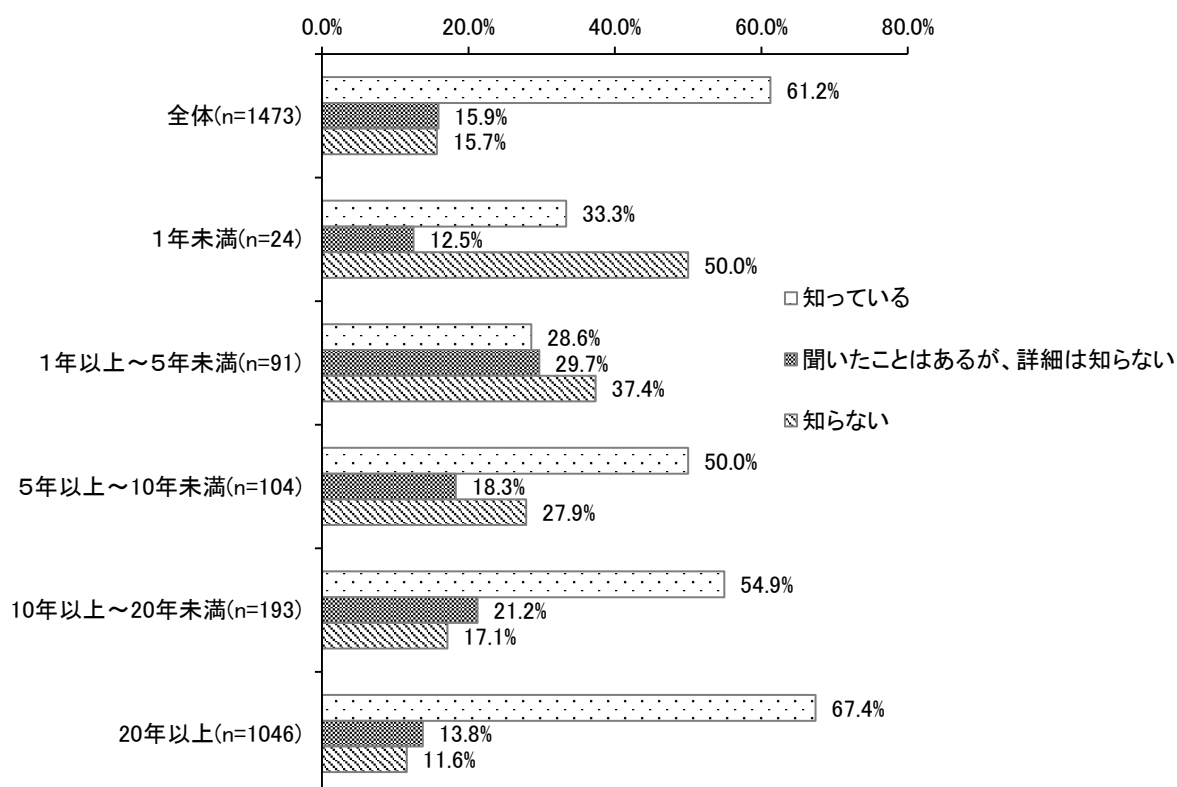
古紙として排出することに抵抗がある、または、古紙として排出したいが、やむを得ず燃やすごみとして排出している市民が一定数いると推察される。古紙の回収に関する適切な取組や情報提供ができれば、燃やすごみの大幅な減量につながると考えられる。

問 17 あなたは、古紙や古布など（地域によって異なります）は、自治会・町内会やＰＴＡなどが回収業者と直接契約を結び、資源集団回収として回収していることを知っていますか。○はひとつ。(n=1,473)



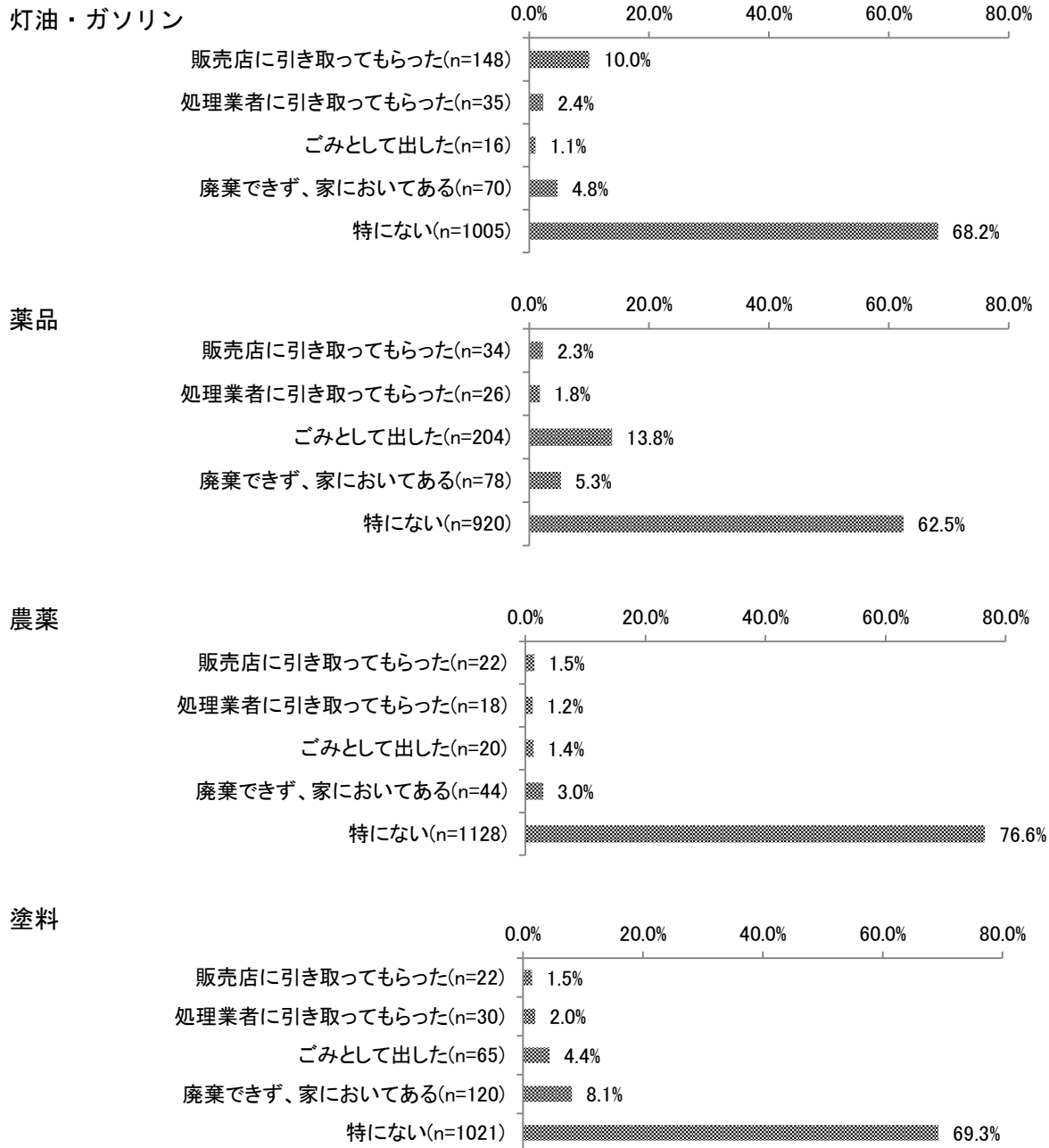
「知っている」が61.2%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳細は知らない」が15.9%、「知らない」が15.7%と続いている。

居住年数別



居住年数別に比較すると、「知っている」では「20年以上」が67.4%で最も高いが、「知らない」では「1年未満」が50.0%で最も高くなっている。また、「聞いたことはあるが、詳細は知らない」では「1年以上～5年未満」が29.7%で最も高くなっているため、横浜市に居住して1年以上で資源集団回収の概略を知り、さらに、居住年数が長くなるにつれて自治会・町内会と関わりを持ち、詳細まで知るようになっていけると考えられる。

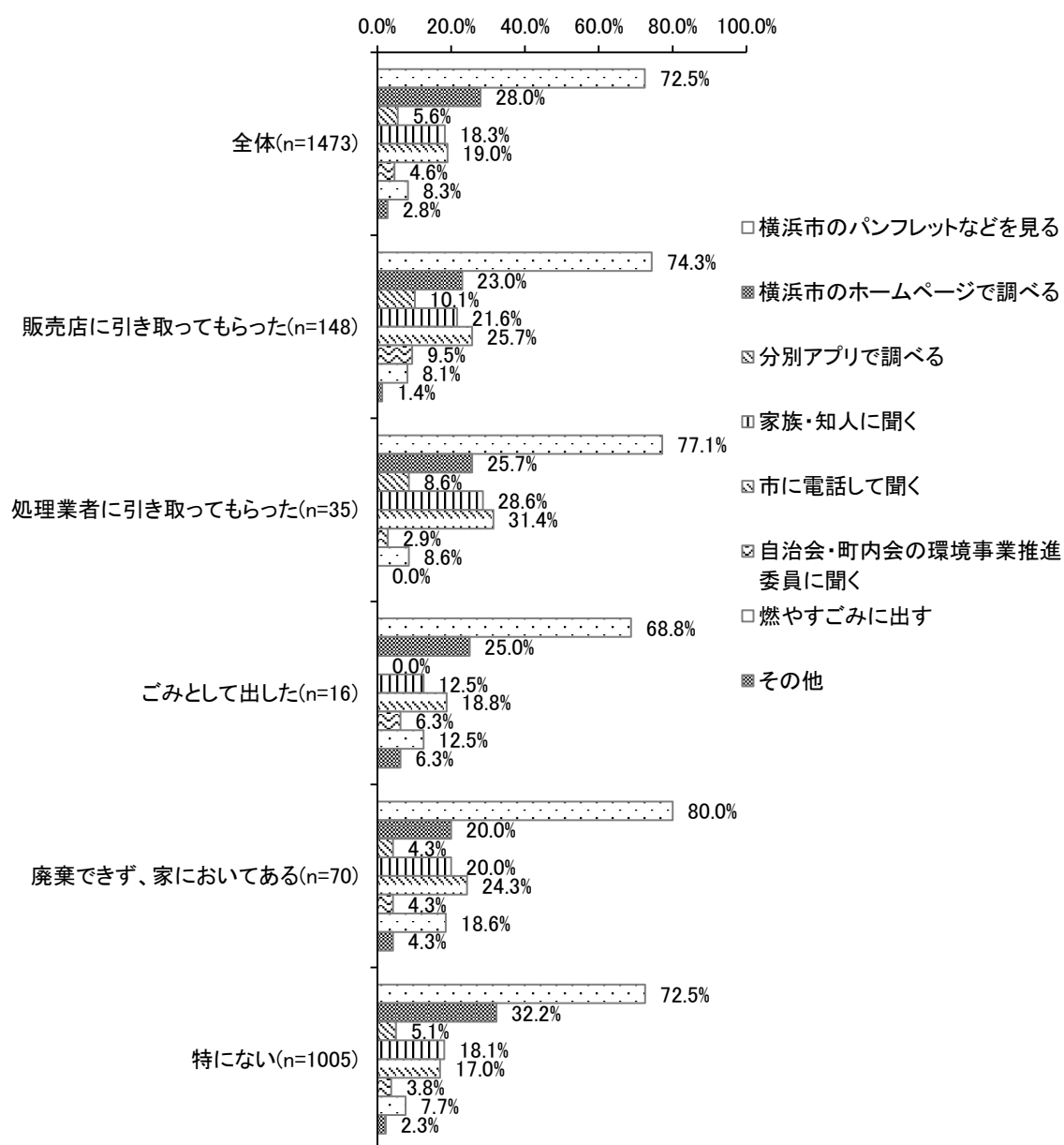
問 18 次の各品目は、通常のごみと一緒に焼却などの処理ができないため、横浜市では収集していません。あなたやあなたの家族は、これらを廃棄するとき、どのように処理していますか。○はそれぞれひとつ。(n=1,473)



灯油・ガソリン、薬品、農薬、塗料それぞれについて、「特にない」が60.0%以上となった。薬品のみ「ごみとして出した」の比率が10%を超えており、実際に排出した薬品としては、「のみ残した薬（錠剤、カプセル、粉）」と回答する人が多かった。

「ごみとして出した」の具体的な排出方法としては、「布や紙に染み込ませて、燃やすごみ」が最も多く、薬品については、「中身は燃やすごみ、袋はプラスチック製容器包装」という回答が多かった。

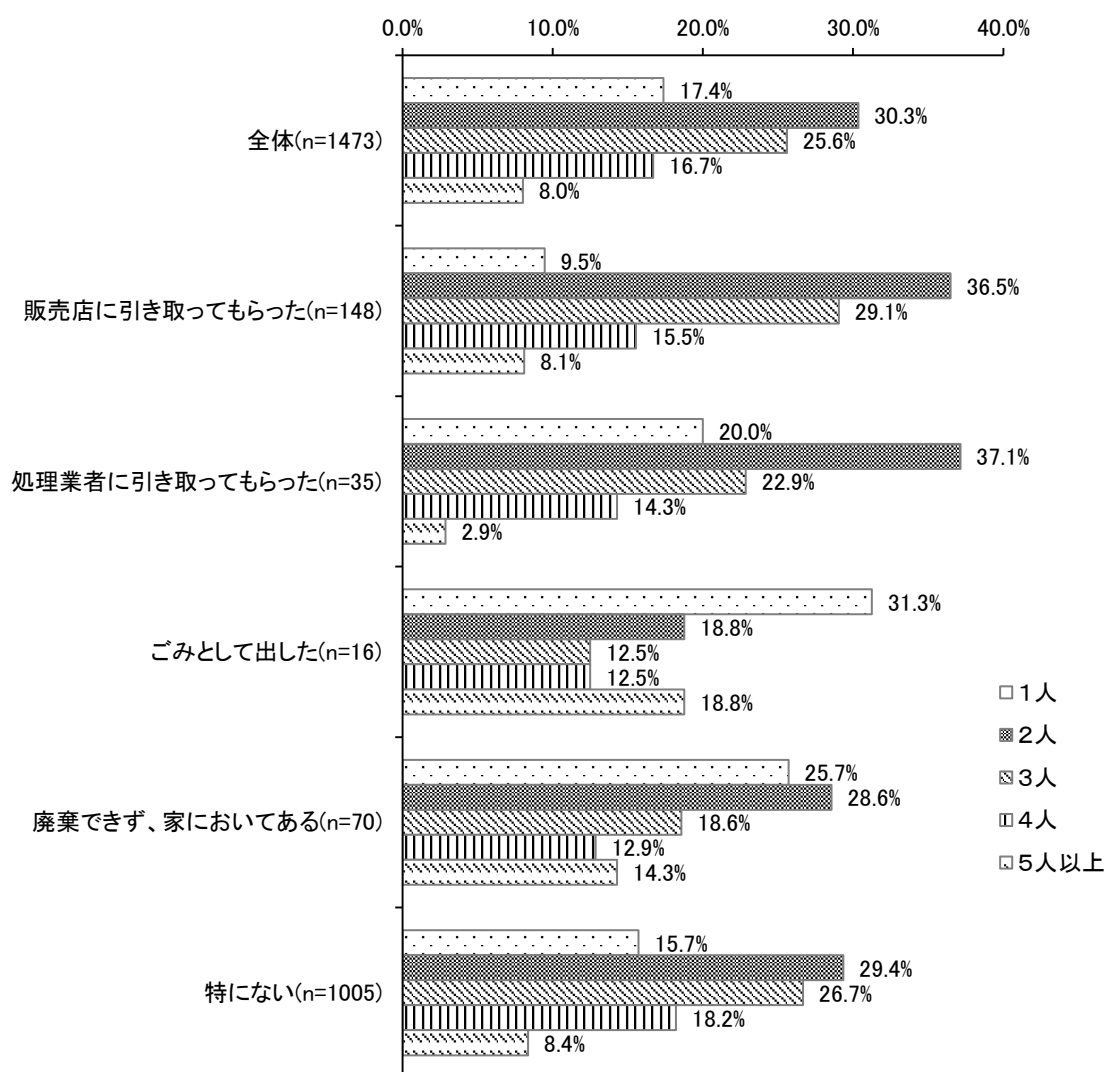
問 11 ごみの出し方が分からないときの情報源との関係（灯油・ガソリン）



「廃棄できず、家においてある」では、ごみの出し方が分からないときの情報源として「横浜市のパンフレットなどを見る」が80.0%で最も高く、次いで「横浜市のホームページで調べる」が20.0%となった。

ごみの出し方が分からないときに「燃やすごみに出す」と回答する人でも、「廃棄できず、家においてある」が18.6%で最も高くなっており、灯油・ガソリンについては、他のごみと異なる扱いをしていることが分かる。

同居人数別（灯油・ガソリン）



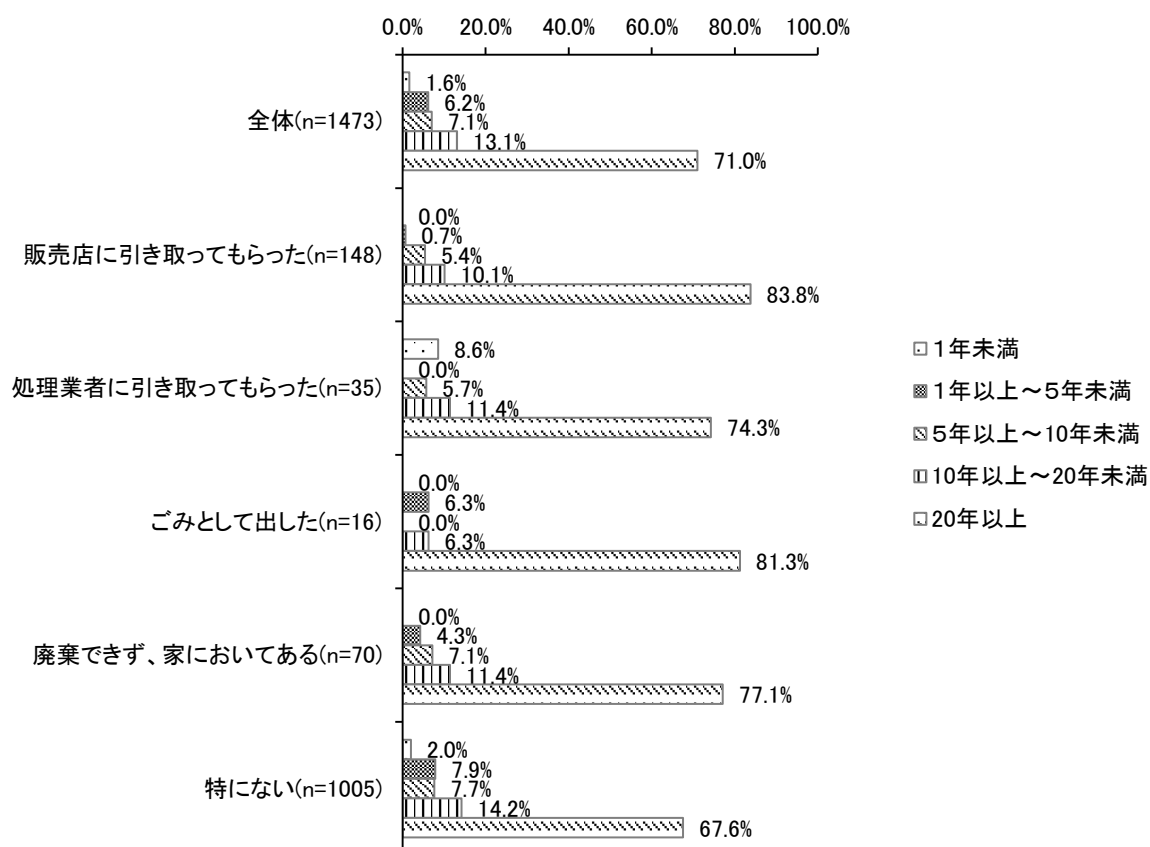
処理方法を同居人数別に比較すると、「ごみとして出した」では、「1人」世帯が31.3%で最も高く、「2人」世帯及び、「5人以上」世帯の18.8%と続いた。

「処理業者に引き取ってもらった」では、「2人」世帯の37.1%が最も高く、「販売店に引き取ってもらった」においても、「2人」世帯の36.5%が最も高くなった。

「廃棄できず、家においてある」では、「2人」世帯の28.6%が最も高く、次いで「1人」世帯の25.7%、「3人」世帯の18.6%と続き、いずれの世帯でも処理に苦慮していることが分かる。

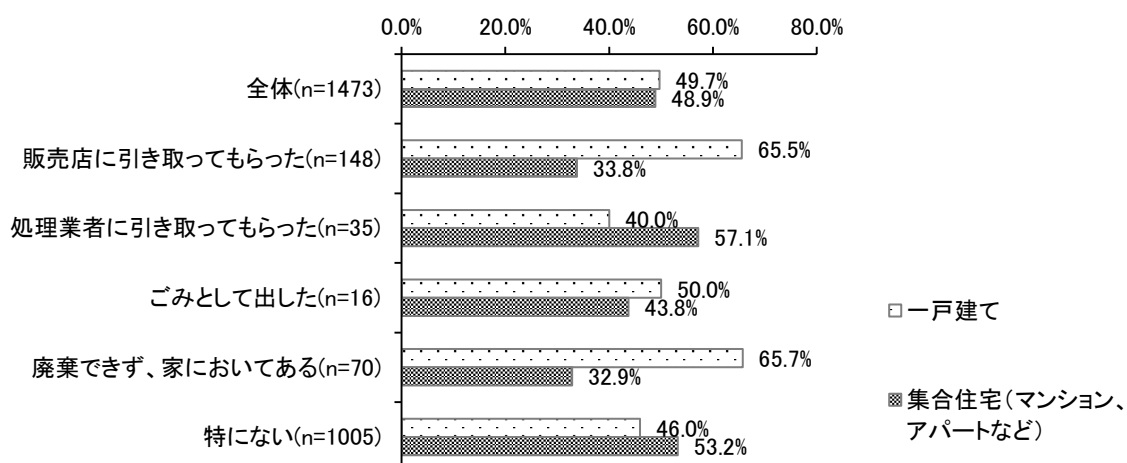
また、同居人数にかかわらず、ごみとして出すことを選択する人が一定数いることから、幅広い世帯に向けて灯油・ガソリンの正しい処理方法を周知する必要がある。

居住年数別（灯油・ガソリン）



居住年数別に比較すると、全ての項目において「20年以上」の比率が最も高い。特に、「販売店に引き取ってもらった」では、「20年以上」の83.8%が回答している。

居住形態別（灯油・ガソリン）



居住形態別に比較すると、「廃棄できず、家においてある」では、「一戸建て」が65.7%、「集合住宅」が32.9%となった。集合住宅では処理業者に引き取ってもらう(57.1%)など適切に処理し、家においているのは、一戸建てのほぼ半数であることが分かった。

■考察 ごみと資源物の出し方について

調査結果から、ペットボトル及び、プラスチック製容器包装の出し方については、おおむね認知されていることが分かる。しかし、集合住宅に居住する人は、一戸建てに居住する人と比較して、ペットボトルの出し方を「知らなかった」とする比率が高く、プラスチック製容器包装は、「全て燃やすごみとして出している」比率が高い。また、プラスチック製容器包装を正しく排出していない人が多い回答者層は、居住年数が1年未満であり、集合住宅に居住する1人世帯だということが分かった。ごみの出し方、分別については、転入時に徹底して周知を図ることで、正しく排出する市民が増えると考えられる。

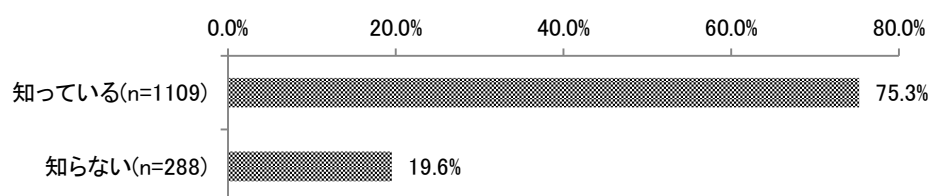
缶・びん・ペットボトルを別々の袋に入れて排出することについて、「どちらかといえば負担だと思わない」及び、「負担だと思わない」の累積構成比は59.7%であり、将来、これらの資源物を別々に排出することになっても、市民からはおおむね理解を得られるのではないかと考えられる。

古紙の排出について、段ボールは85%の市民が古紙または店頭回収としているのに対し、紙パック、包装紙、お菓子の紙箱は、特に、20代、30代の集合住宅に居住する人を中心に、燃やすごみとする人が少なくない。紙パック、包装紙、お菓子の紙箱は、段ボールと比較して体積が小さいため、家庭ごみと混在させて排出する人が多いのではないかと考えられる。また、メモ用紙、シュレッダー紙、レシートについては、「個人情報が分かるものを古紙として出すことに抵抗がある」という意見がある。どのような業者（団体）が回収をしているのか、どのように個人情報が守られているのか、情報提供により信頼を得られれば、回収量は増加するはずだ。

横浜市では、灯油・ガソリン、薬品、農薬、塗料の収集は行っておらず、処理については、「販売店へ相談」としている。これらの品目の処理方法が分からず、家においてある市民が一定数いることから、販売店や処理業者への相談を促したり、市民から問合せがあったときのマニュアルを詳細に設定したりするなど、適切に処理できるような環境の整備を検討することが必要だ。

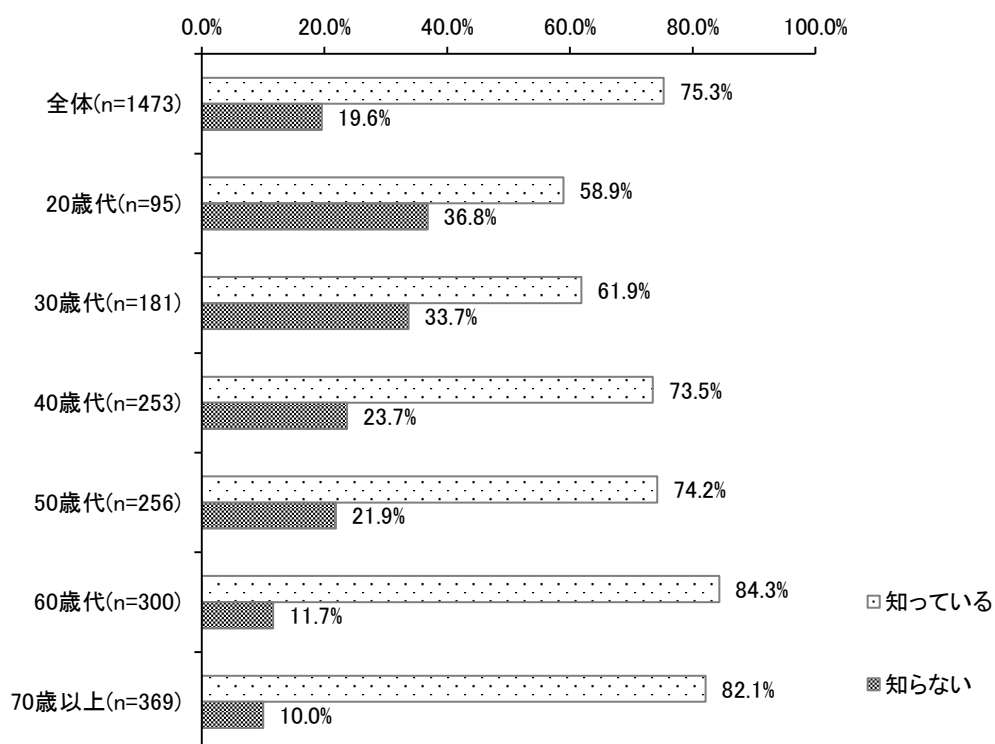
2.6 集積場所について

問 19 集積場所には設置基準があり、利用する人達が維持管理することになっていますが、あなたは知っていますか。○はひとつ。(n=1,473)



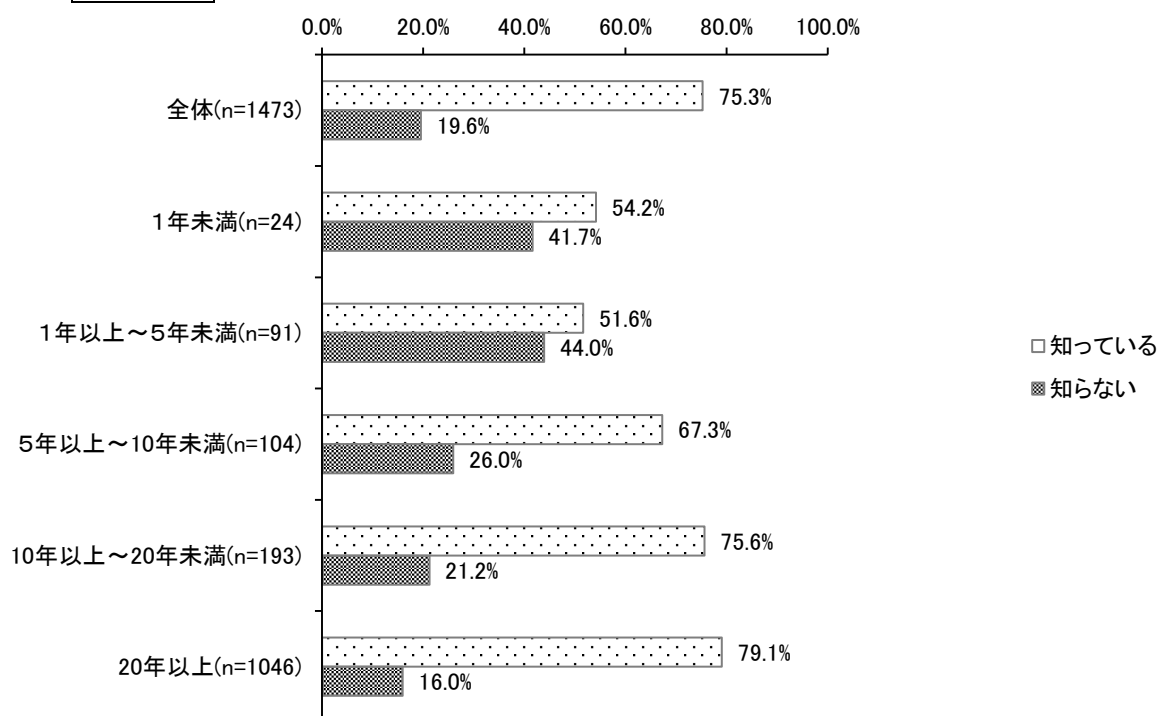
「知っている」と回答した比率が 75.3%となっており、多くの人に周知されていることが分かった。

年代別



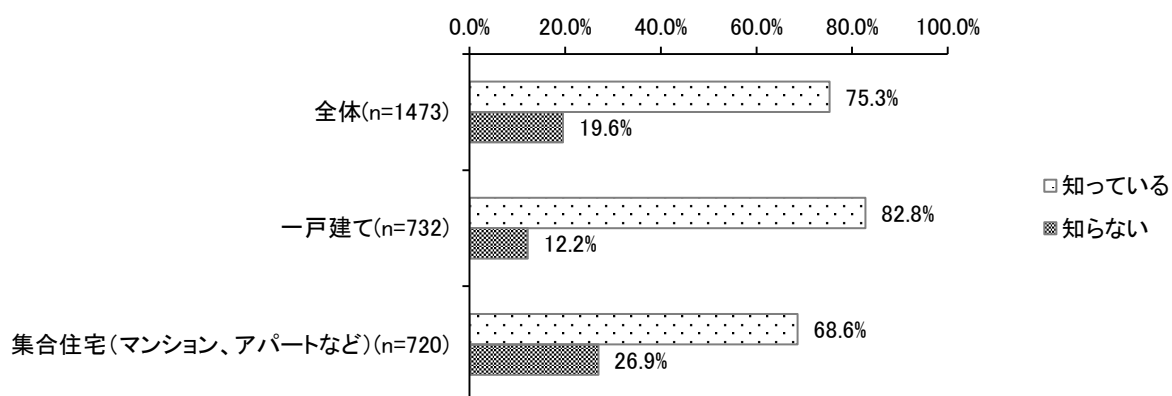
年代別に比較すると、「知っている」と回答した比率は、「60 歳代」が 84.3%で最も高く、「知らない」と回答した比率は「20 歳代」が 36.8%で最も高くなっている。年代が上がるにつれて集積場所の設置基準や、維持管理について知る人が増える傾向にあることが分かる。

居住年数別



居住年数別に比較すると、「知っている」と回答した比率は、「20年以上」が79.1%で最も高く、「知らない」と回答した比率は「1年以上～5年未満」が44.0%で最も高くなっている。居住年数が長くなるにつれて集積場所の設置基準や、維持管理について知る人が増える傾向にあることが分かる。

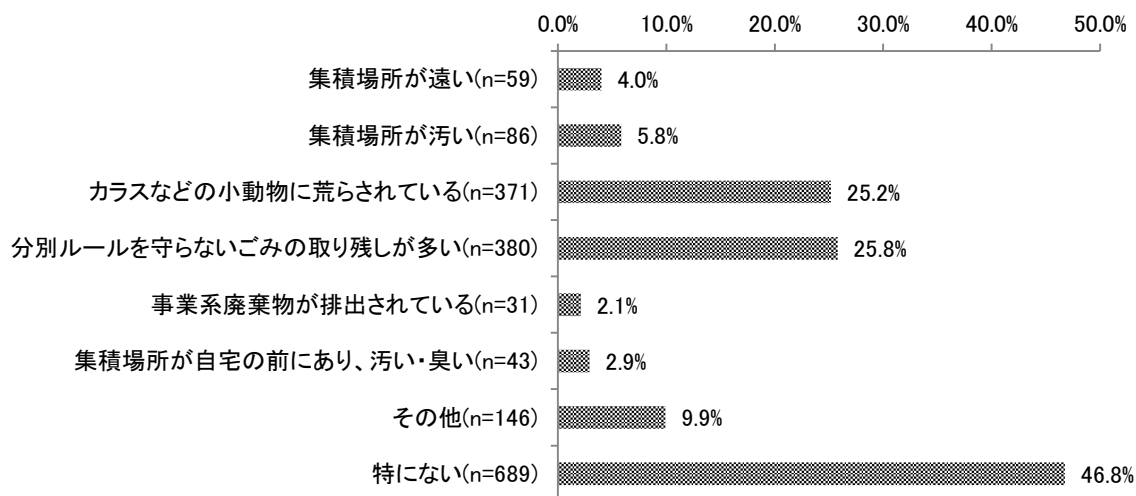
居住形態別



居住形態別に比較すると、「知っている」では、「一戸建て」が82.8%で「集合住宅」を上回っているが、「知らない」では「集合住宅」が26.9%で「一戸建て」を上回っている。

以上の比較から、一戸建ての方が集積場所の設置基準や、維持管理について知っている人が多いことが分かる。

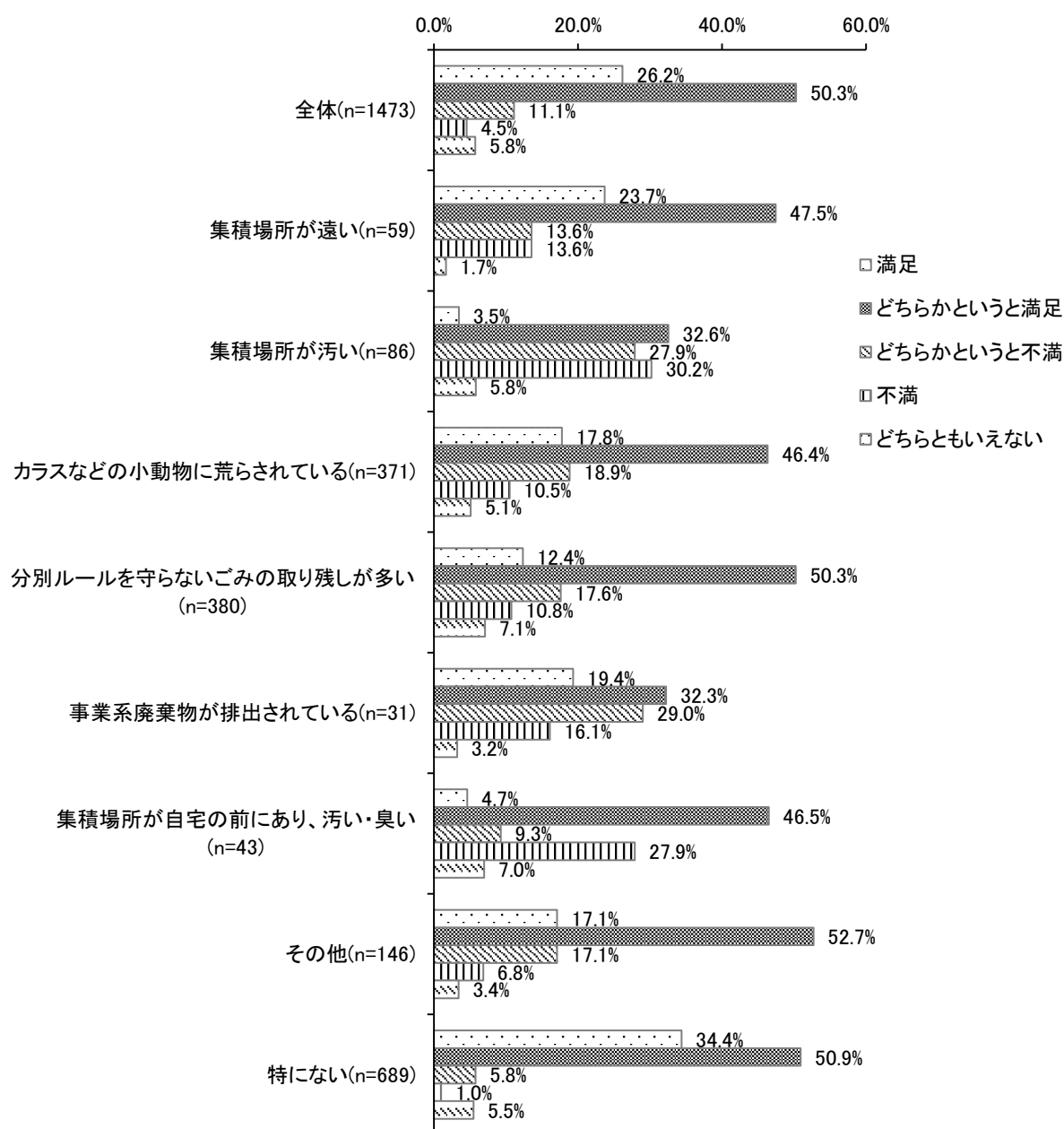
問 20 あなたが集積場所で困っていることはどれですか。○はいくつでも。(n=1,473)



「特にない」が46.8%で最も高く、次いで「分別ルールを守らないごみの取り残しが多い」が25.8%、「カラスなどの小動物に荒らされている」が25.2%と続いている。

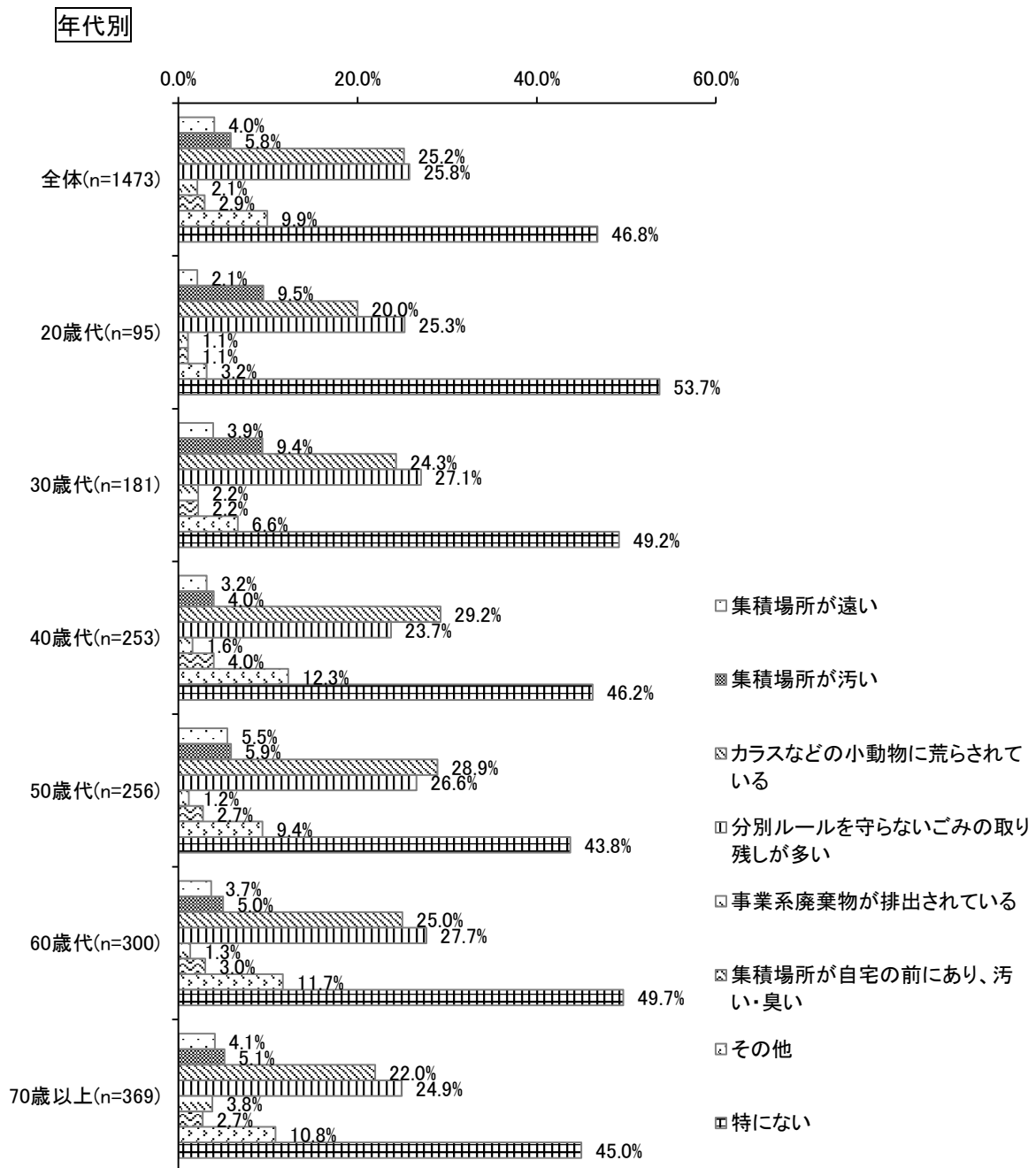
その他の意見では、「他の地域の人や、マンション外の住民がゴミを捨てる」が最も多く、「集積場所が狭い」、「ゴミ袋を開けて、分別されているかチェックする人がいる」などが挙げられた。

問3 住んでいる地域の清潔さの満足度との関係



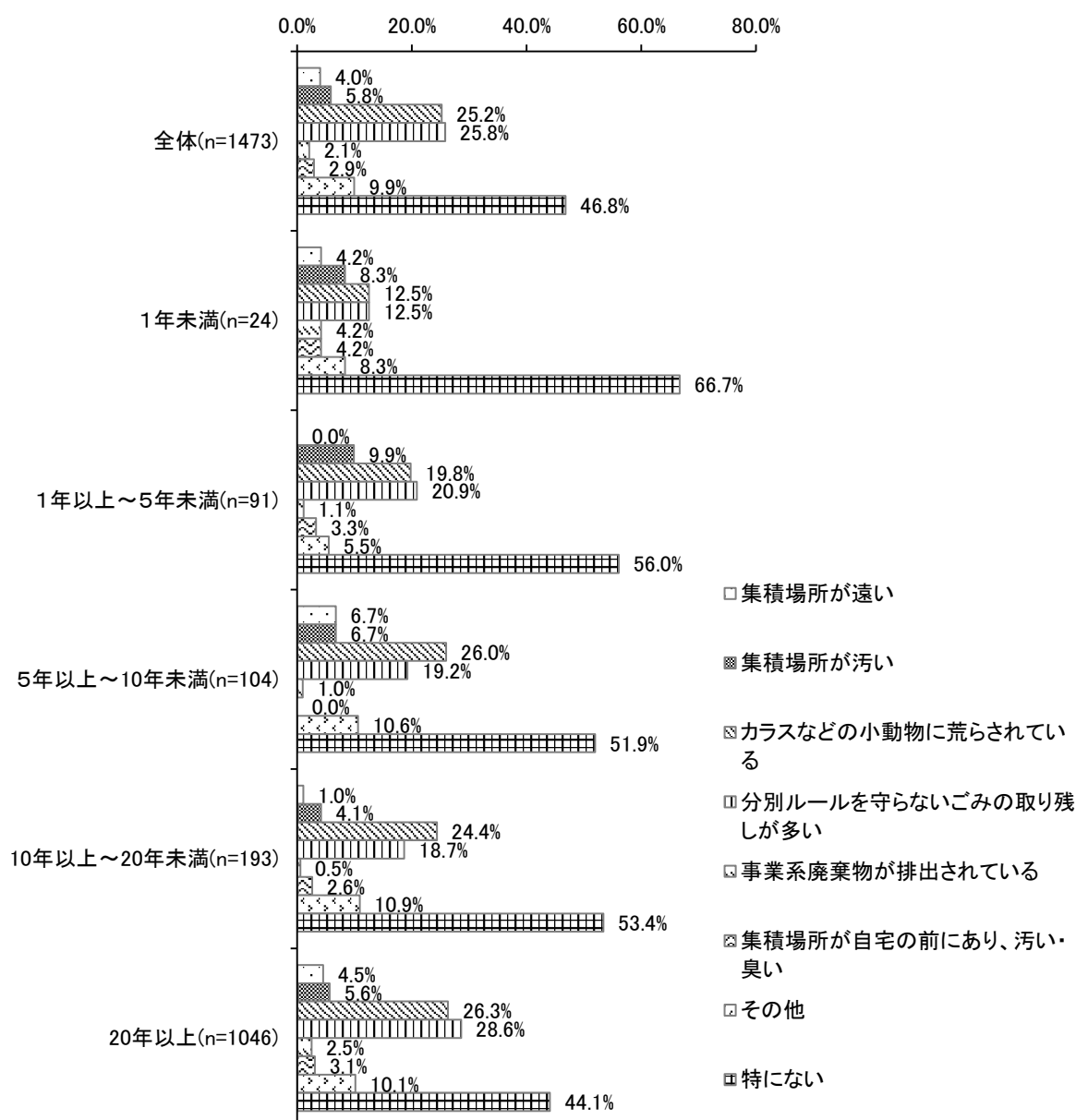
地域の清潔さに「不満」と回答した人は、「集積場所が汚い」で30.2%と最も高く、次いで「集積場所が自宅の前にあり、汚い・臭い」で27.9%と続いている。

「集積場所が遠い」では、地域の清潔さに「満足」と「どちらかという満足」の累積構成比が71.2%となっている。そのため、住んでいる地域の清潔さに不満がある人は、特に、集積場所の汚さに対して不満を持っていることが分かる。集積場所を清潔に保つことが、住んでいる地域全体の清潔さに対する満足度を上げることにつながると考えられる。



年代別に比較すると、いずれの年代でも「特になし」が最も高く、「カラスなどの小動物に荒らされている」又は、「分別ルールを守らないごみの取り残しが多い」が続いている。

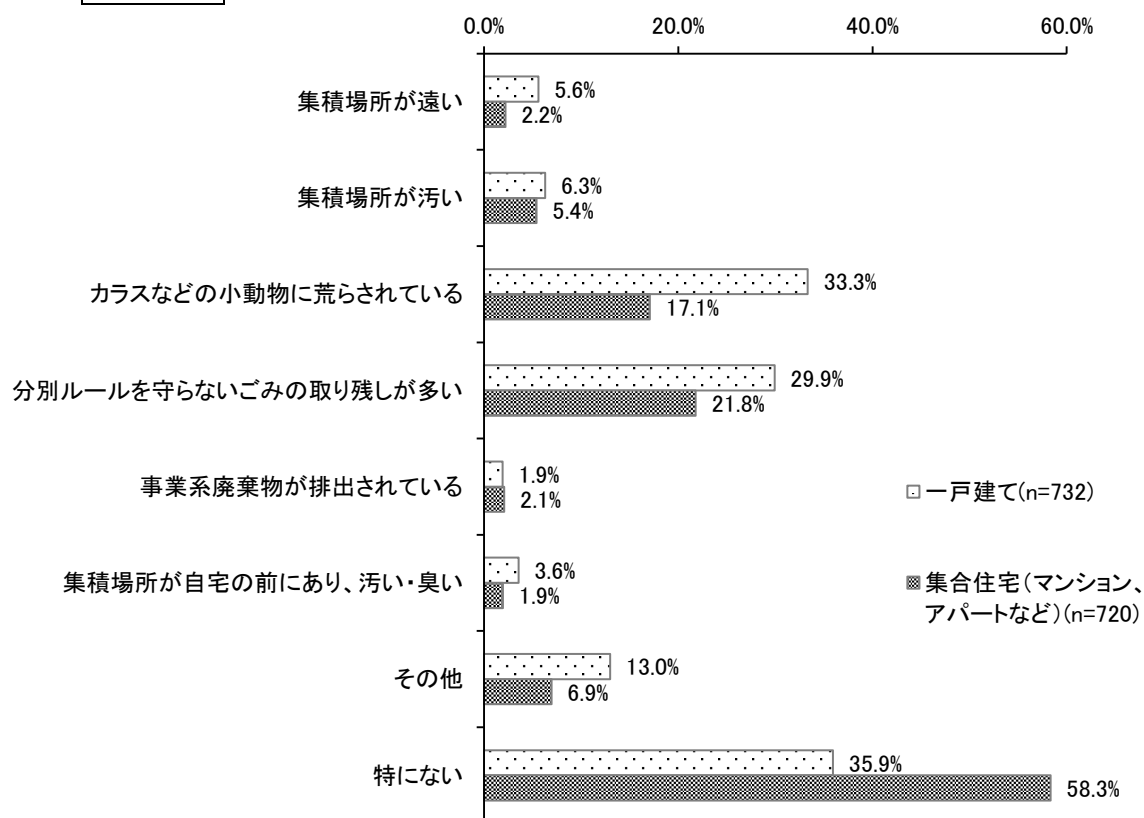
居住年数別



居住年数別に比較すると、「特にない」と回答したのは、「1年未満」が66.7%で最も高く、次いで「1年以上～5年未満」が56.0%と続いている。また、「カラスなどの小動物に荒らされている」、「分別ルールを守らないごみの取り残しが多い」の累積構成比は、「1年未満」では、25.0%だが、「20年以上」では54.9%となっている。

以上の比較結果から、居住年数が長くなるにつれて不満が大きくなり、主に「カラスなどの小動物に荒らされている」、「分別ルールを守らないごみの取り残しが多い」に対して不満があることが分かる。

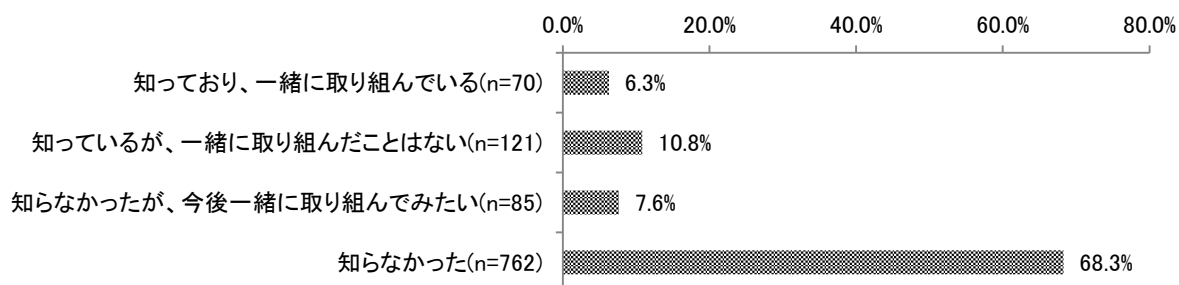
居住形態別



居住形態別に比較すると、「カラスなどの小動物に荒らされている」、「分別ルールを守らないごみの取り残しが多い」では、一戸建てが集合住宅を大きく上回っているが、「特にない」では集合住宅が 58.3%となっている。

集合住宅では、敷地内にふた付きのゴミステーションを設置していたり、建物内にごみ集積場所を設けたりするところが多いため、困っていることは特にないと回答する人が多いと推察される。

問 21 問 20 で 1 から 7 を選択した方におたずねします。あなたは、集積場所快善（改善）隊の取組を知っていますか。○はひとつ。(N=1,116)



「知らなかった」が 68.3% で最も高く、「知っており、一緒に取り組んでいる」と「知っているが、一緒に取り組んだことはない」の累積構成比が 17.1% にとどまったことから、取組のさらなる周知が必要であることが分かった。

■考察 集積場所について

集積場所には設置基準があり、利用する人達が維持管理をすることになっているが、年代が下の世代や、居住年数が短い人の認知度は低い。これらの回答者層の認知度が低くなった理由には、自治会・町内会活動への参加率低下も関係しているのではないかと考えられる。また、集合住宅に居住する人の認知度も、一戸建てと比較して低い背景には、建物内にごみ集積場所が設置されていたり、管理人が清掃をしたりするため、地域のごみ集積場所に関心がない可能性も考えられる。

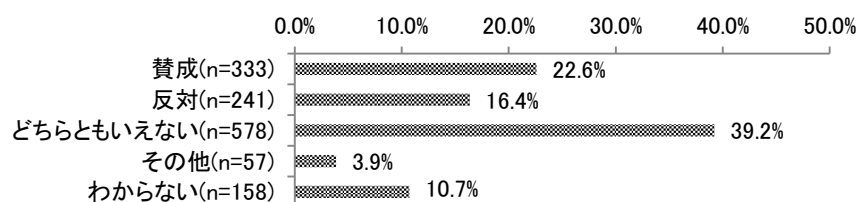
集積場所で困っていることについても、集合住宅では 58.3% が「特になし」と回答し、一戸建ての 35.9% を大きく上回った。困っていることで最も多く挙げられたのは、「分別ルールを守らないごみの取り残しが多い」であり、次いで「カラスなどの小動物に荒らされている」であったことから、集積場所の清掃が一部市民の負担になっていることが示唆された。

住んでいる地域の清潔さの満足度との関係を見ても、集積場所が汚いと感じている人ほど、地域の清潔さに満足をしていないという結果が出た。集積場所を清潔に保つことが、地域全体の清潔さが向上する要因の一つになると考えられる。

以上の理由から、集積場所の維持管理は、地域全体で取り組むべき活動であり、一部の人のみに負担が掛からないような仕組みを作る必要があるのではないかと考えられる。問 37 の自由意見記述には、「分別していないゴミを出す人が分かっているときの対応はどうしたらいいか、ホームページ等で教えてほしい」という意見があった。近隣住民同士では、互いに分別指導がしにくいようだ。このようなときにもサポートをしてくれる集積場所快善（改善）隊の認知度を上げ、市民と協働で維持管理に取り組むことができれば、多くの問題が解決されるのではないかと考えられる。

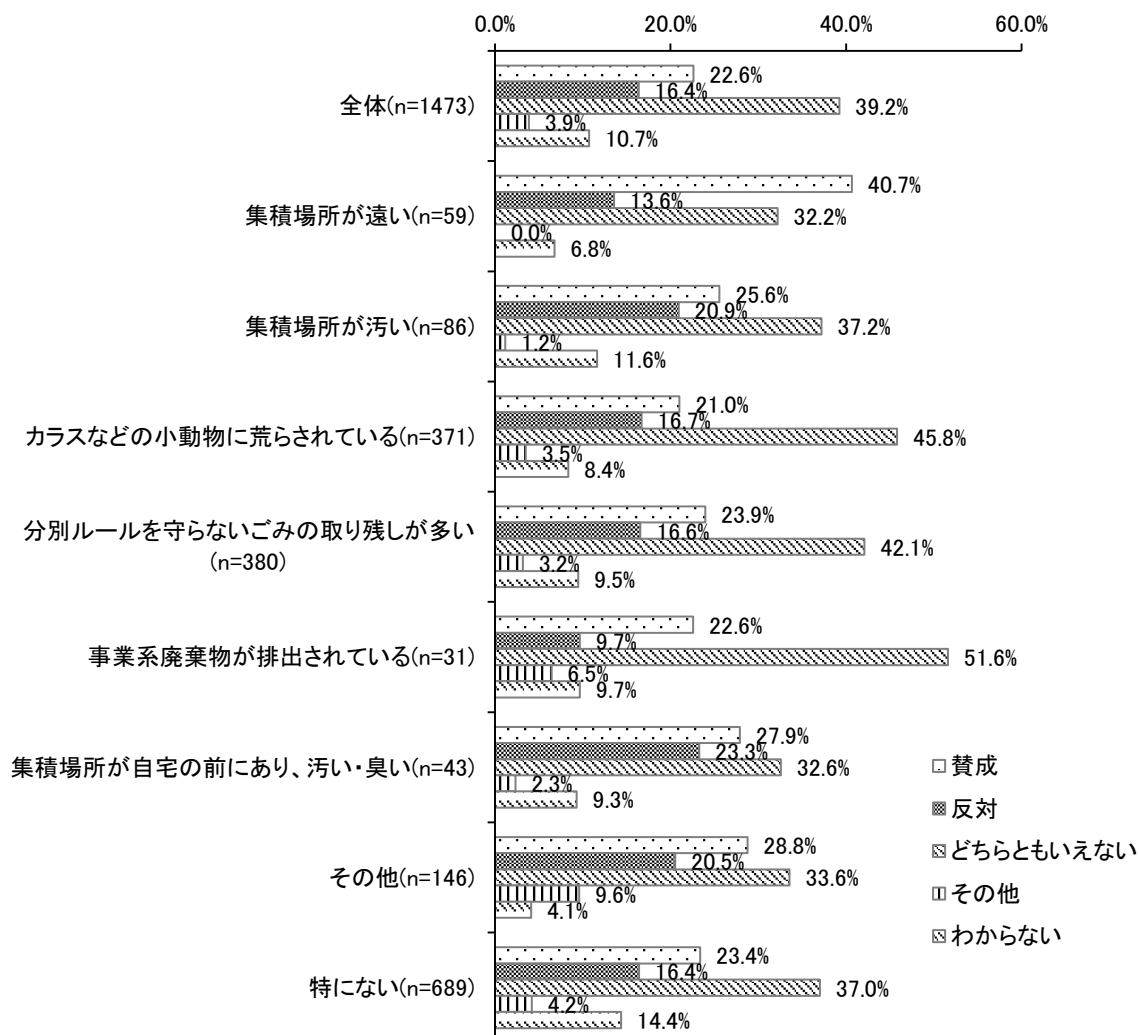
2.7 戸別収集について

問 22 あなたは、ごみの戸別収集についてどう思いますか。○はひとつ。(n=1,473)

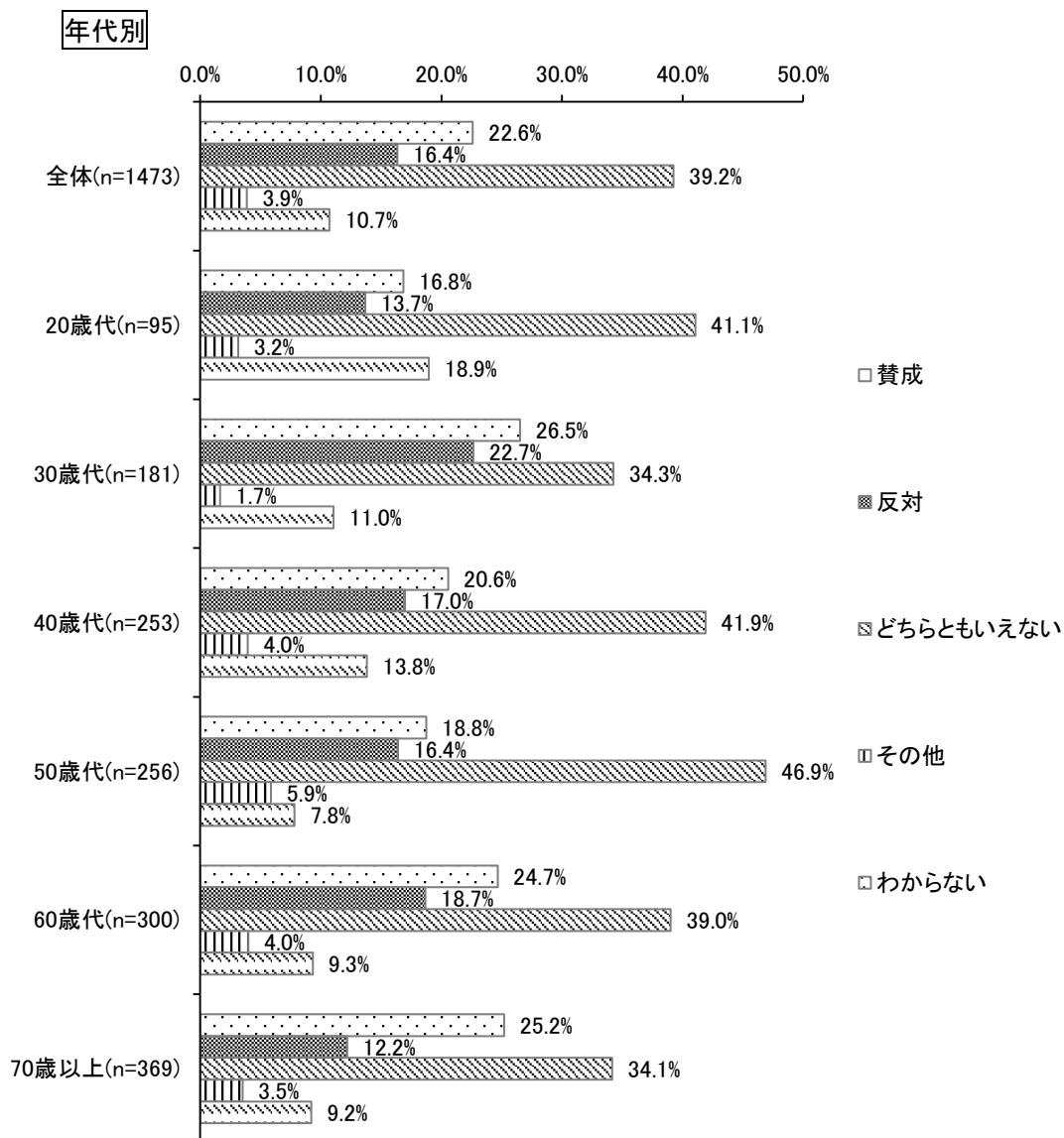


「どちらともいえない」が39.2%で最も高く、次いで「賛成」が22.6%、「反対」が16.4%と続いている。

問 20 集積場所で困っている事との関係

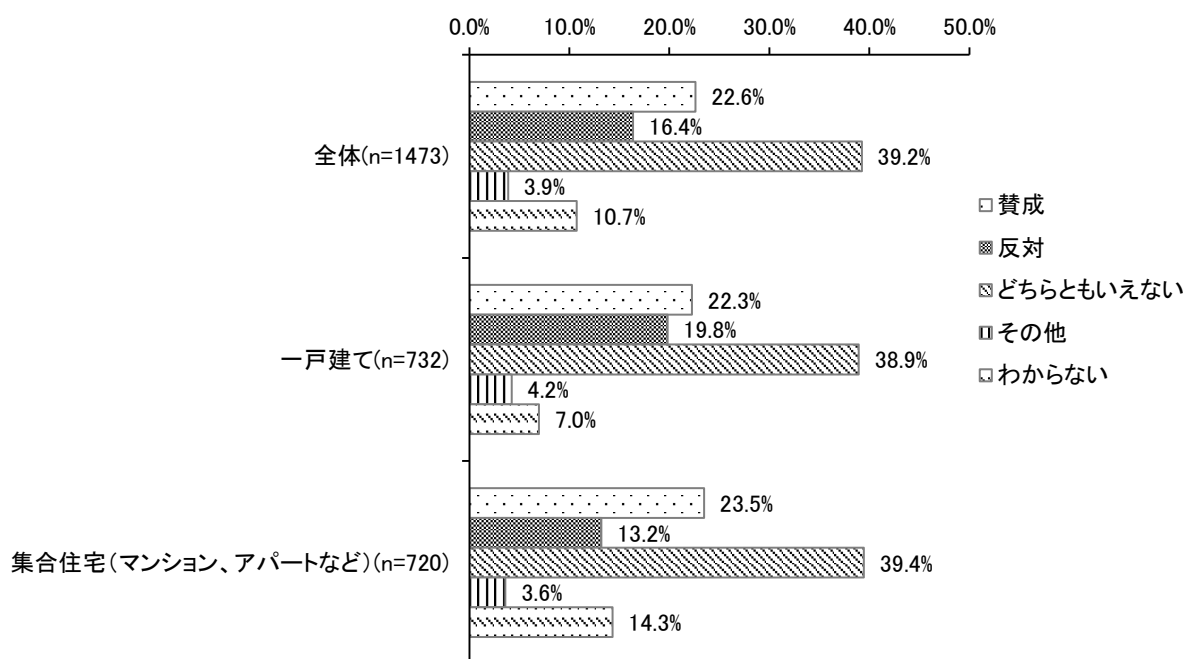


「集積場所が遠い」以外の回答では、全体集計と同様の傾向になっているが、「集積場所が遠い」では、「賛成」が40.7%で最も高くなっている。そのため、集積場所が遠い人は戸別収集を行ってほしいと考えていることが分かった。



年代別に比較すると、いずれの年代でも「どちらともいえない」が最も高く、「50 歳代」で 46.9%、次いで「40 歳代」で 41.9%、「20 歳代」で 41.1%という結果になった。

居住形態別



居住形態別に比較すると、「一戸建て」では「反対」が19.8%なのに対し、「集合住宅」では13.2%となっている。そのため、「一戸建て」の世帯では、「集合住宅」と比較すると戸別収集に反対だということが分かる。

戸別収集に賛成する理由は、「各自が責任を持ってごみを出せる」が最も多く、「高齢者が増えるとごみ出しが難しい」、「街の美観が向上する」という意見も多かった。

戸別収集に反対する理由では、「収集経費（人件費など）の増加」が最も多く、「家庭ごとにカラスなどの小動物対策ができない」、「個人が特定されそう（プライバシー面での心配）」という意見も多かった。

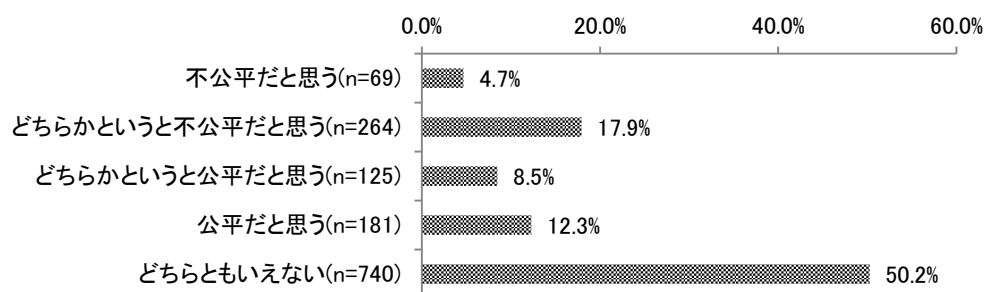
■考察 戸別収集について

戸別収集については、「どちらともいえない」とする回答が最も多く、賛成か反対かでは、賛成の方が6.2%多かった。賛成の理由として、高齢者のごみ出しの負担を挙げた意見があったが、年齢別に比較しても、年代が上の世代に賛成が多いということとはなかった。

「どちらともいえない」が多くなった理由は、横浜市民にとって、ごみは集積場所に出すことが当然であり、これまで戸別収集について考えるきっかけが少なかったのではないかと。今回のアンケート調査が問題提起となり、戸別収集について考える場が増えることを期待したい。それとともに、横浜市としても継続して市民の声を聞きながら、中長期的に検討していく必要がある。

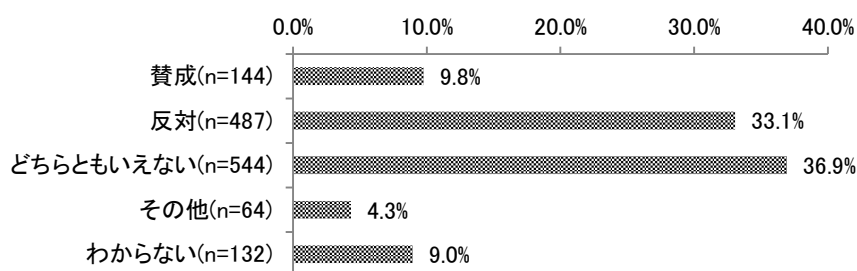
2.8 ごみ処理費用の負担のあり方について

問 23 横浜市では、出すごみの量に応じた手数料の負担を求めているため、ごみの減量に努力した人と、たくさん出す人で、有料指定袋などの金銭的な負担に差がありません（粗大ごみ手数料は除く）が、あなたはどのように思いますか。○はひとつ。(n=1,473)



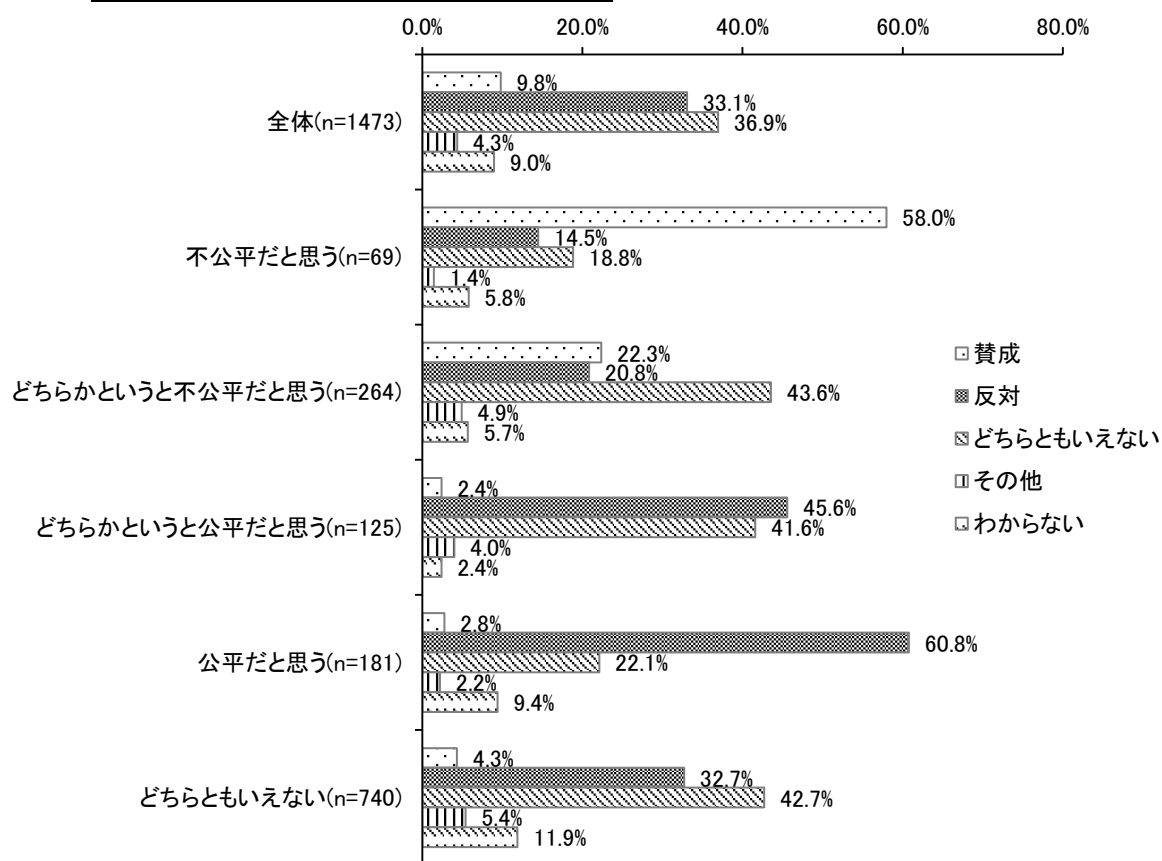
「どちらともいえない」が50.2%で最も高く、次いで「どちらかというと不公平だと思う」が17.9%、「公平だと思う」が12.3%と続いている。

問 24 あなたは、家庭ごみの収集を有料化して、それぞれの市民が、出すごみの量に応じた費用を負担するという考え方についてどう思いますか。○はひとつ。(n=1,473)



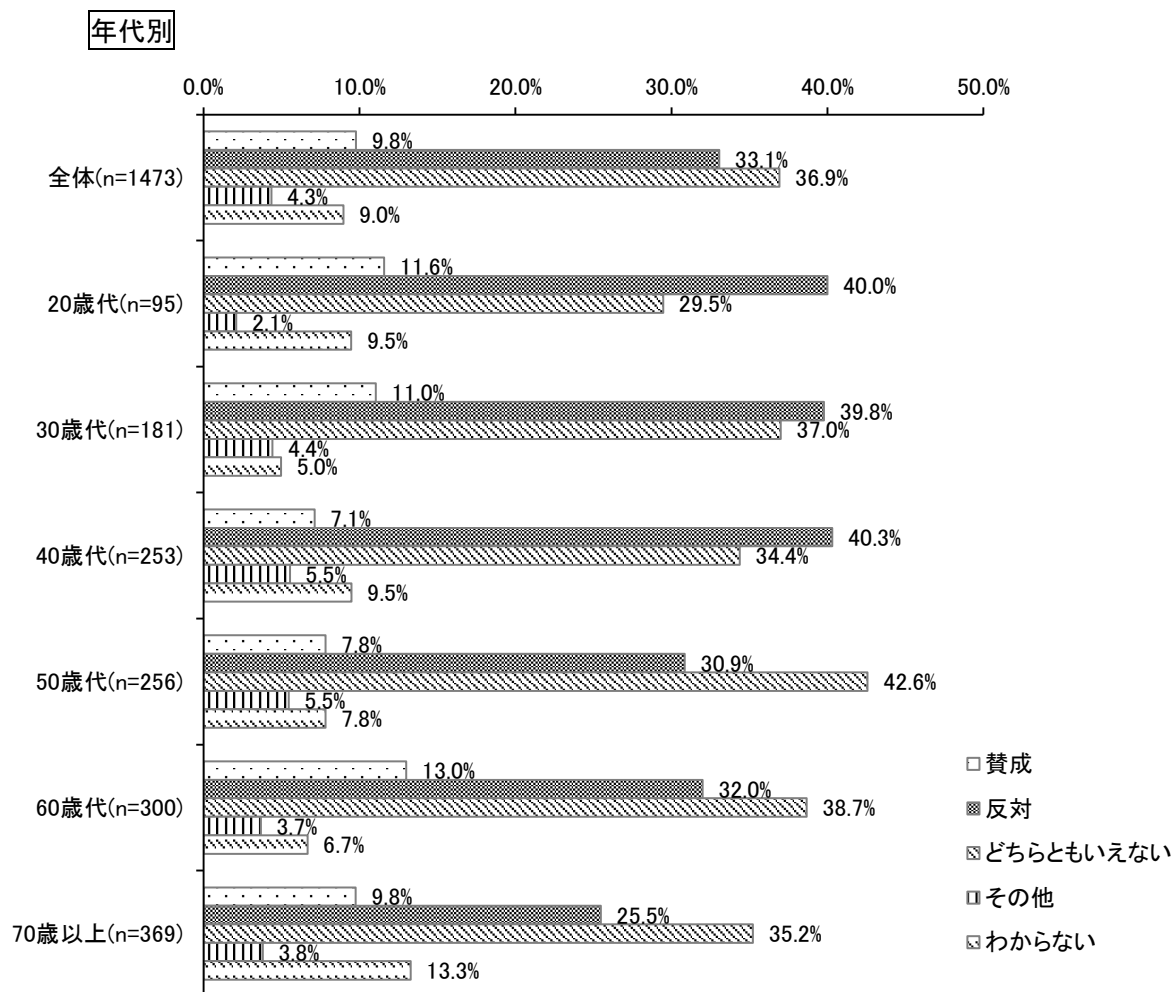
「どちらともいえない」が36.9%で最も高く、次いで「反対」が33.1%、「賛成」が9.8%と続いている。

問 23 ごみ処理費用に対する意見との関係



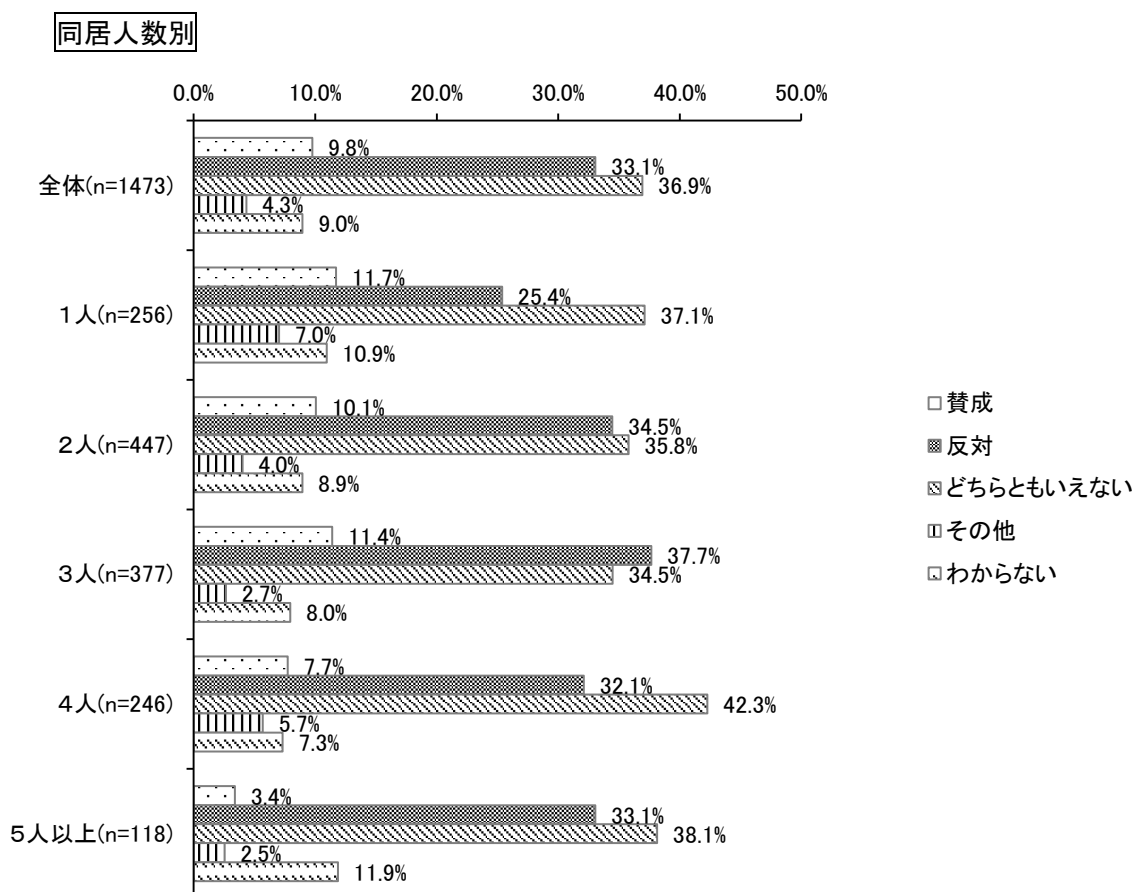
ごみの処理に関して、金銭的な負担に差がない事を「不公平だと思う」と回答した人は、ごみ処理費用の有料化に「賛成」と回答した比率が58.0%で最も高いが、「公平だと思う」と回答した人は、ごみ処理費用の有料化に「反対」と回答した比率が60.8%で最も高い。

金銭的な負担に差がない事を不公平だと考えている人ほど、ごみ処理費用を有料化するべきだと考えていることが分かる。



年代別に比較すると、「反対」と回答した年代は、「40 歳代」が 40.3%で最も高く、次いで「20 歳代」が 40.0%、「30 歳代」が 39.8%と続いている。また、「どちらともいえない」と回答した年代は、「50 歳代」が 42.6%で最も高く、次いで「60 歳代」が 38.7%、「70 歳以上」が 35.2%となった。

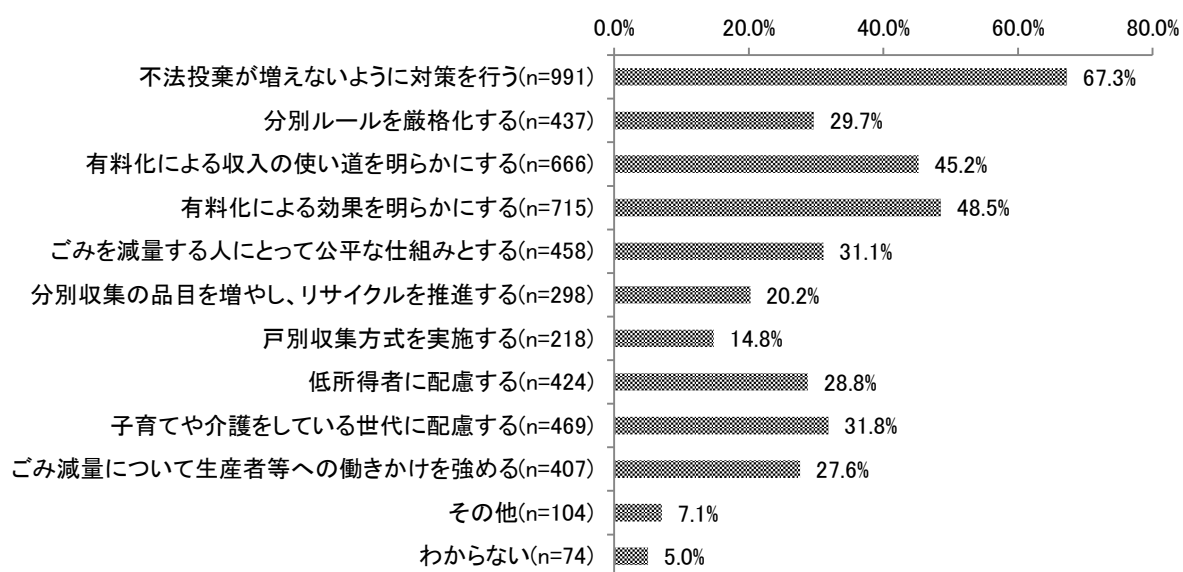
20 歳代から 40 歳代で、「反対」が最も高い理由は、「小さい子供がいる家庭では、おむつなどごみの量も多くなるため不公平」、「保育料などの支出もあり、経済的に余裕がない」など、特に子育て世帯にとって負担になるようだ。



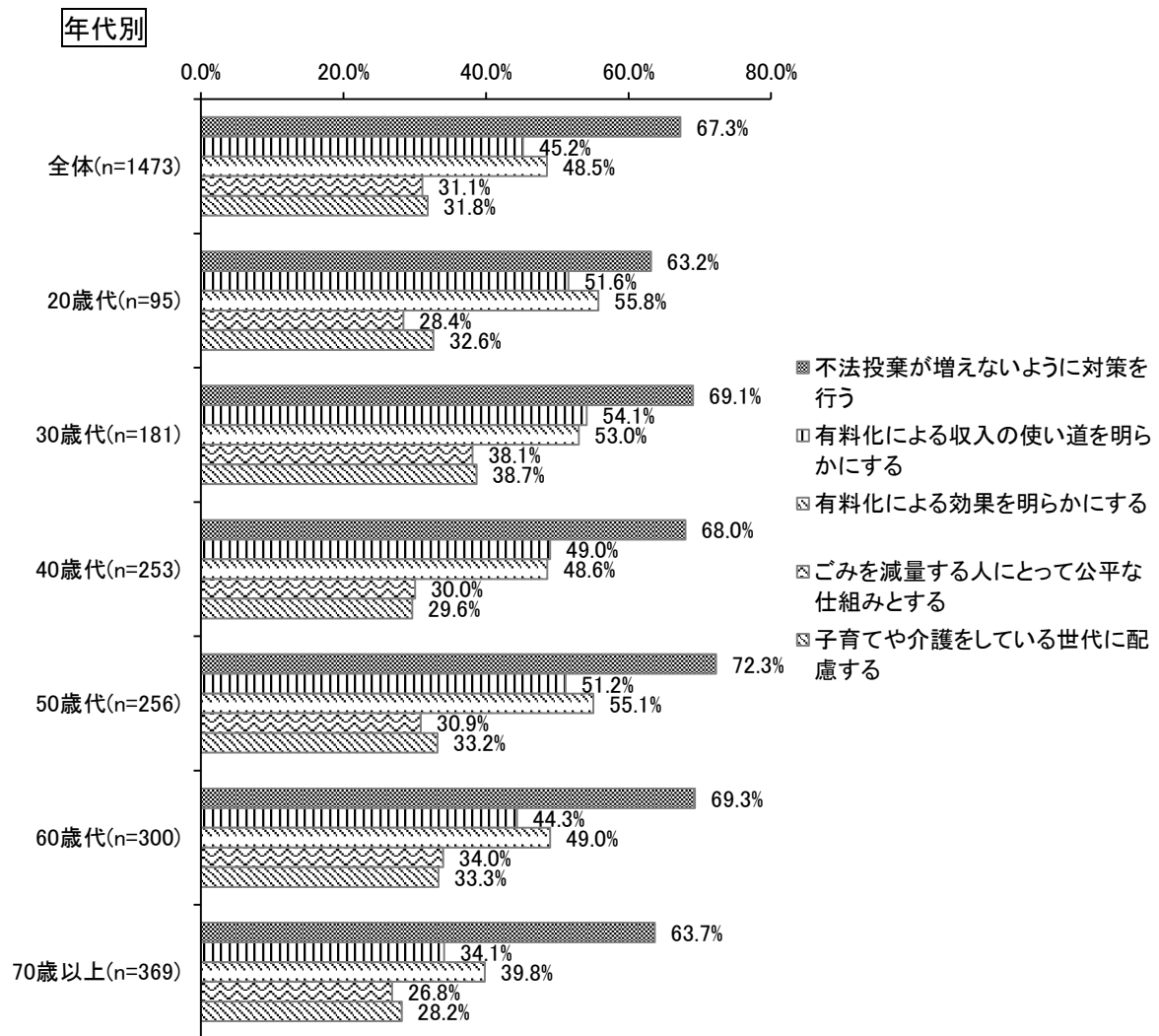
同居人数別に比較すると、「賛成」と回答したのは、「1人」世帯が11.7%で最も高く、「5人以上」が3.4%で最も低い。また、同居人数が2人以上の世帯では、「反対」が30.0%を超えている。

2人以上の世帯で「反対」が多い理由は、人数が多い世帯ほど、ごみの量も多くなるためであると推察される。

問 25 仮に横浜市で、資源物以外の燃やすごみや燃えないごみの有料化制度を導入するとしたら、あなたはどのような点に配慮すべきだと思いますか。○はいくつでも。(n=1,473)

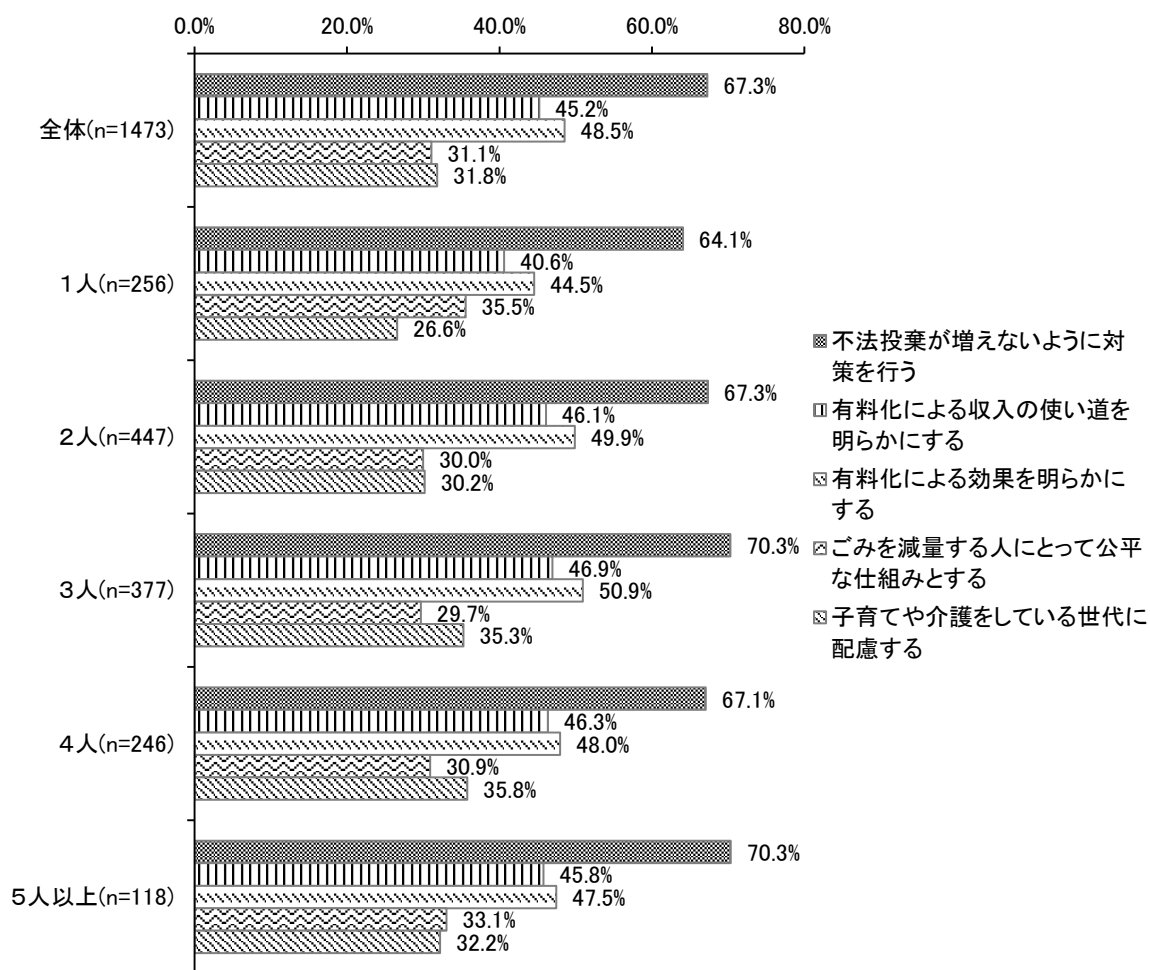


「不法投棄が増えないように対策を行う」が67.3%で最も高く、次いで「有料化による効果を明らかにする」が48.5%、「有料化による収入の使い道を明らかにする」が45.2%と続いている。



年代別に比較すると、いずれの年代でも「不法投棄が増えないように対策を行う」が最も高く、「50 歳代」で 72.3%、次いで「60 歳代」で 69.3%、「30 歳代」で 69.1%という結果になった。

同居人数別



同居人数別に比較すると、「子育てや介護をしている世代に配慮する」では、「4人」世帯が35.8%で最も高く、「3人」世帯の35.3%と続き、最も比率が低かったのは、「1人」世帯の26.6%だった。

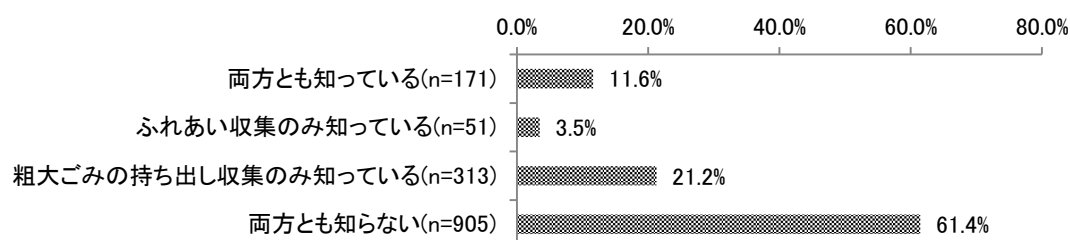
■考察 ごみ処理費用のあり方について

ごみ処理の費用の負担に差がない事について、「どちらともいえない」という人が最も多く、判断に迷っていると考えられる。しかし、不公平だと思っている人ほど、ごみ処理の有料化に賛成する傾向が顕著に表れている。その一方で、同居人数が多い世帯や、子育て世帯など、必然的にごみの量が多くなる世帯では、ごみの有料化に反対している。その他、「敷地内に街路樹や隣家の植物の葉が落ちてくる」など、外部からの影響によってごみが増加するケースもある。仮に有料化を実施する場合、家族構成や生活スタイルによっても排出されるごみの量は変動するため、多くの市民に納得してもらえらる仕組みを模索する必要があるのではないか。

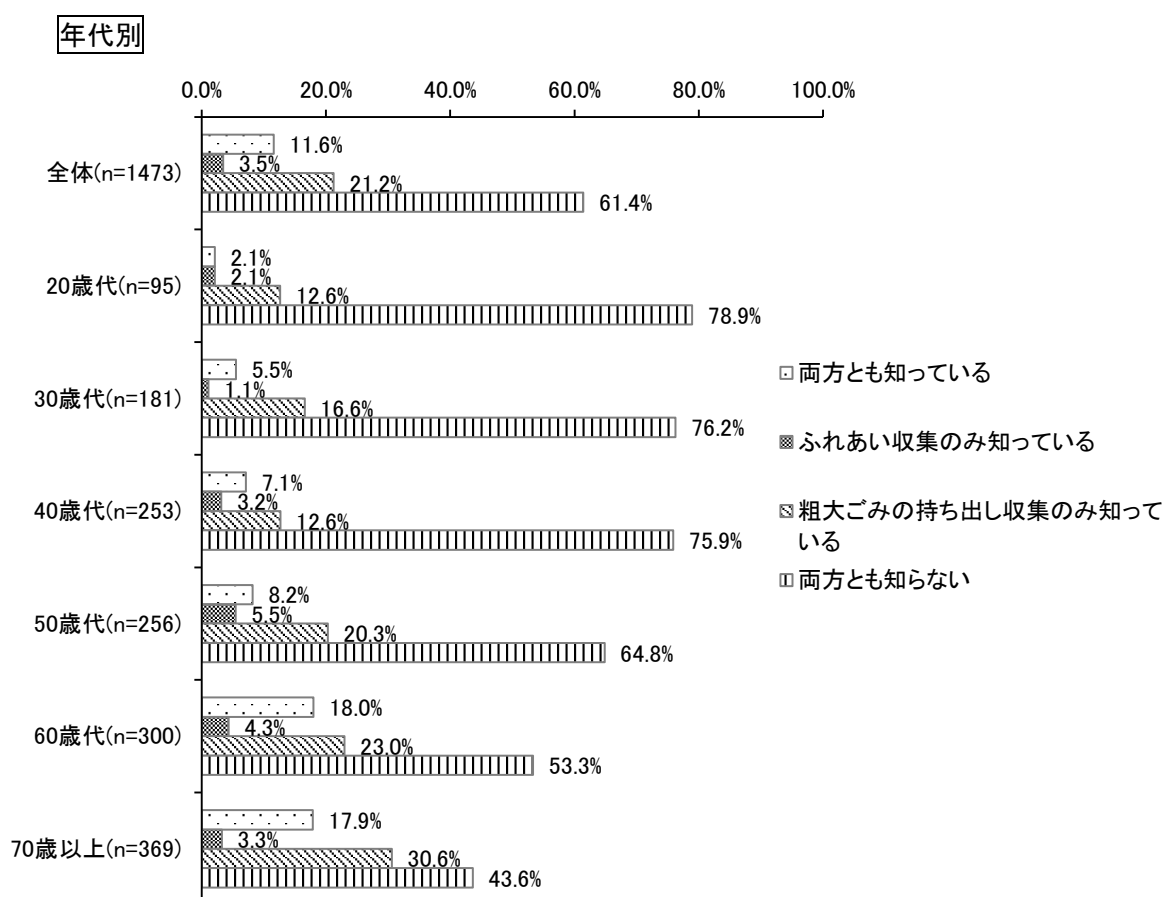
また、ごみの処理費用を有料化した場合、不法投棄対策及び、有料化による効果を公開することが求められる。有料化したことで、実際に不法投棄が増加した自治体もあるため、慎重な判断が必要になる。

2.9 ふれあい収集などのサービスについて

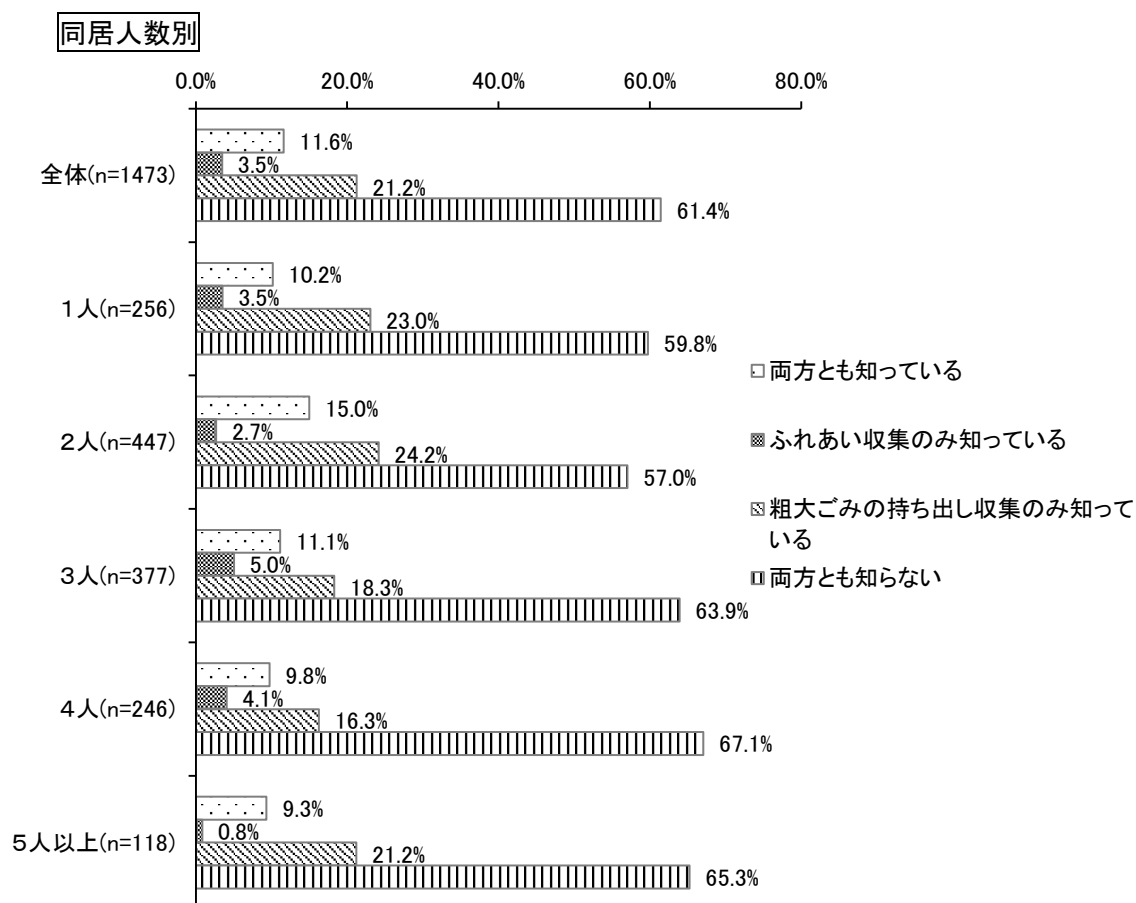
問 26 あなたは、ふれあい収集や粗大ごみの持ち出し収集などのサービスを知っていますか。○はひとつ。(n=1,473)



「両方とも知らない」が 61.4%で最も高く、「粗大ごみの持ち出し収集のみ知っている」が 21.2%、「両方とも知っている」が 11.6%と続いている。



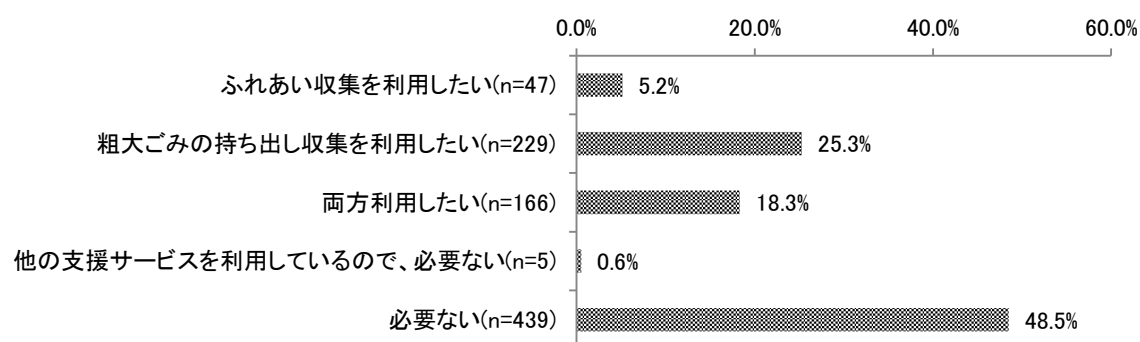
年代別に比較すると、「両方とも知らない」と回答した比率は「20歳代」で 78.9%と最も高く、年代が上がるにつれて低下する傾向がある。また、「粗大ごみの持ち出し収集のみ知っている」と回答した比率は、「70歳以上」で 30.6%と最も高く、年代が上がるにつれて高くなっていることから、年代が上の世代は、年代が下の世代に比べて粗大ごみの持ち出し収集について認知していることが分かる。



同居人数別に比較すると、「両方とも知らない」と回答したのは、「4人」世帯が67.1%で最も高く、次いで「5人以上」世帯が65.3%、「3人」世帯が63.9%という結果になった。

これらの結果から、年代や同居人数にかかわらず、ふれあい収集の認知度が低いことが分かった。粗大ごみの持ち出し収集と併せて、特に、年代が下の世代の1人世帯を中心に周知する必要がある。

問 27 問 26 で 4 を選択した方におたずねします。条件に合えば、あなたはふれあい収集や粗大ごみの持ち出し収集などのサービスを利用したいですか。○はひとつ。(N=905)



「必要ない」が 48.5%で最も高く、次いで「粗大ごみの持ち出し収集を利用したい」が 25.3%、「両方利用したい」が 18.3%と続いている。

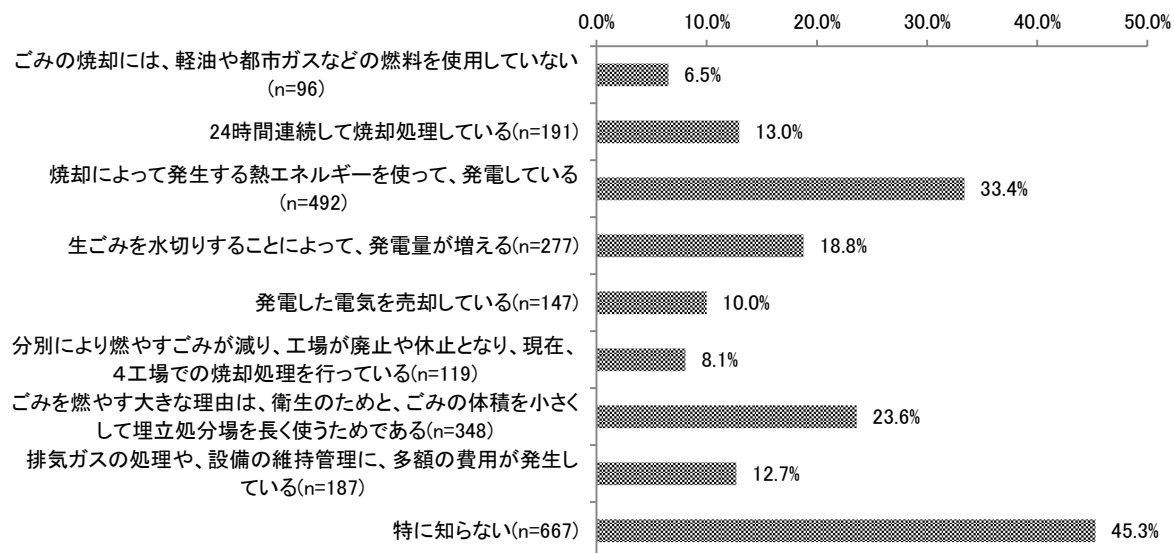
いずれかの収集サービス及び、「両方利用したい」の累積構成比は 48.8%となることから、現状のサービス対象者だけではなく、乳幼児がいる世帯など、さらに多くの市民を対象とすることを検討する必要がある。

■考察 ふれあい収集などのサービスについて

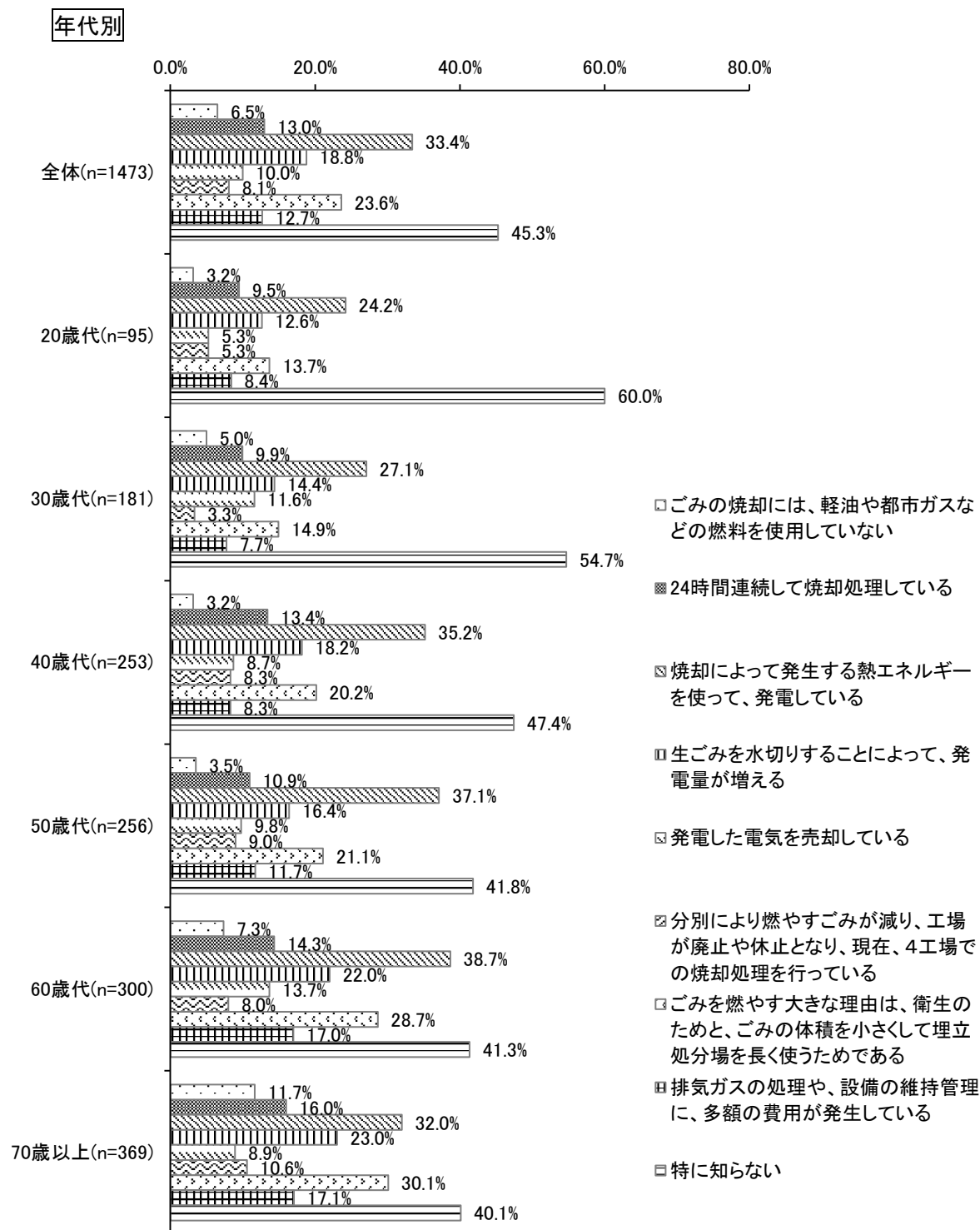
ふれあい収集、粗大ごみの持ち出し収集のいずれも認知度が低く、年代が下がるほど「両方とも知らない」の比率が高くなっている。しかし、「両方とも知らない」と回答した人で、いずれかの収集サービス及び、「両方利用したい」と考えている人が 48.8%いることから、広く存在を知らせることで利用者が増えるのではないかと考えられる。

2.10 焼却工場について

問 28 あなたは、市内にあるごみ焼却工場について知っていることはどれですか。○はいくつでも。(n=1,473)



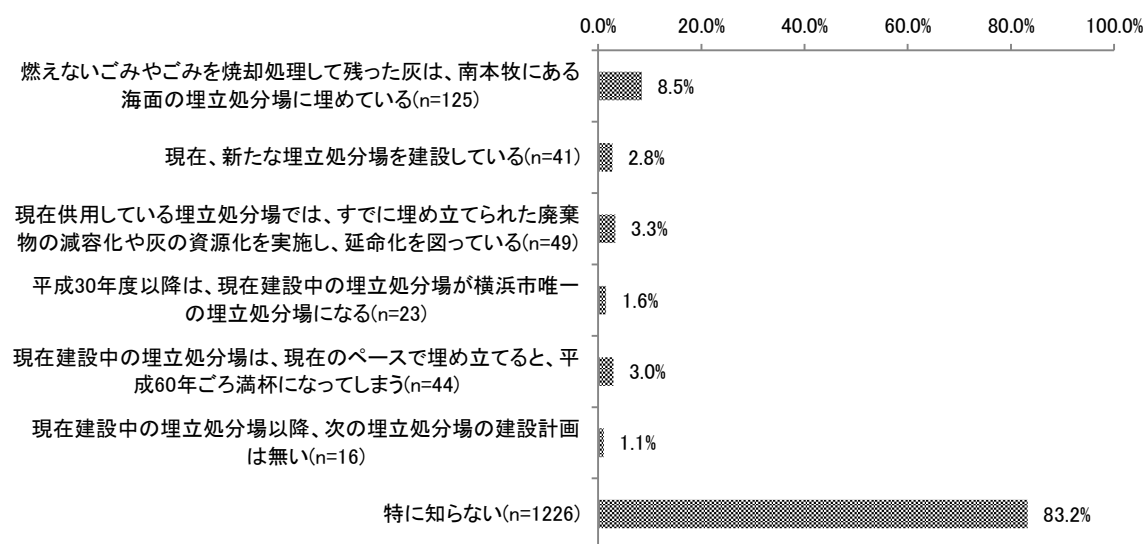
「特に知らない」が45.3%で最も高く、次いで「焼却によって発生する熱エネルギーを使って発電している」が33.4%、「ごみを燃やす大きな理由は、衛生のためと、ごみの体積を小さくして埋立処分場を長く使うためである」が23.6%と続いている。



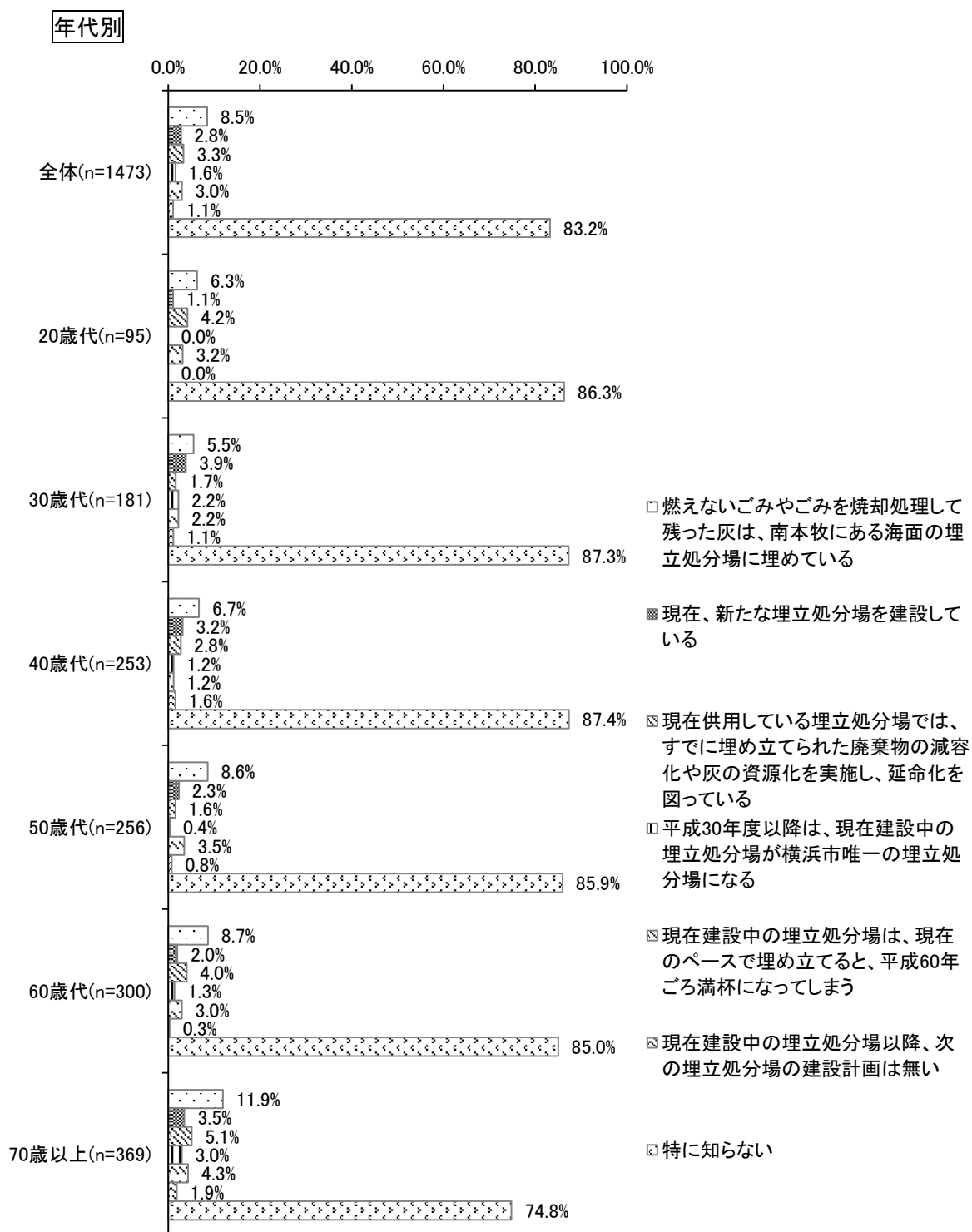
年代別に比較すると、「特に知らない」の比率は、「20歳代」が60.0%で最も高く、次いで「30歳代」が54.7%、「40歳代」が47.4%と続いている。また、「焼却によって発生する熱エネルギーを使って、発電している」、「発電した電気を売却している」及び、「特に知らない」以外の全ての項目で「70歳以上」の比率が最も高く、「焼却によって発生する熱エネルギーを使って、発電している」、「発電した電気を売却している」では「60歳代」の比率が最も高いため、年代が上がるほどごみ焼却工場について知っていることが分かる。

2.11 埋立処分場について

問 29 あなたは、市内にある埋立処分場について知っていることはどれですか。○はいくつでも。(n=1,473)



「特に知らない」が83.2%で最も高く、「燃えないごみやごみを焼却処理して残った灰は、南本牧にある海面の埋立処分場に埋めている」が8.5%と続いており、埋立処分場についての周知が課題であると考えられる。



年代別に比較すると、「特に知らない」と回答した比率は、「70歳以上」以外の全ての年代で80.0%を超えており、「70歳以上」でも74.8%となっていることから、年代に関わらず認知度が低いことが分かる。

■考察 焼却工場・埋立処分場について

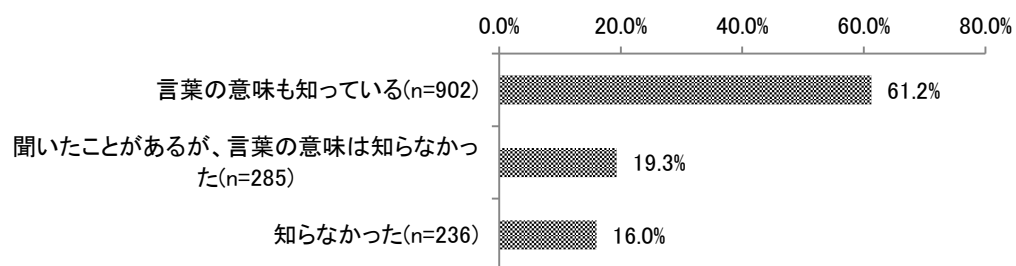
ごみ焼却工場及び、埋立処分場のいずれも認知度が低く、特に、埋立処分場は、83.2%が「特に知らない」という結果になった。

ごみ焼却工場及び、埋立処分場については、問 37 の自由意見記述において、「焼却工場や埋立処分場については全然知らないので、横浜の広報で特集するなど、周知してほしい」、「埋立処分場の深刻な現状をもっと市民に知らせるべき」という意見があった。

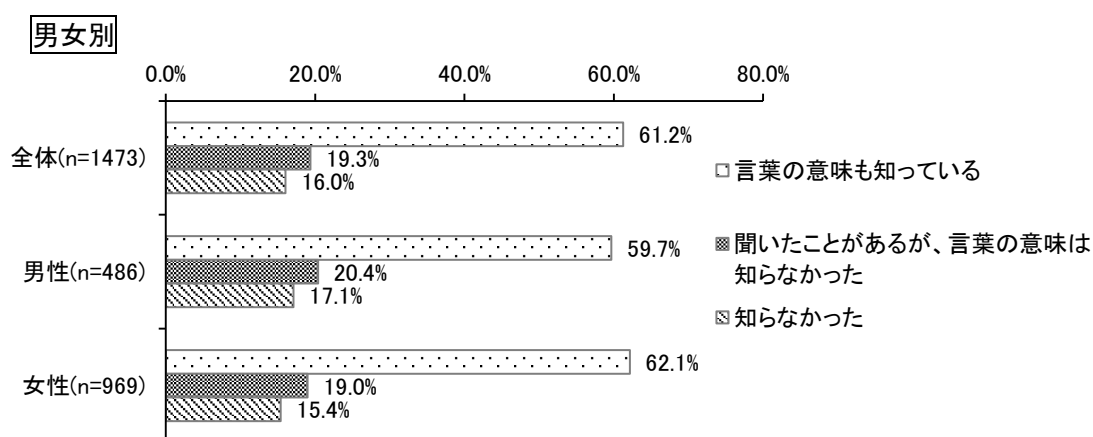
また、そのような施設を見学する機会が欲しいという声もあり、周知には行政だけではなく、地元企業や学校とも連携した取組が必要かもしれない。

2.12 食品ロス・生ごみの削減について

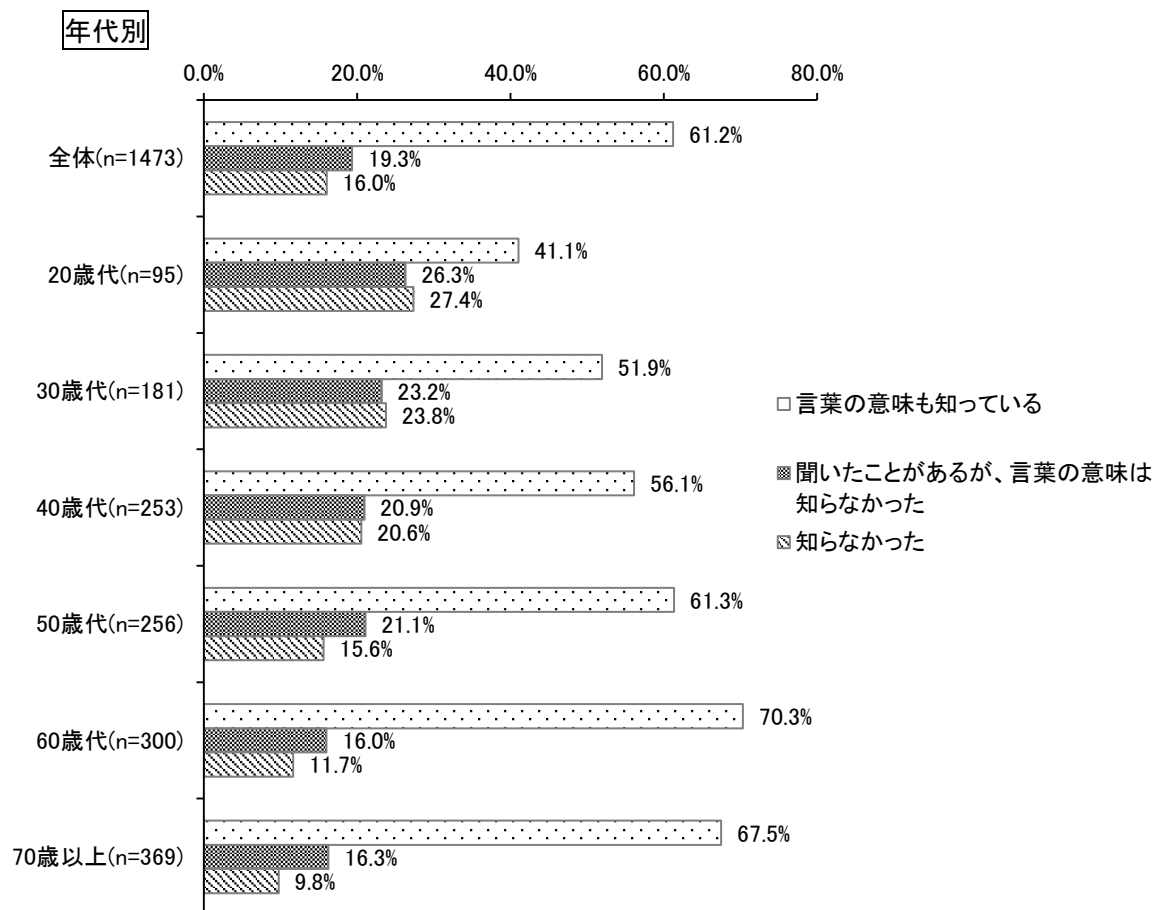
問 30 あなたは「食品ロス」という言葉を知っていますか。○はひとつ。(n=1,473)



「言葉の意味も知っている」が61.2%で最も高く、「聞いたことがあるが、言葉の意味は知らなかった」が19.3%、「知らなかった」が16.0%と続いている。

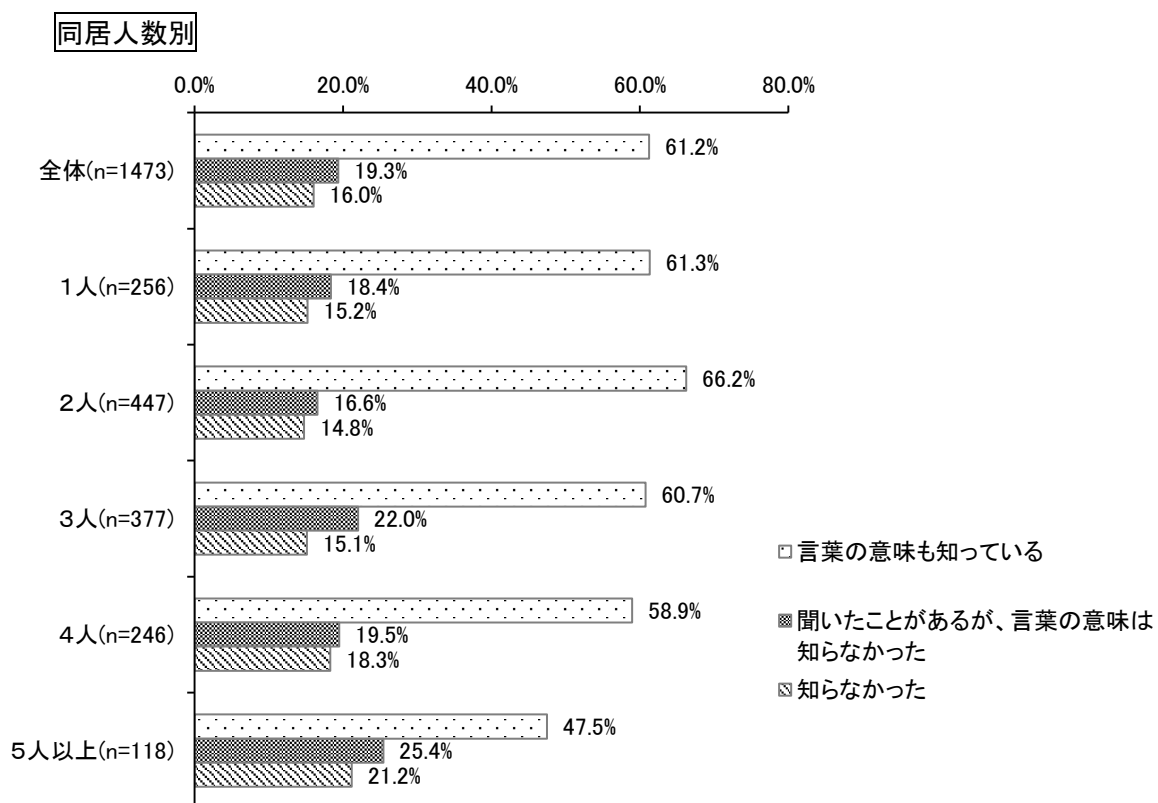


男女別の比較では、回答に大きな差は見られなかったことから、性別に関係なく認知されていることが分かる。



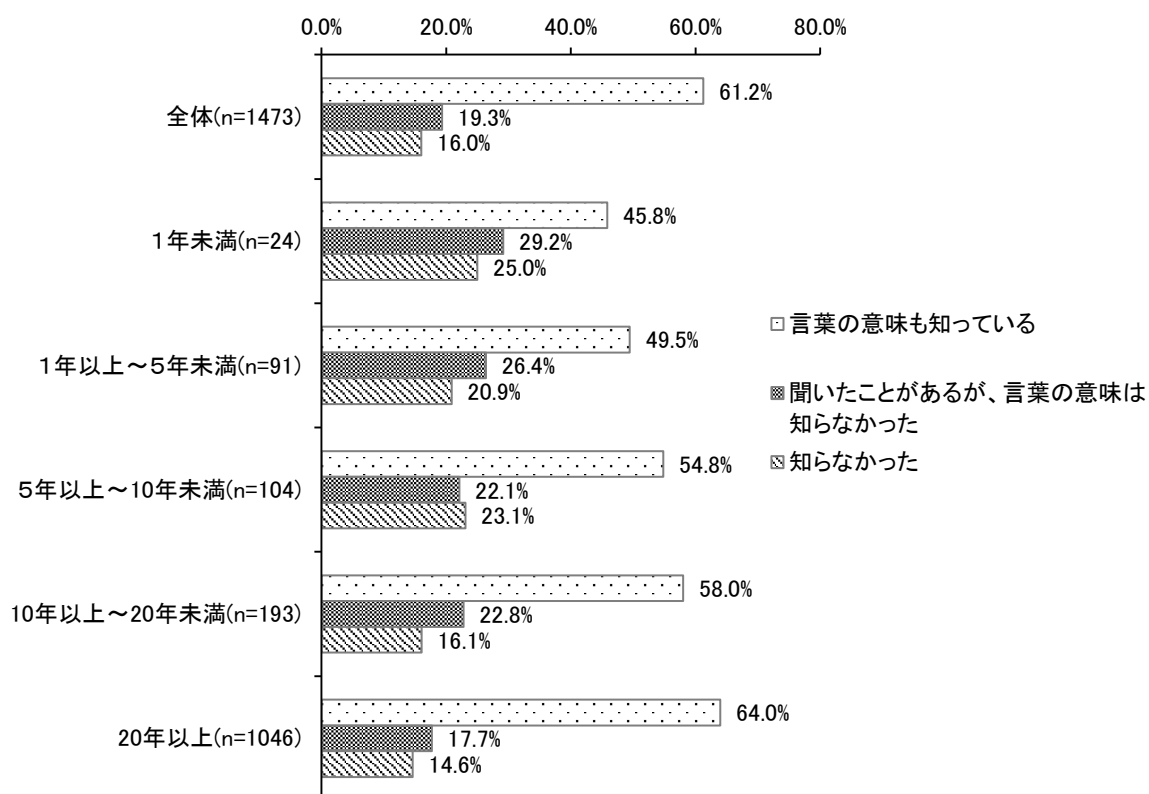
年代別に比較すると、「言葉の意味も知っている」と回答したのは「60 歳代」が 70.3%で最も高く、次いで「70 歳以上」で 67.5%、「50 歳代」で 61.3%と続いている。また、「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった」と「知らなかった」の累積構成比は、「20 歳代」が 53.7%で最も高く、年代が下がるにつれて認知度が低下する傾向がある。

以上の比較結果から、年代が上がるほど「食品ロス」の言葉の意味まで知っていることが分かる。



同居人数別に比較したところ、「言葉の意味も知っている」と回答したのは、「2人」世帯が66.2%で最も高く、次いで「1人」世帯が61.3%、「3人」世帯が60.7%と続いている。

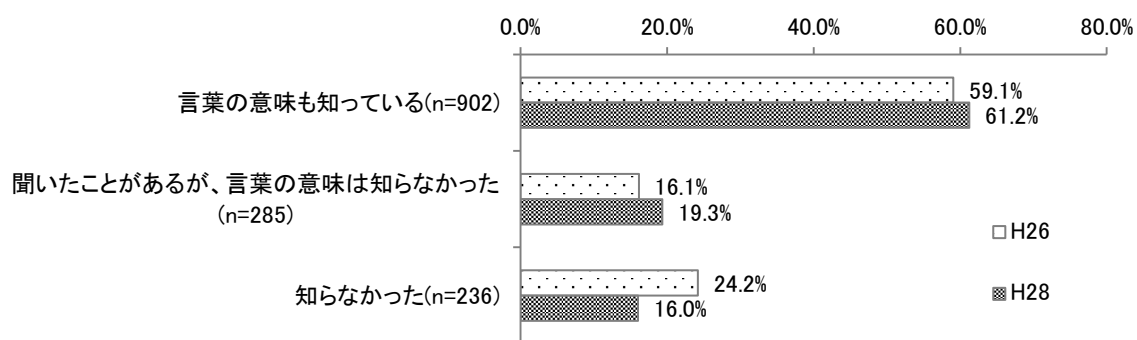
居住年数別



「言葉の意味も知っている」では「20年以上」が64.0%で最も高く、居住年数が短くなるにつれて言葉の意味も知っている比率は低下している。また、「知らなかった」では「1年未満」が25.0%で最も高く、居住年数が長くなるにつれて「知らなかった」の比率は低下している。

以上の比較結果は、横浜市では食品ロスの削減を重点事業としており、市民が「食品ロス」という言葉に触れる機会が多いためであると考えられる。

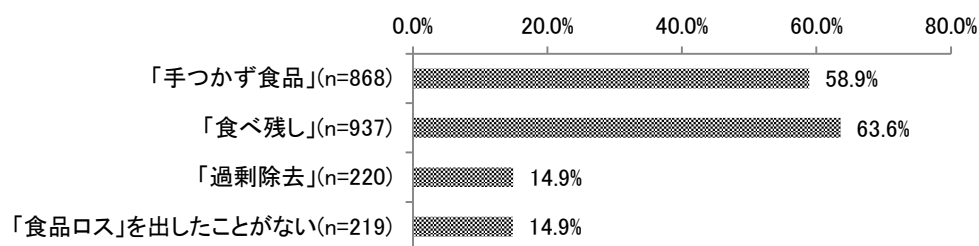
経年変化



平成 26 年度調査との比較では、「言葉の意味も知っている」、「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった」は、上昇しており、「知らなかった」は低下している。

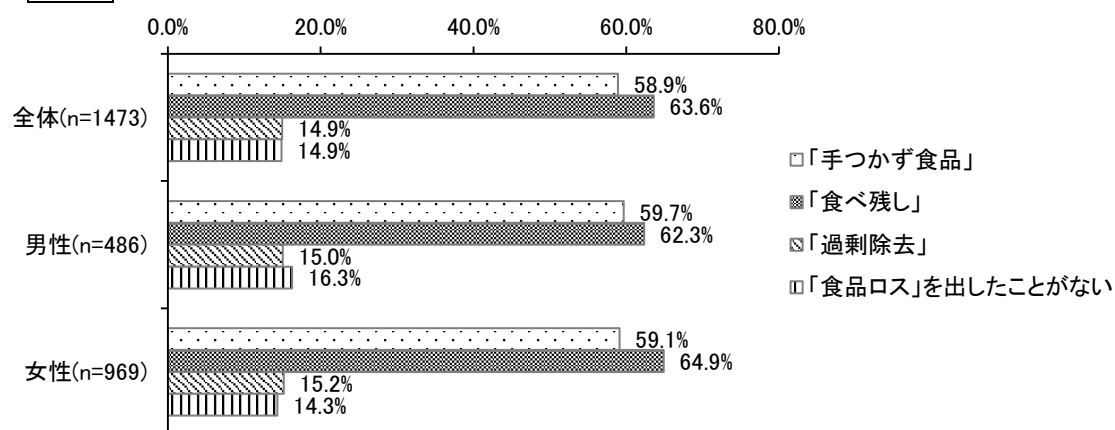
継続した食品ロス削減の取組により、「食品ロス」という言葉が市民に浸透してきていることが分かる。

問 31 あなたやあなたの家族が出したことがある「食品ロス」はどれですか。○はいくつでも。
(n=1,473)

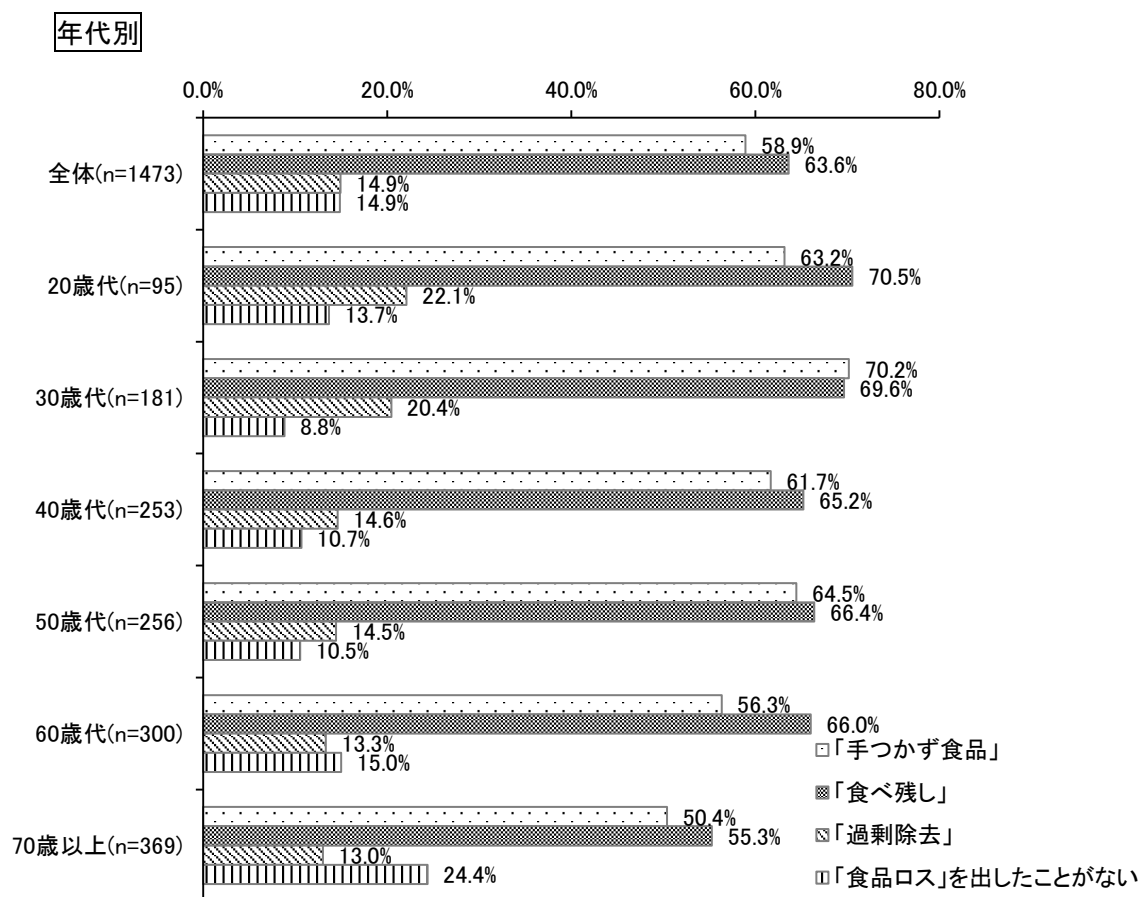


「食べ残し」が63.6%で最も高く、次いで「手つかず食品」が58.9%、「過剰除去」、「『食品ロス』を出したことがない」が同率で14.9%と続いている。

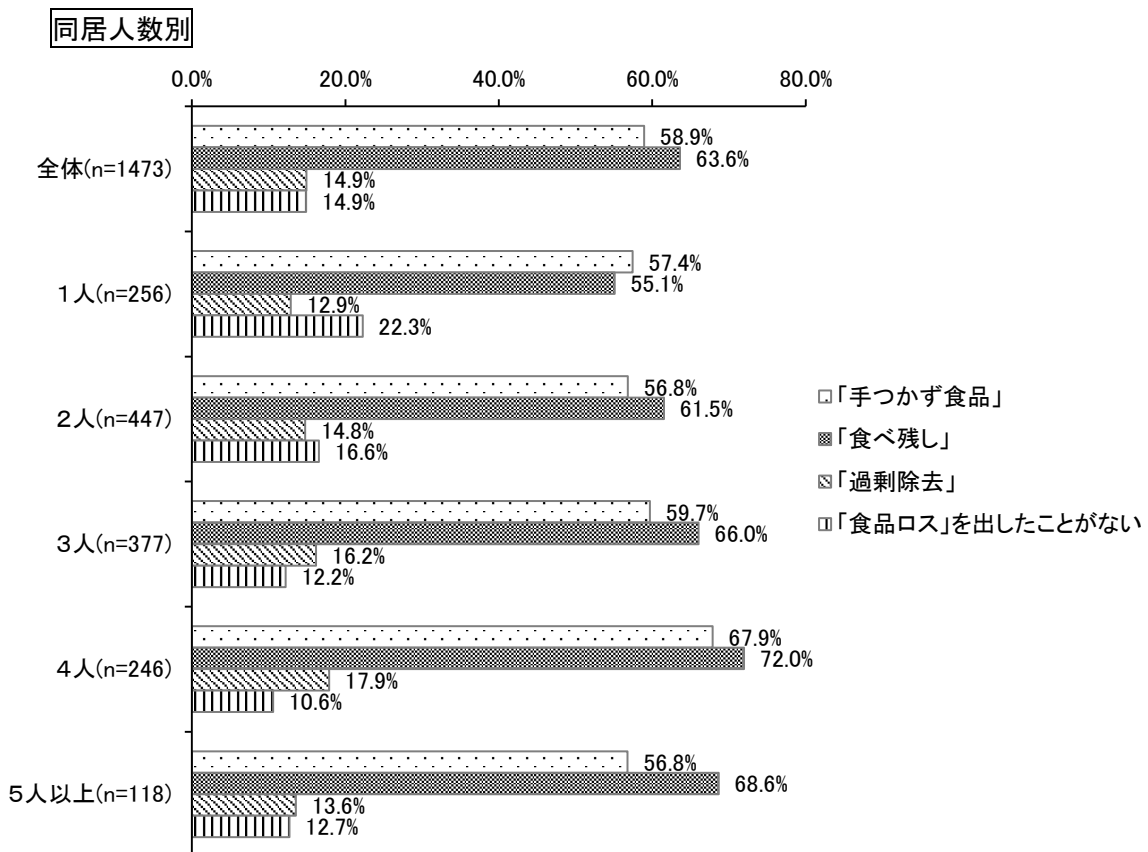
男女別



男女別に比較したところ、回答に大きな差は見られなかった。

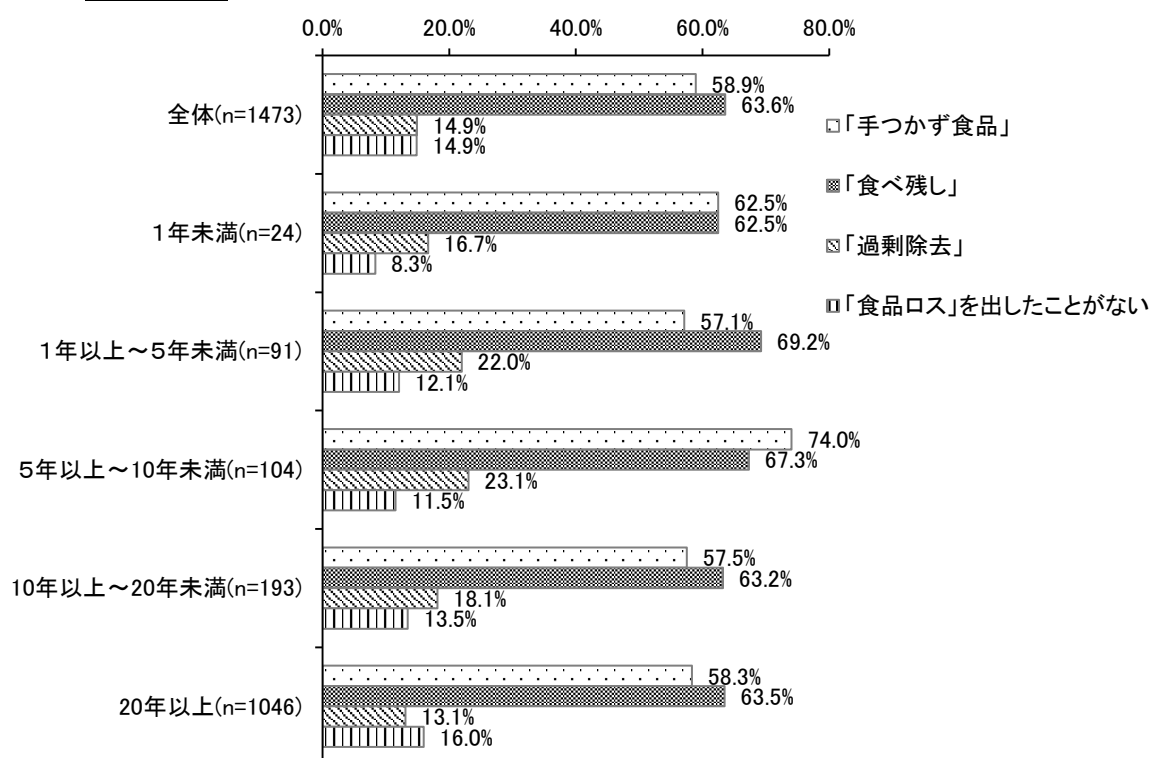


年代別に比較すると、出したことのある食品ロスは、「手つかず食品」、「食べ残し」、「過剰除去」では、「70歳以上」が最も低く、「『食品ロス』を出したことがない」では、「70歳以上」が24.4%で最も高かった。以上の比較結果から、年代が上の世代ほど、食品ロスの発生量が少ないことが分かる。



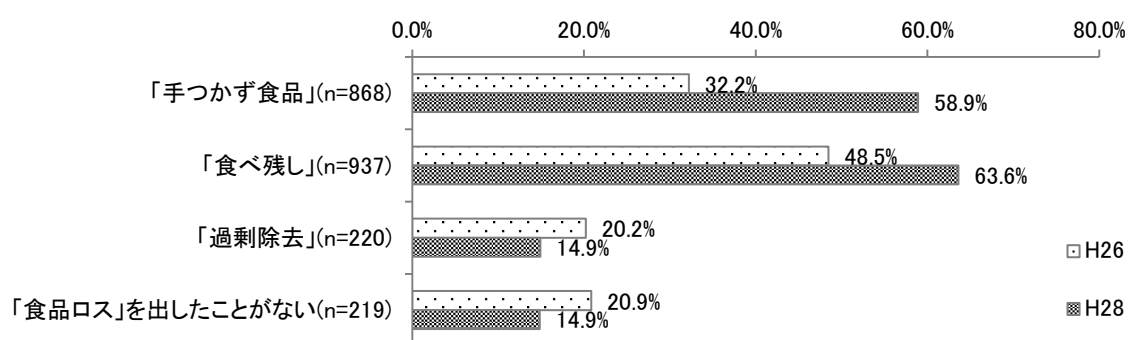
同居人数別に比較すると、「食べ残し」と回答した比率は、「4人」世帯が72.0%で最も高く、次いで「5人以上」世帯が68.6%、「3人」世帯が66.0%と続いている。また、「『食品ロス』を出したことがない」は、「1人」世帯が22.3%で最も高く、「4人」世帯が10.6%で最も低いことから、同居人数が多くなるほど発生する食品ロスも増加する傾向にあることが分かる。また、「手つかず食品」が「食べ残し」を上回ったのは、1人世帯のみだった。

居住年数別



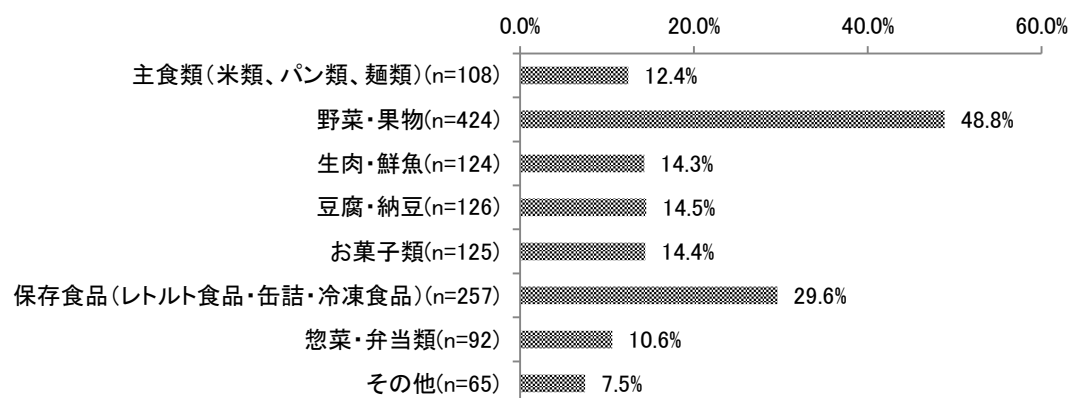
居住年数別に比較すると、「手つかず食品」と回答した人は、「5年以上～10年未満」が74.0%で最も高く、次いで「1年未満」が62.5%、「20年以上」が58.3%と続いており、「手つかず食品」が「食べ残し」を上回ったのは、「5年以上～10年未満」のみだった。

経年変化



平成26年度調査との比較では、「手つかず食品」、「食べ残し」の比率は大幅に増加しているが、「過剰除去」、「『食品ロス』を出したことがない」は低下した。

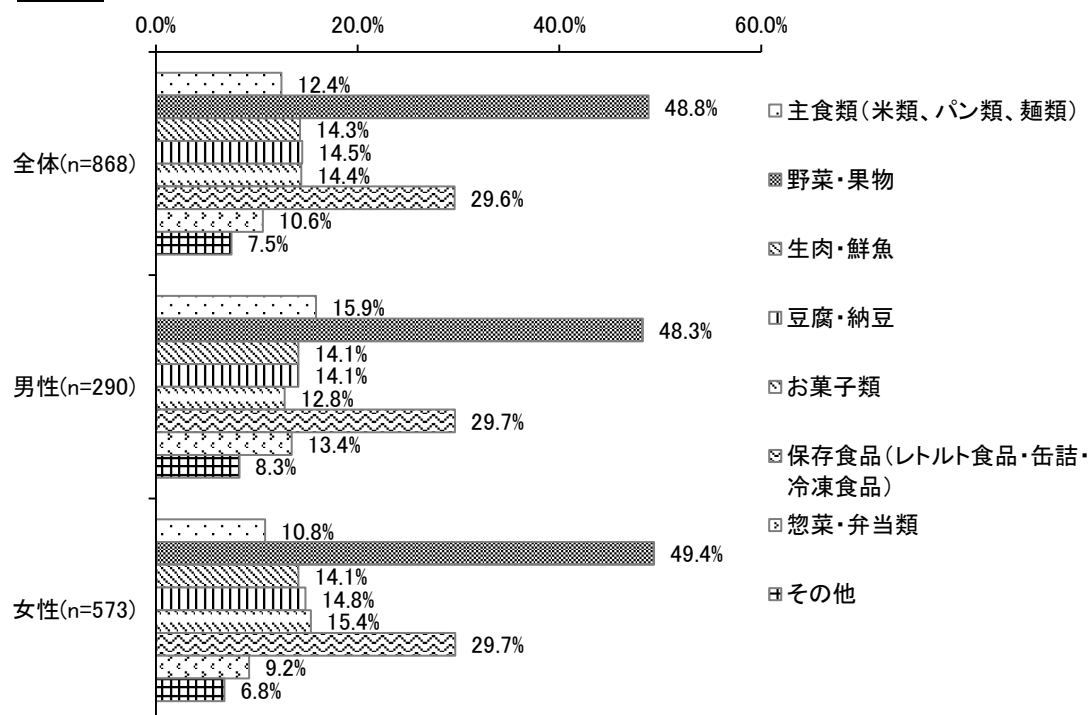
問 32 問 31 で 1 を選択した方におたずねします。あなたやあなたの家族がよく出してしまう「手つかず食品」はどれですか。○はいくつでも。(N=868)



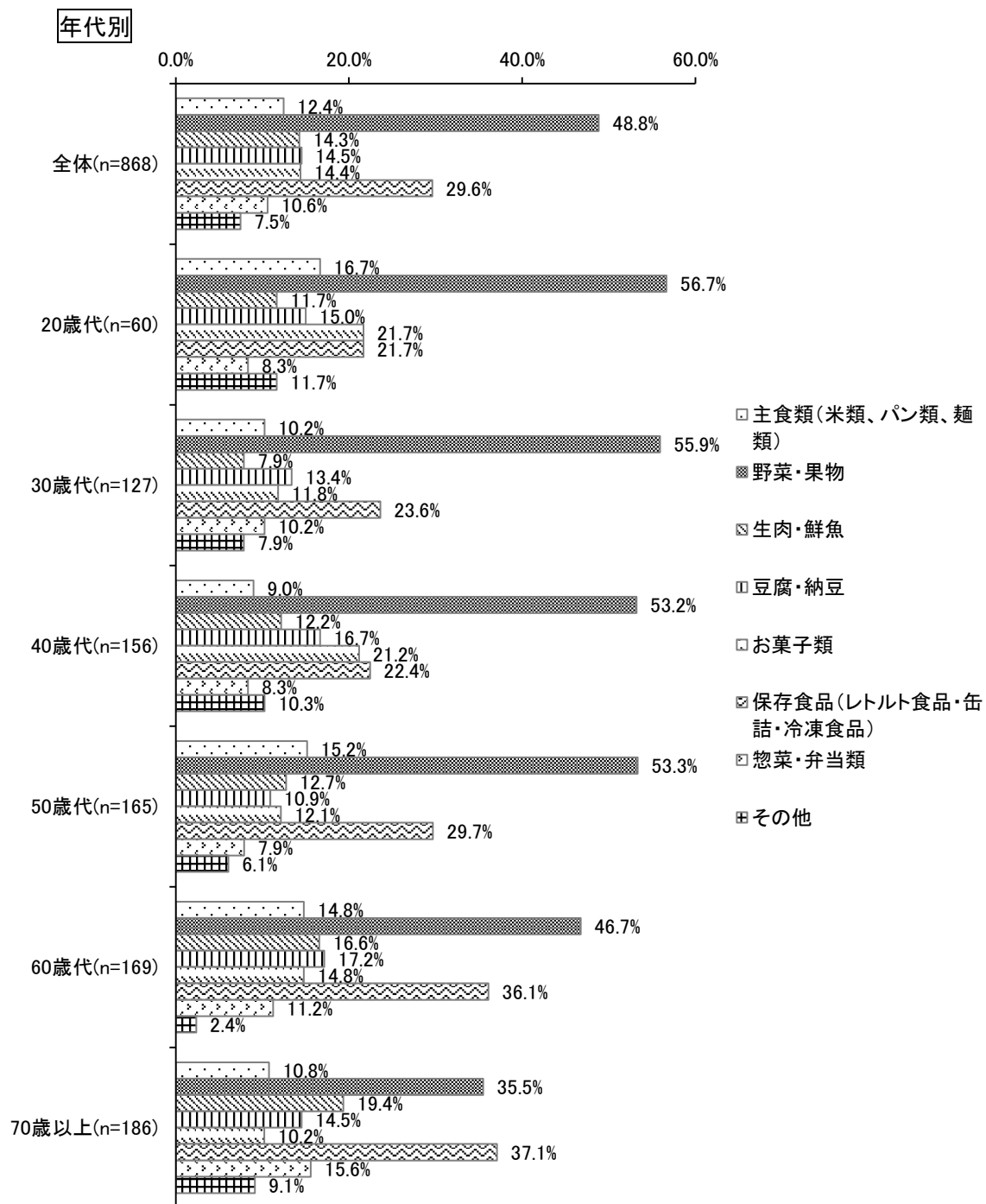
「野菜・果物」が 48.8% で最も高く、次いで「保存食品（レトルト食品・缶詰・冷凍食品）」が 29.6%、「豆腐・納豆」が 14.5% と続いている。

また、その他の意見として、「調味料」、「ヨーグルト等の乳製品」などが挙げられた。

男女別



男女別に比較したところ、回答に大きな差は見られなかった。

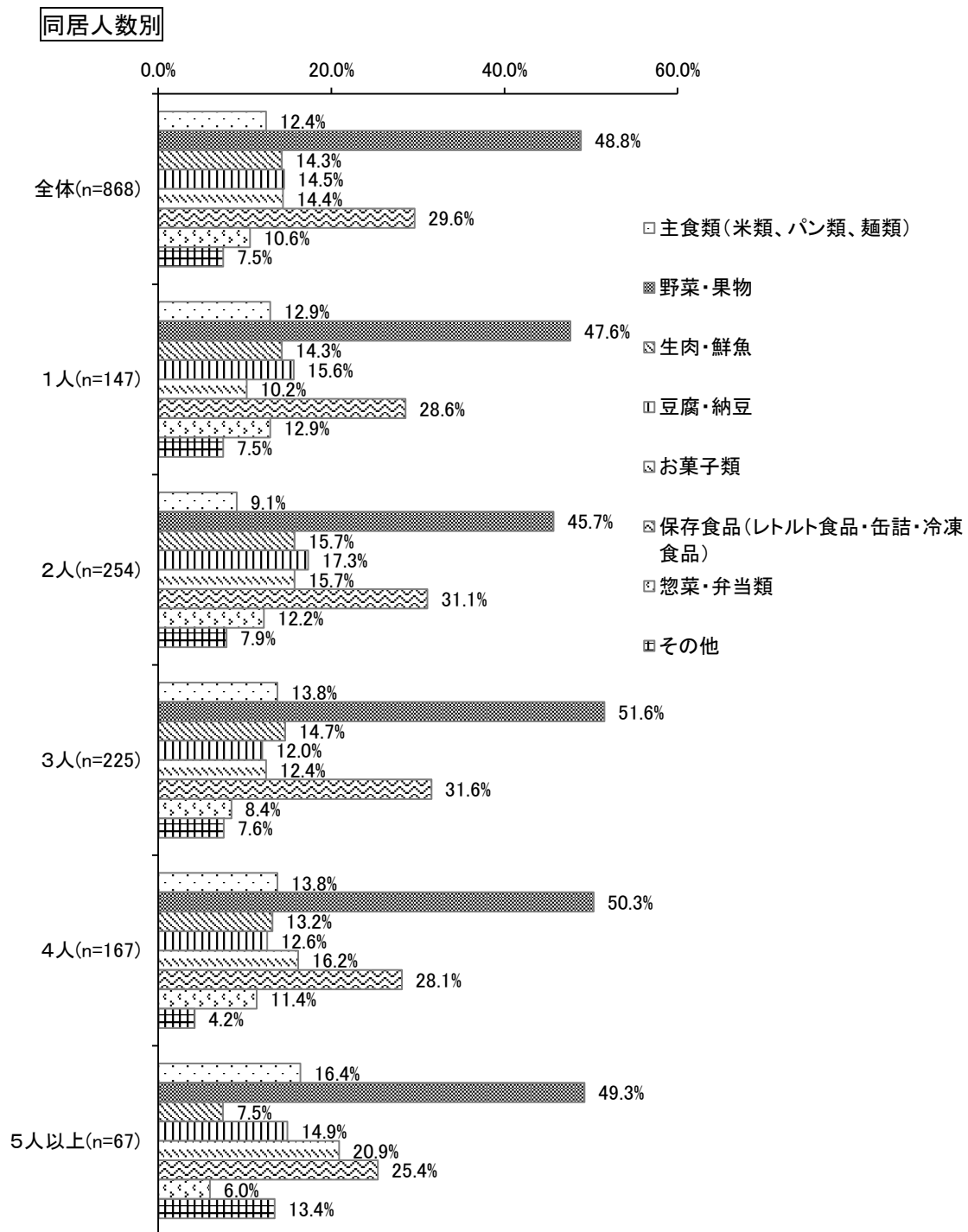


年代別に比較すると、「20 歳代」の 56.7%が「野菜・果物」と回答しており、最も高い。次いで「30 歳代」の 55.9%、「50 歳代」の 53.3%と続いている。

「20 歳代」の 21.7%、「40 歳代」の 21.2%が「お菓子類」と回答しており、他の年代に比べて比率が高い。

「70 歳以上」の 37.1%が「保存食品（レトルト食品・缶詰・冷凍食品）」と回答しており、最も高い。次いで「60 歳代」が 36.1%、「50 歳代」が 29.7%と続いている、年代が上がるにつれて、保存食品の廃棄が増える傾向にある。

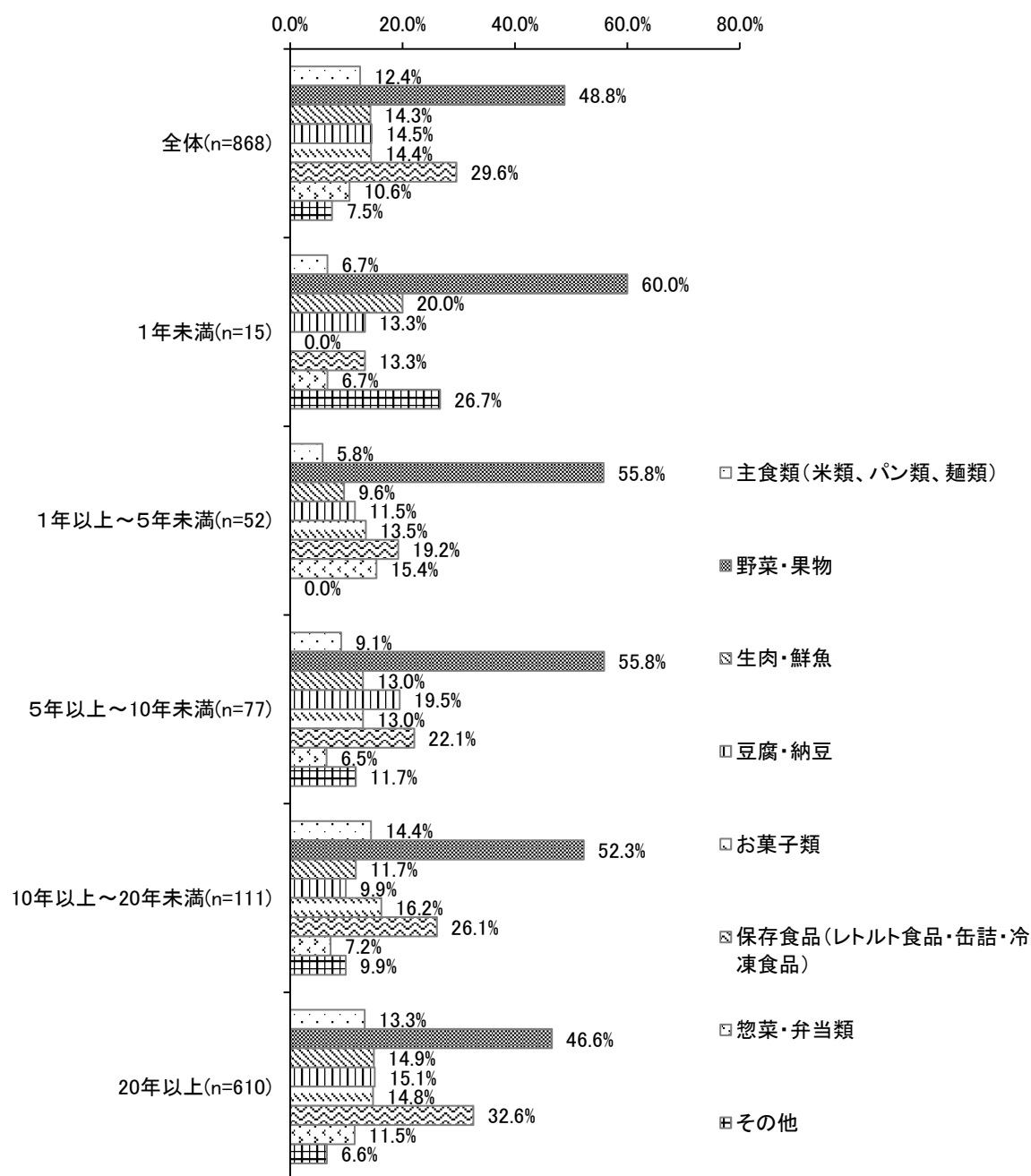
70 歳以上は、「野菜・果物」の比率が他の年代に比べて低いが、加工食品が廃棄される比率が高い。しかし、「お菓子類」の比率は 10.2%で最も低くなっている。



同居人数別に比較すると、「5人以上」世帯では、「生肉・鮮魚」及び、「惣菜・弁当類」の比率が最も低い、「お菓子類」については、20.9%で最も比率が高い。

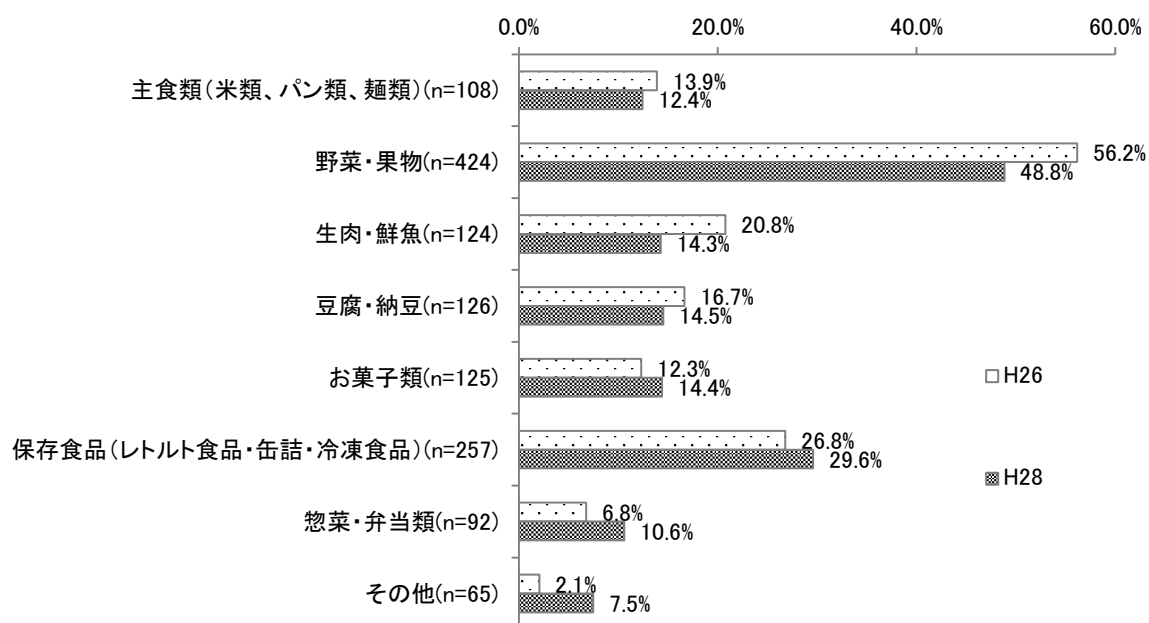
「保存食品（レトルト食品・缶詰・冷凍食品）」については、「3人」世帯の31.6%が最も高く、次いで「2人」世帯の31.1%、「1人」世帯の28.6%と続いている。

居住年数別



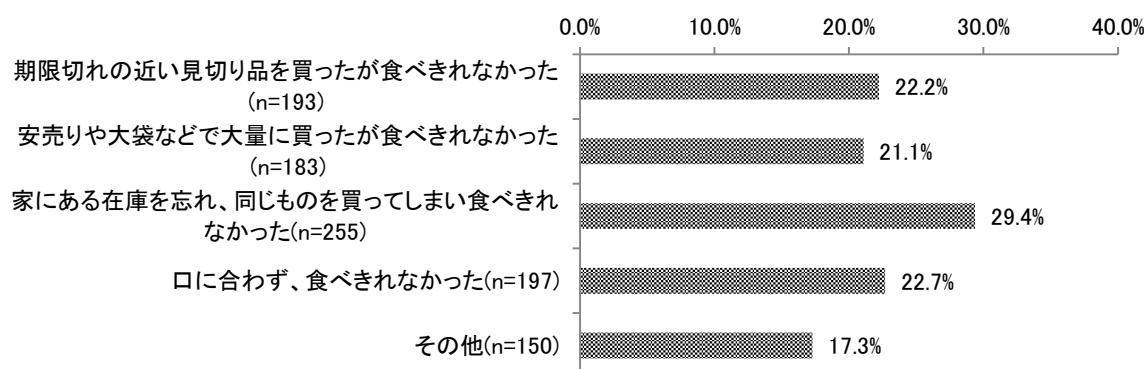
居住年数別に比較すると、「保存食品（レトルト食品・缶詰・冷凍食品）」については、「20年以上」の32.6%が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の26.1%、「5年以上～10年未満」の22.1%と続き、居住年数が長くなるほど、その比率が高くなる傾向にあることが分かる。

経年変化



平成 26 年度調査との比較では、手つかず食品として廃棄したことがある食品は、「野菜・果物」、「生肉・鮮魚」などの生鮮食品の比率は低下しているが、「お菓子類」、「保存食品」及び、「惣菜・弁当類」などの加工食品の比率は上昇している。これらの原因として、中食産業の拡大や、未婚率の上昇、共働き世帯の増加など、社会的な要因もあると考えられる。

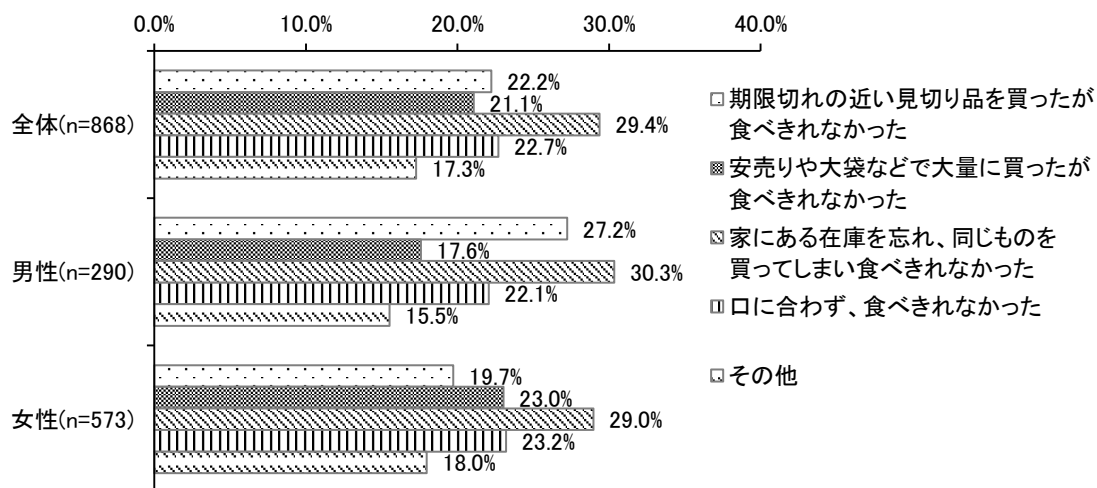
問 33 問 31 で 1 を選択した方におたずねします。あなたやあなたの家族が「手つかず食品」を出してしまう主な理由はどれですか。○はいくつでも。(N=868)



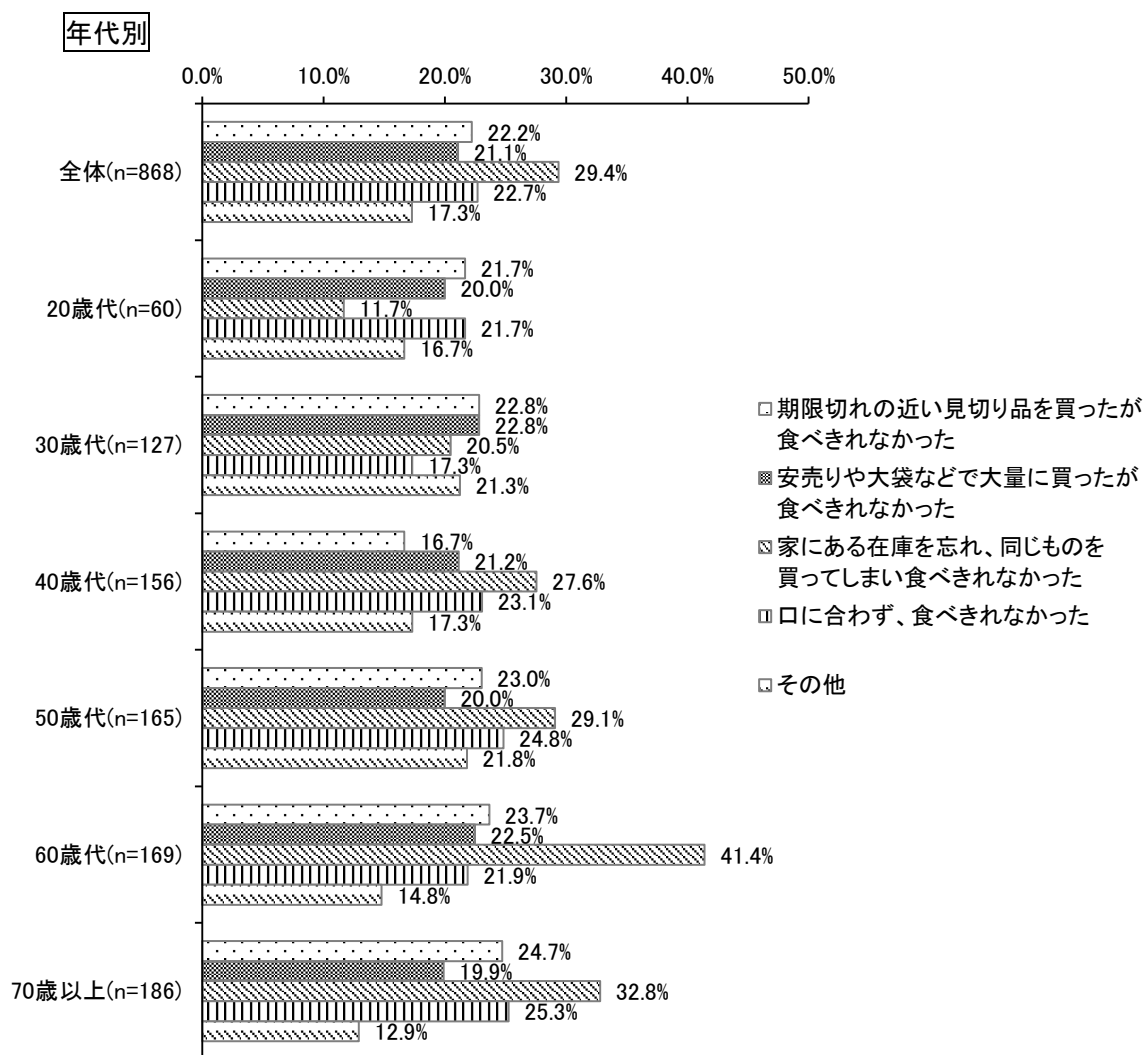
「家にある在庫を忘れ、同じものを買ってしまい食べきれなかった」が 29.4%で最も高く、次いで「口に合わず、食べきれなかった」が 22.7%、「期限切れの近い見切り品を買ったが食べきれなかった」が 22.2%と続いている。

また、その他の意見として、「非常食として保存していたが、消費期限が過ぎていた」、「食べるのを忘れていて、消費期限が過ぎていた」、「家で食べることができなかった（仕事、外食など）」、「いただき物を食べなかった」などが挙げられた。

男女別

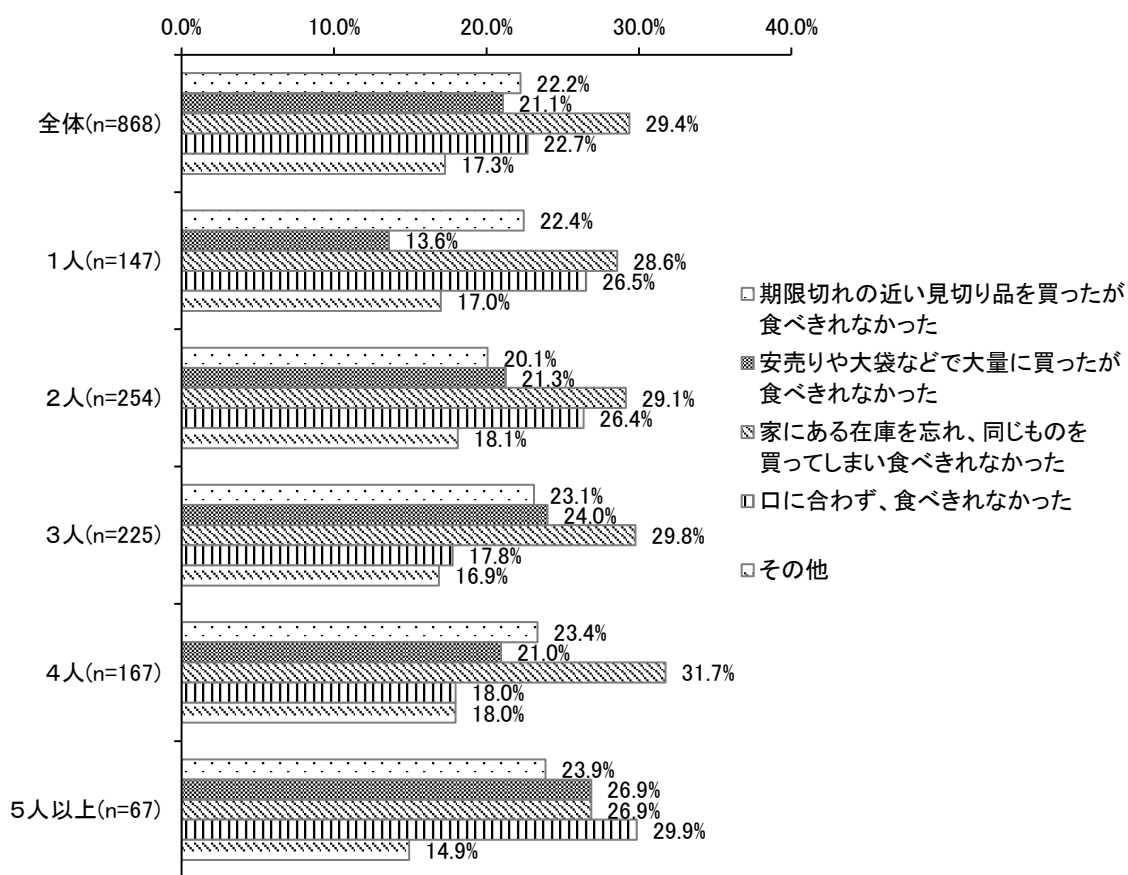


男女別に比較すると、「期限切れの近い見切り品を買ったが食べきれなかった」については、「男性」が 27.2%で、「女性」の 19.7%を上回った。



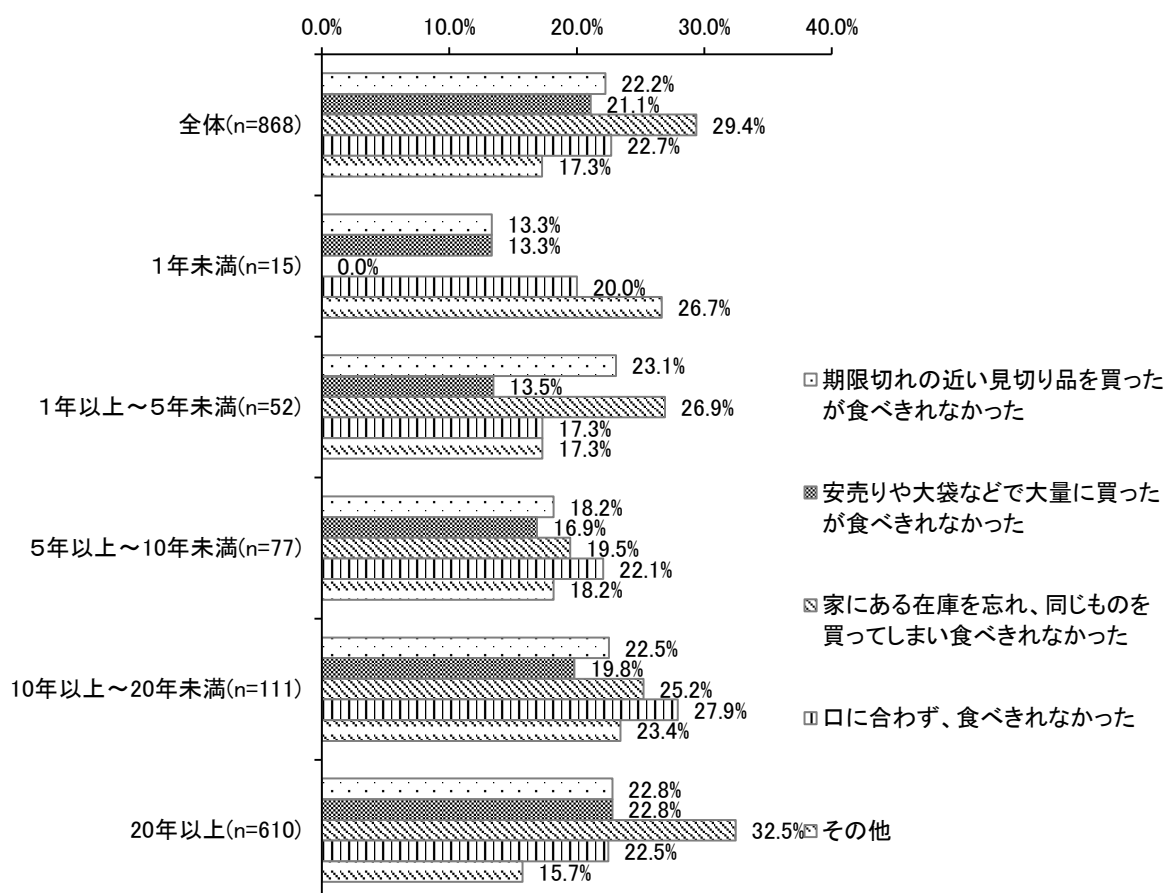
年代別に比較すると、「60 歳代」の 41.4%が、「家にある在庫を忘れ、同じものを買ってしまい食べきれなかった」と回答し、最も比率の低い「20 歳代」とは、29.7%の差があった。年代が上の世代ほど、同じものを買ってしまう傾向にあることが分かる。

同居人数別



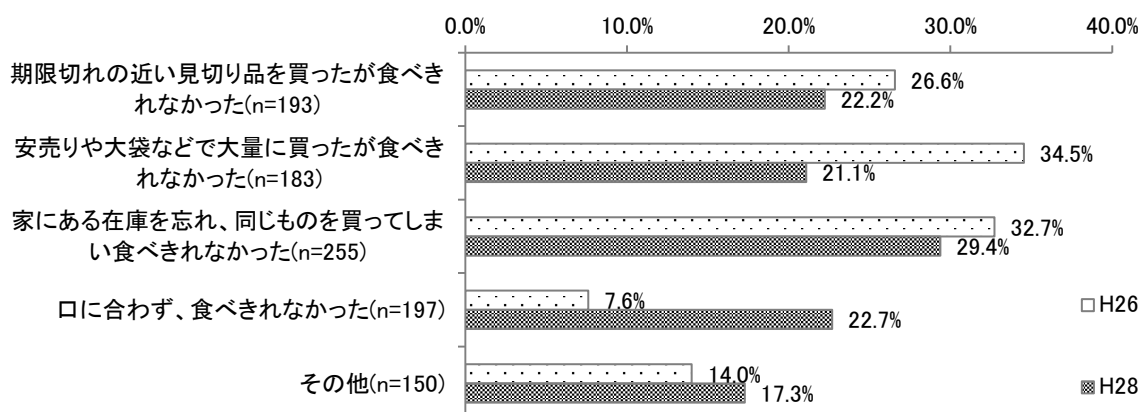
同居人数別に比較すると、「1人」世帯では、「安売りや大袋などで大量に買ったが食べきれなかった」と回答する比率が13.6%で最も低く、最も高いのは「5人以上」世帯の26.9%だった。2人以上の世帯では、この比率が20.0%を超えることから、「1人」世帯は他の世帯に比べて、食品は適量を購入していると考えられる。

居住年数別



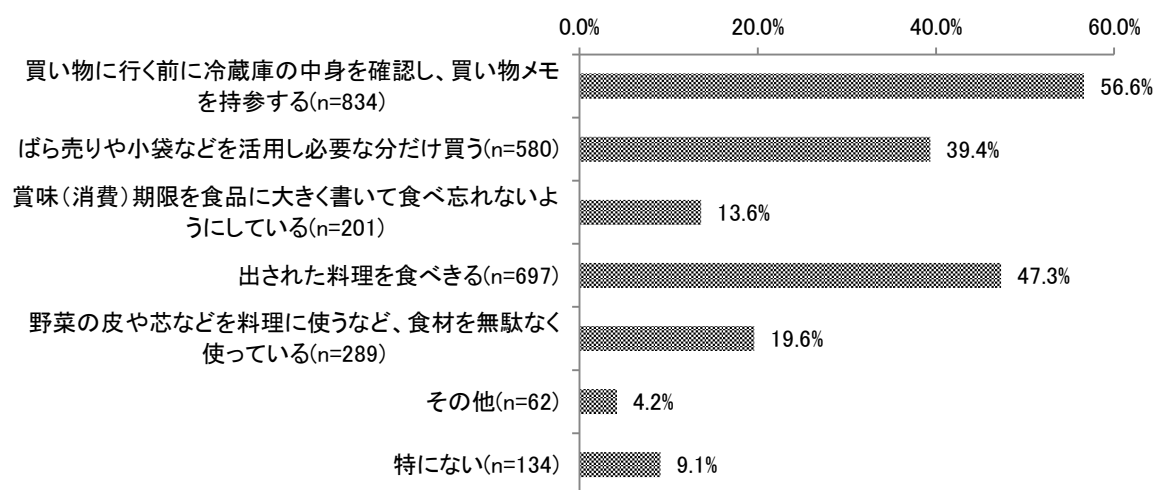
居住年数別に比較すると、「1年未満」では「家にある在庫を忘れ、同じものを買ってしまい食べきれなかった」は0.0%だったが、「口に合わず、食べきれなかった」は26.7%で、他の世帯に比べてその比率が高い。

経年変化



平成26年度調査との比較では、「口に合わず、食べきれなかった」、「その他」以外の比率は低下しているが、「口に合わず、食べきれなかった」については、15.1%増加している。

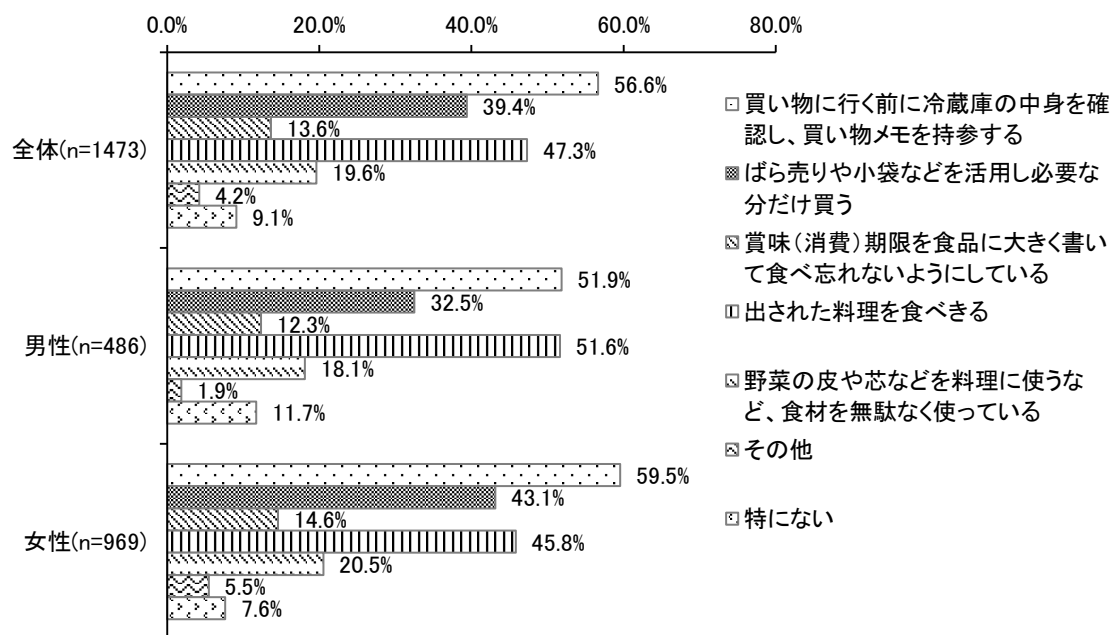
問 34 あなたやあなたの家族が「食品ロス」を出さないために、工夫していることはありますか。○はいくつでも。(n=1,473)



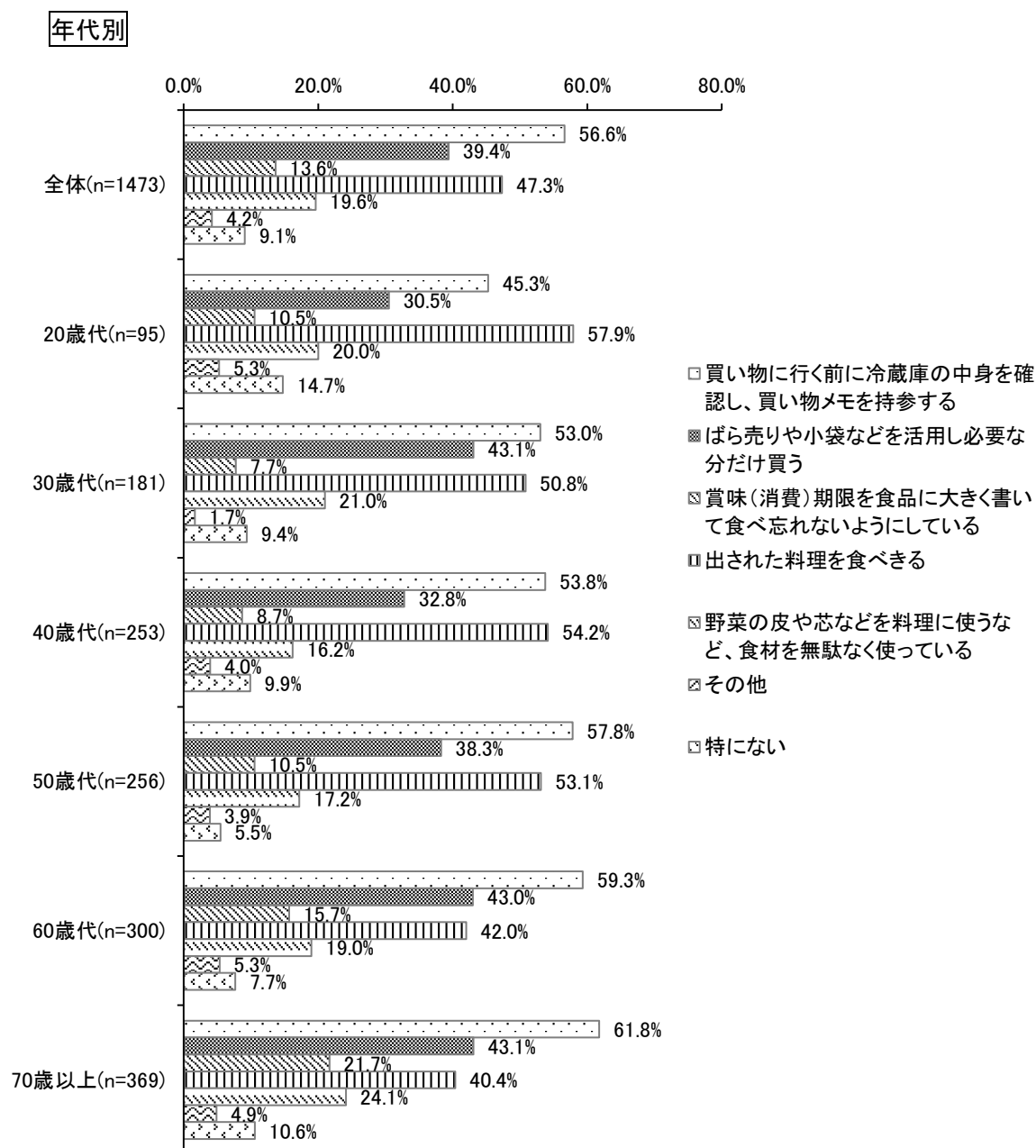
「買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、買い物メモを持参する」が56.6%で最も高く、次いで「出された料理を食べきる」が47.3%、「ばら売りや小袋などを活用し必要な分だけ買う」が39.4%と続いている。

また、その他の意見として、「食品を冷凍して保存する」、「賞味(消費)期限を過ぎていても気にしない」、「料理を作りすぎない」などが挙げられた。

男女別



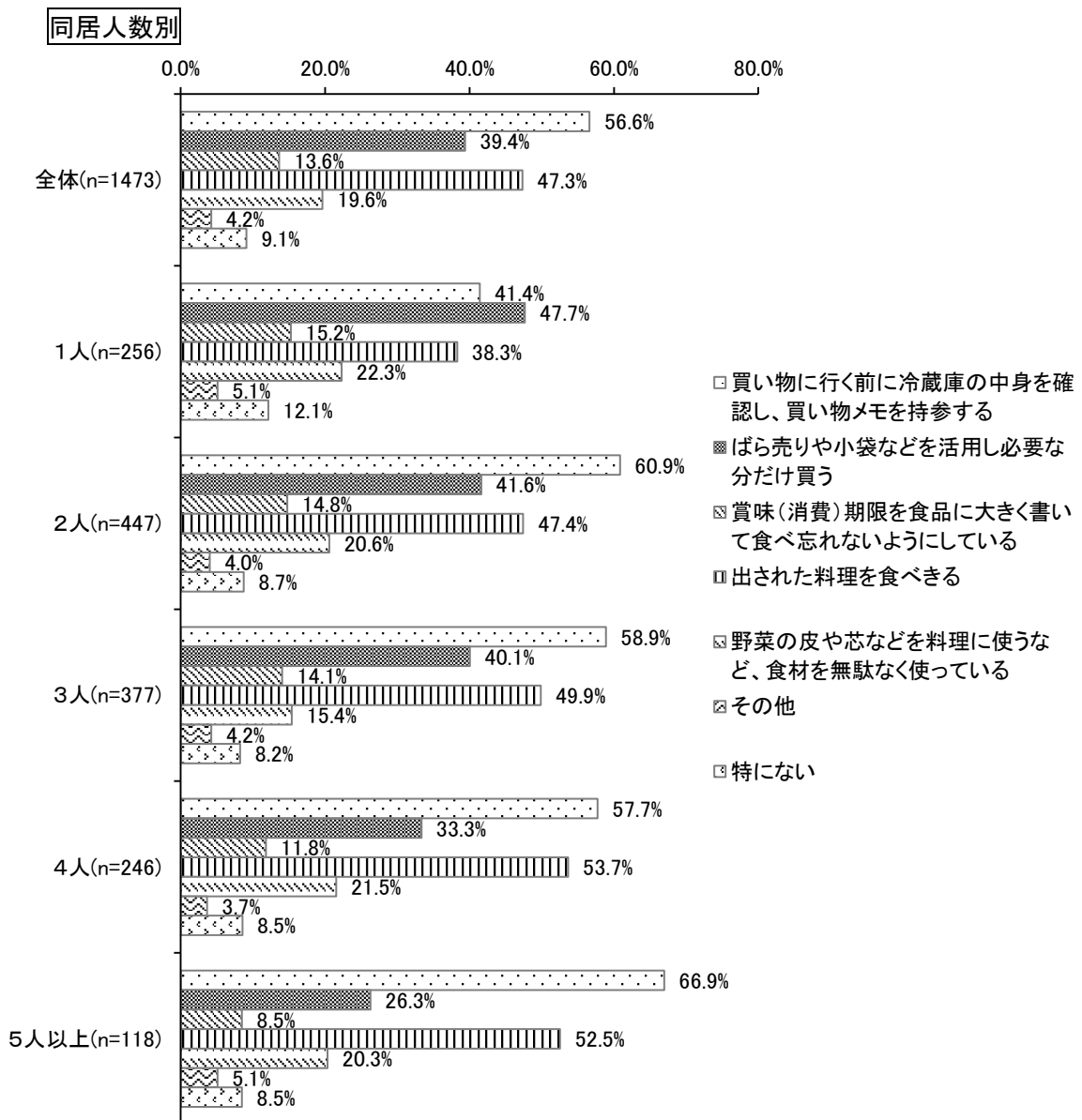
男女別に比較すると、「出された料理を食べきる」のみ男性が女性を上回ったが、他の項目では、女性の比率が高かった。



年代別に比較すると、「買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、買い物メモを持参する」では、「70歳以上」の比率が61.8%で最も高く、年代が下がるにつれて、比率も低下している。

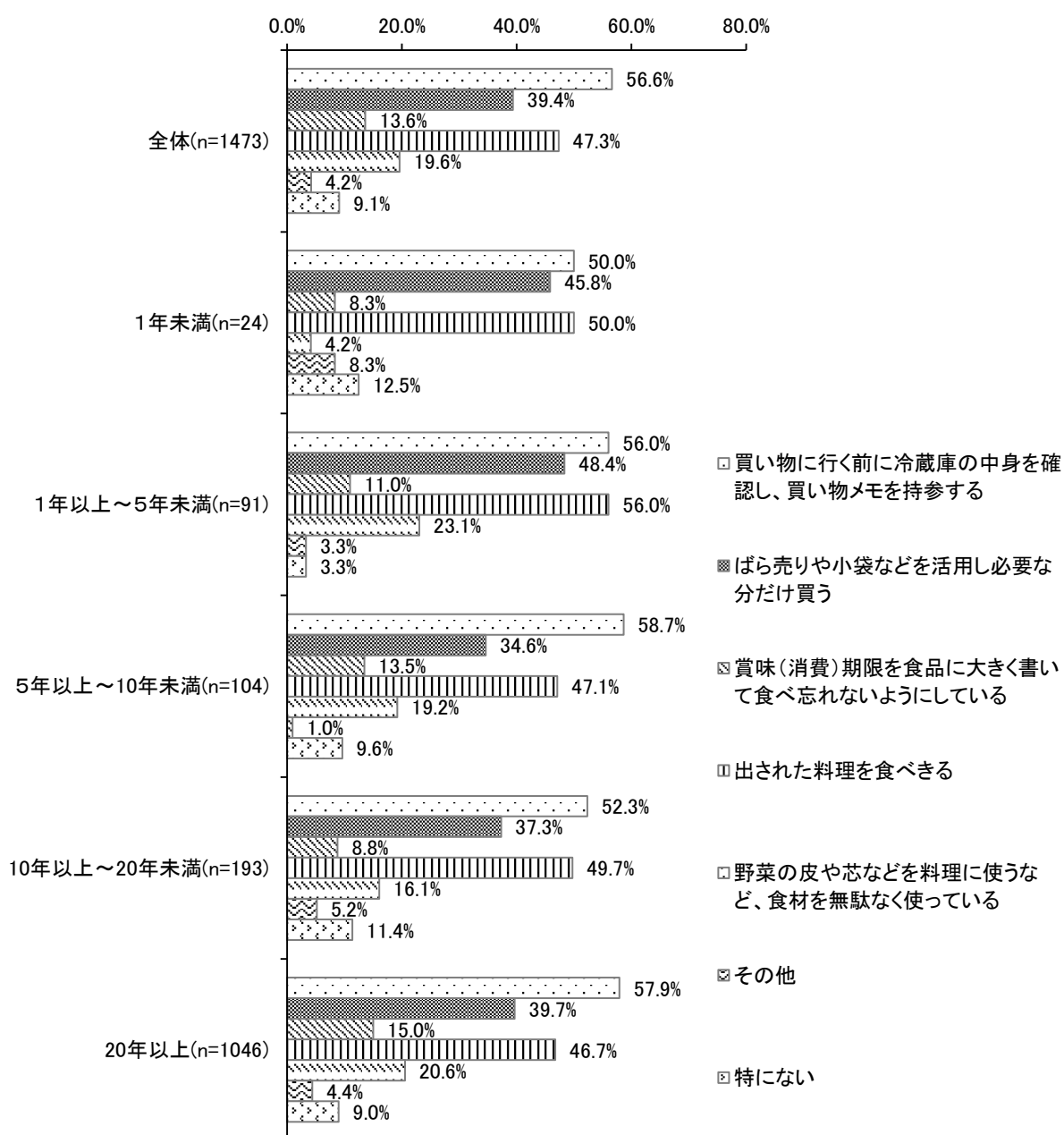
また、「出された料理を食べきる」、「特にない」では、「20歳代」が最も高くなっている。

「買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、買い物メモを持参する」、「野菜の皮や芯などを料理に使うなど、食材を無駄なく使っている」など、食材を無駄にしない取組は、年代が上の世代の比率が高い傾向にある。問31において、『『食品ロス』を出したことがない』の回答は、年代が上の世代の比率が高かったことから、適量を購入することが、食品ロスの削減につながると考えられる。



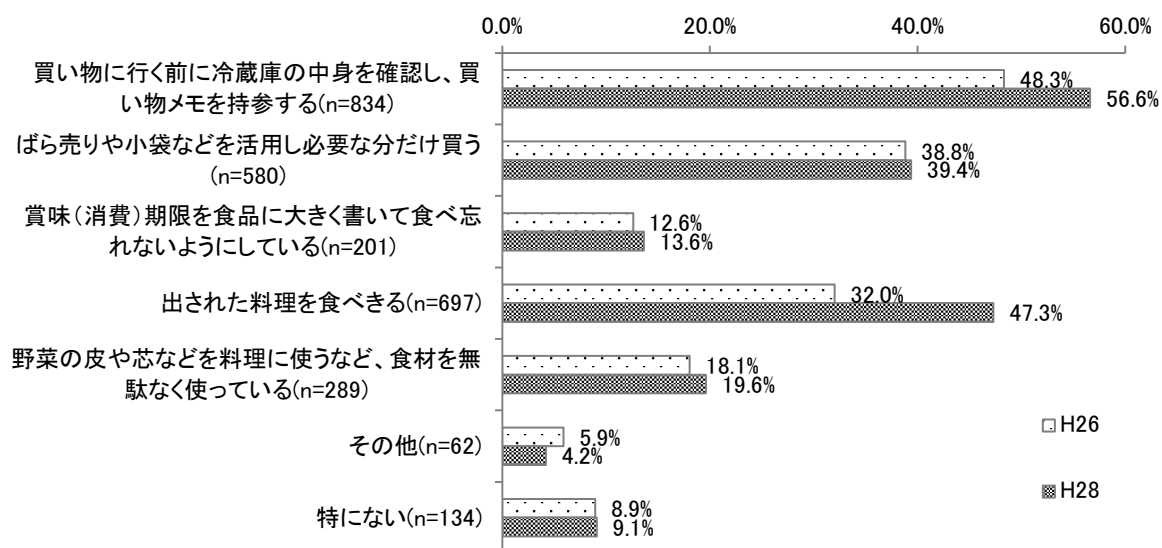
同居人数別に比較すると、「ばら売りや小袋などを活用し必要な分だけ買う」は、「1人」世帯の47.7%が最も高く、次いで「2人」世帯の41.6%、「3人」世帯の40.1%と続いた。同居人数が少ないほど比率が高くなることから、人数が少ない世帯では、適量を購入していることが分かる。

居住年数別



居住年数別に比較すると、「1年未満」で「野菜の皮や芯などを料理に使うなど、食材を無駄なく使っている」と回答したのは4.2%で、他の居住年数と比べて大幅に低い比率となった他は、居住年数別で大きな差は見られなかった。

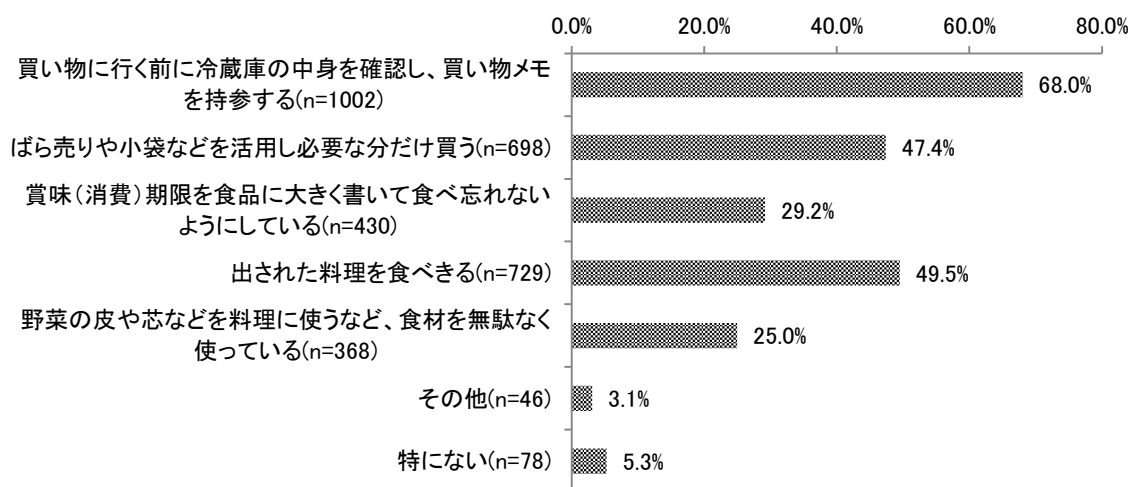
経年変化



平成 26 年度調査との比較では、「その他」以外の全ての項目の比率が増加している。食品ロスを出さないための取組を実践している世帯は増加しており、今後も継続して食品ロス削減の取組を呼び掛けていく必要がある。

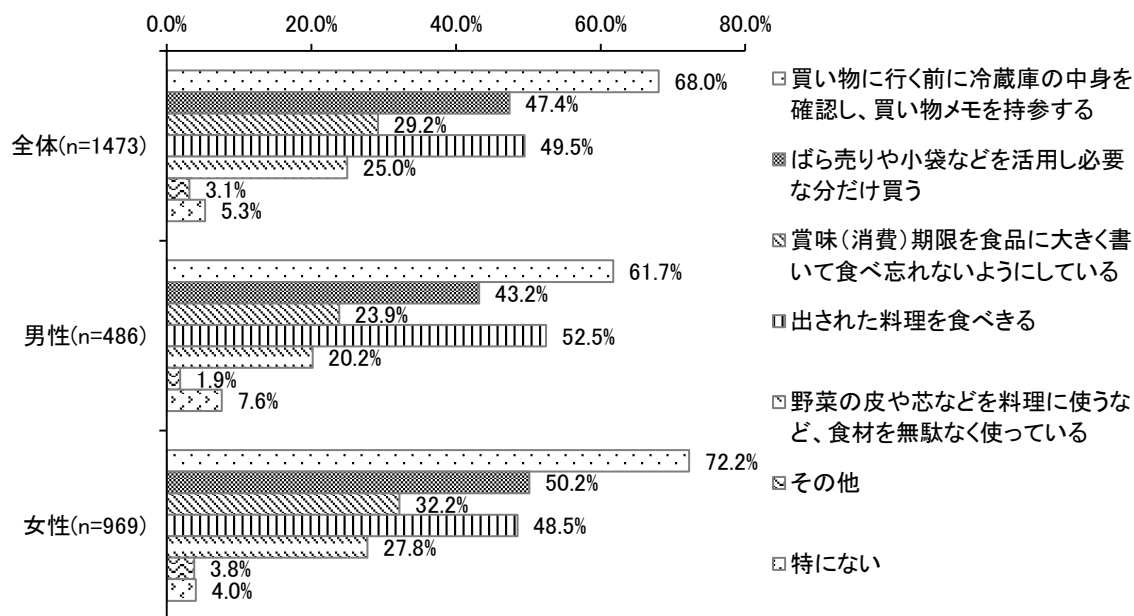
しかし、問 31 において、「手つかず食品」、「食べ残し」の比率は平成 26 年度調査と比較して、大幅に増加していることから、発生した食品ロスの具体的な食材を精査した上で、食品ロス削減の取組を検討することが重要だと考えられる。

問 35 あなたやあなたの家族が「食品ロス」を出さないために、取り組みやすいと思うもの
 はありますか。○はいくつでも。(n=1,473)

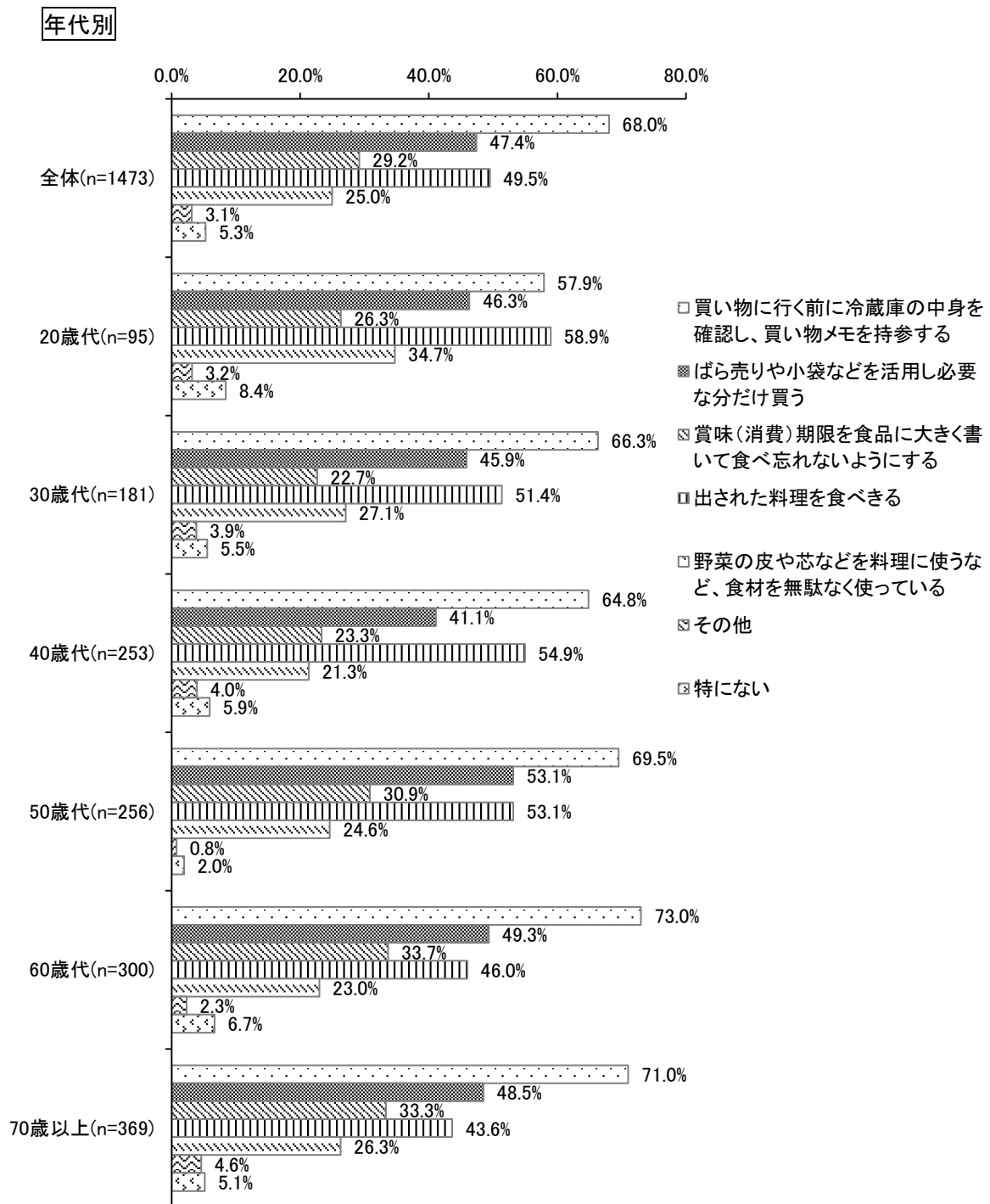


「買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、買い物メモを持参する」が68.0%で最も高く、次いで「出された料理を食べきる」が49.5%、「ばら売りや小袋などを活用し必要な分だけ買う」が47.4%と続いている。

男女別

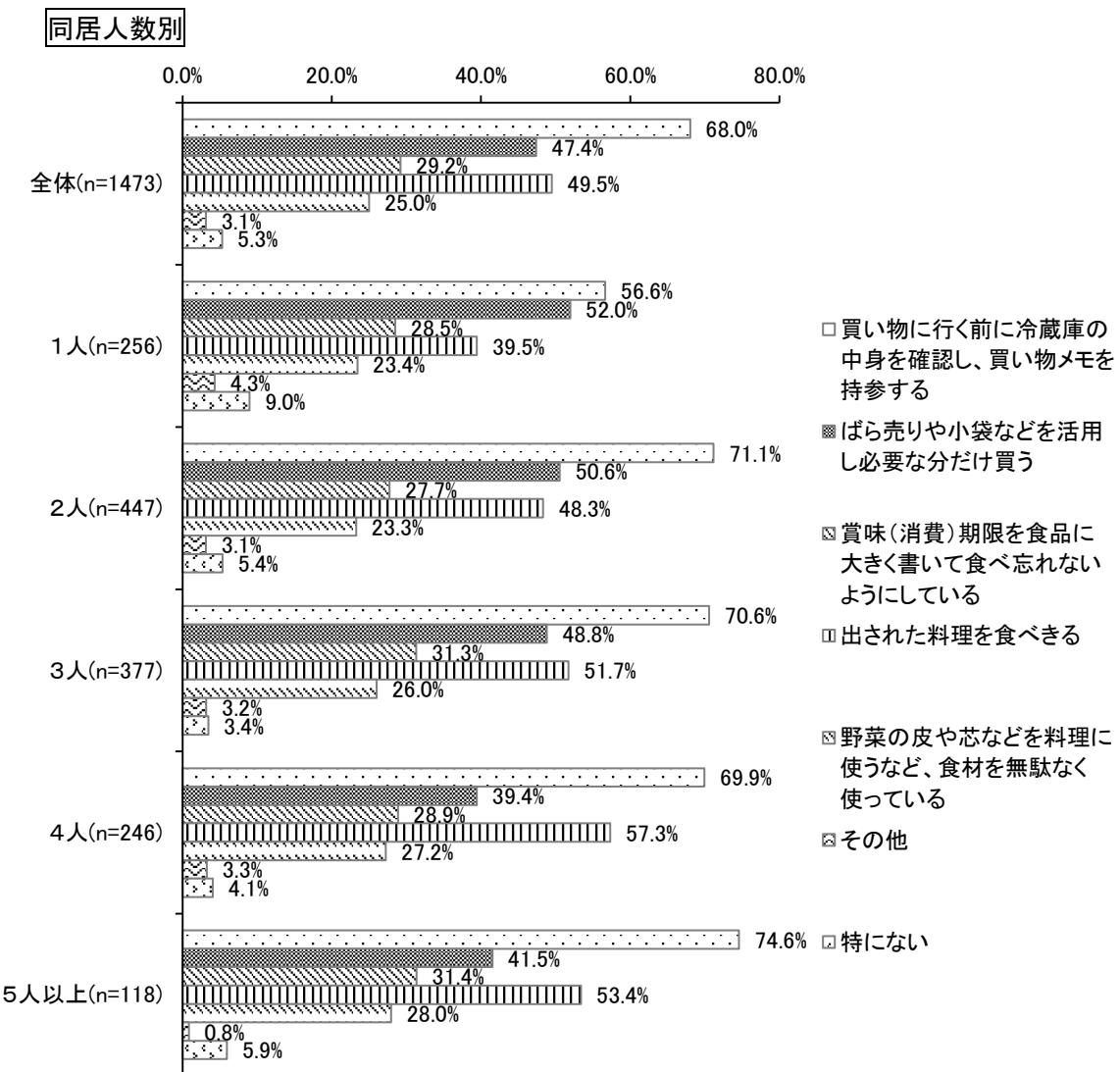


問 34 の現在取り組んでいる工夫と同様の回答傾向であり、「出された料理を食べきる」のみ男性が女性を上回ったが、他の項目では、女性の比率が高かった。



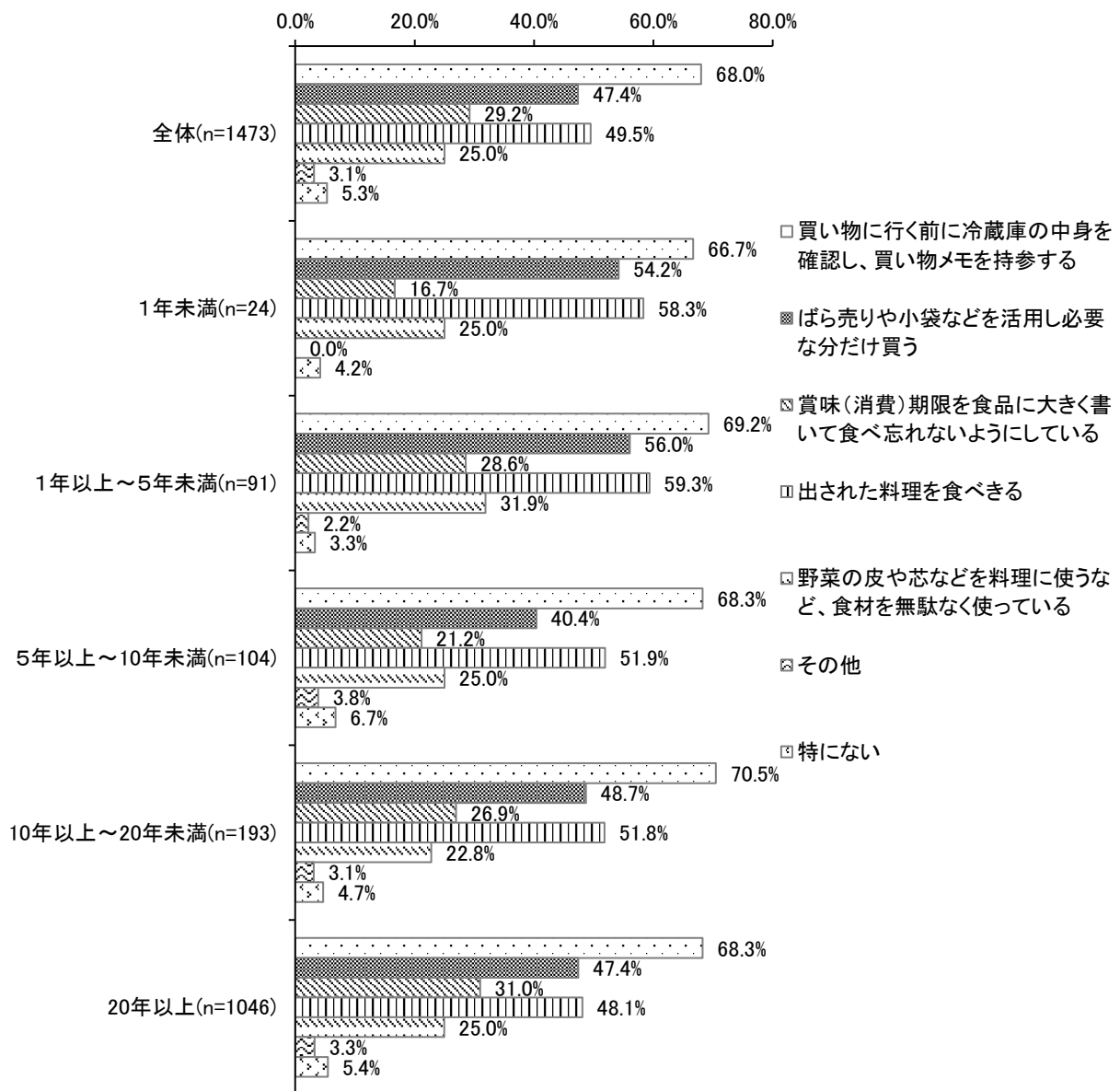
年代別に比較すると、「買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、買い物メモを持参する」と回答したのは、「60歳代」が73.0%で最も高く、「賞味（消費）期限を食品に大きく書いて食べ忘れないようにする」においても、「60歳代」が最も高かった。また、「出された料理を食べきる」と回答したのは、「20歳代」が58.9%で最も高かった。

以上の比較結果から、年代が下の世代では、出された料理を食べきることが取り組みやすく、年代が上の世代は、メモを取って管理することが取り組みやすい傾向にあることが分かった。これらの取り組みやすさは、外食又は、自宅で料理する頻度とも関係すると考えられる。



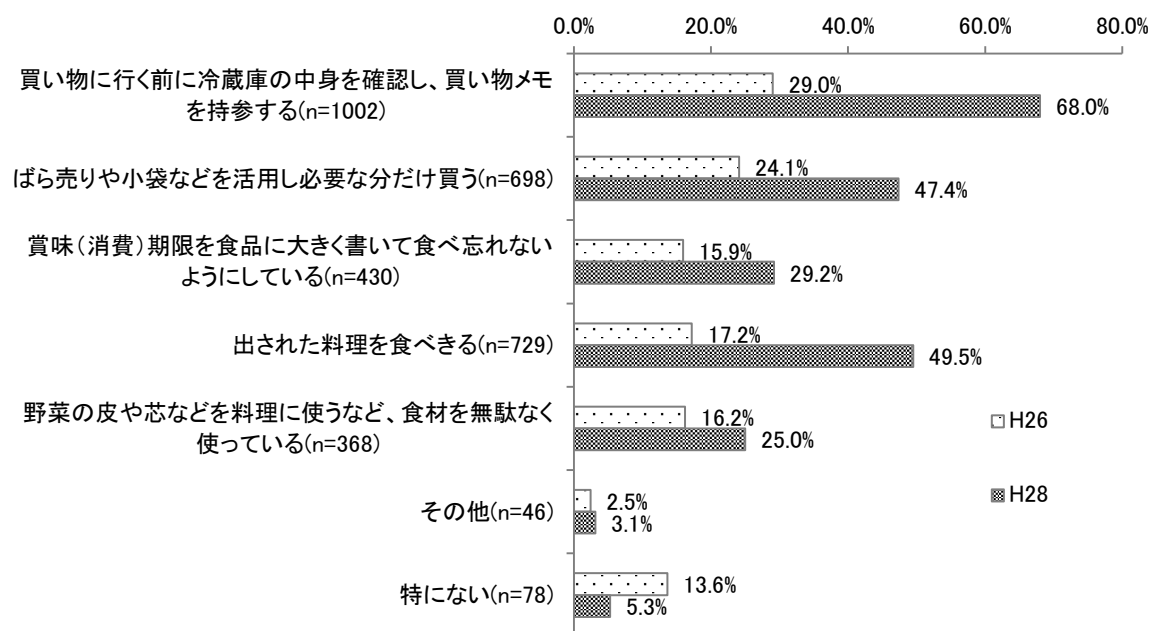
問 34 の現在取り組んでいる工夫と同様の回答傾向であり、「ばら売りや小袋などを活用し必要な分だけ買う」は、「1人」世帯の 52.0% が最も高く、次いで「2人」世帯の 50.6%、「3人」世帯の 48.8% と続いた。

居住年数別



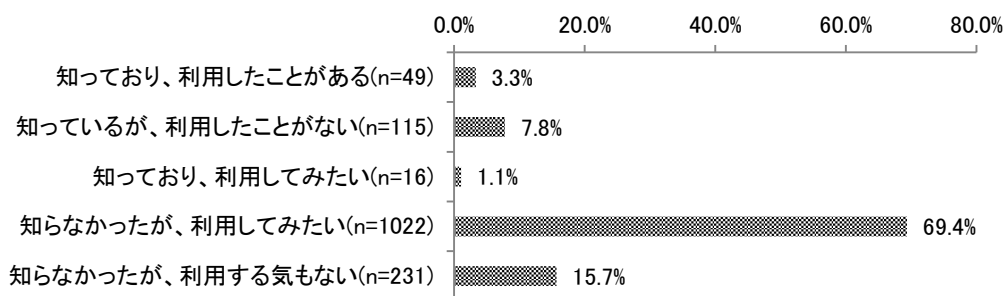
居住年数別に比較したところ、回答に大きな差は見られなかった。

経年変化



平成 26 年度調査と比較して、「特にない」以外のすべての項目で増加している。特に、「買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、買い物メモを持参する」では、平成 26 年度から 39%増加し、「出された料理を食べきる」では、32.3%増加した。平成 26 年度より、食品ロスを減らす取組に関心が強くなっていることが分かる。

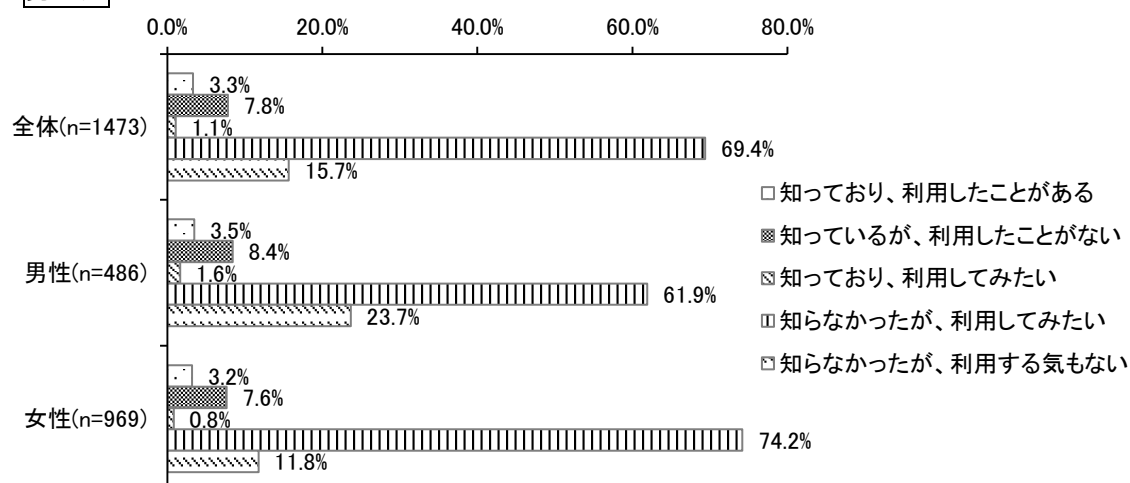
問 36 あなたは、「食べきり協力店」を知っていますか。○はひとつ。(n=1,473)



「知らなかったが、利用してみたい」が 69.4% で最も高く、次いで「知らなかったが、利用する気もない」が 15.7% と続いている。利用の有無にかかわらず、「知っている」と回答したのは 12.2% にとどまった。

「知らなかったが、利用してみたい」と考える市民が非常に多いため、食べきり協力店の周知を図ることで、利用客の増加につながると考えられる。

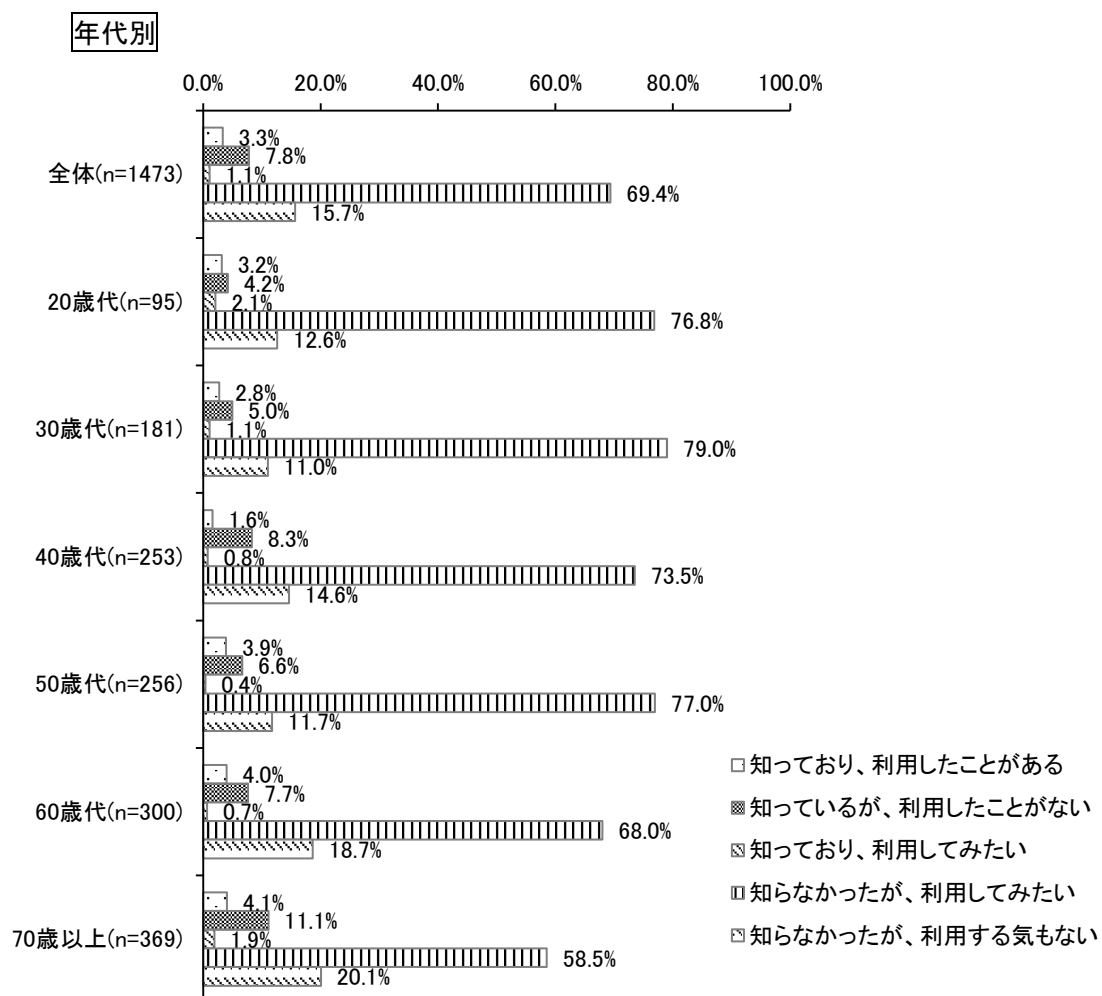
男女別



男女別に比較すると、「食べきり協力店」の認知度に差は見られなかったが、「知らなかったが、利用してみたい」では、「女性」が 74.2% で、「男性」の 61.9% を上回った。

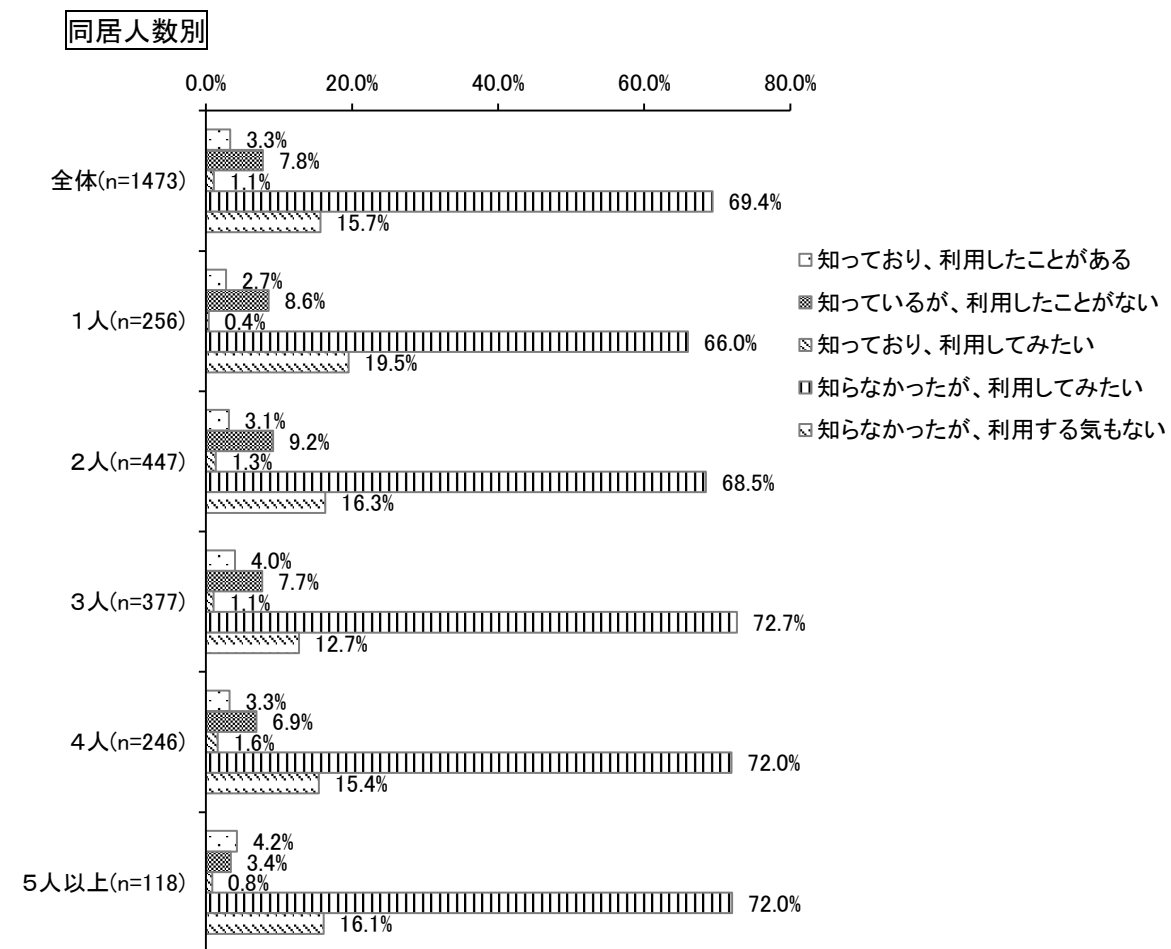
一方、「知らなかったが、利用する気もない」では、「男性」が 23.7% で、「女性」の 11.8% を上回った。

「食べきり協力店」については、特に、女性に周知を図ることで利用客の増加につながると考えられる。



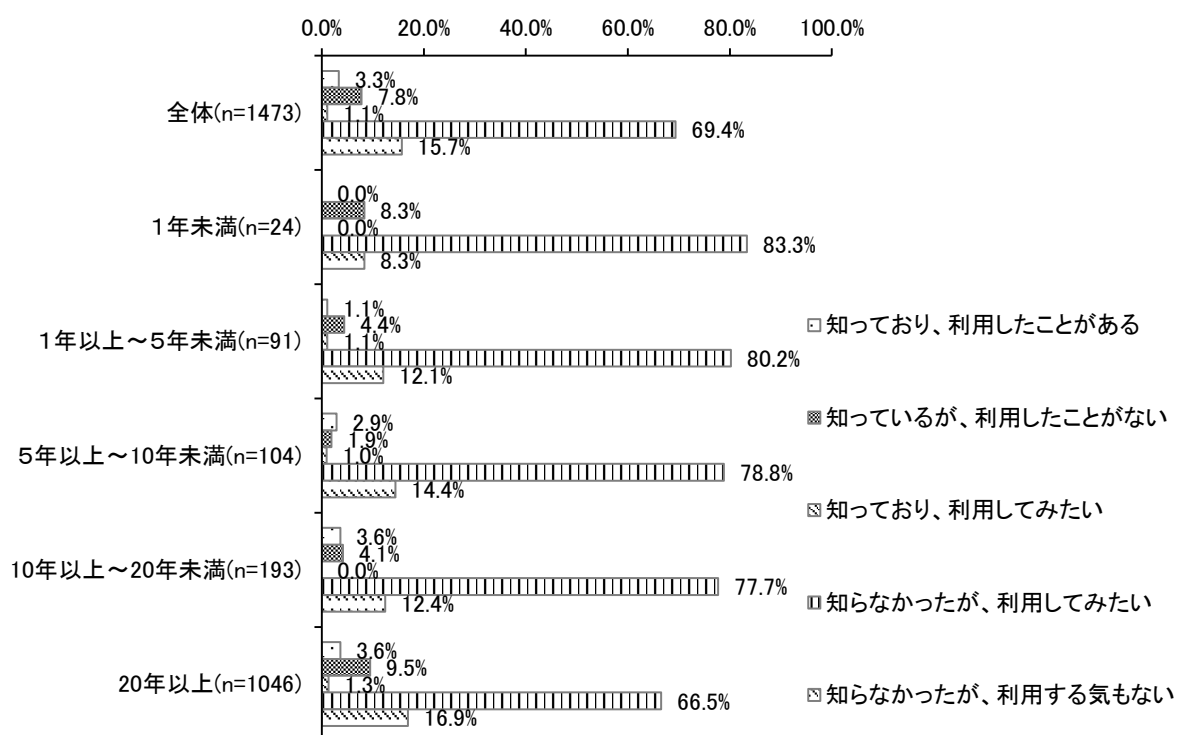
年代別に比較すると、「知らなかったが、利用してみたい」と回答する比率が、「70歳以上」が58.5%で最も低く、「60歳代」の68.0%が続いた。

また、「知らなかったが、利用する気もない」においても、「70歳以上」が20.1%で最も高く、「60歳代」の18.7%が続いた。



同居人数別に比較したところ、回答に大きな差は見られなかった。

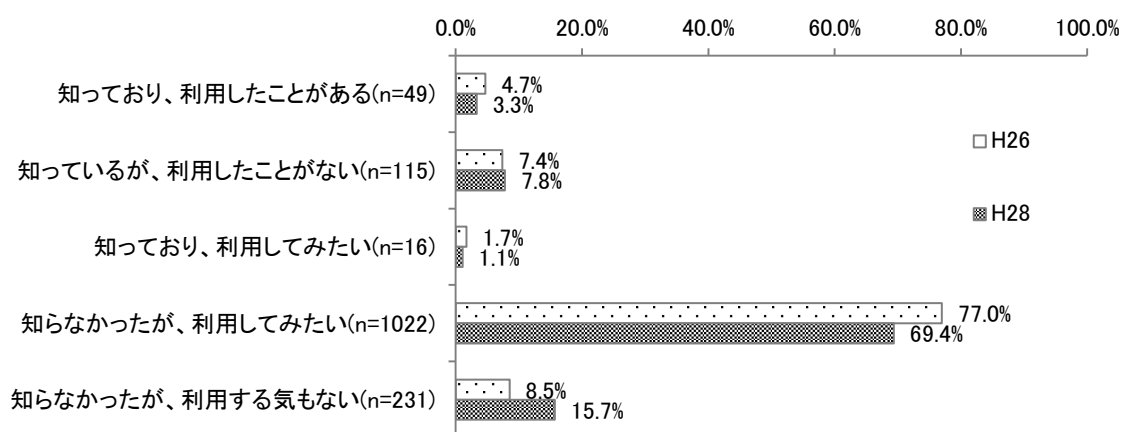
居住年数別



居住年数別に比較すると、「知らなかったが、利用してみたい」と回答する比率が、「20年以上」が66.5%で最も低く、「10年以上～20年未満」の77.7%が続いた。

また、「知らなかったが、利用する気もない」においては、「20年以上」が16.9%で最も高く、「5年以上～10年未満」の14.4%が続いた。

経年変化



今回の調査（平成28年度）では、「知らなかったが、利用してみたい」、及び「知らなかったが、利用する気もない」の累積構成比は85.1%であり、平成26年度でも、この比率は85.5%であるため、認知度に変化がないことが分かる。

■考察 食品ロスについて

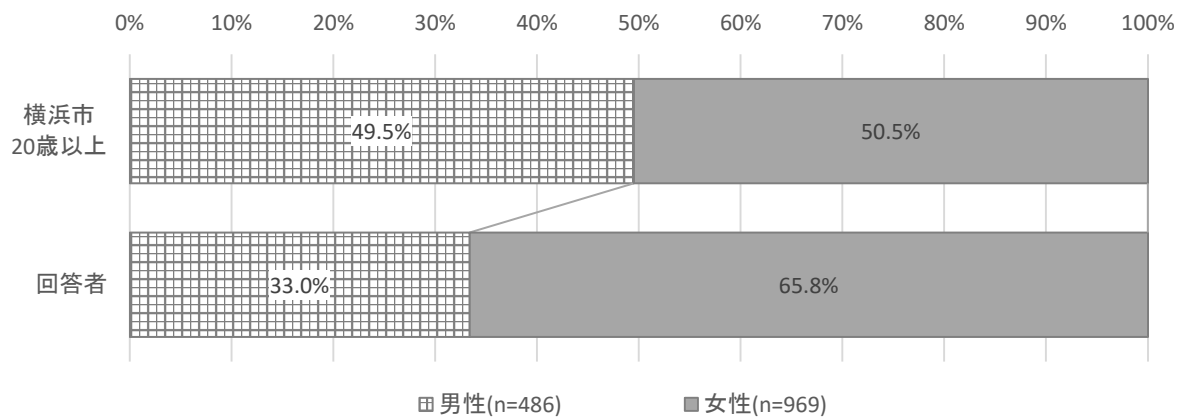
「食品ロス」という言葉の意味は、年代が上がるほど認知度も高くなり、食品ロスの発生量も減少している。一方で、年代が上がるほど、保存食品を「手つかず食品」として排出する傾向があった。また、平成 26 年度調査と比較すると、保存食品や惣菜・弁当類などの比率が上昇している。「手つかず食品」は、大幅に増加している食品ロスでもあるため、今後、高齢化が進行することで、保存食品の「手つかず食品」がさらに増加すると考えられる。年代が上の世代では、「家にある在庫を忘れ、同じものを買ってしまい食べきれなかった」という理由で「手つかず食品」を排出してしまうため、「冷蔵庫 10・30 運動」などの在庫の確認を推奨することで、全体の「手つかず食品」の減量につながるのではないかと。

しかし、年代が上の世代では、買い物メモの持参や、料理の際、食材を無駄なく使うなど、積極的に食品ロス削減に取り組み、結果として食品ロスの発生を抑えることに成功している。食品の在庫をこまめにチェックし、無駄なものは買わないよう促したい。外食に関しても、「食べきり協力店」の周知を徹底することが望ましい。

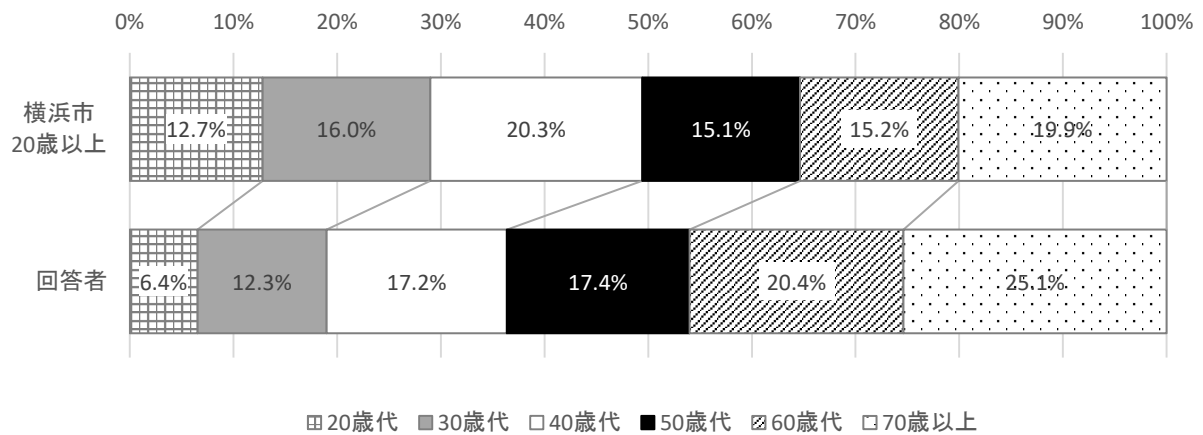
広報活動の効果もあり、平成 26 年度調査と比較すると、食品ロスに対する市民の関心が高まっている。しかし、「手つかず食品」及び、「食べ残し」は増加している。具体的な食品ロス削減の手段を周知することで、市民も食品ロス削減に取り組みやすくなるのではないかと。

2.13 回答者の属性

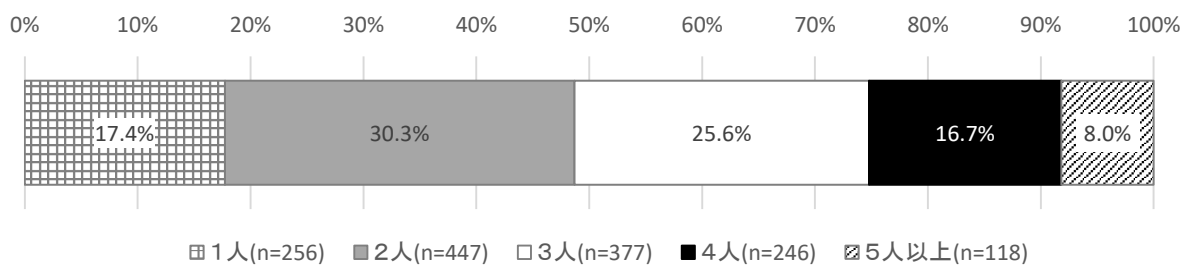
F 1 あなたは、男性ですか、女性ですか。(n=1,473)



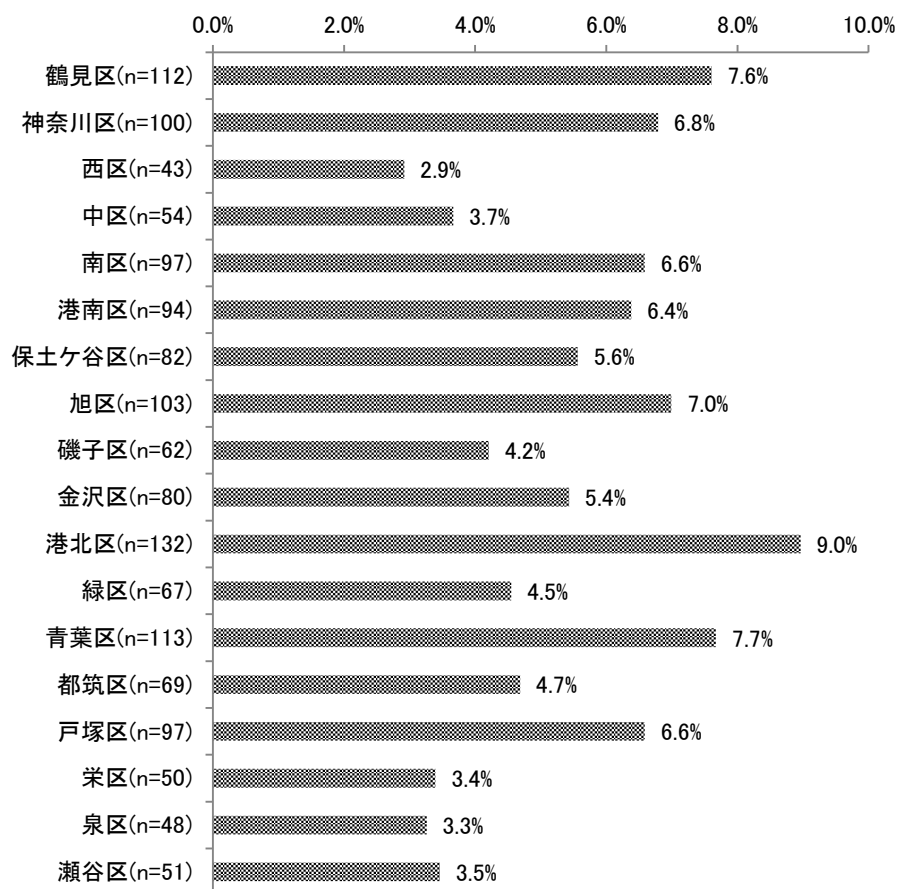
F 2 あなたの年齢は、いくつですか。(n=1,473)



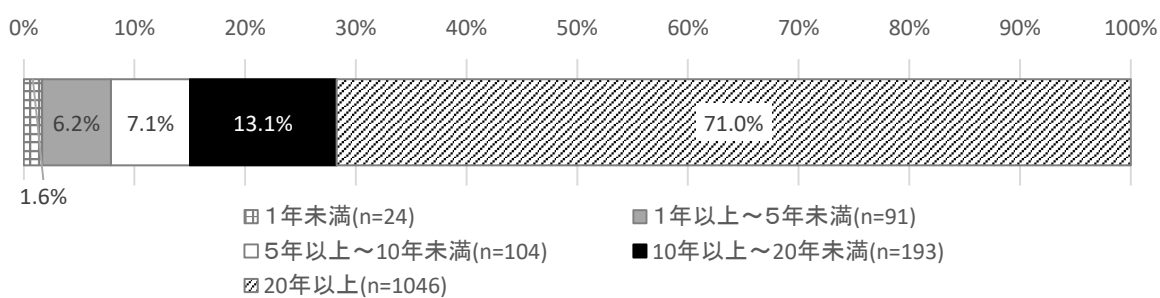
F 3 現在、いっしょに住んでいる家族の人数は、あなたを含めて何人ですか。(n=1,473)



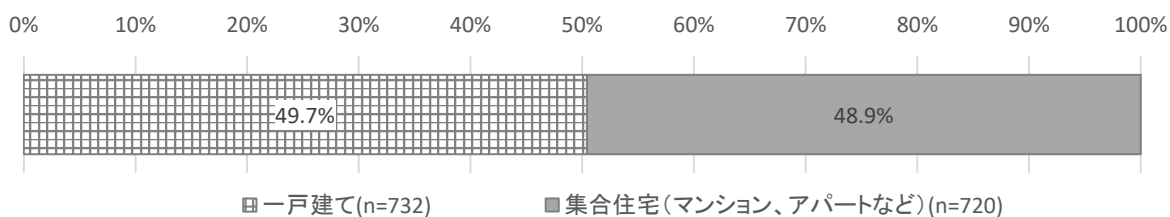
F 4 あなたのお住まいは、何区ですか。(n=1,473)



F 5 あなたは、横浜市に何年くらい住んでいますか。(n=1,473)



F 6 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(n=1,473)



第3章 事業活動により排出するごみについてのアンケート調査結果の分析

3.1 事業所から発生するごみ処理の実態について

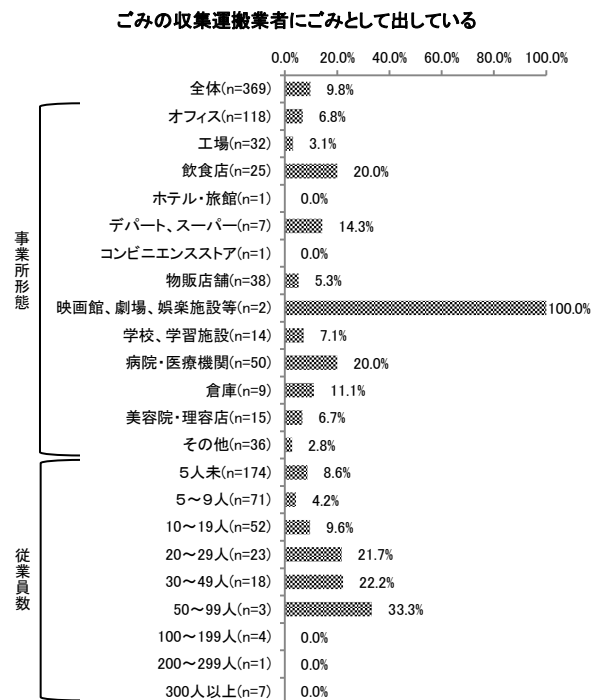
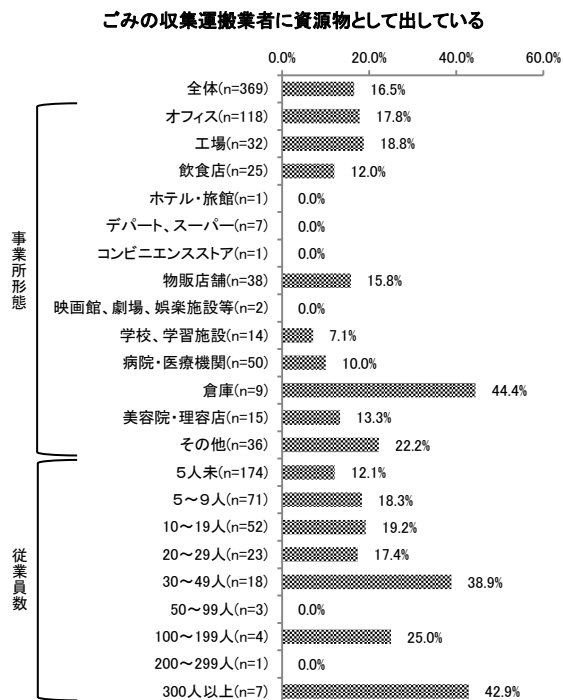
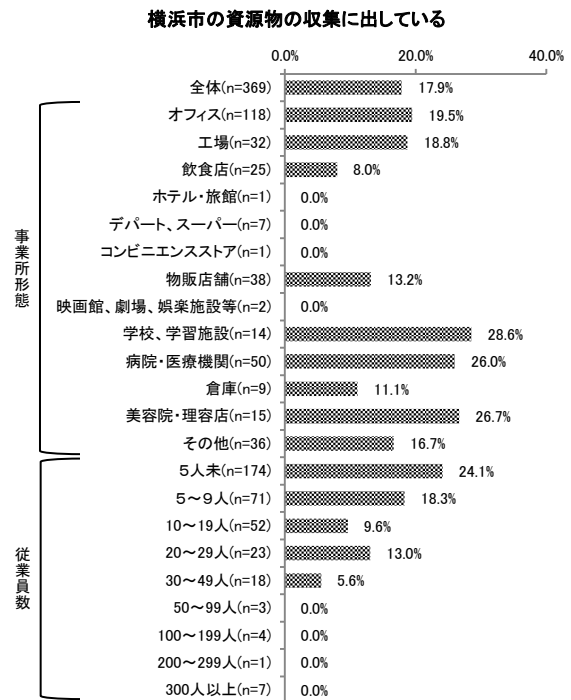
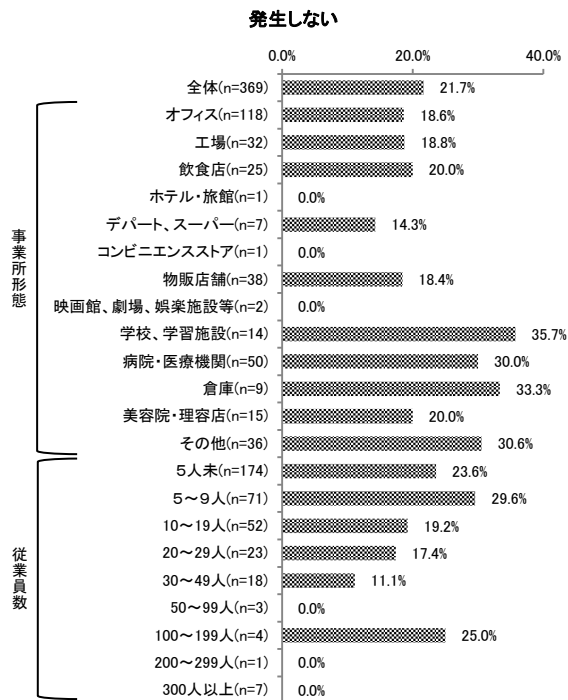
問1 貴事業所では、事業活動に伴って発生するごみや資源物をどのように処理していますか。それぞれの品目の処理方法を下記の選択肢から選んで、該当する番号を記入してください。(n=369)

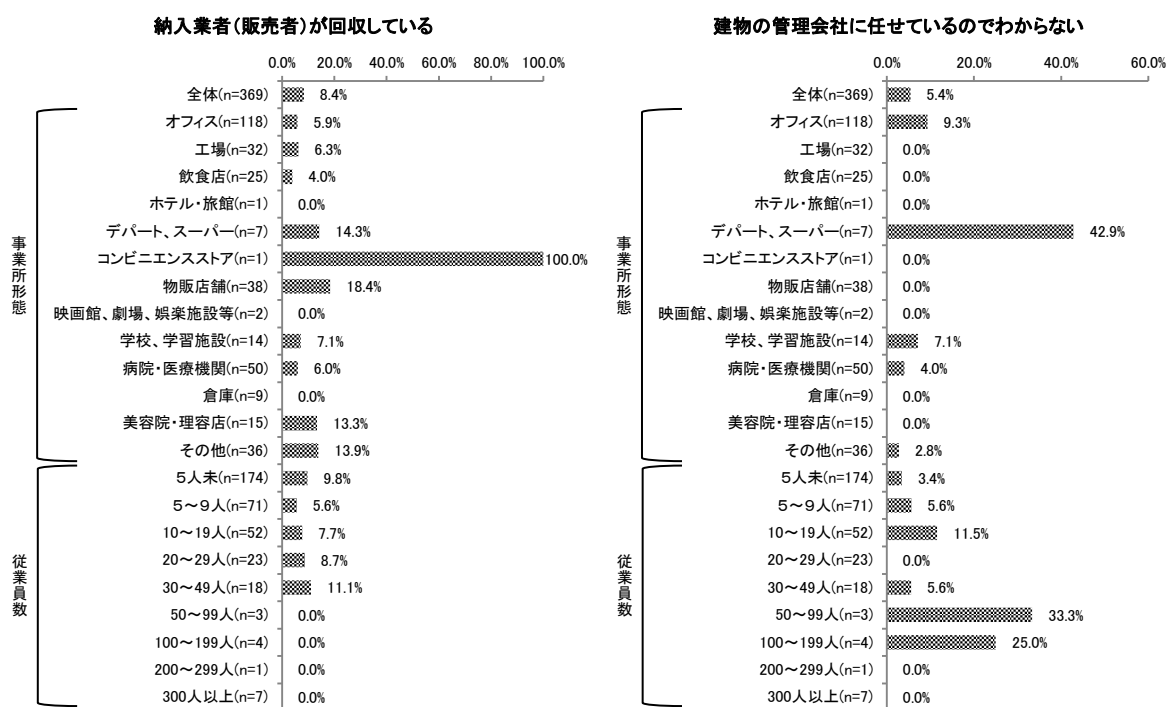
(単位：%)

品目 \ 処理方法	① 横浜市の家庭ごみ（燃やすごみ）の収集に出している	② 横浜市の資源物の収集に出している	③ ごみの収集運搬業者にごみとして出している	④ ごみの収集運搬業者に資源物として出している	⑤ リサイクル業者に売却している	⑥ 処理費用を支払って、直接リサイクル業者に資源化を依頼している	⑦ 企業内、企業グループ内でリサイクルしている	⑧ 納入業者（販売者）が回収している	⑨ 本社（本店）に任せているのだからない	⑩ 建物の管理会社に任せているのだからない	⑪ 発生しない
新聞	3.8	17.9	9.8	16.5	4.6	2.2	0.8	8.4	0.3	5.4	21.7
雑誌	3.5	21.7	12.2	20.6	5.7	3.8	0.3	1.4	0.3	6.2	15.2
OA用紙	6.8	12.7	26.8	19.5	4.1	6.5	1.1	0.0	0.5	6.5	6.2
機密文書	5.7	6.8	19.2	11.7	2.7	14.1	1.1	0.3	2.4	5.4	17.3
段ボール	3.5	23.0	13.6	29.5	5.1	4.1	0.8	1.6	0.5	7.3	4.1
紙パック	6.5	15.2	19.5	11.4	1.9	3.3	0.8	0.3	0.3	6.5	22.0
雑紙	11.4	14.1	29.0	19.0	3.0	5.7	0.3	0.0	0.5	7.0	2.2
空き缶	3.5	26.8	12.7	19.5	1.4	4.3	0.3	6.0	0.3	7.6	9.2
金属類	4.3	17.3	17.3	16.3	5.4	7.0	0.8	0.8	0.3	6.8	13.3
空きびん	3.5	24.9	15.4	14.6	1.1	5.4	0.5	4.9	0.3	7.0	12.2
陶磁器くず、ガラスくず	8.9	10.8	22.2	7.3	0.3	5.7	0.3	1.1	0.3	7.0	23.3
ペットボトル	3.5	31.2	11.1	18.2	0.5	3.8	0.3	7.9	0.3	7.9	7.0
プラスチック製品	6.2	26.0	26.8	11.4	0.3	6.0	0.0	0.8	0.3	8.1	6.0
発泡スチロールやトレイ	4.6	23.6	21.7	12.5	0.3	6.0	0.3	1.1	0.3	7.9	13.8
古布	5.4	11.4	19.0	5.1	1.1	3.5	1.4	0.5	0.3	5.1	35.2
木くず、剪定くず	8.4	2.2	15.7	3.3	0.0	6.5	0.0	0.5	0.3	4.3	44.2
廃食用油	4.6	0.5	8.1	1.6	1.6	3.0	0.0	0.8	0.5	3.0	59.6
廃機械油、潤滑油	2.7	0.5	8.1	0.3	1.9	5.1	0.0	1.1	0.5	3.0	58.5
調理くず、食品加工くず	12.7	1.4	19.5	1.4	0.3	2.4	0.5	0.0	0.3	4.3	45.5
食べ残し、廃棄食品	17.6	1.4	25.7	1.1	0.3	2.7	0.8	0.3	0.3	5.1	33.6
一般ごみ	28.2	2.4	43.4	2.7	0.3	4.1	0.3	0.0	0.3	7.9	3.0

品目別では、「雑誌」、「段ボール」、「空き缶」、「空きびん」、「ペットボトル」及び、「発泡スチロールやトレイ」は、「②横浜市の資源物の収集に出している」又は、「④ごみの収集運搬業者に資源物として出している」が最も高く、「OA用紙」、「機密文書」、「雑紙」、「プラスチック製品」及び、「一般ごみ」は、「③ごみの収集運搬業者にごみとして出している」が最も高い。

新聞（上位6位まで）



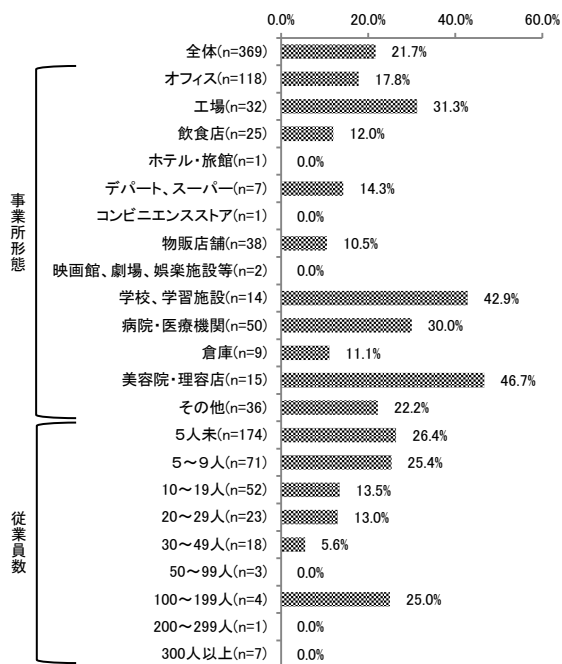


事業所形態別に比較すると、「横浜市の資源物の収集に出している」と回答した事業所は「学校、学習施設」が28.6%で最も高く、次いで「美容院・理容店」が26.7%、「病院・医療機関」が26.0%と続いている。

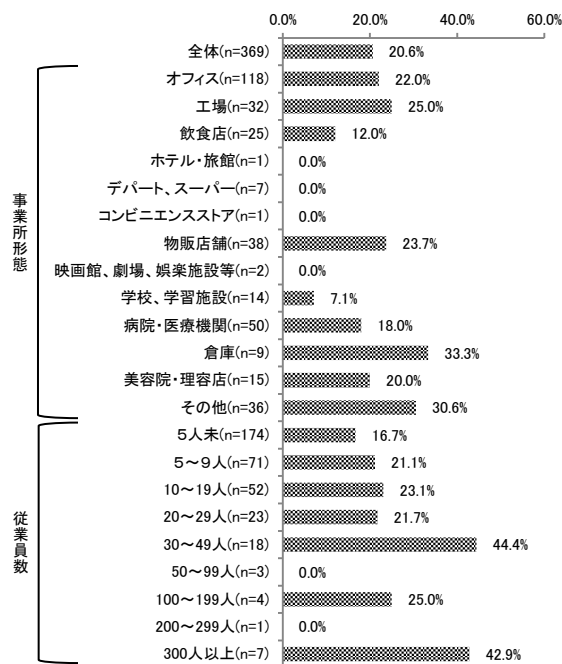
従業員数別では、「5人未」が24.1%で最も多く、次いで「5～10人」が18.3%、「20～29人」が13.0%と続いている。

雑誌（上位6位まで）

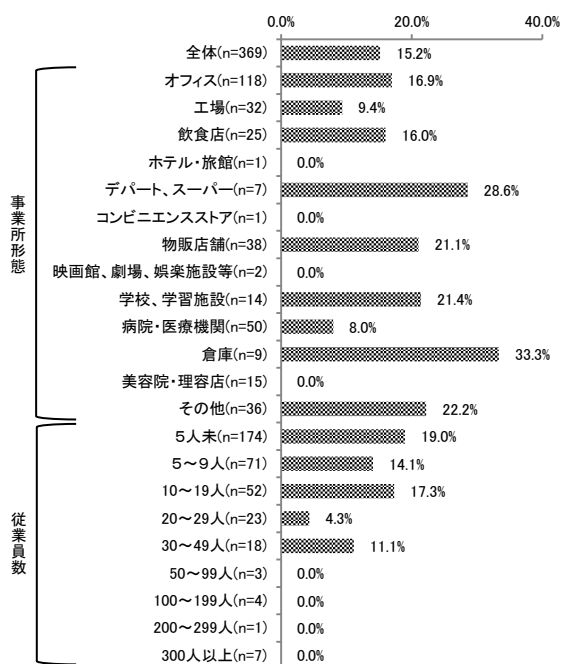
横浜市の資源物の収集に出している



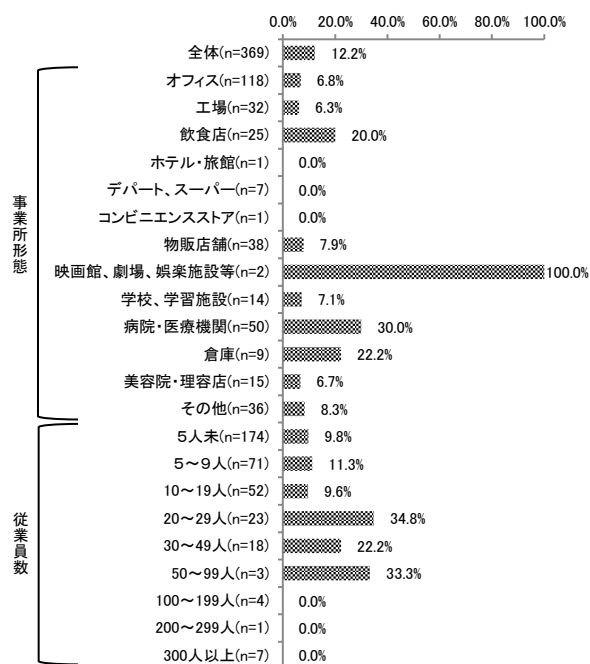
ごみの収集運搬業者に資源物として出している

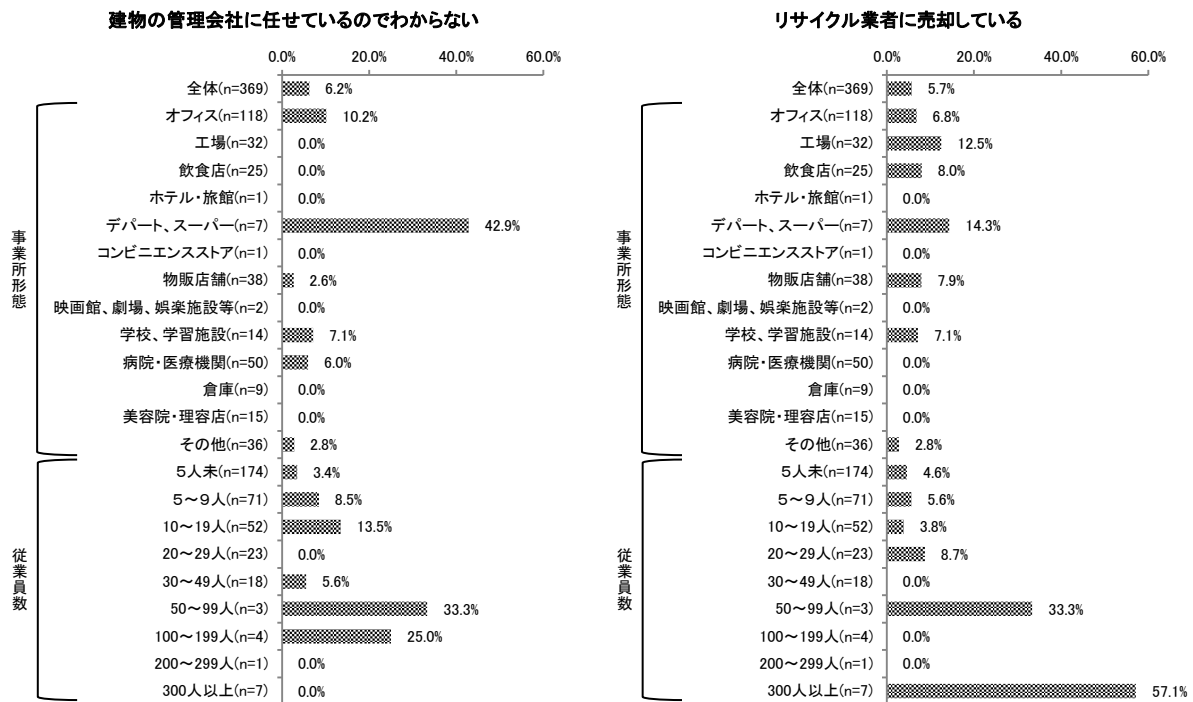


発生しない



ごみの収集運搬業者にゴミとして出している

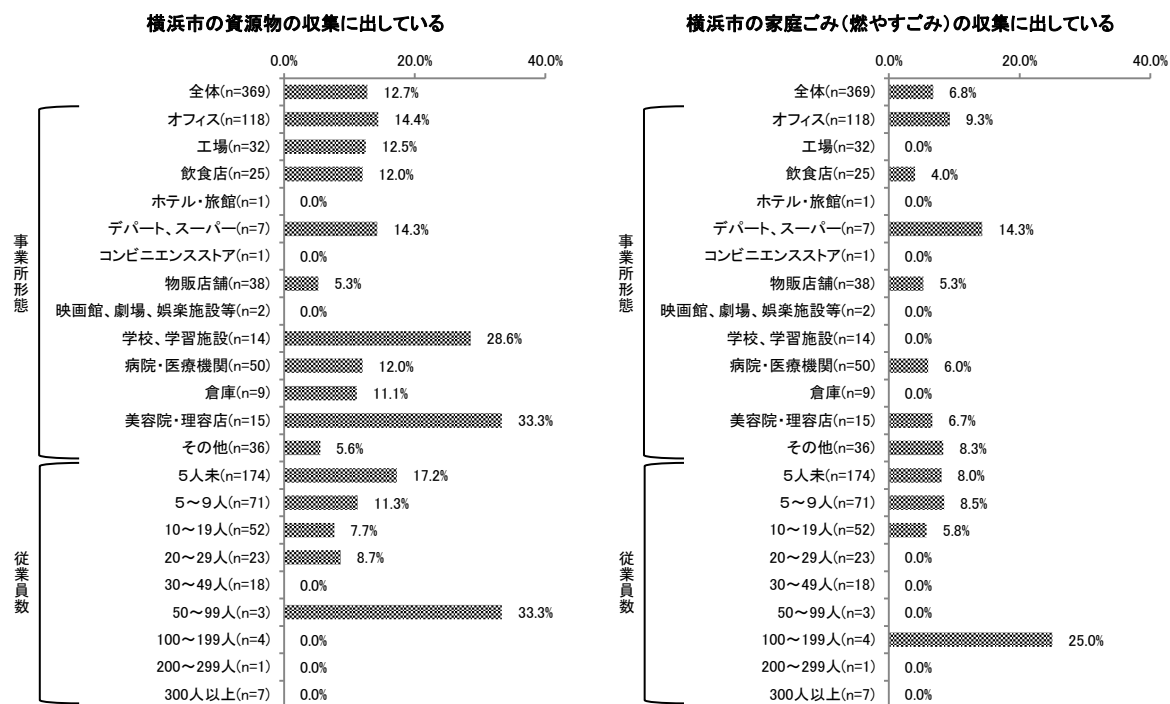
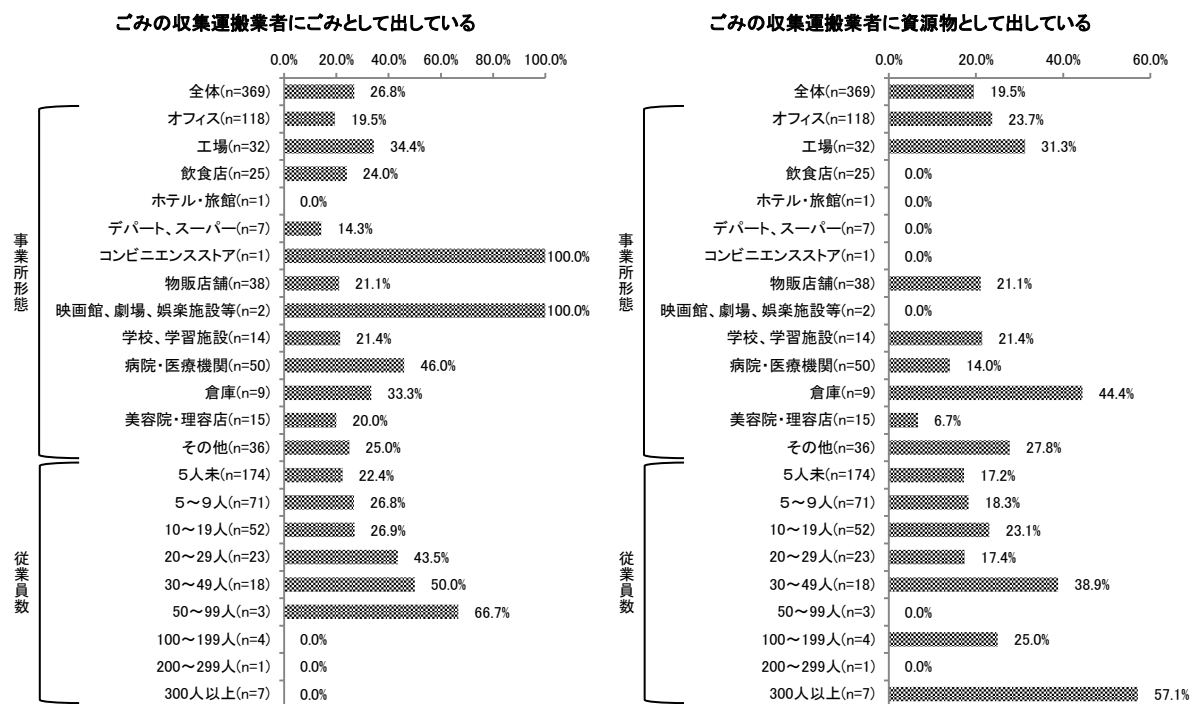


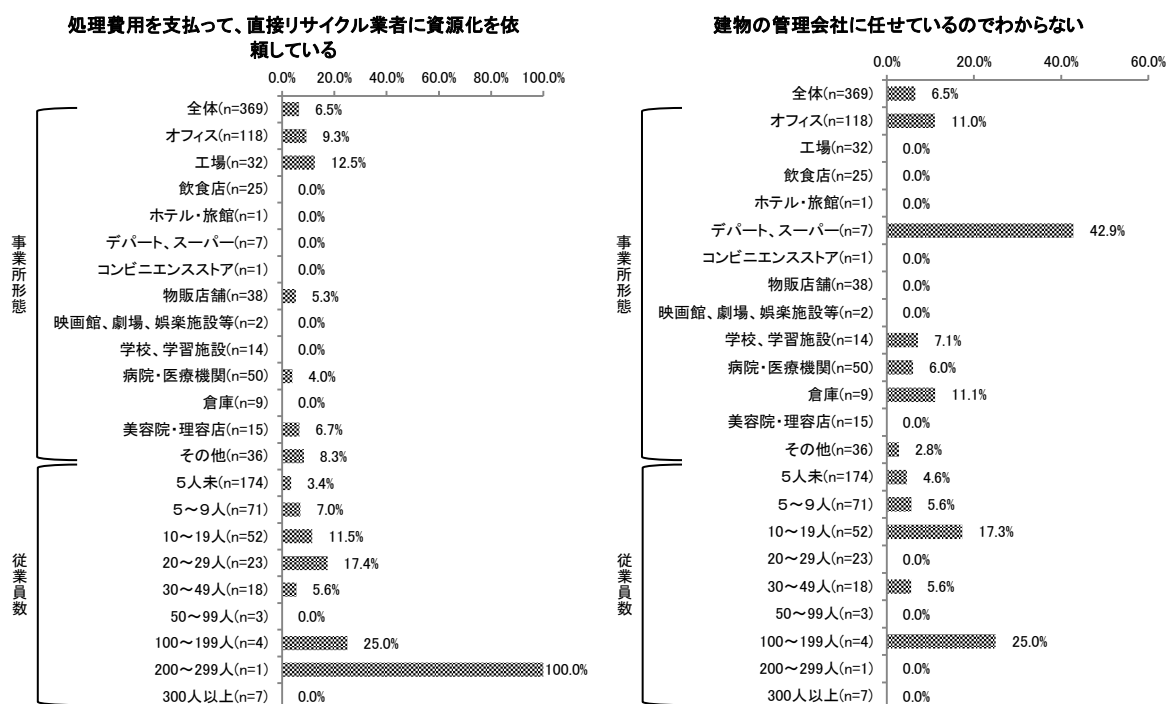


事業所形態別に比較すると、「横浜市の資源物の収集に出している」と回答した事業所は、「美容院・理容店」が46.7%で最も高く、次いで「学校、学習施設」が42.9%、「工場」が31.3%と続いている。

従業員数別では、「5人未」が26.4%で最も高く、次いで「5～9人」が25.4%、「100～199人」が25.0%という結果になった。

〇A用紙（コピー用紙、電算用紙等）（上位6位まで）



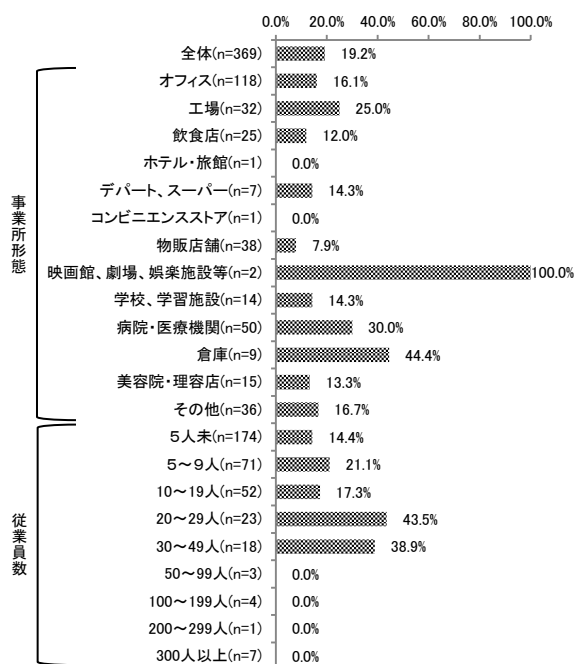


事業所形態別に比較すると、「ごみの収集運搬業者に資源物として出している」と回答した事業所は、「倉庫」が44.4%で最も高く、次いで「工場」が31.3%、「オフィス」が23.7%と続いている。

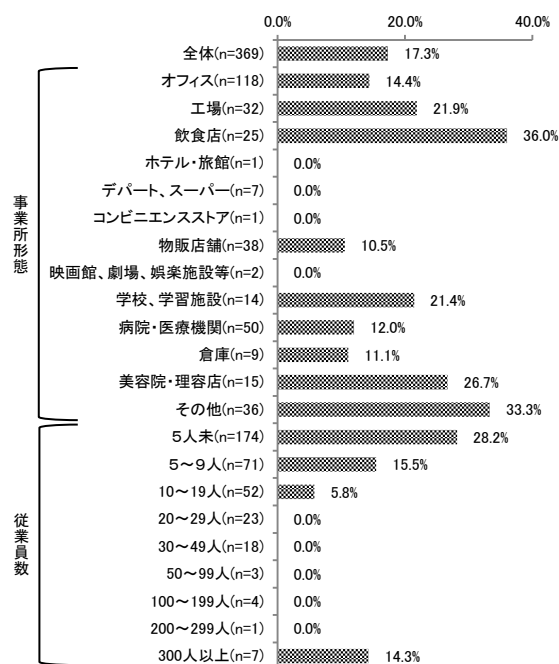
従業員数別では、「300人以上」が57.1%で最も高く、次いで「30～49人」が38.9%、「100～199人」が25.0%という結果になった。

機密文書（上位6位まで）

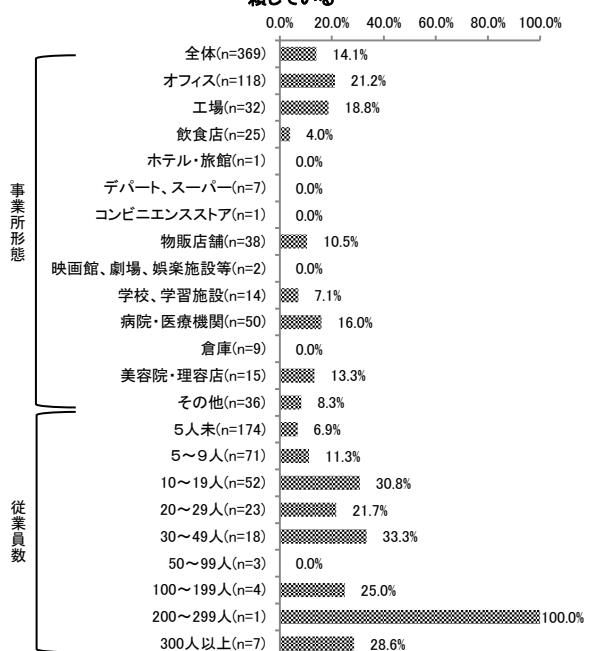
ごみの収集運搬業者にゴミとして出している



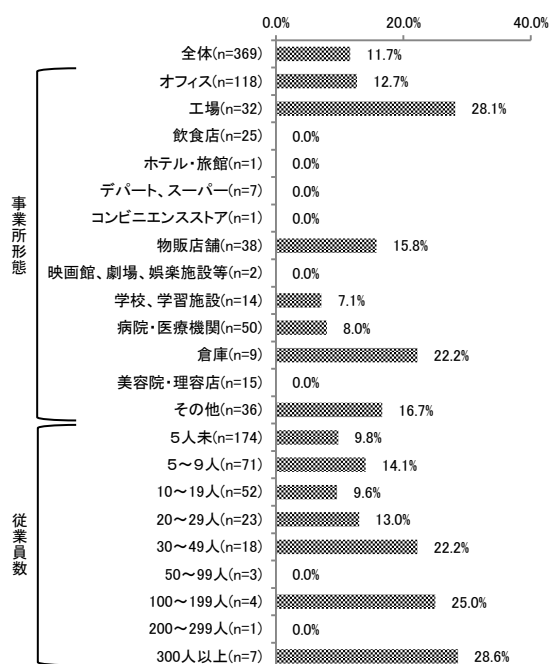
発生しない

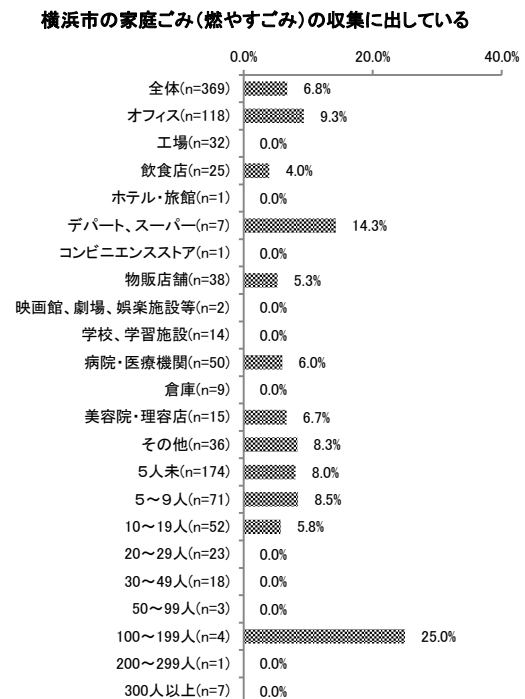
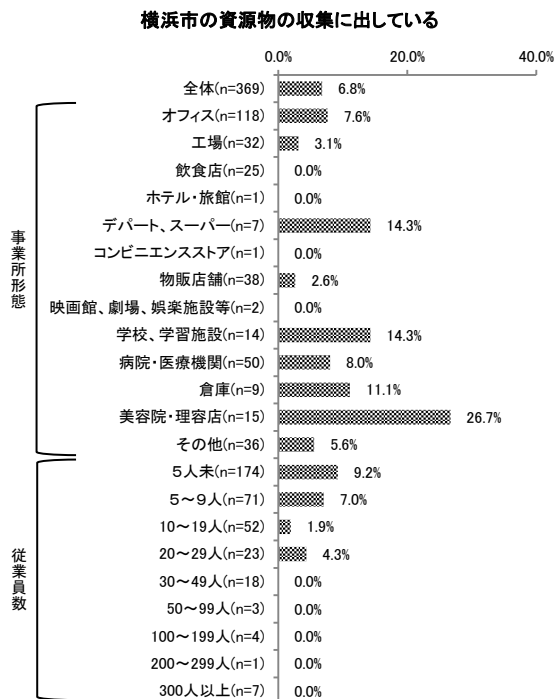


処理費用を支払って、直接リサイクル業者に資源化を依頼している



ごみの収集運搬業者に資源物として出している



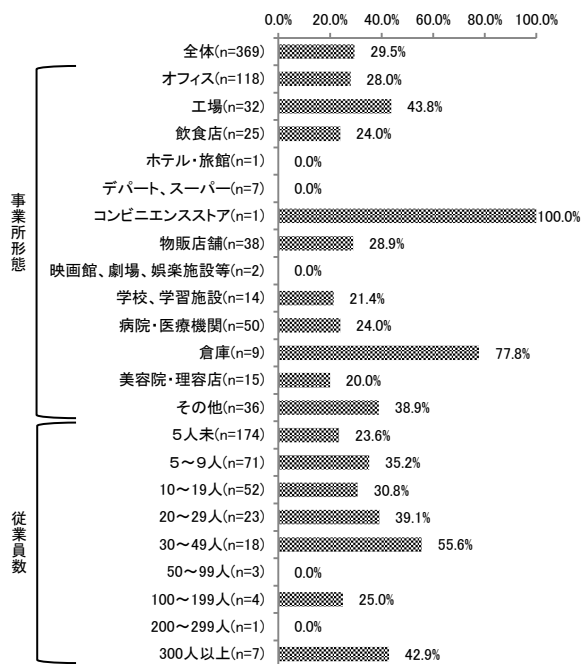


事業所形態別に比較すると、「発生しない」と回答した事業所は、「飲食店」が 36.0%で最も高く、次いで「美容院・理容店」が 26.7%、「工場」が 21.9%という結果になった。

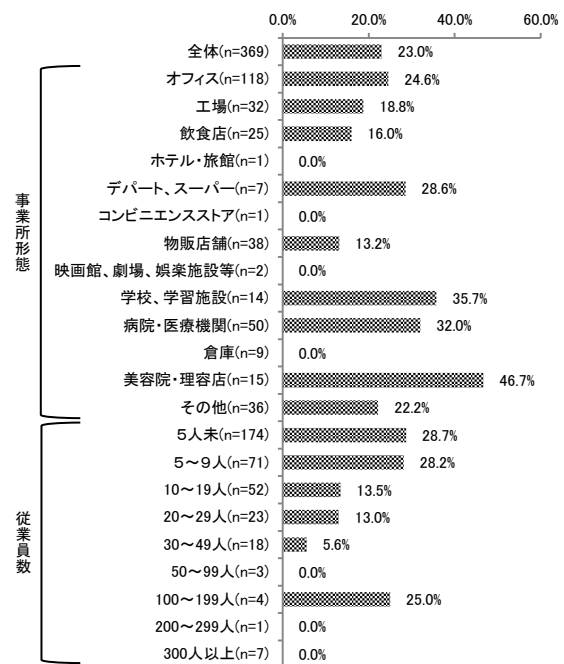
従業員数別では、「5人未」が 28.2%で最も高く、次いで「5～9人」が 15.5%、「300人以上」が 14.3%という結果になった。

段ボール（上位6位まで）

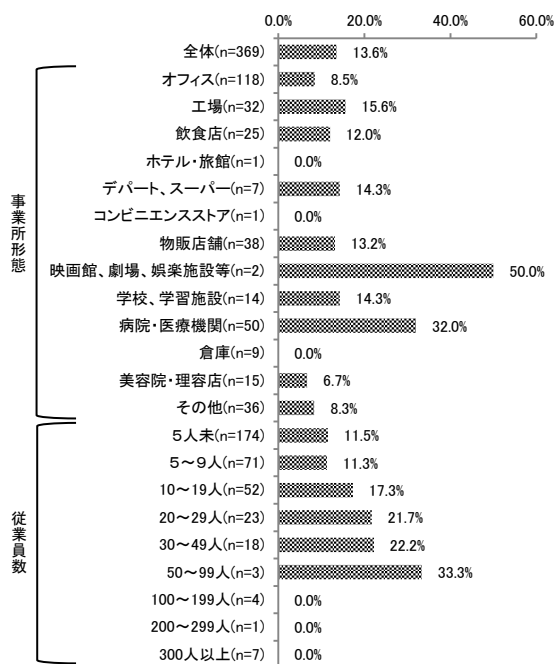
ごみの収集運搬業者に資源物として出している



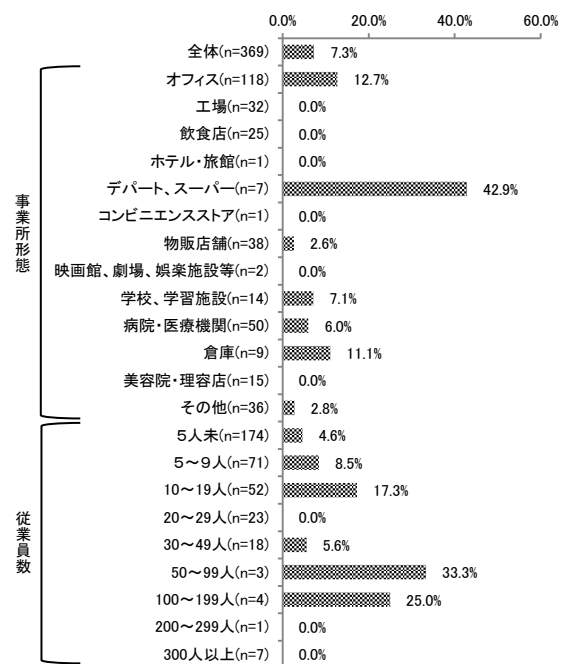
横浜市の資源物の収集に出している

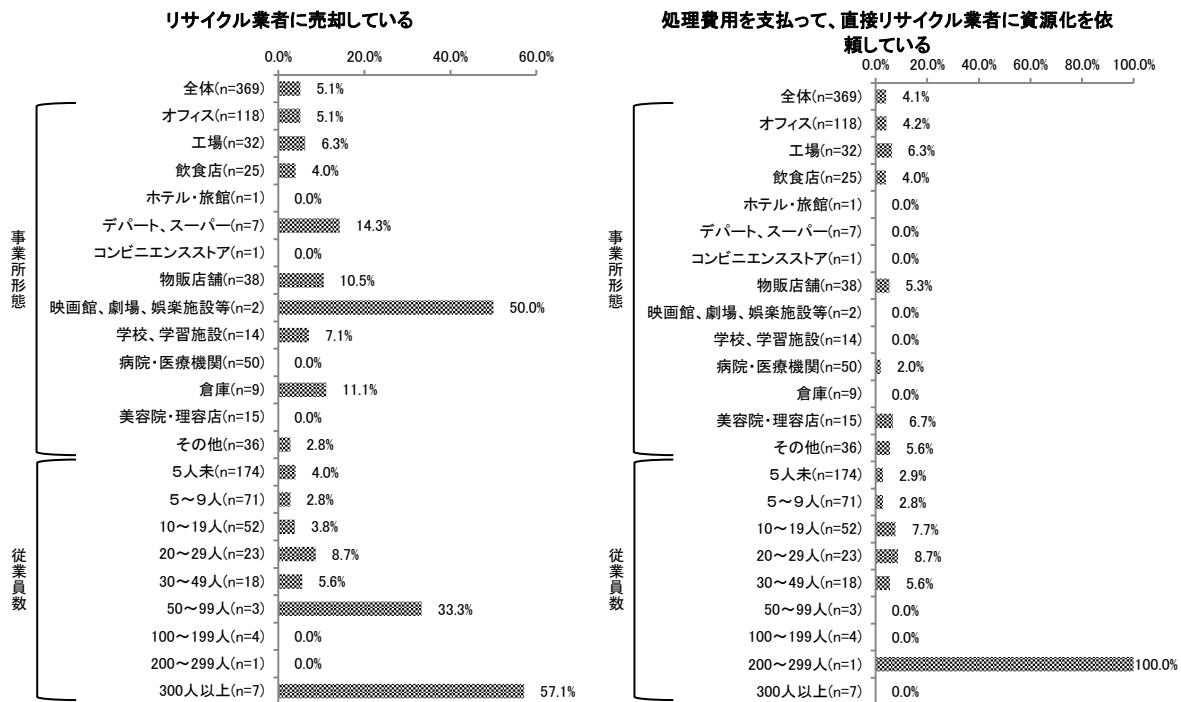


ごみの収集運搬業者にゴミとして出している



建物の管理会社に任せているのでわからない



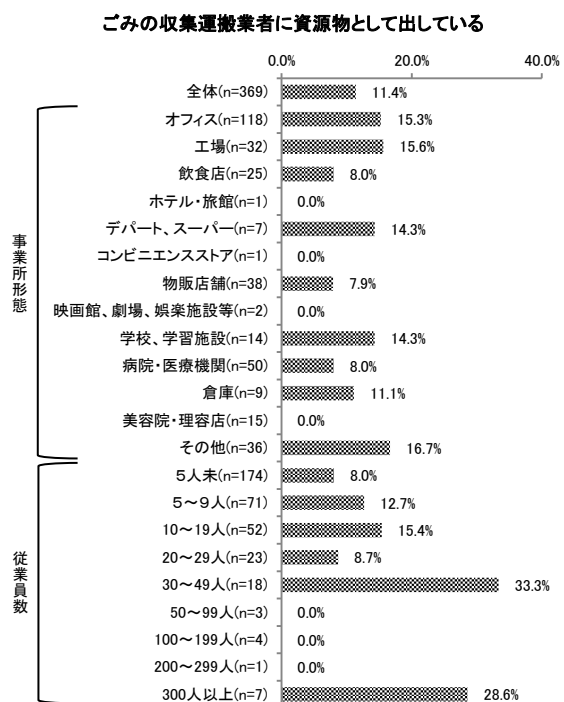
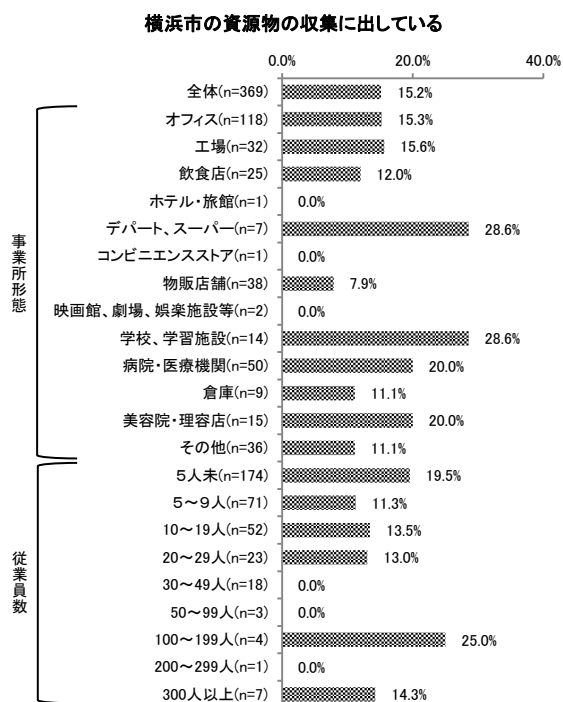
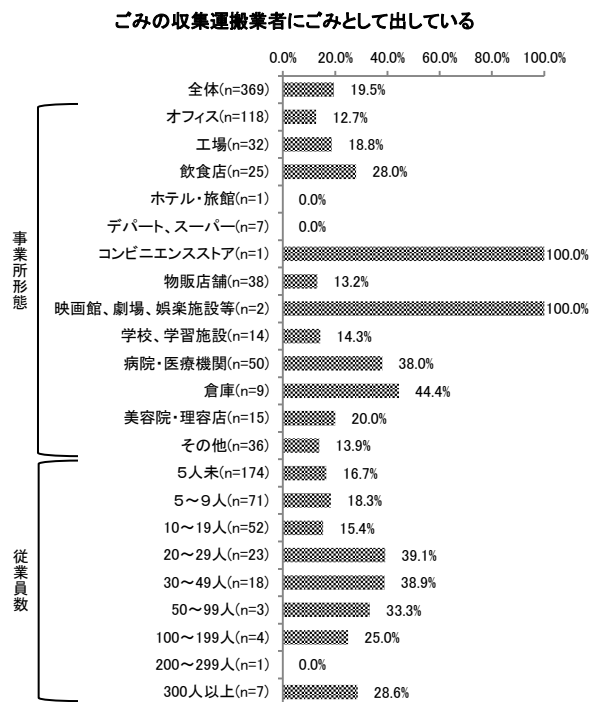
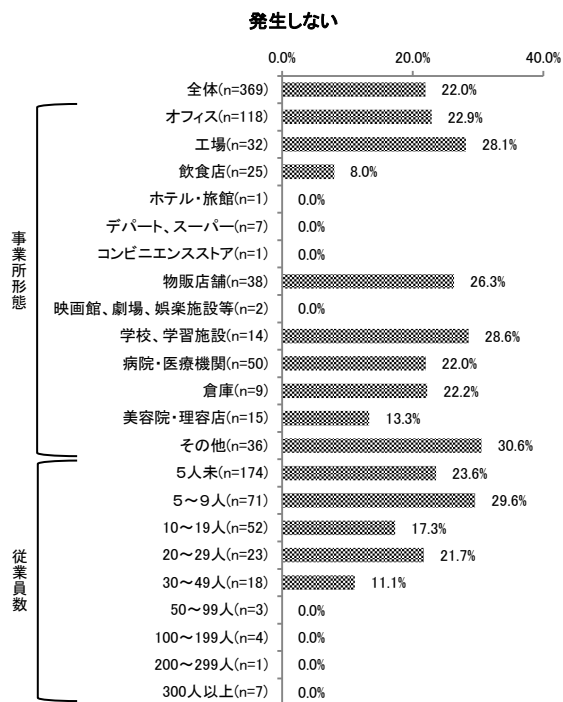


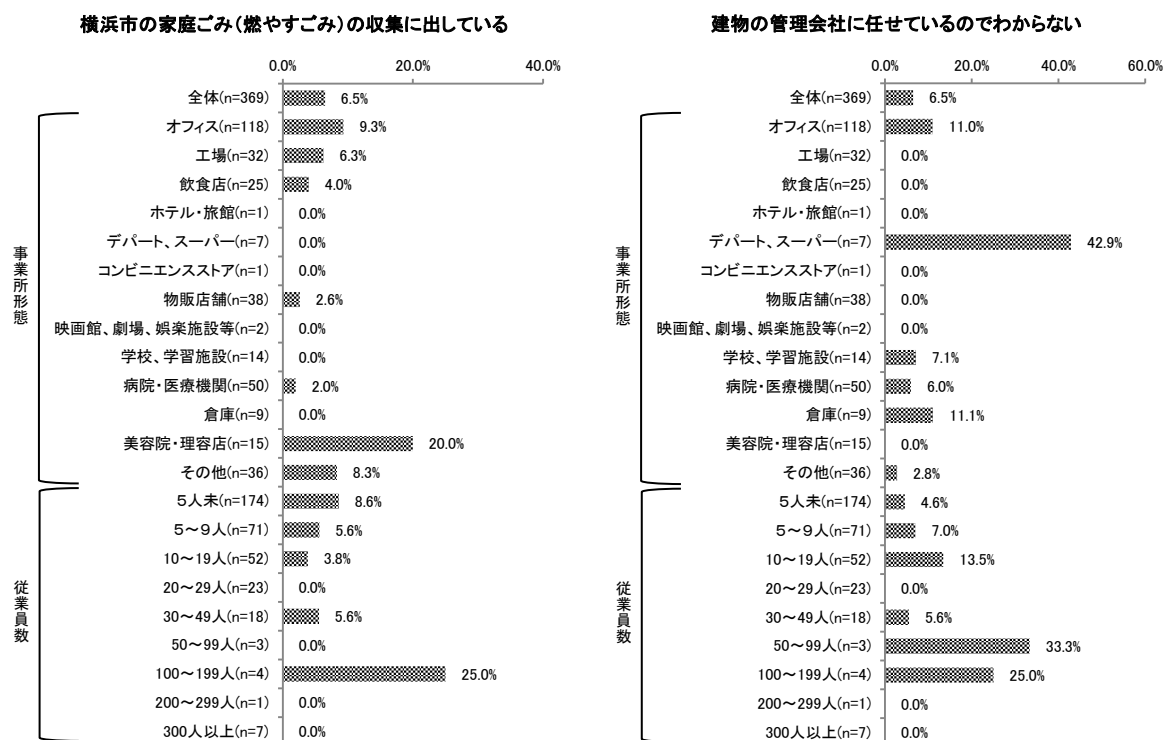
全体をみると、「ごみの収集運搬業者に資源物として出している」、「横浜市の資源物の収集に出している」の累積構成比が50.0%を超えており、主に資源物として処理されていることが分かった。

事業所形態別に比較すると、「横浜市の資源物の収集に出している」と回答した事業所は、「美容院・理容店」が46.7%で最も高く、次いで「学校、学習施設」が35.7%、「病院・医療機関」が32.0%という結果になった。

従業員数別では、「5人未満」が28.7%で最も高く、次いで「5～9人」が28.2%、「100～199人」が25.0%という結果になった。

紙パック（上位6位まで）

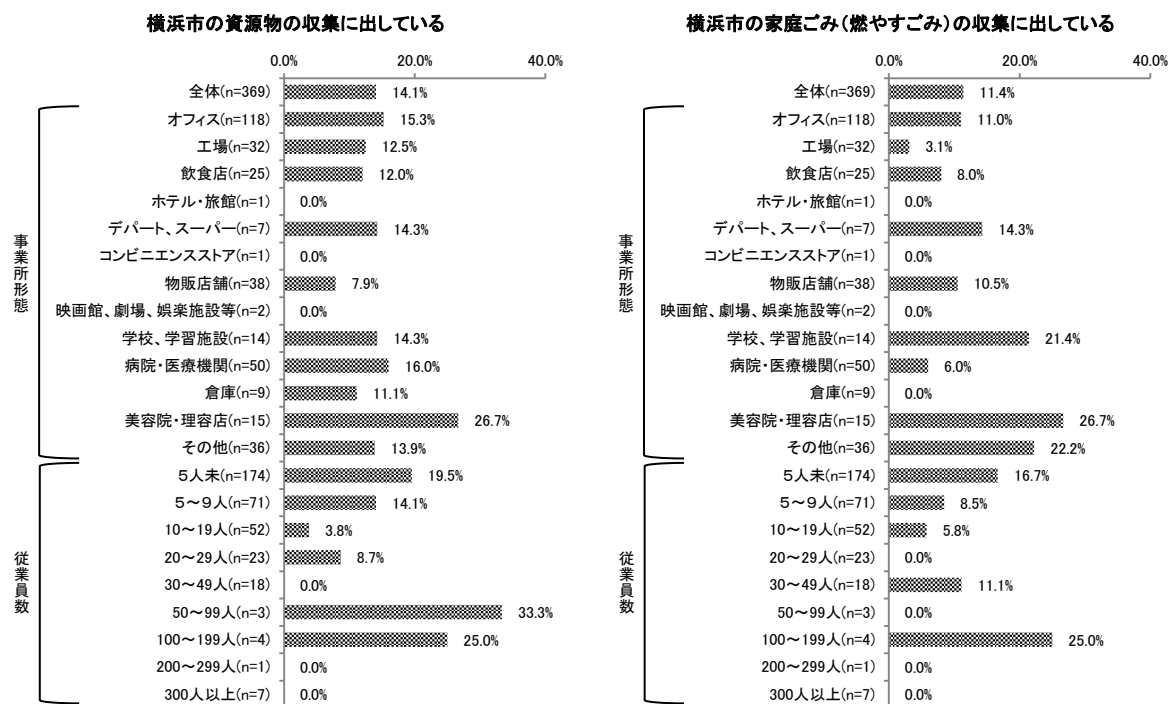
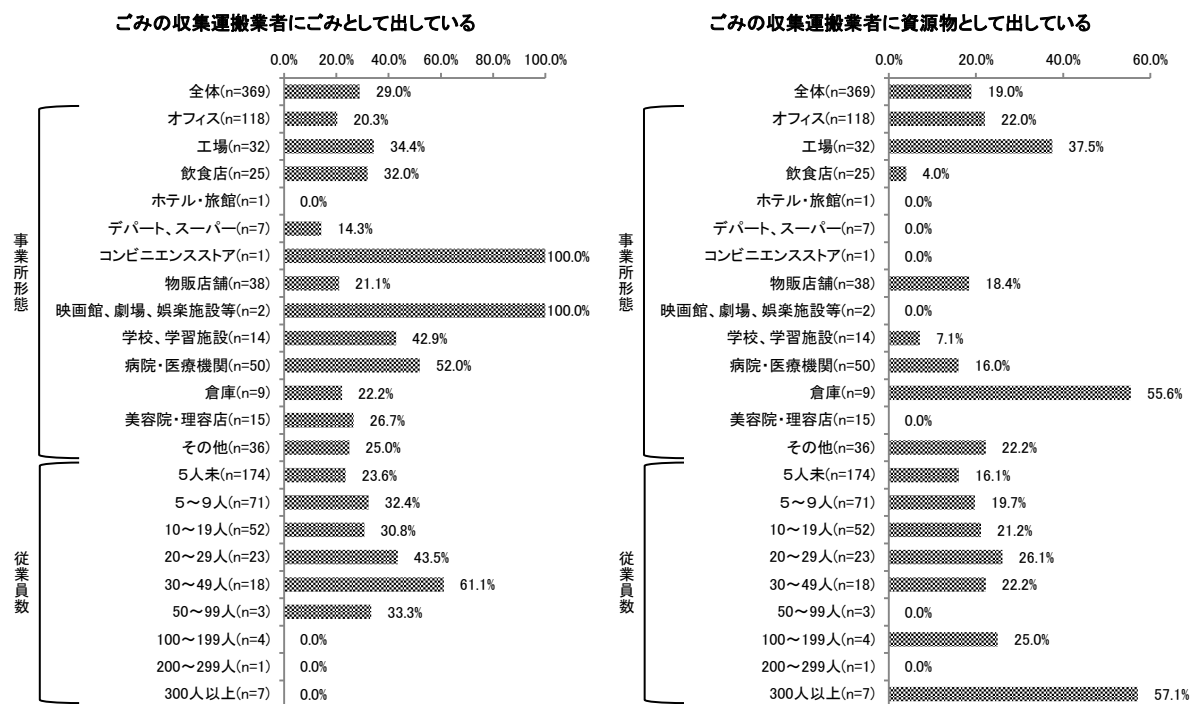


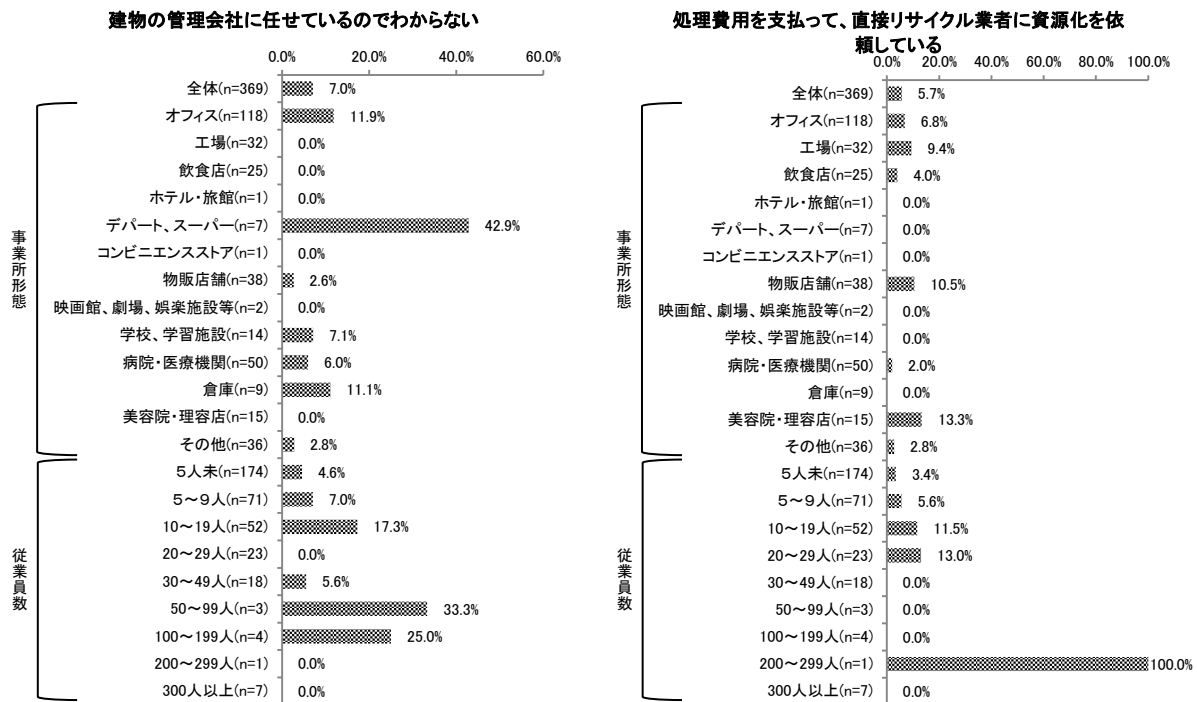


事業所形態別に比較すると、「発生しない」と回答した事業所は、「学校、学習施設」が 28.6%で最も高く、次いで「工場」が 28.1%、「物販店舗」が 26.3%と続いている。

従業員数別では、「5～9人」が 29.6%で最も高く、次いで「5人未」が 23.6%、「20～29人」が 21.7%という結果になった。

雑紙（メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず等）（上位6位まで）



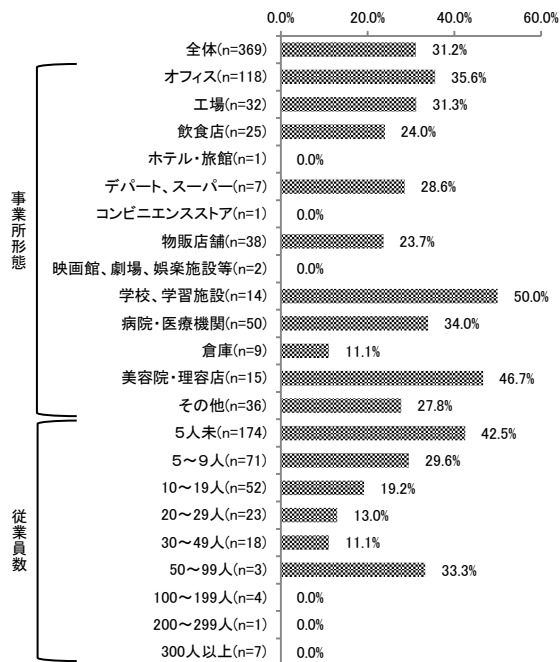


事業所形態別に比較すると、「ごみの収集運搬業者に資源物として出している」と回答した事業所は、「倉庫」が55.6%で最も高く、次いで「工場」が37.5%、「オフィス」が22.0%と続いている。

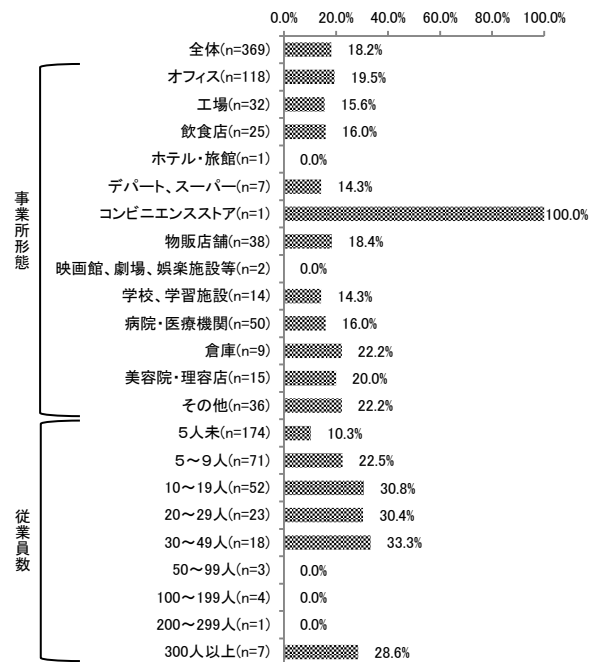
従業員数別では、「300人以上」が57.1%で最も高く、次いで「20～29人」が26.1%、「100～199人」が25.0%と続いている。

ペットボトル（上位6位まで）

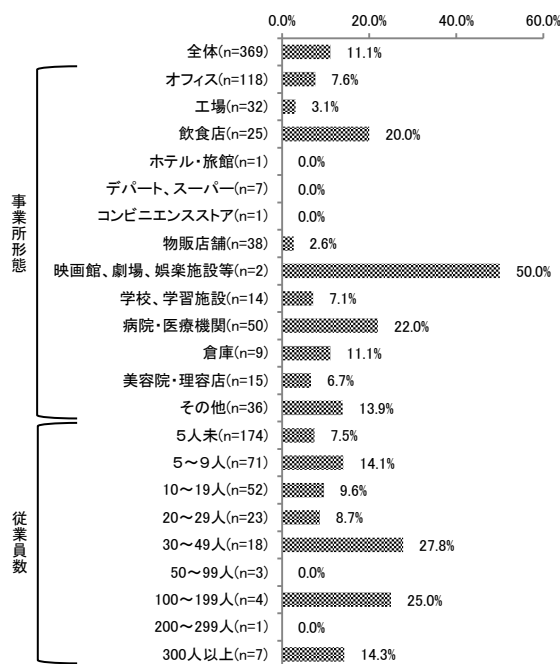
横浜市の資源物の収集に出している



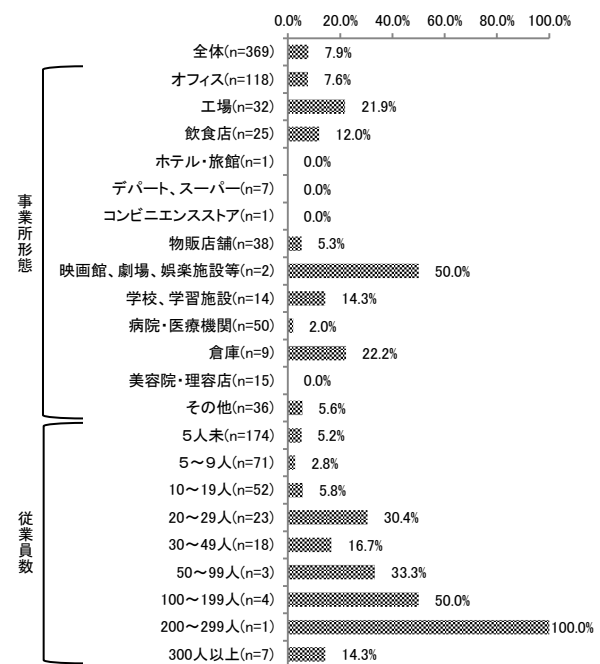
ごみの収集運搬業者に資源物として出している

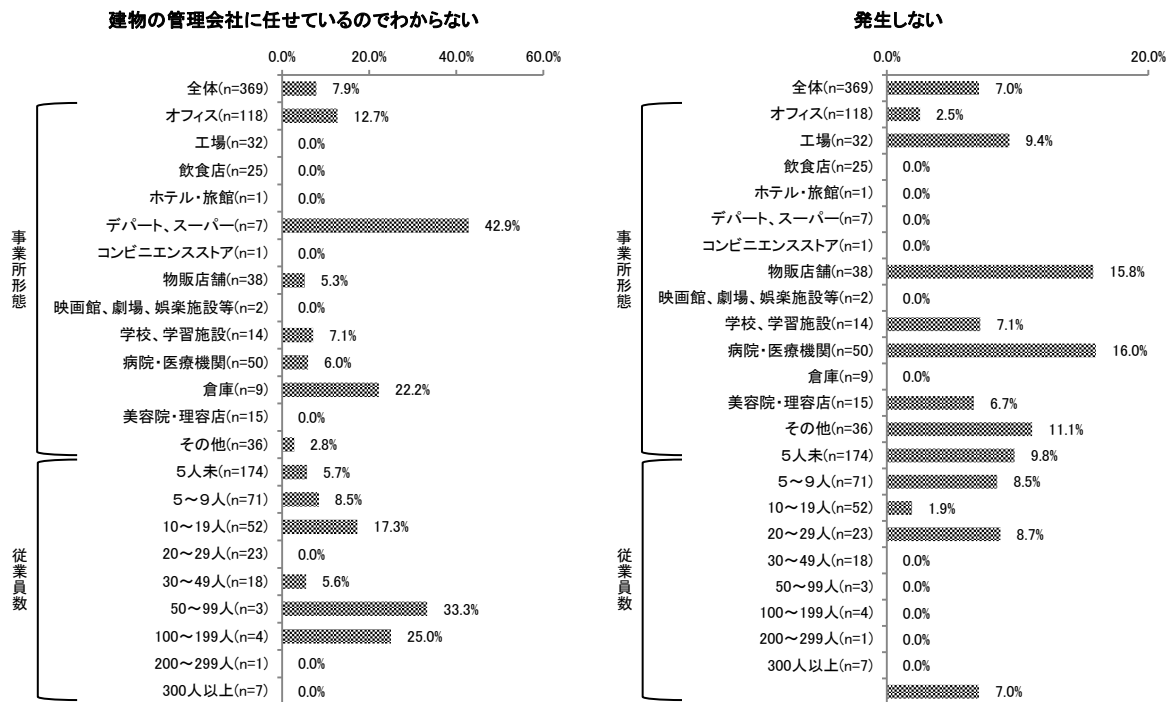


ごみの収集運搬業者にゴミとして出している



納入業者（販売者）が回収している

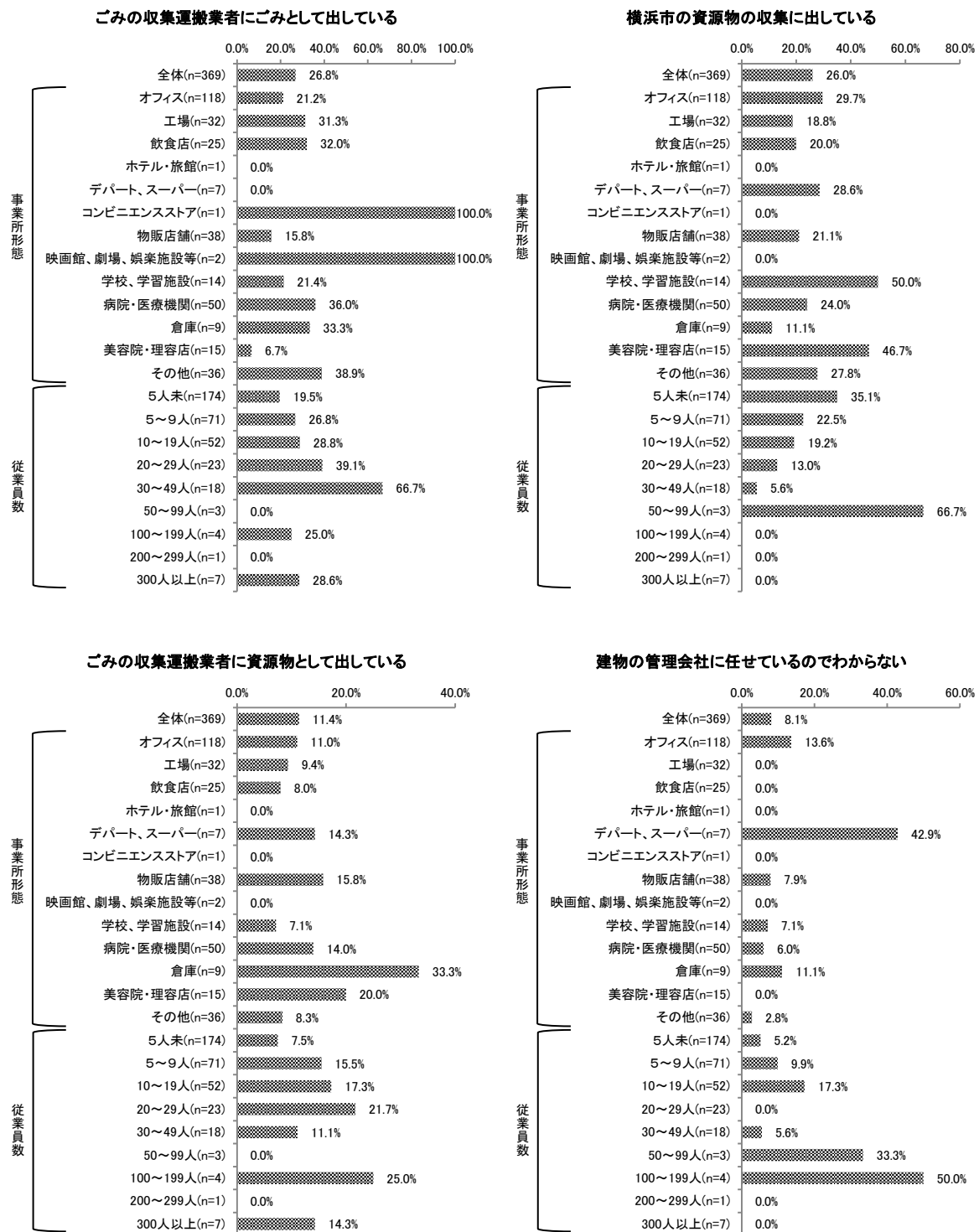


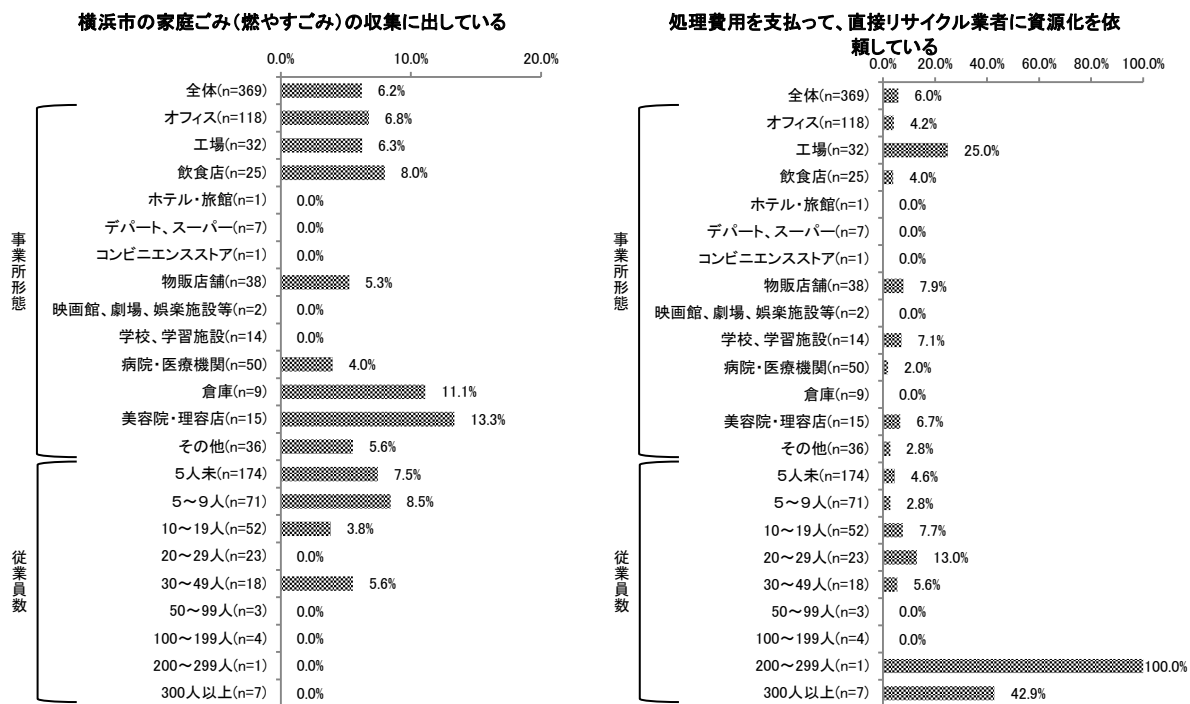


事業所形態別に比較すると、「横浜市の資源物の収集に出している」と回答した事業所は、「学校、学習施設」が50.0%で最も高く、次いで「美容院・理容店」が46.7%、「オフィス」が35.6%と続いている。

従業員数別では、「5人未」が42.5%で最も高く、次いで「50～99人」が33.3%、「5～9人」が29.6%という結果になった。

プラスチック製品（弁当ガラ、ビニール袋等）（上位6位まで）



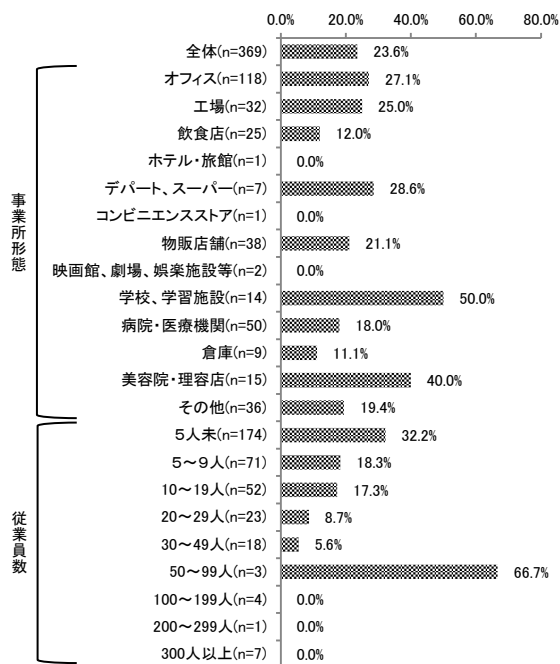


事業所形態別に比較すると、「横浜市の資源物の収集に出している」と回答した事業所は、「学校、学習施設」が50.0%で最も高く、次いで「美容院・理容店」が46.7%、「オフィス」が29.7%と続いている。

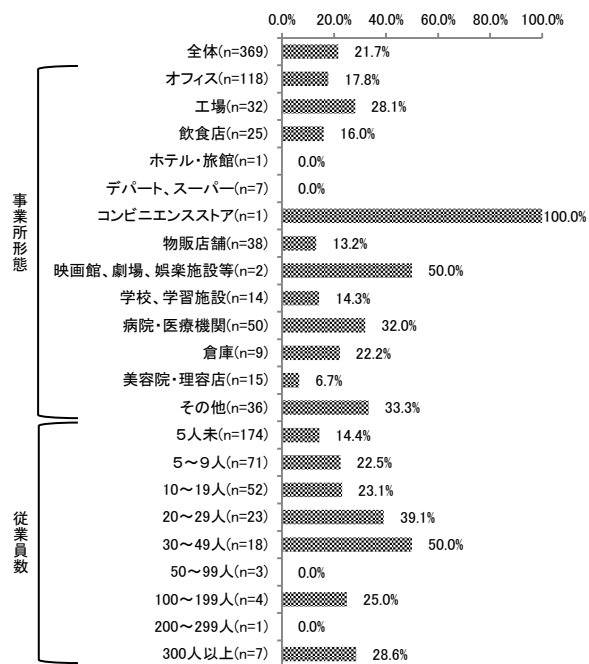
従業員数別では、「50～99人」が66.7%で最も高く、次いで「5人未」が35.1%、「5～9人」が22.5%という結果になった。

発泡スチロールや食品トレー（上位6位まで）

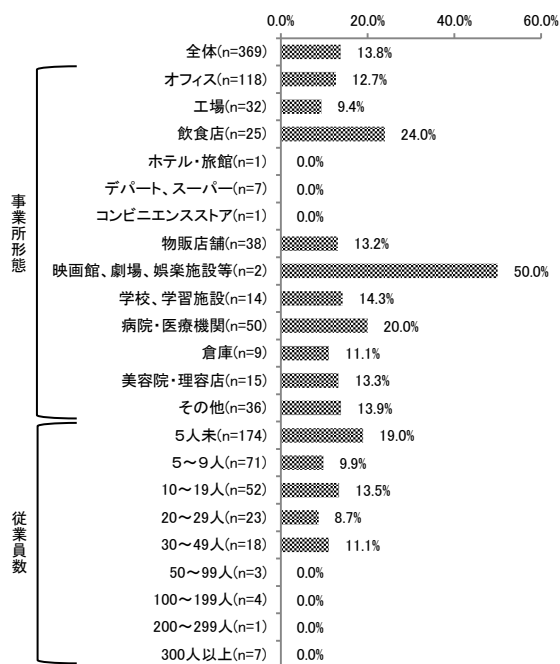
横浜市の資源物の収集に出している



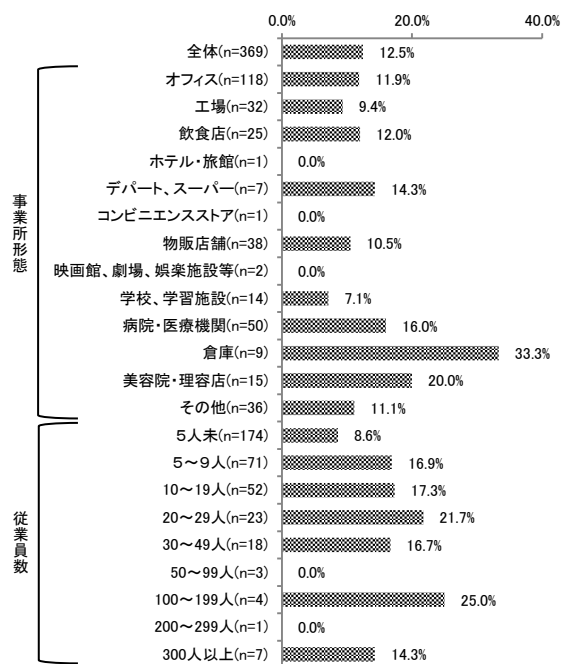
ごみの収集運搬業者にゴミとして出している

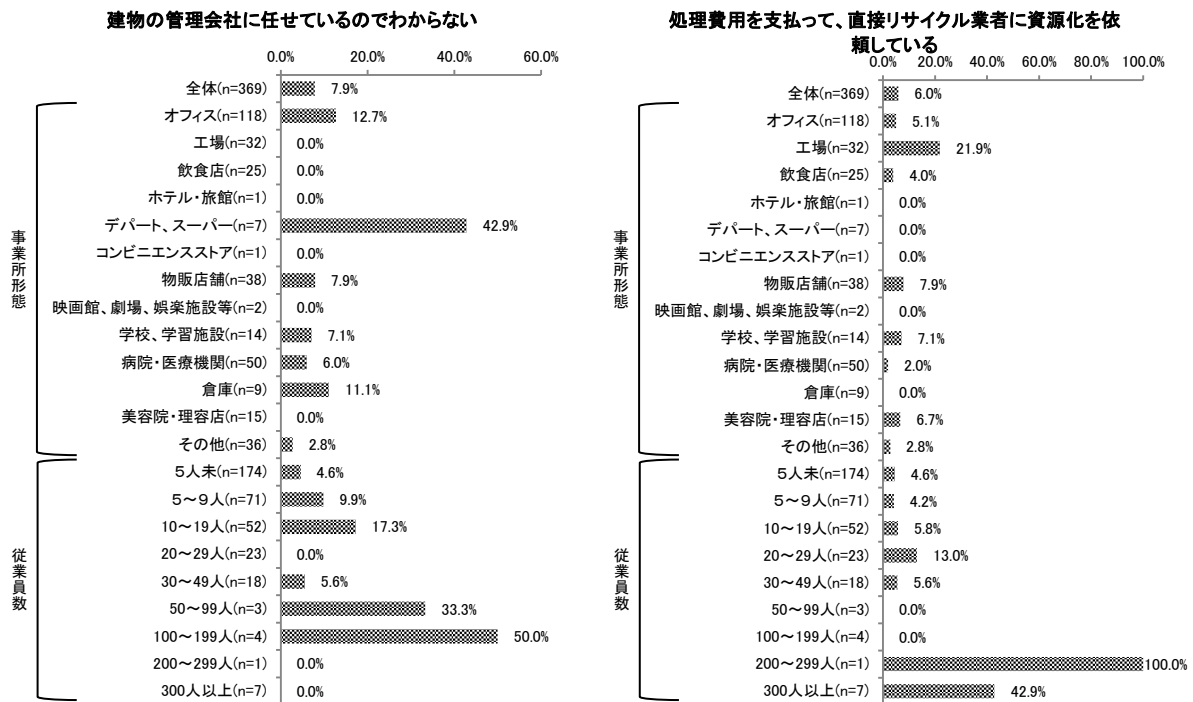


発生しない



ごみの収集運搬業者に資源物として出している

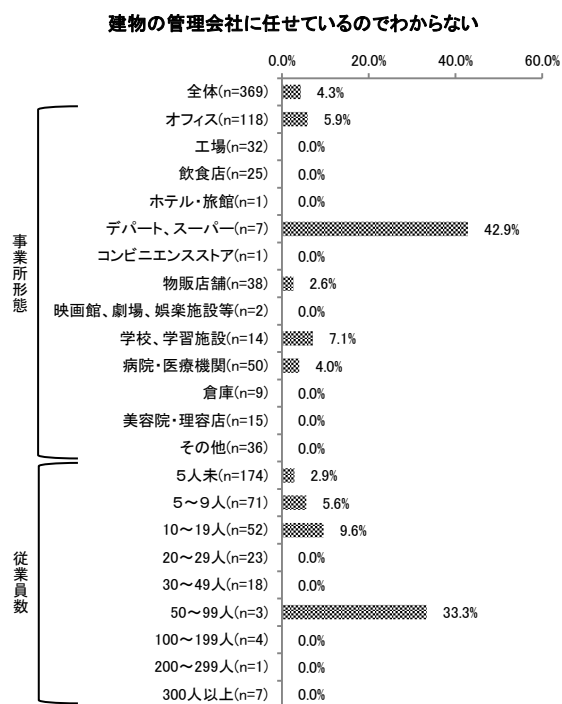
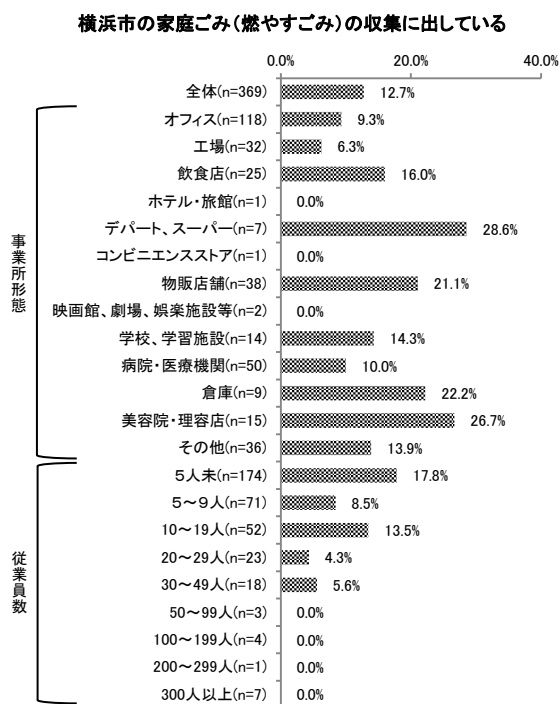
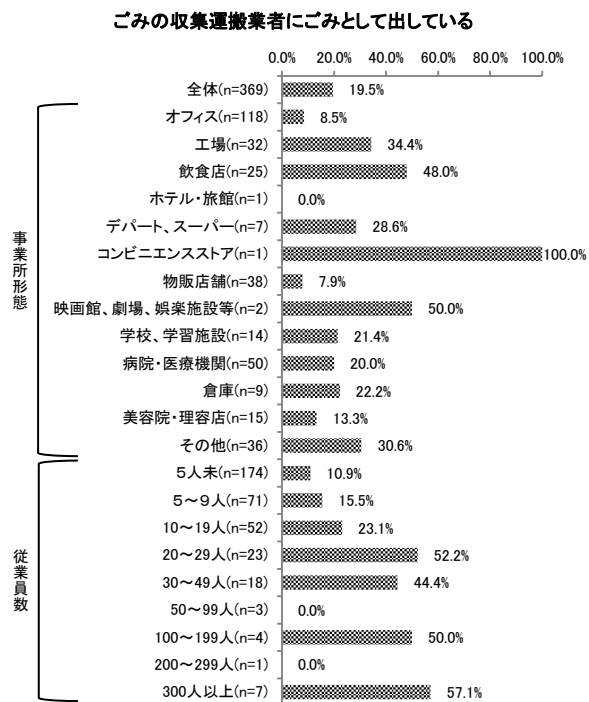
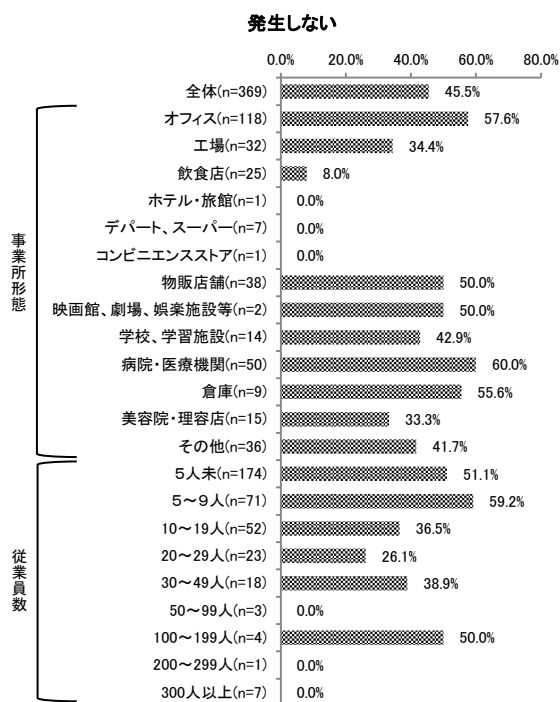


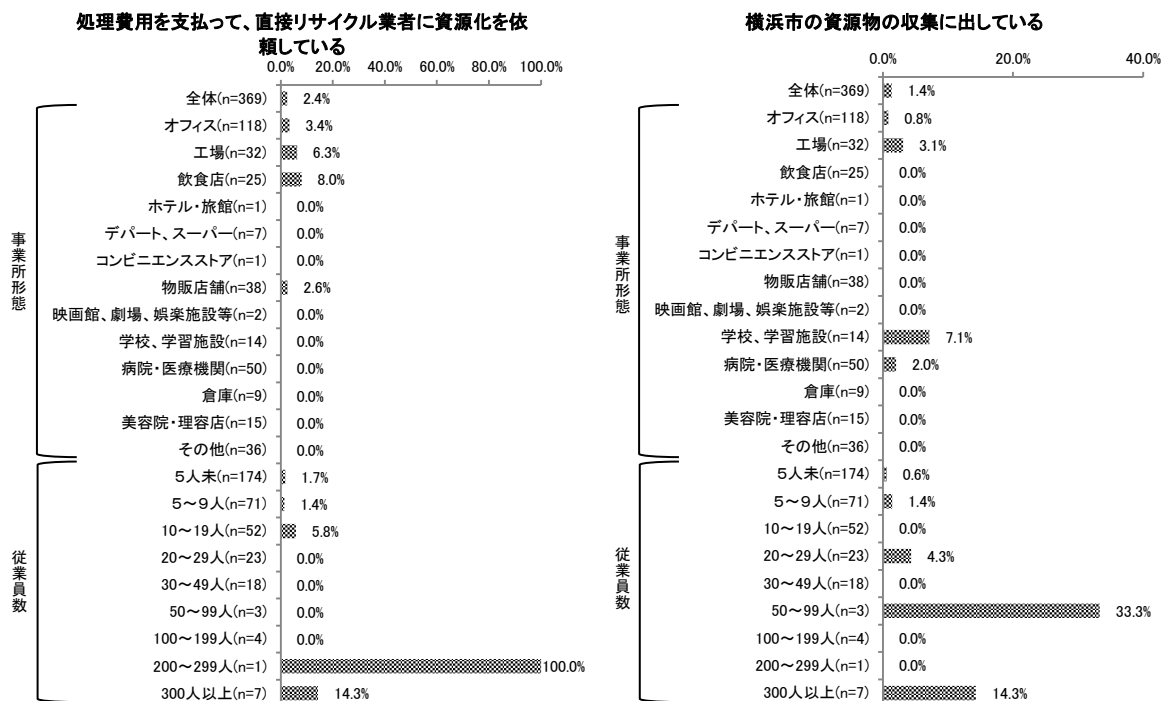


事業所形態別に比較すると、「横浜市の資源物の収集に出している」と回答した事業所は、「学校、学習施設」が 50.0%で最も高く、次いで「美容院・理容店」が 40.0%、「デパート、スーパー」が 28.6%と続いている。

従業員数別では、「50～99 人」が 66.7%で最も高く、次いで「5 人未」が 32.2%、「5～9 人」が 18.3%という結果になった。

調理くず、食品加工くず（上位6位まで）

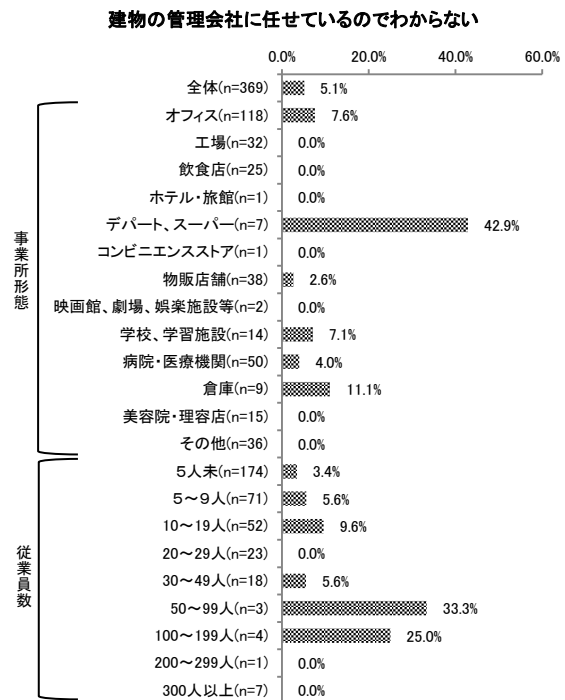
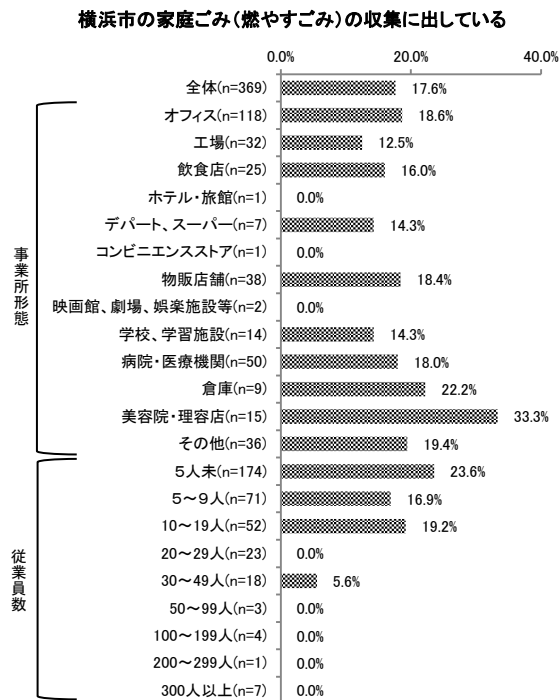
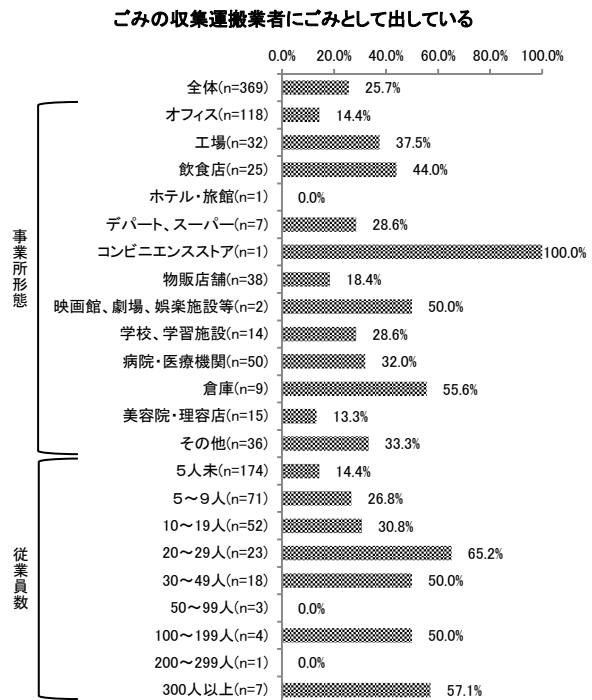
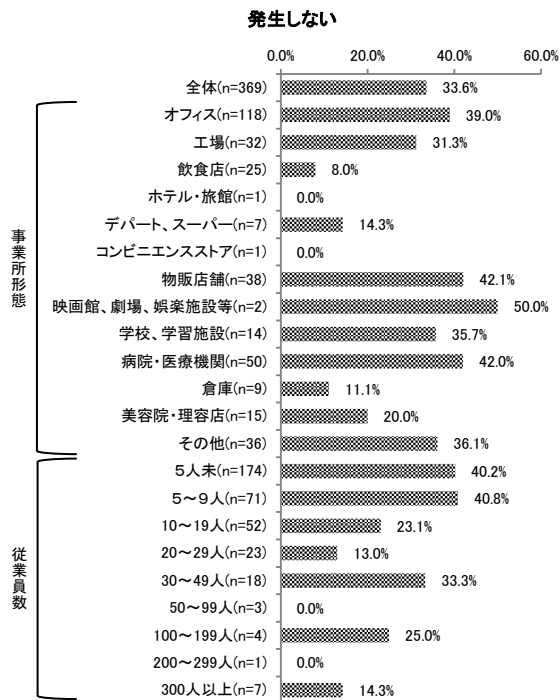


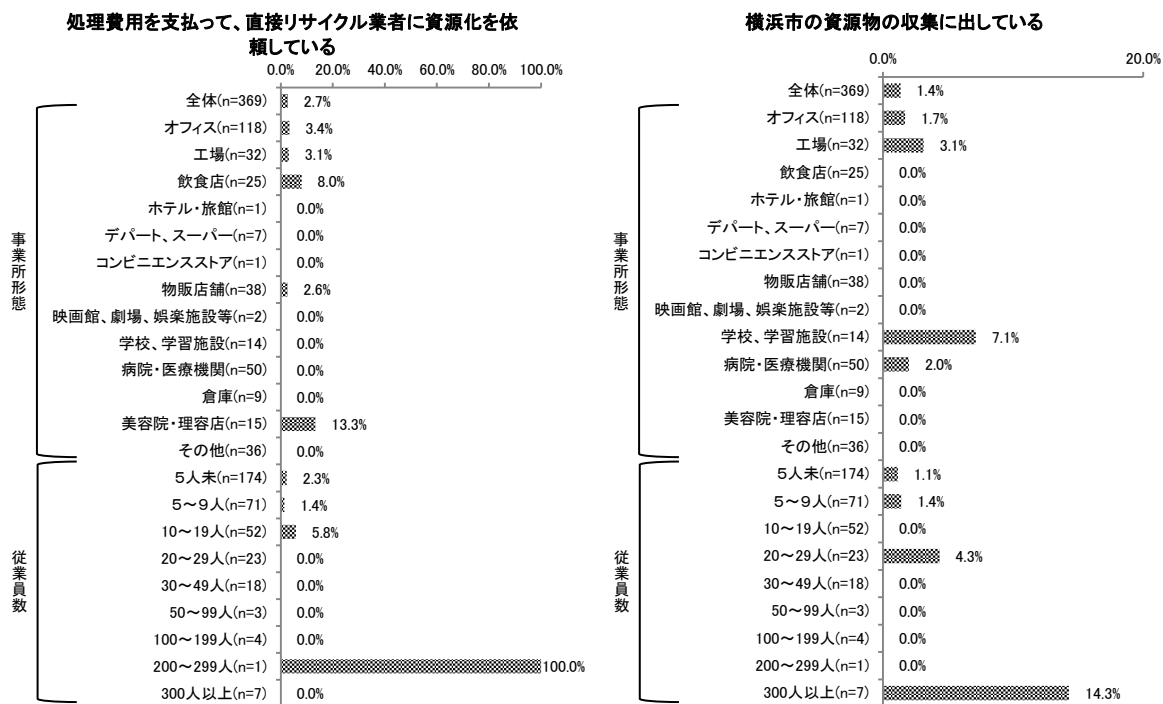


事業所形態別に比較すると、「発生しない」と回答した事業所は、「学校、学習施設」が60.0%で最も高く、次いで「オフィス」が57.6%、「倉庫」が55.6%と続いている。

従業員数別では、「5～9人」が59.2%で最も高く、次いで「5人未」が51.1%、「100～199人」が50.0%という結果になった。

食べ残し（残飯）、売れ残り廃棄食品（上位6位まで）



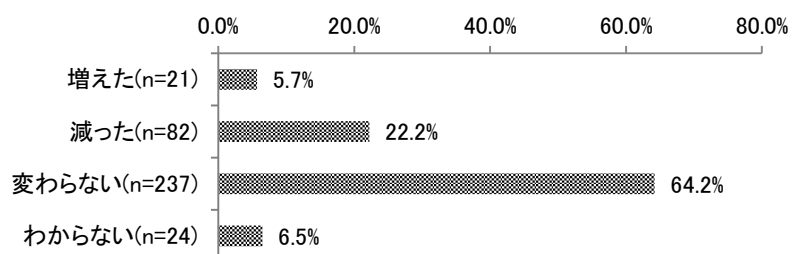


事業所形態別に比較すると、「発生しない」と回答した事業所は、「映画館、劇場、娯楽施設等」が50.0%で最も高く、次いで「物販店舗」が42.1%、「病院・医療機関」が42.0%と続いている。

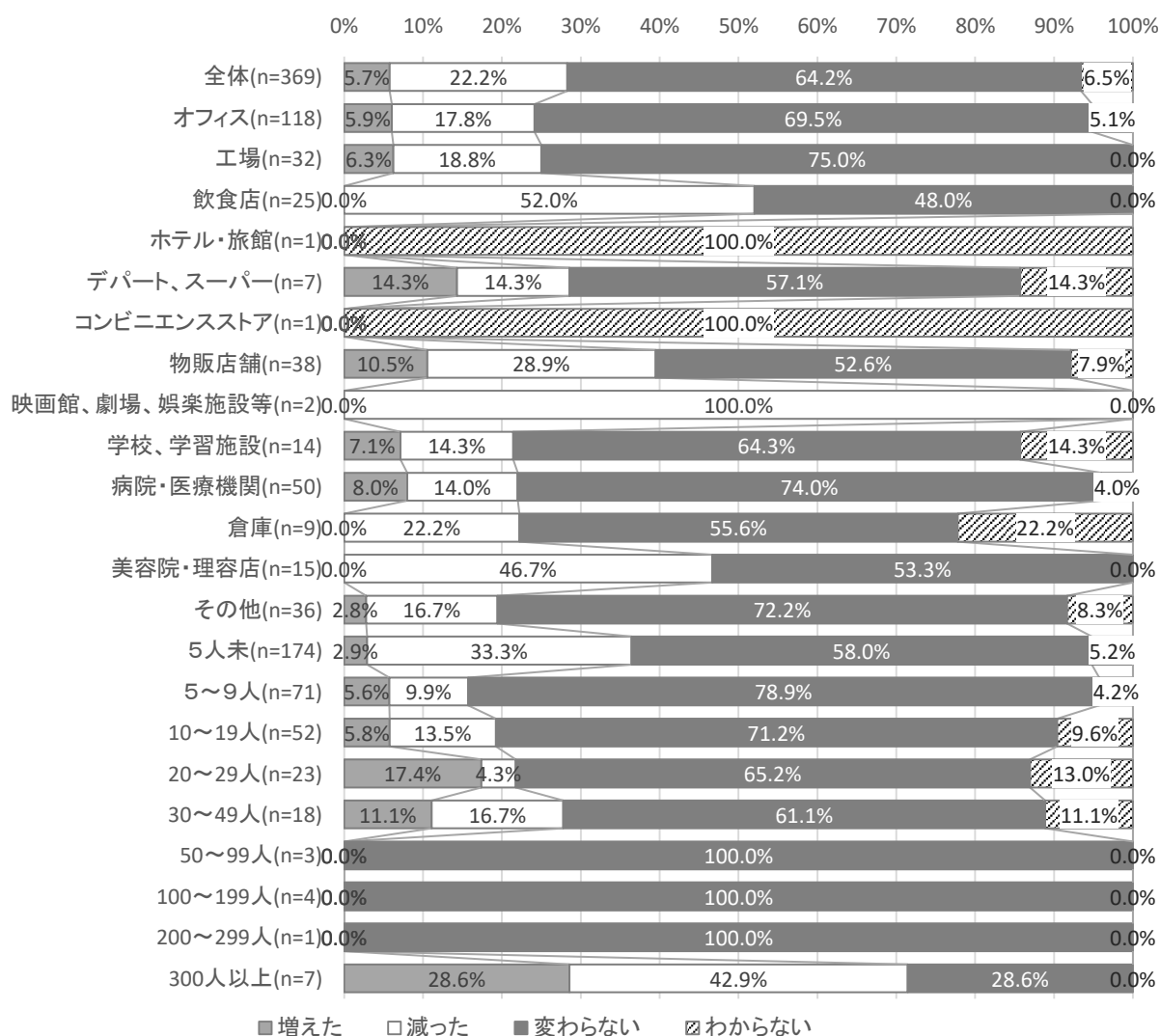
従業員数別では、「5～9人」が40.8%で最も高く、次いで「5人未」が40.2%、「30～49人」が33.3%という結果になった。

3.2 ごみの排出量の増減について

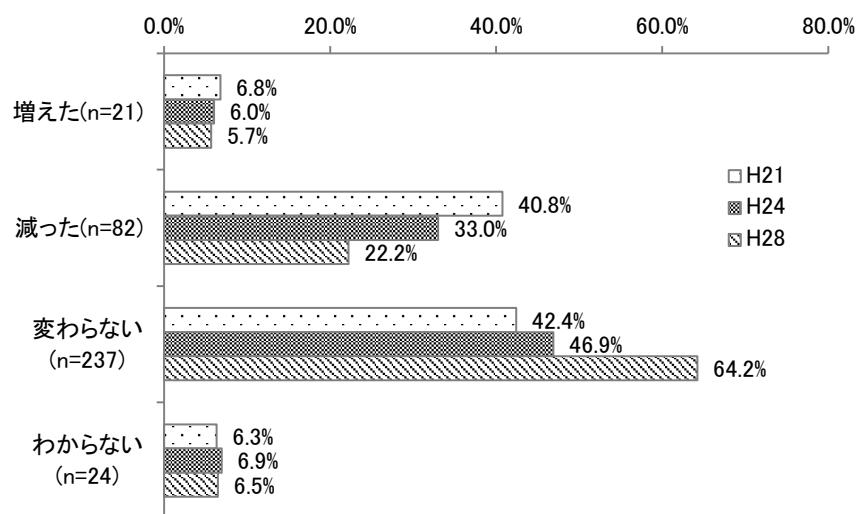
問2 貴事業所では、ここ2～3年の間に、「一般ごみ（燃やすごみ）」の排出量は増えましたか、減りましたか。○はひとつ。(n=369)



全体集計では、「変わらない」が64.2%で最も高く、次いで「減った」が22.2%と続いている。事業所形態別に比較すると、「変わらない」と回答した事業所は、「工場」が75.0%で最も高く、次いで「病院・医療機関」が74.0%、「オフィス」が69.5%と続いている。

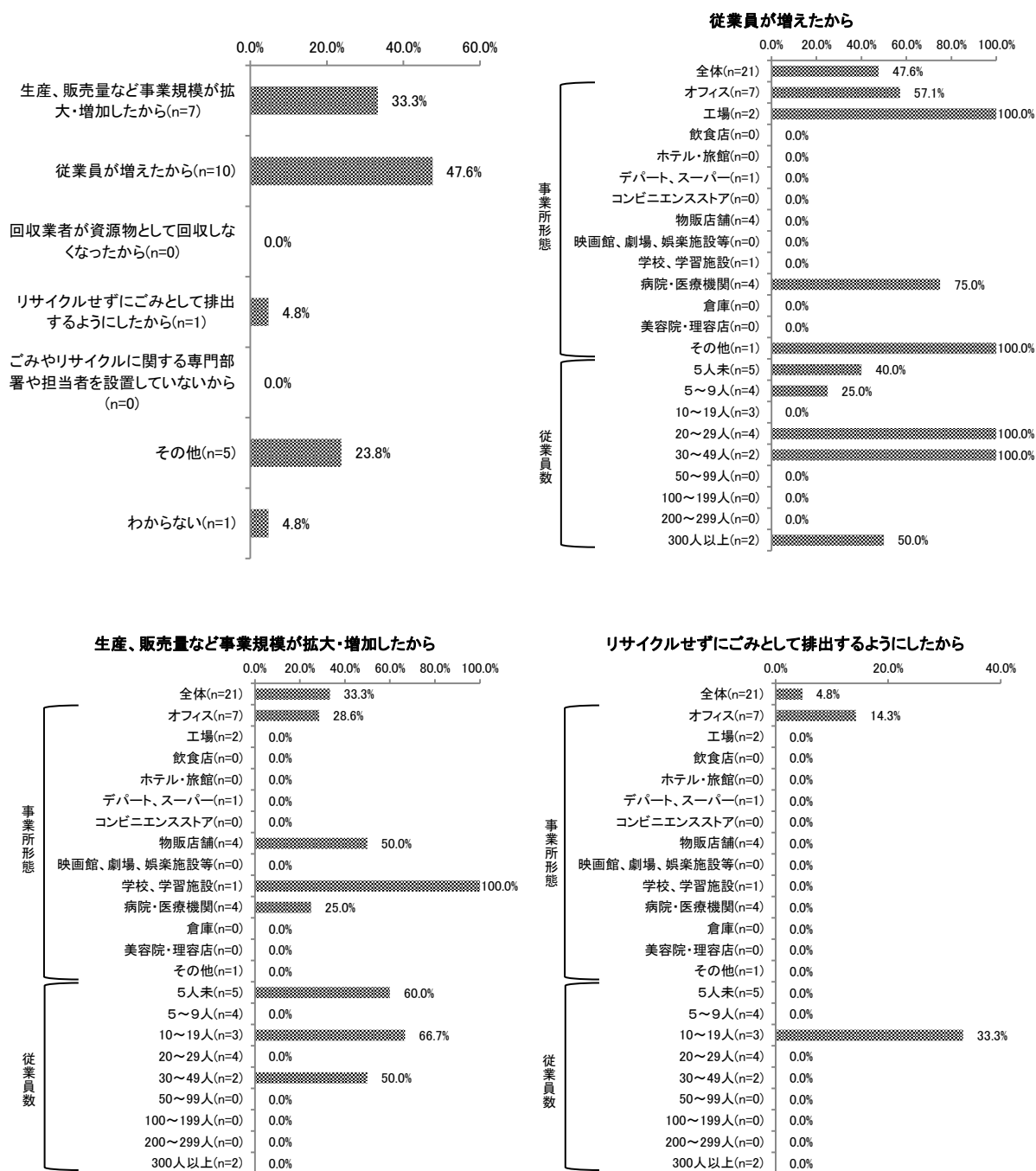


経年変化



ごみの排出量を年度別に比較すると、「増えた」又は、「減った」と回答した事業所の比率は低下しているが、「変わらない」と回答した事業所の比率は高くなっている。そのため、ごみの排出量の変化が少なくなっていることが分かる。

問3 問2で1を選択した方におたずねします。増えた理由は何ですか。○はいくつでも。
(N=21)

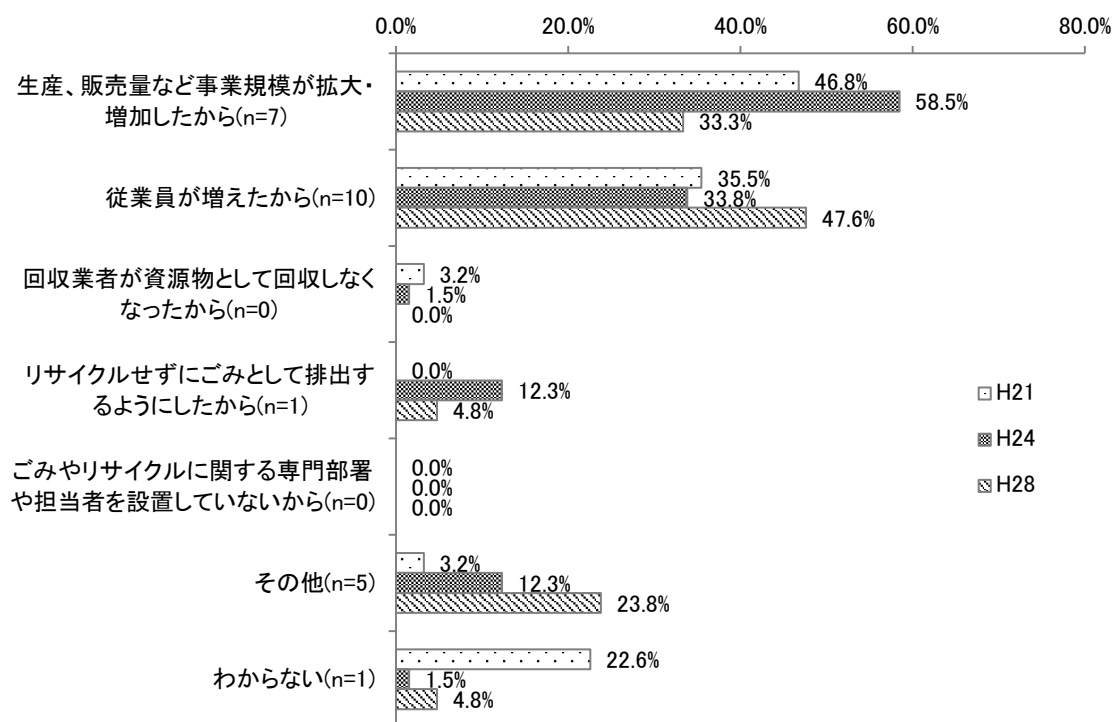


全体集計では、「従業員が増えたから」が47.6%で最も多く、次いで「生産、販売量など事業規模が拡大・増加したから」が33.3%と続いている。

事業所、従業員数別に比較すると、「リサイクルせずにごみとして排出するようにしたから」と回答したのは、「オフィス」、「10～19人」のみであった。

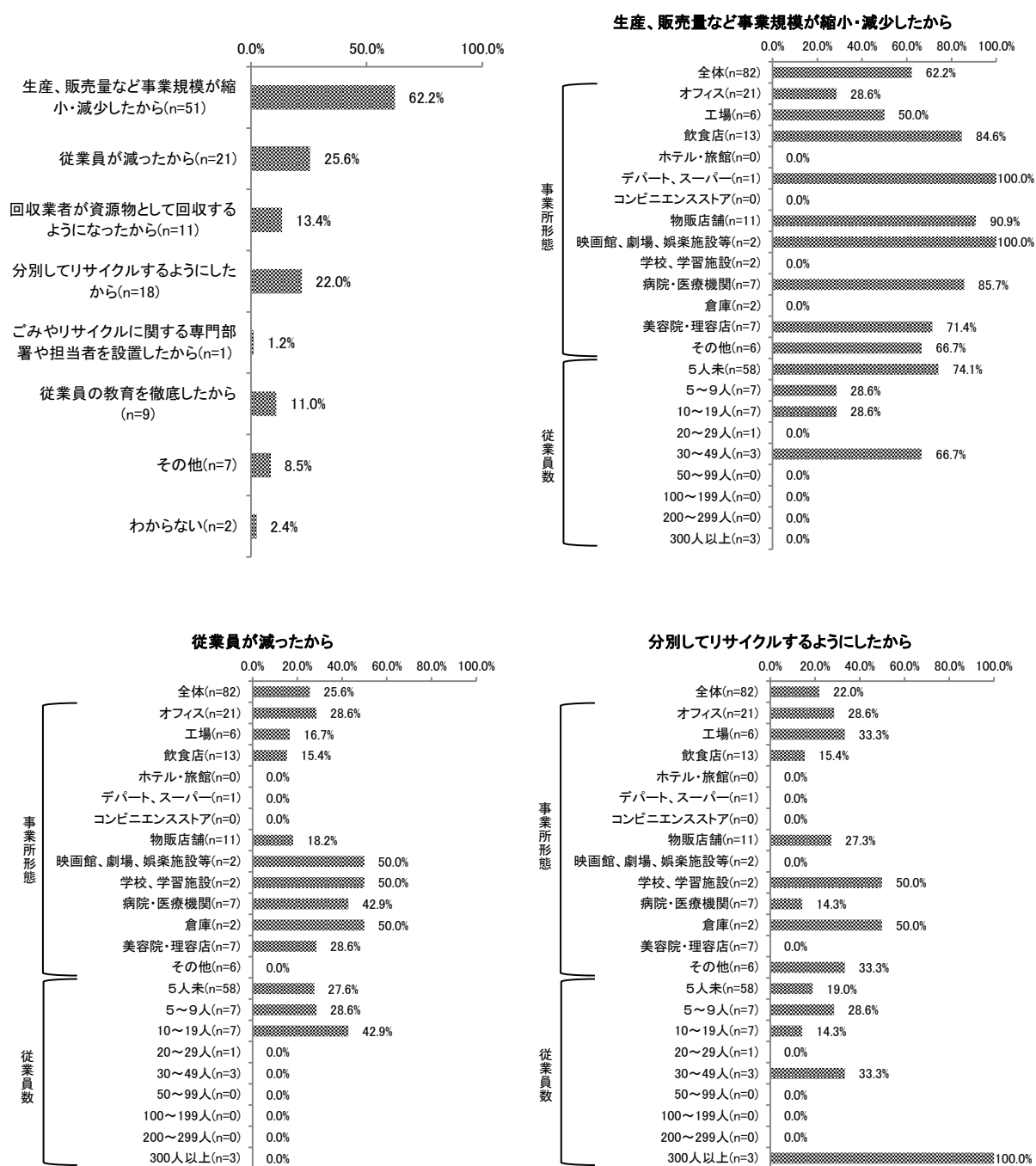
経年変化

※過去の調査では「ごみやリサイクルに関する専門部署や担当者を設置していないから」の選択肢がない。さらに、平成 21 年度調査では「リサイクルせずにごみとして排出するようになったから」の選択肢がない。



ごみの排出量が増えた理由を年度別に比較すると、平成 21 年度、平成 24 年度は「生産、販売量など事業規模が拡大・増加したから」が最も高かったが、平成 28 年度では「従業員が増えたから」が最も高い。

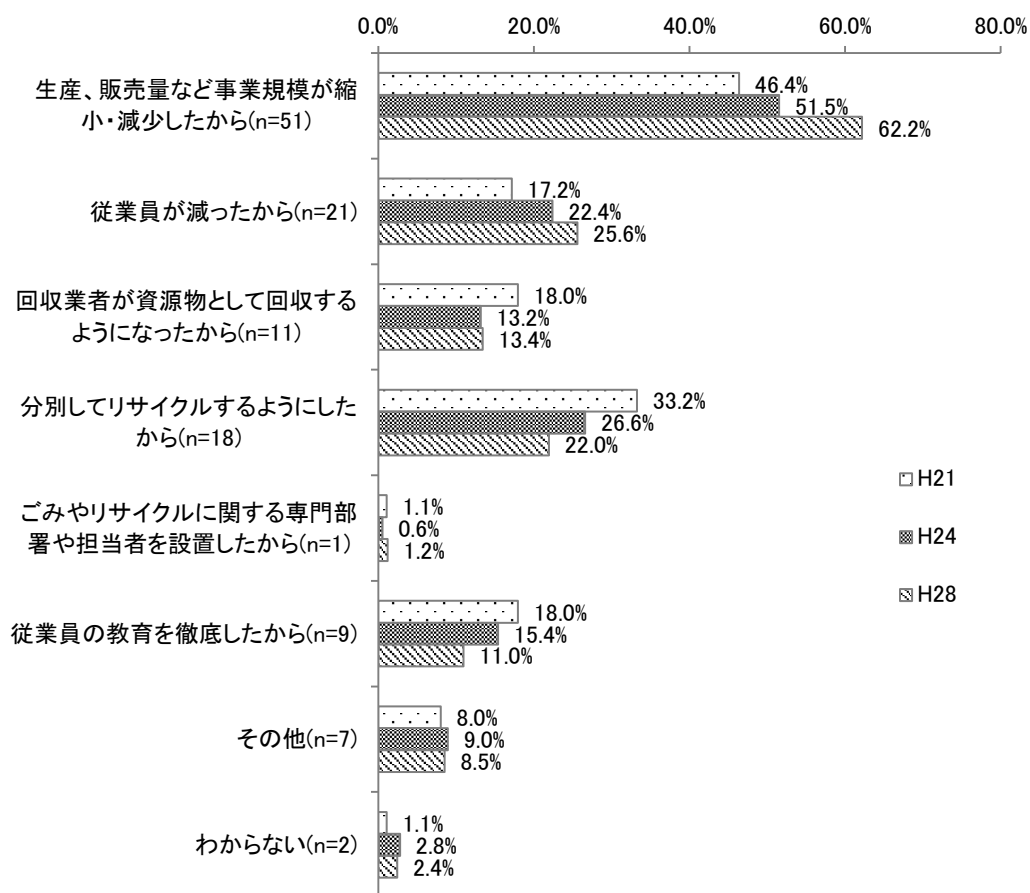
問4 問2で2を選択した方におたずねします。減った理由は何ですか。○はいくつでも。
(N=82)



全体集計では、「生産・販売など事業規模が縮小・減少したから」が62.2%で最も高く、次いで「従業員が減ったから」が25.6%、「分別してリサイクルするようにしたから」が22.0%と続いている。

事業所形態別に比較すると、「従業員が減ったから」と回答した事業所は、「映画館、劇場、娯楽施設等」、「学校、学習施設」、「倉庫」が同率で50.0%となっている。

経年変化

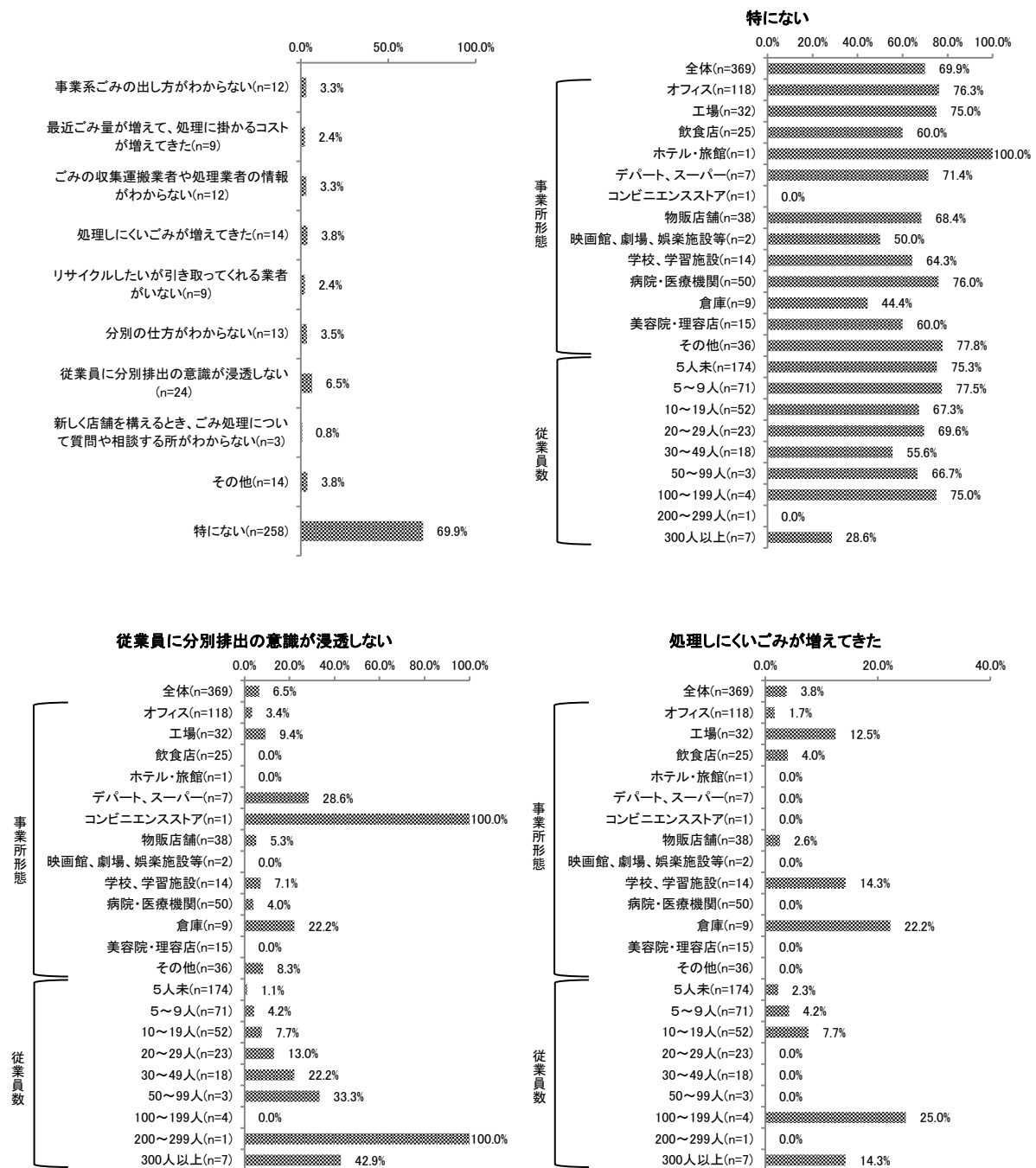


ごみの排出量が減少した理由を年度別に比較すると、「生産、販売量など事業規模が縮小、減少したから」及び、「従業員が減ったから」と回答した事業所の比率は増加の傾向にあり、「分別してリサイクルするようにしたから」及び、「従業員の教育を徹底したから」の比率は低下の傾向にある。

以上の比較結果から、ごみの減少の大きな理由が、事業規模の縮小であると分かる。

3.3 ごみ処理上の問題点や対処方法について

問5 貴事業所は、ごみを処理する上で困っていることはありますか。〇はいくつでも。
(n=369)

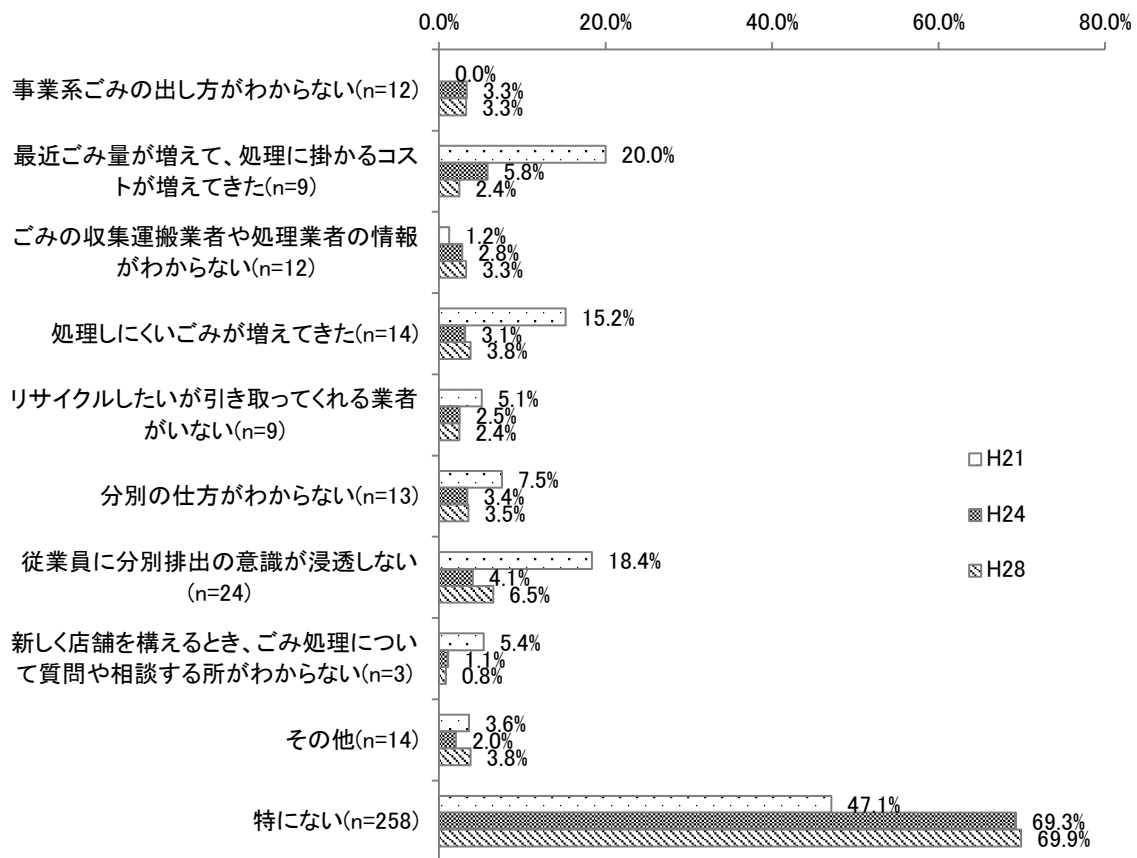


全体集計では、「特にない」が69.9%となった。

事業所形態別に比較すると、「処理しにくいごみが増えてきた」と回答した事業所は、「倉庫」が22.2%で最も高く、次いで「学校、学習施設」が14.3%、「工場」が12.5%と続いている。

経年変化

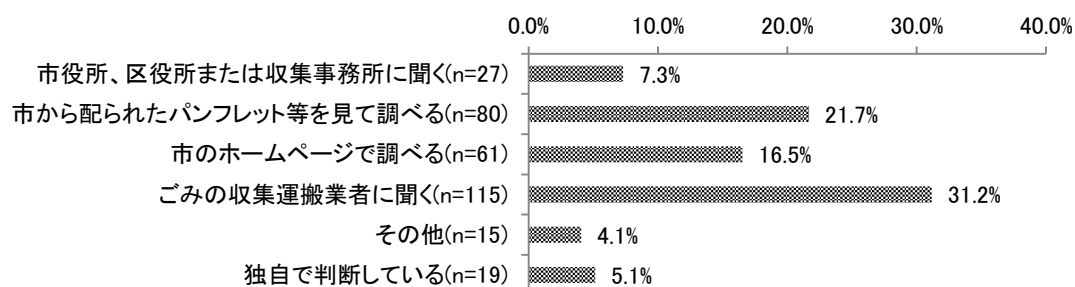
※平成 21 年度調査では、「事業系ごみの出し方が分からない」の選択肢がない。



年度別に比較すると、「特にない」以外の全ての項目が平成 21 年度調査を下回っているが、「特にない」が 22.8%上昇している。

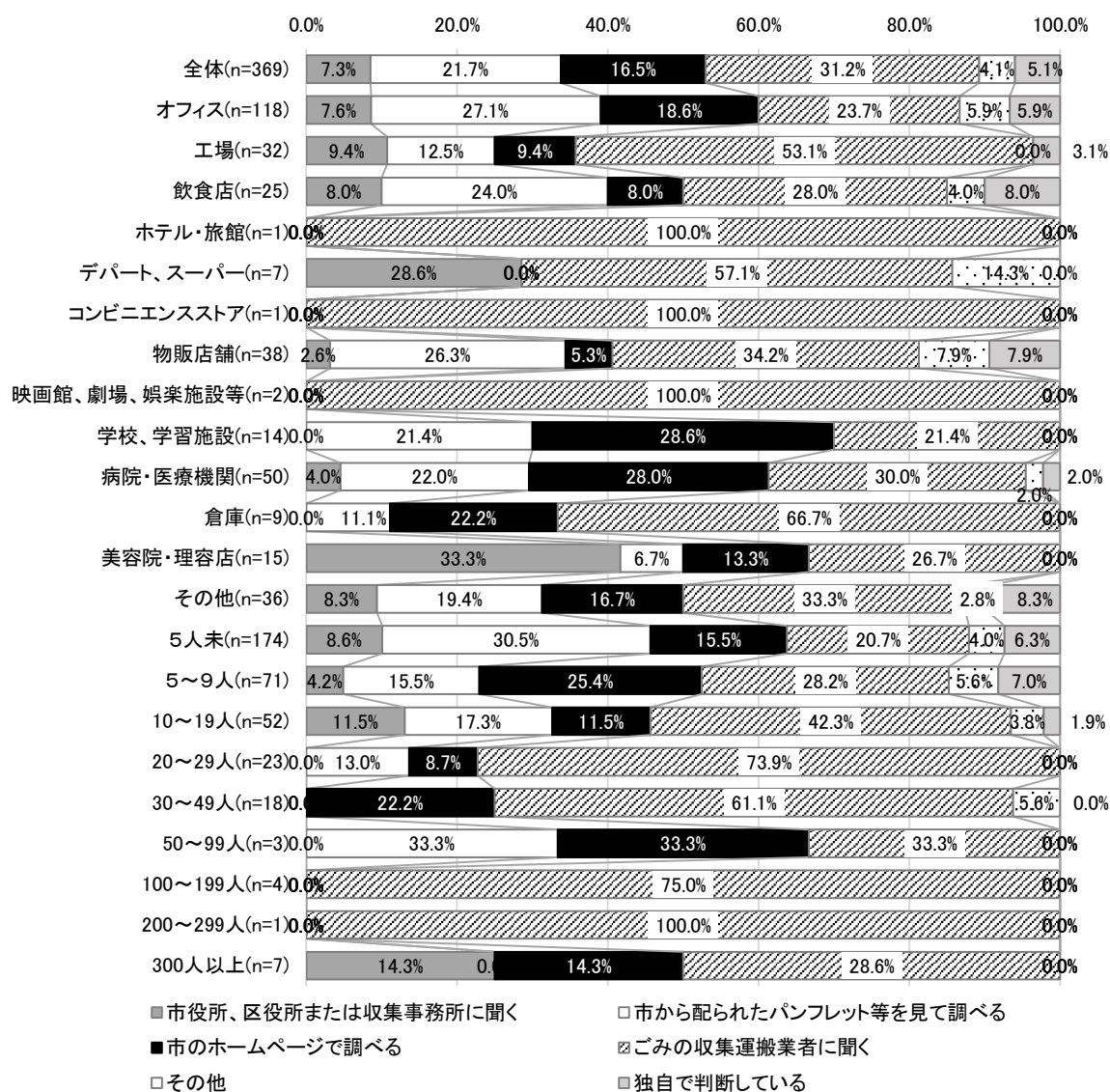
問6 ごみの分別や処分方法についてわからないとき、どのように対処していますか。

○はひとつ。(n=369)



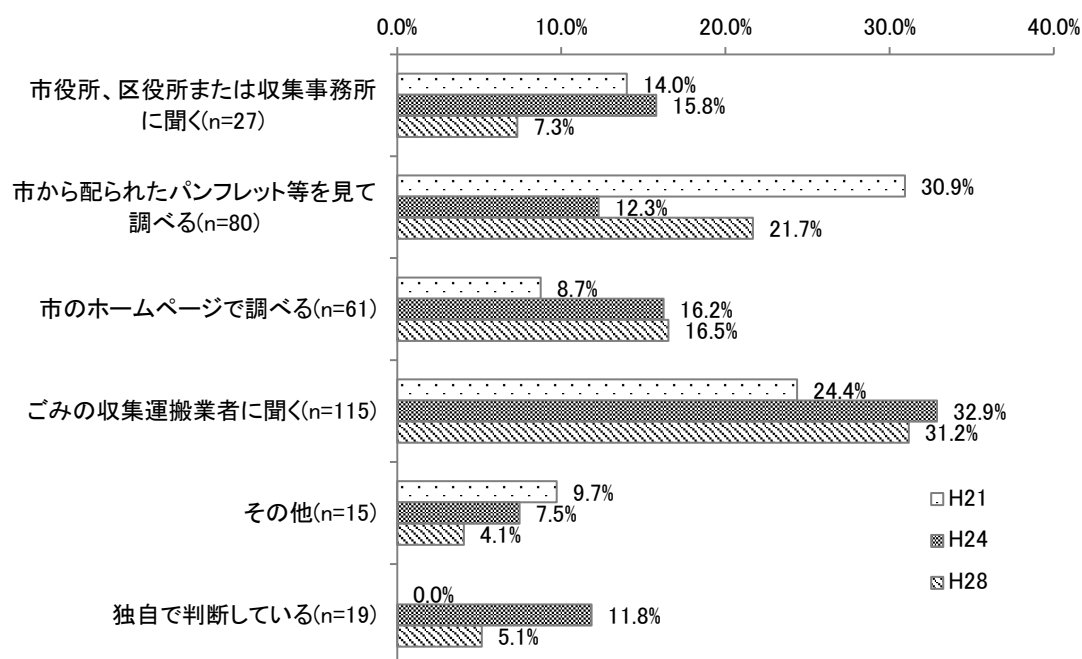
単純集計では、「ごみの収集運搬業者に聞く」が31.2%で最も高く、次いで「市から配られたパンフレット等を見て調べる」が21.7%、「市のホームページで調べる」が16.5%と続いている。

事業所形態別では、「市から配られたパンフレット等を見て調べる」と回答した事業所は、「オフィス」が27.1%で最も高く、次いで「物販店舗」が26.3%、「飲食店」が24.0%と続いている。



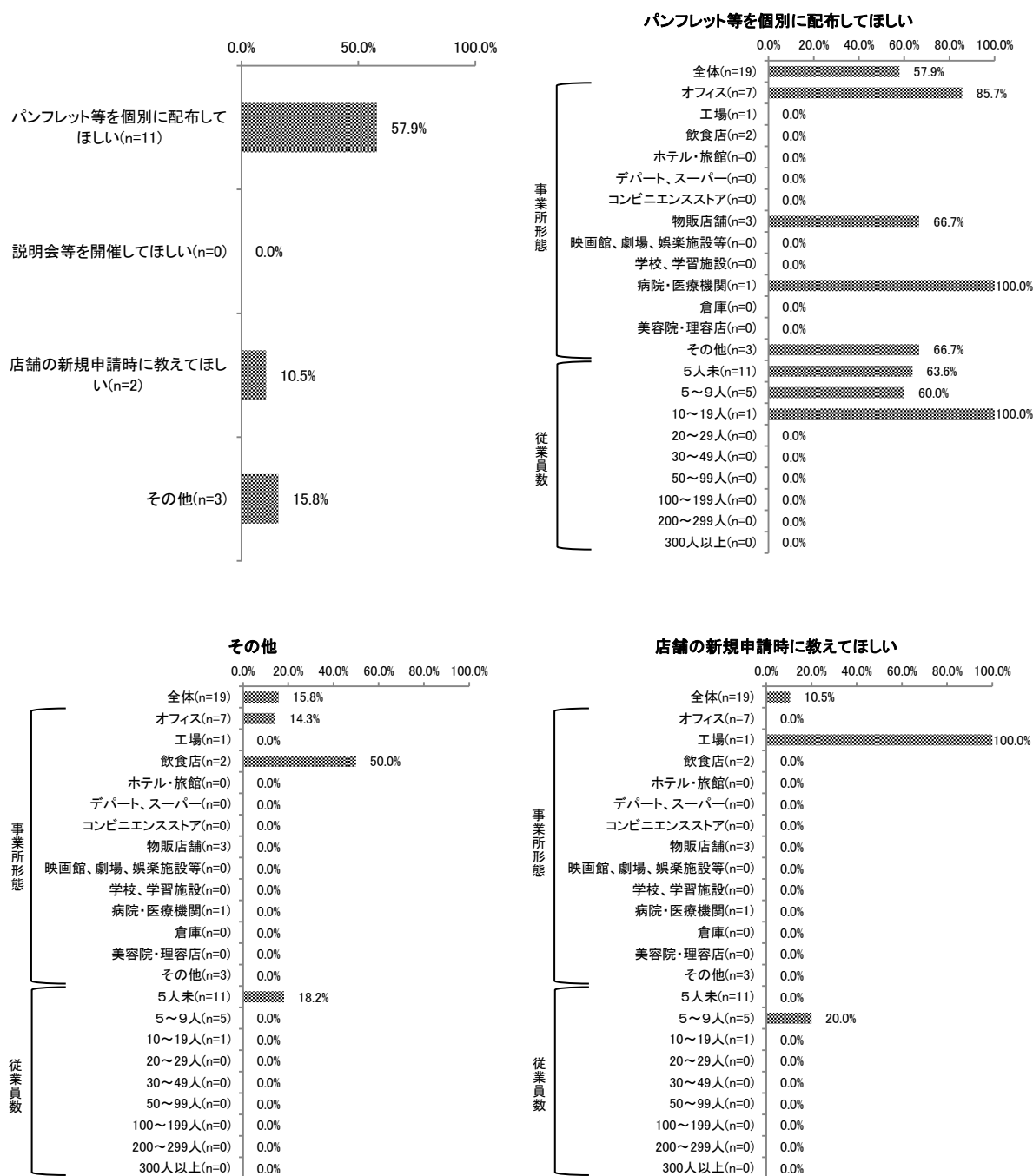
経年変化

※平成 21 年度調査では、「独自で判断している」の選択肢がない。



ごみの分別や処理方法が分からないときの対処法を年度別で比較すると、平成 21 年度では「市から配られたパンフレット等を見て調べる」が 30.9%で最も高かったが、平成 24 年度、平成 28 年度では「ごみの収集運搬業者に聞く」がそれぞれ 32.9%、31.2%で最も高いという結果になった。

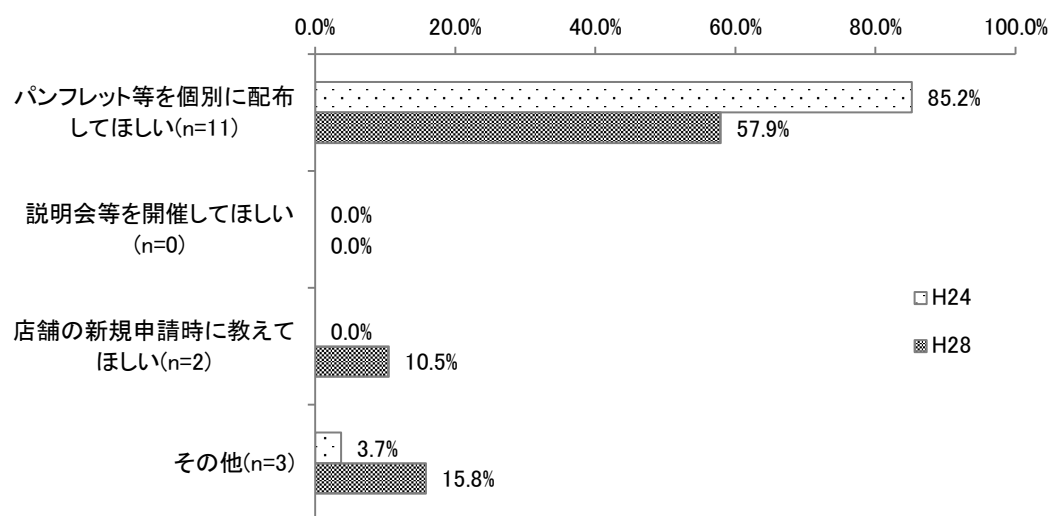
問7 問6で6を選択した方におたずねします。今後、どのような情報提供があればよいと思いますか。〇はいくつでも。(N=19)



単純集計では、「パンフレット等を個別に配布してほしい」が57.9%で最も高く、次いで「その他」で15.8%、「店舗の新規申請時に教えてほしい」が10.5%となった。

事業所形態別に比較すると、「パンフレット等を個別に配布してほしい」と回答した事業所は、「病院・医療機関」が100.0%で最も高く、次いで「オフィス」が85.7%、「物販店舗」が66.7%と続いている。

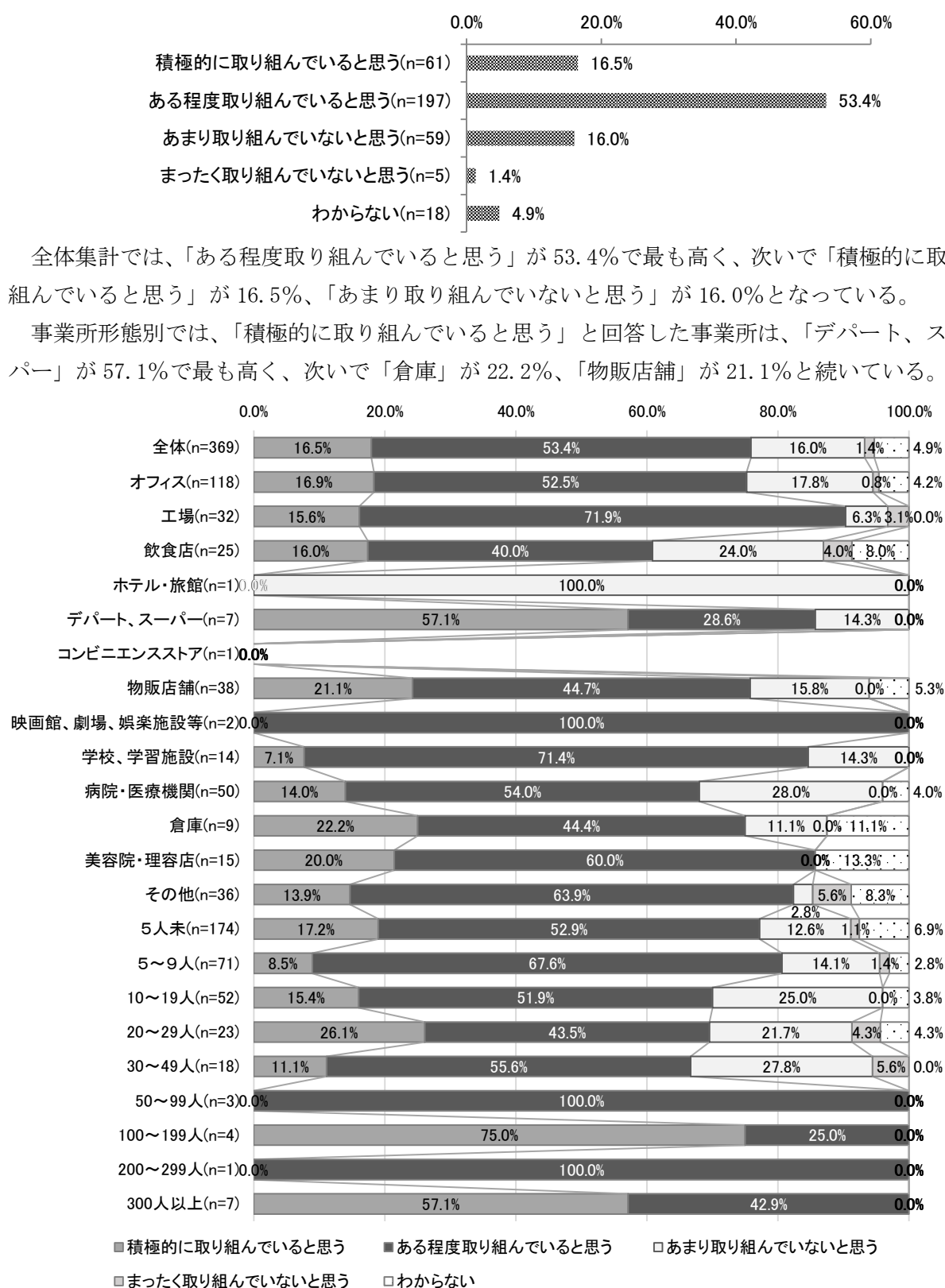
経年変化



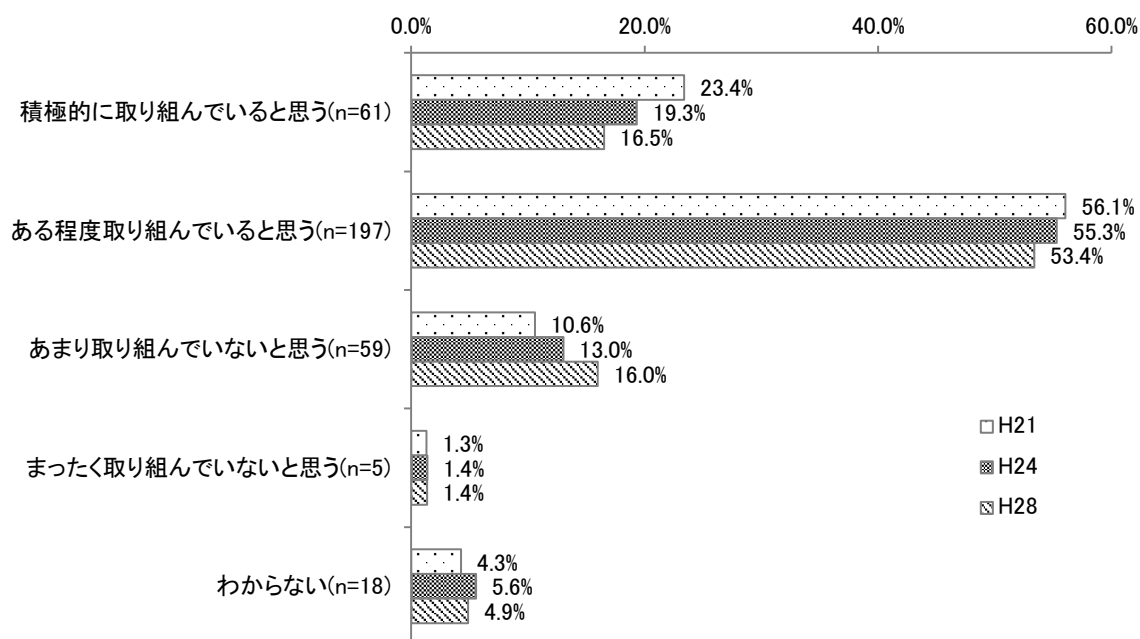
行ってほしい情報提供を年度別に比較すると、「パンフレット等を個別に配布してほしい」が平成 24 年度では 85.2%だったが、平成 28 年度では 57.9%となっている。

3.4 ごみの減量・リサイクルへの意識と取組状況について

問8 貴事業所では、ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組んでいると思いますか。
○はひとつ。(n=369)

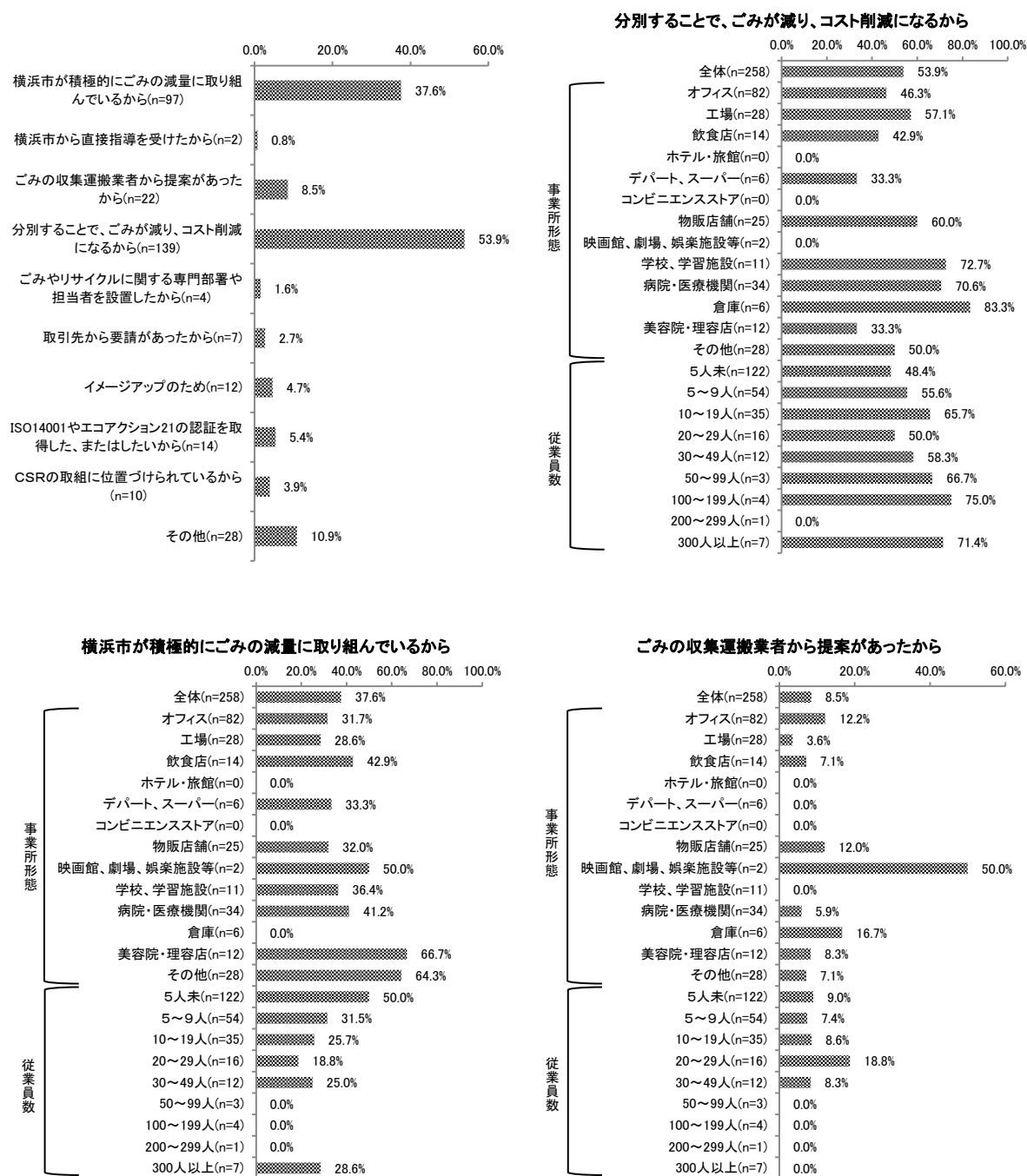


経年変化



ごみの減量・リサイクルへの取組について年度別に比較すると、「積極的に取り組んでいると思う」及び、「ある程度取り組んでいると思う」の比率は低下しているが、「あまり取り組んでいないと思う」の比率は高くなっている。

問9 問8で1か2を選択した方におたずねします。ごみの減量・リサイクルに取り組んだきっかけは何ですか。○はいくつでも。(N=258)

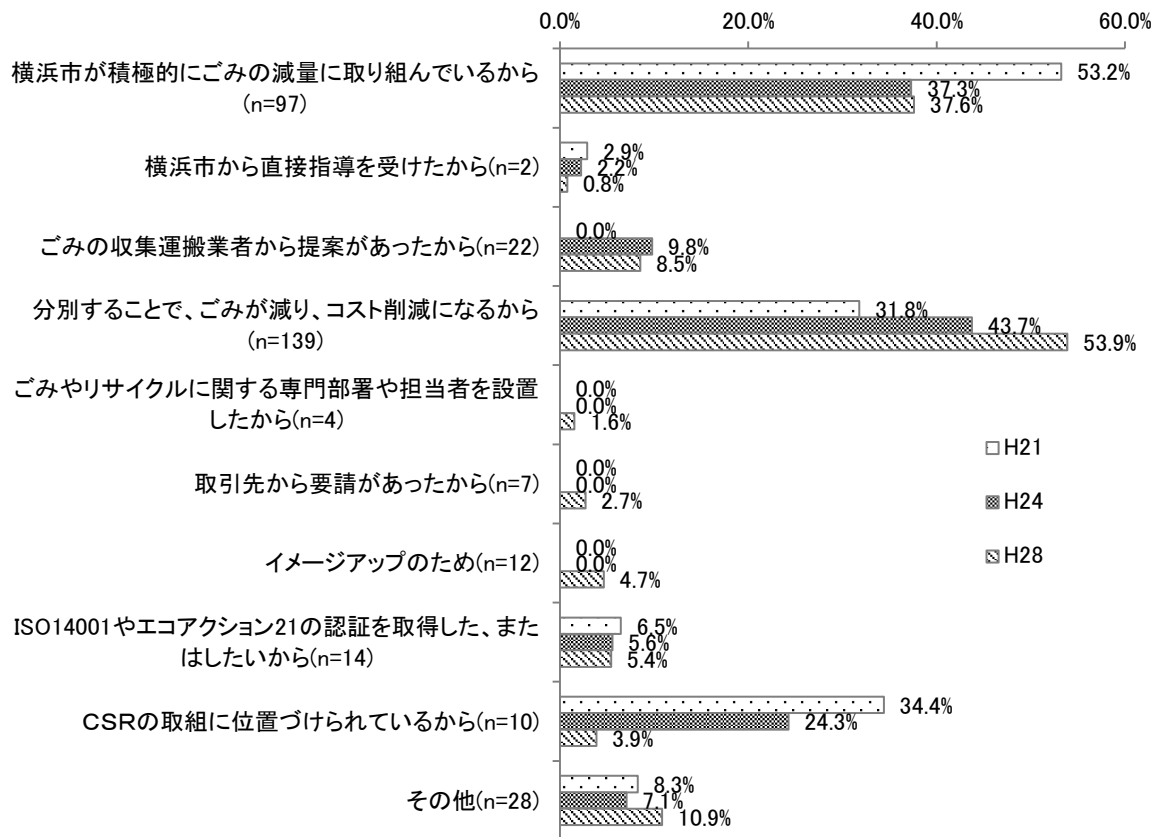


全体集計では、「分別することで、ごみが減り、コスト削減になるから」が53.9%で最も高く、次いで「横浜市が積極的にごみの減量に取り組んでいるから」が37.6%、「ごみの収集業者から提案があったから」が8.5%と続いている。

事業所形態別では、「分別することで、ごみが減り、コスト削減になるから」と回答した事業所は、「倉庫」が83.8%で最も高く、次いで「学校、学習施設」で72.7%という結果になった。

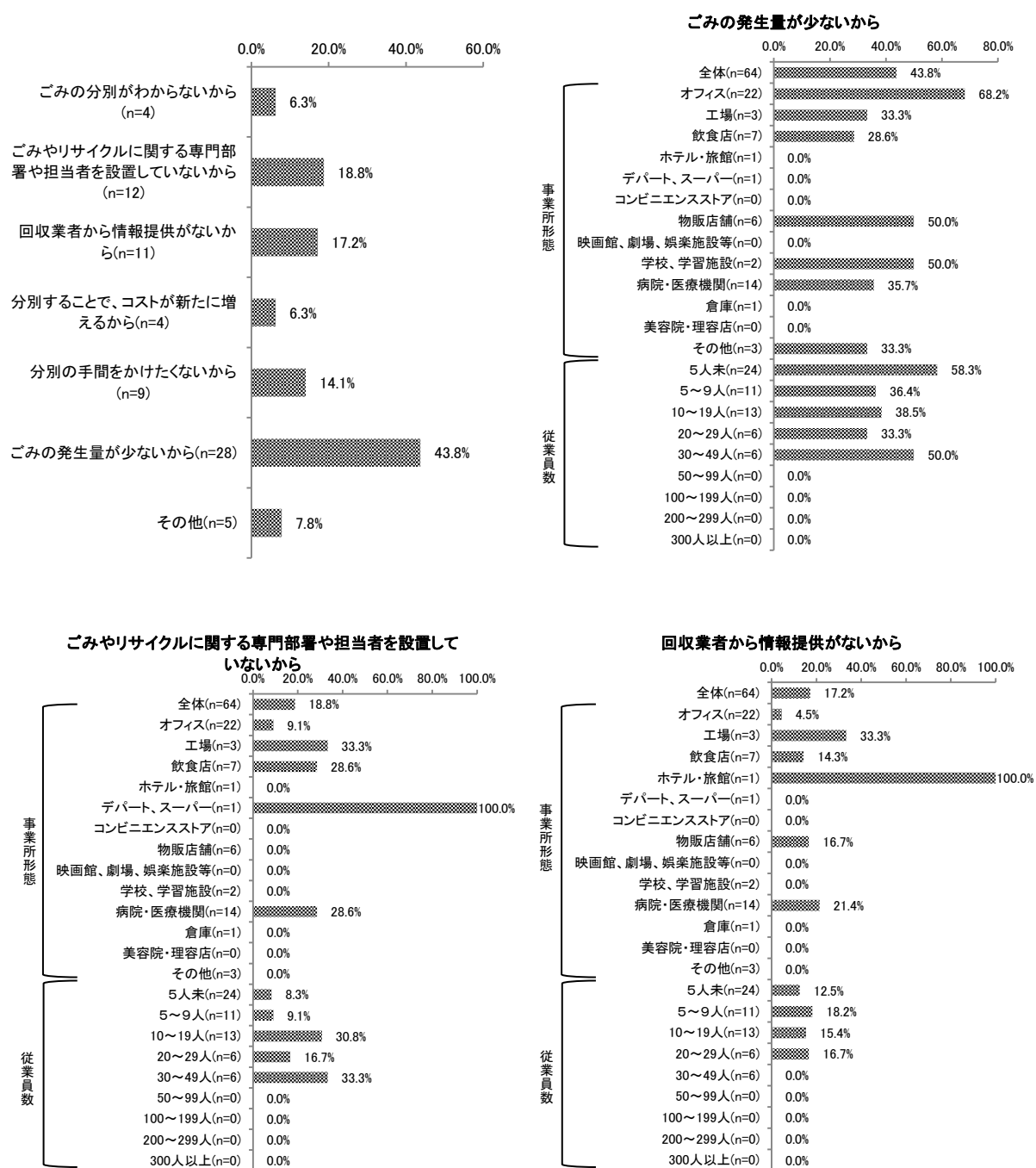
経年変化

※過去の調査では、「ごみやリサイクルに関する専門部署や担当者を設置したから」、「取引先から要請があったから」、「イメージアップのため」の選択肢がない。さらに、平成 21 年度調査では「ごみの収集運搬業者から提案があったから」の選択肢がない。



年度別に比較すると、「横浜市が積極的にごみの減量に取り組んでいるから」、「CSRの取組に位置づけられているから」の比率は低下しているが、「分別することで、ごみが減り、コスト削減になるから」の比率は高くなっている。

問 10 問8で3か4を選択した方におたずねします。ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組んでいない理由は何ですか。○はいくつでも。(N=64)

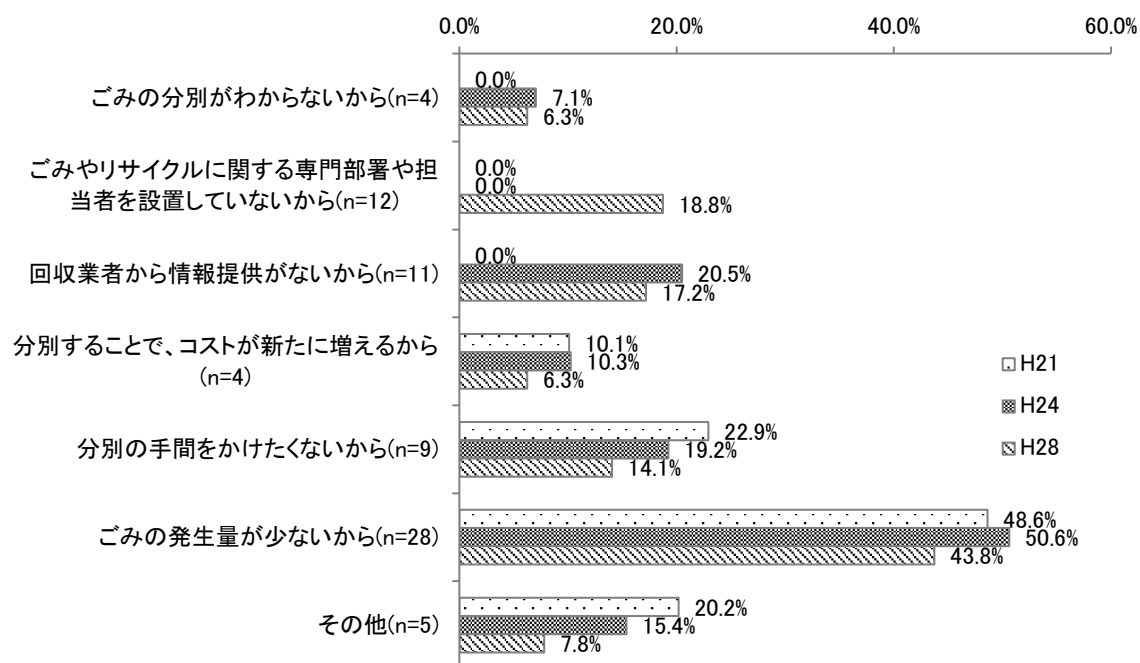


全体集計では、「ごみの発生量が少ないから」が43.8%で最も高く、次いで「ごみやリサイクルに関する担当部署や担当者を設置していないから」が18.8%、「回収業者から情報提供がないから」が17.2%と続いている。

事業所形態別に比較すると、「ごみの発生量が少ないから」と回答した事業所は、「オフィス」が68.2%で最も高く、次いで「物販店舗」、「学校、学習施設」が同率で50.0%と続いている。

経年変化

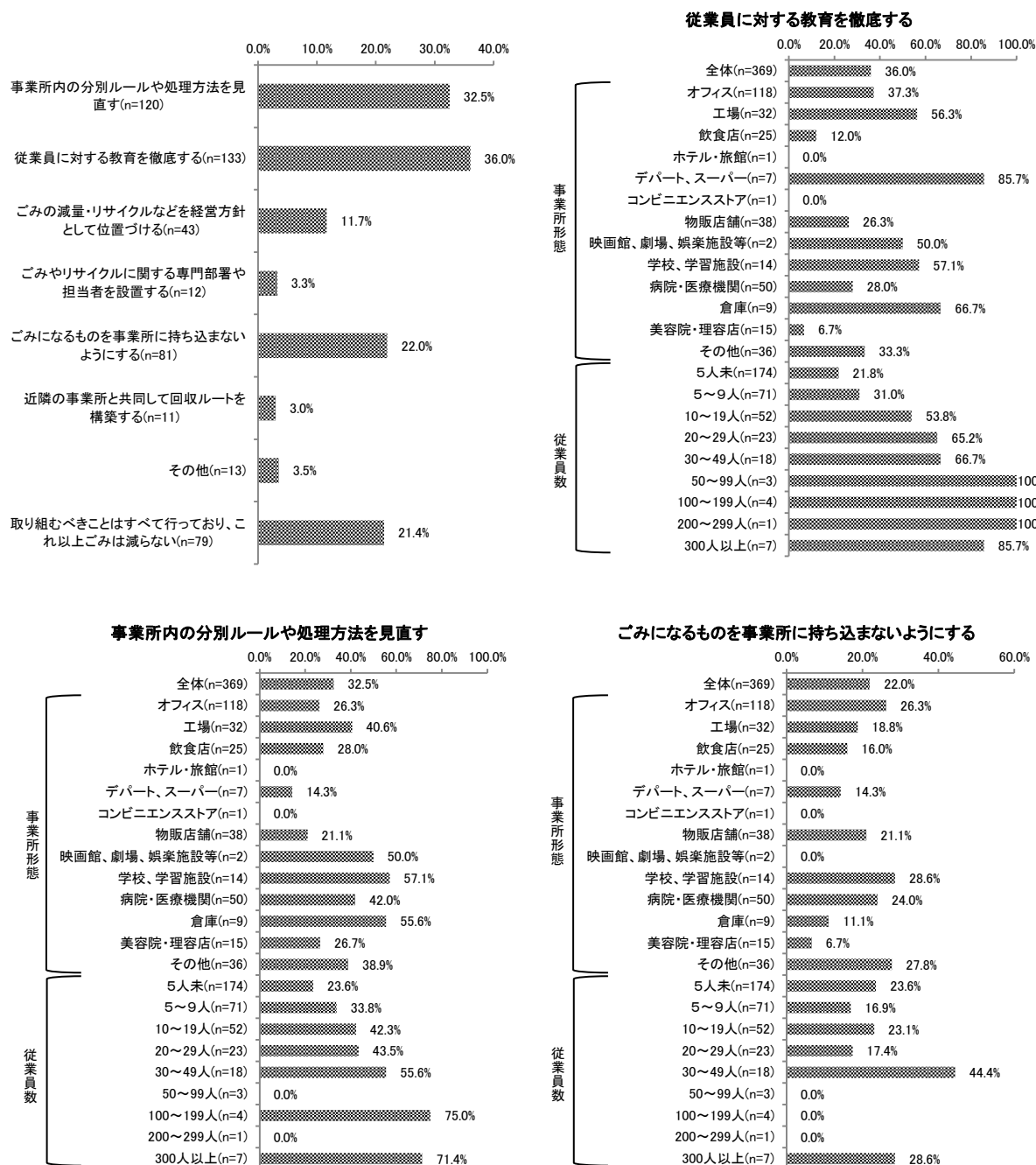
※過去の調査では、「ごみやリサイクルに関する専門部署や担当者を設置していないから」の選択肢がない。また、平成 21 年度の調査では「ごみの分別が分からないから」、「分別することで、コストが新たに増えるから」の選択肢がない。



年度別に比較すると、いずれの年度でも「ごみの発生量が少ないから」が最も高い。また、「回収業者から情報提供がないから」、「分別の手間をかけたくないから」の比率は低下している。

ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組む事業所が減少傾向にある要因には、事業規模の縮小や従業員数の減少により、分別するためのコストや、人員を配置できないこともあると考えられる。

問 11 貴事業所では、ごみの減量を進めるためには、どのようなことに取り組む必要がある
 と思いますか。〇はいくつでも。(n=369)

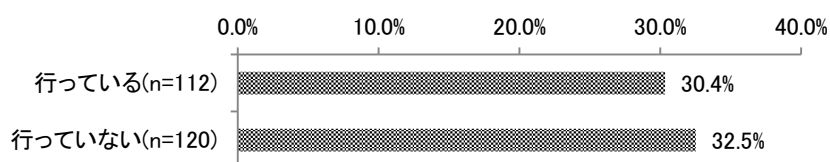


全体集計では、「従業員に対する教育を徹底する」が36.0%で最も高く、次いで「事業所内の分別ルールや処理方法を見直す」が32.5%、「ごみになるようなものを事業所に持ち込まないようにする」が22.0%と続いている。

従業員数別に比較すると、「従業員に対する教育を徹底する」と回答した事業所は、「50～99人」、「100～199人」、「200～299人」が同率で100%、「300人以上」が85.7%となり、従業員数が多いほど教育を徹底する必要があると考えていることが分かる。

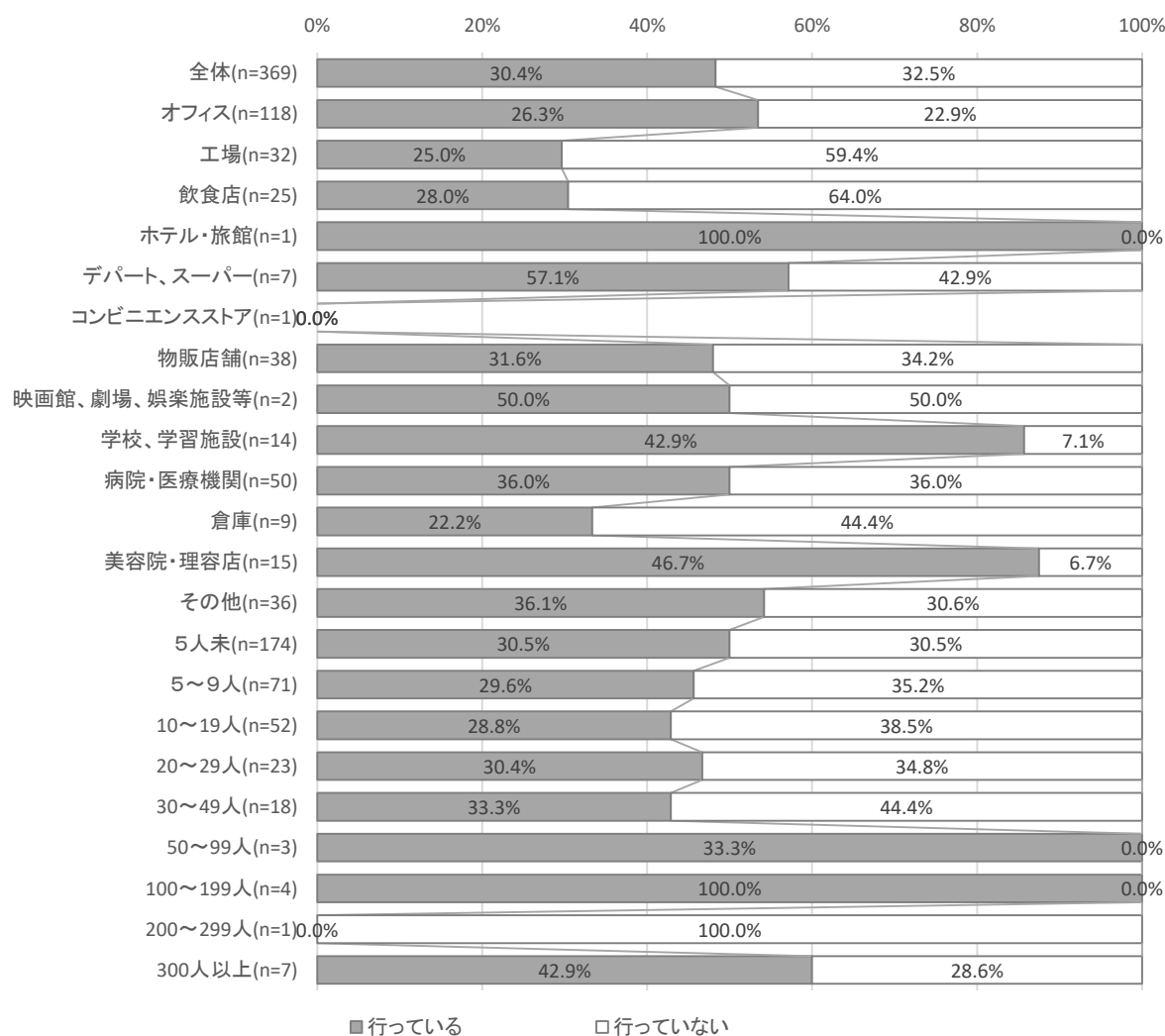
3.5 商品やサービスに対するごみの発生抑制の取組について

問 12 貴事業所が製造する製品や販売する商品の包装を簡易にしたり、使い捨てになるもの（例：割り箸、おしぼり、紙ナプキン等）の提供をやめるなどの、ごみの発生抑制につながる取組を行っていますか。○はひとつ。（n=369）

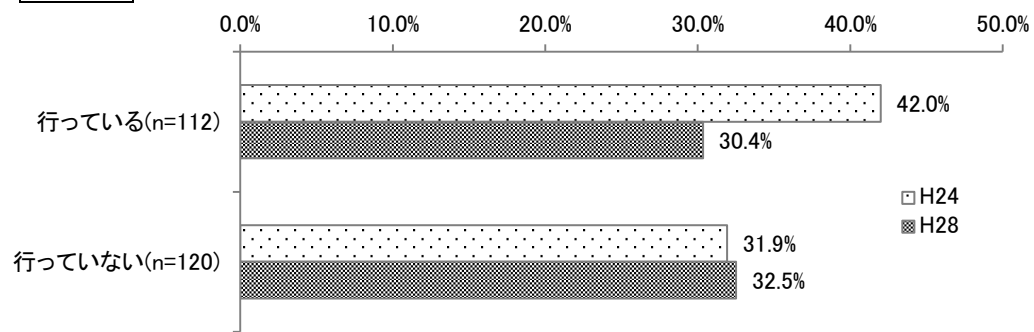


全体集計では、「行っていない」が32.5%、「行っている」が30.4%という結果になった。

事業所形態別に比較すると、「行っている」と回答した事業所は、「ホテル・旅館」が100.0%で最も高く、次いで「デパート、スーパー」が57.1%、「映画館、劇場、娯楽施設等」が50.0%と続いている。

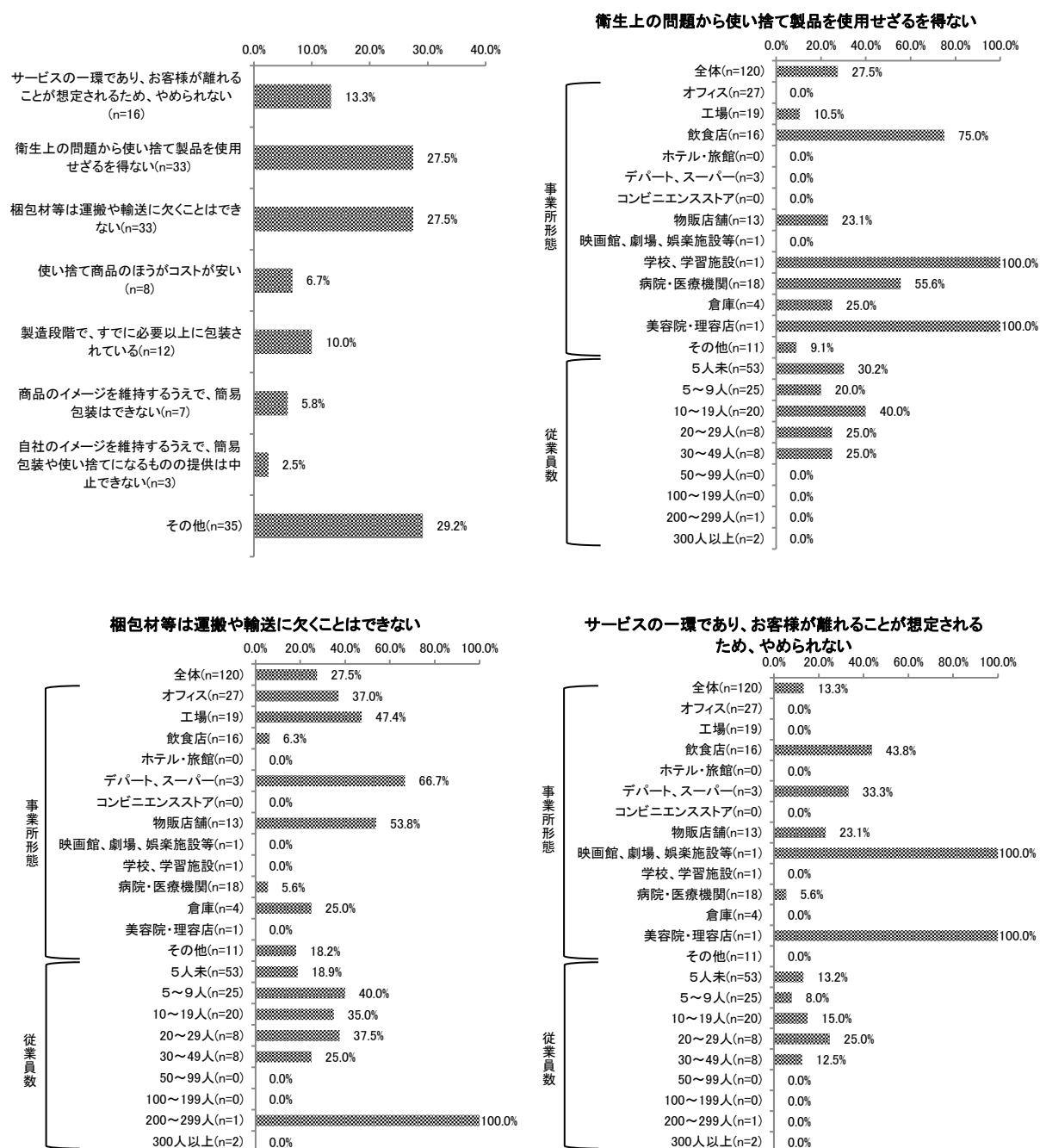


経年変化



ごみの発生抑制につながる取組を年度別に比較すると、「行っている」と回答した事業所は減少しており、「行っていない」と回答した事業所の比率は増加している。

問 13 問 12 で 2 を選択した方におたずねします。ごみの発生抑制につながる取組をやめるにあたっての課題は何ですか。〇はいくつでも。(N=120)

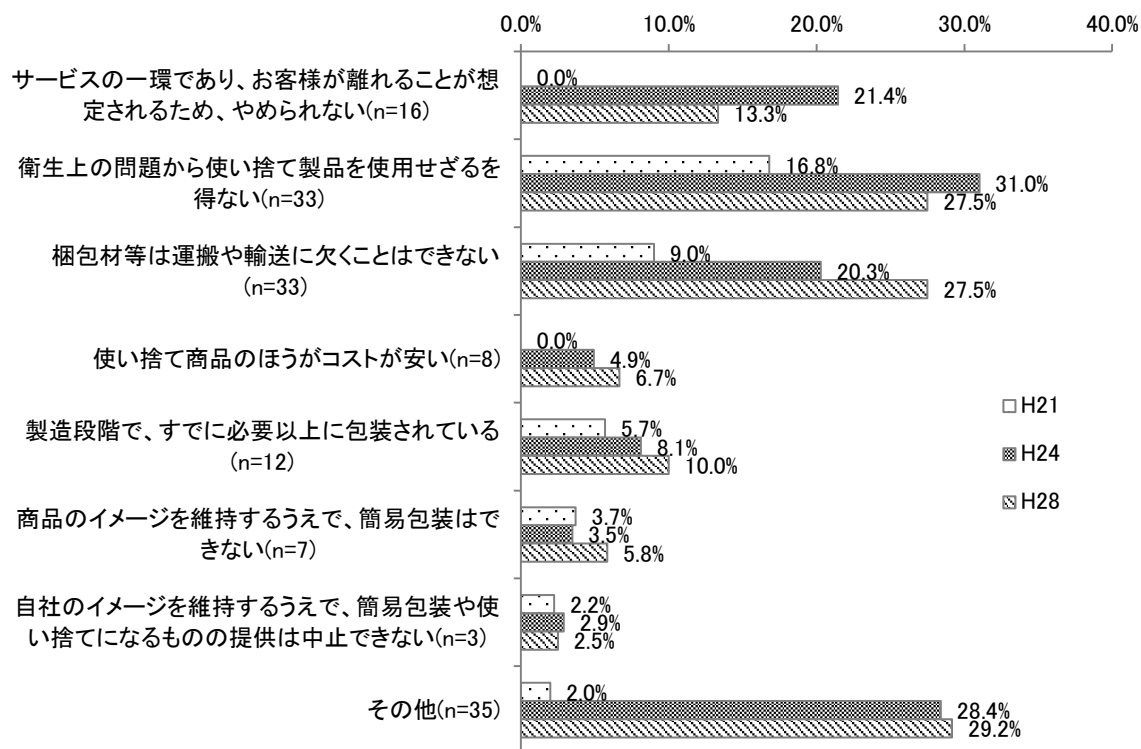


全体集計では、「衛生上の問題から使い捨て商品を使用せざるを得ない」、「梱包材等は運搬や輸送に欠くことはできない」が同率で 27.5% となっており、次いで「サービスの一環であり、お客様が離れることが想定されるため、やめられない」が 13.3% と続いている。

事業所形態別に比較すると、「衛生上の問題から使い捨て商品を使用せざるを得ない」と回答した事業所は「学校、学習施設」、「美容院・理容店」が同率で 100.0% となっており、次いで「飲食店」が 75.0% と続いている。

経年変化

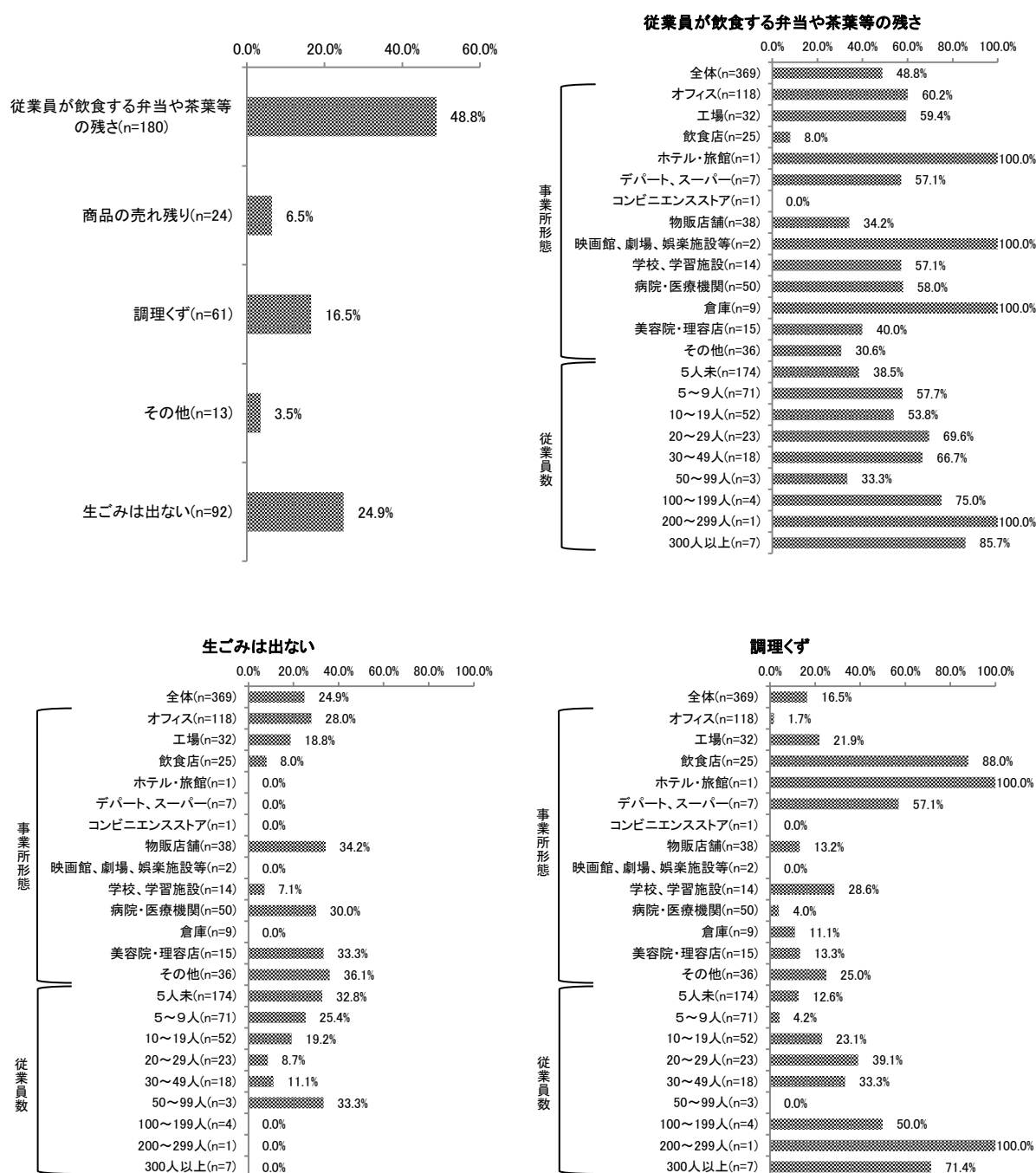
※平成 21 年度調査では、「サービスの一環であり、お客様が離れることが想定されるため、やめられない」、「使い捨て商品のほうがコストが安い」の選択肢がない。



年度別に比較すると、「サービスの一環であり、お客様が離れることが想定されるため、やめられない」、「衛生上の問題から使い捨て製品を使用せざるを得ない」の比率は低下しており、「梱包材等は運搬や輸送に欠くことはできない」、「製造段階で、すでに必要以上に包装されている」の比率は高くなっている。

3.6 生ごみの削減について

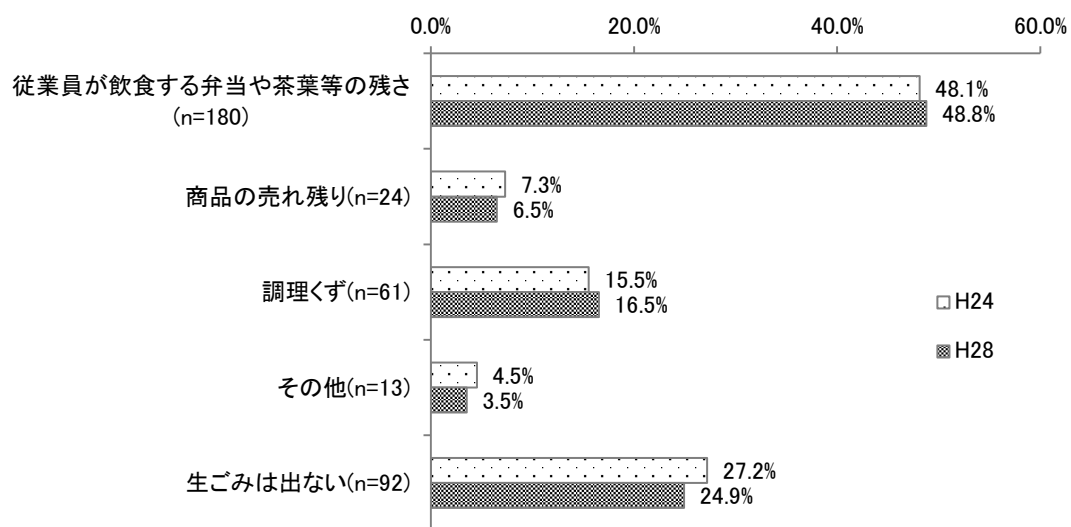
問 14 貴事業所では、生ごみは何が出来ますか。○はいくつでも。(n=369)



単純集計では、「従業員が飲食する弁当や茶葉等の残さ」が48.8%で最も高く、次いで「生ごみは出ない」が24.9%、「調理くず」が16.5%と続いている。

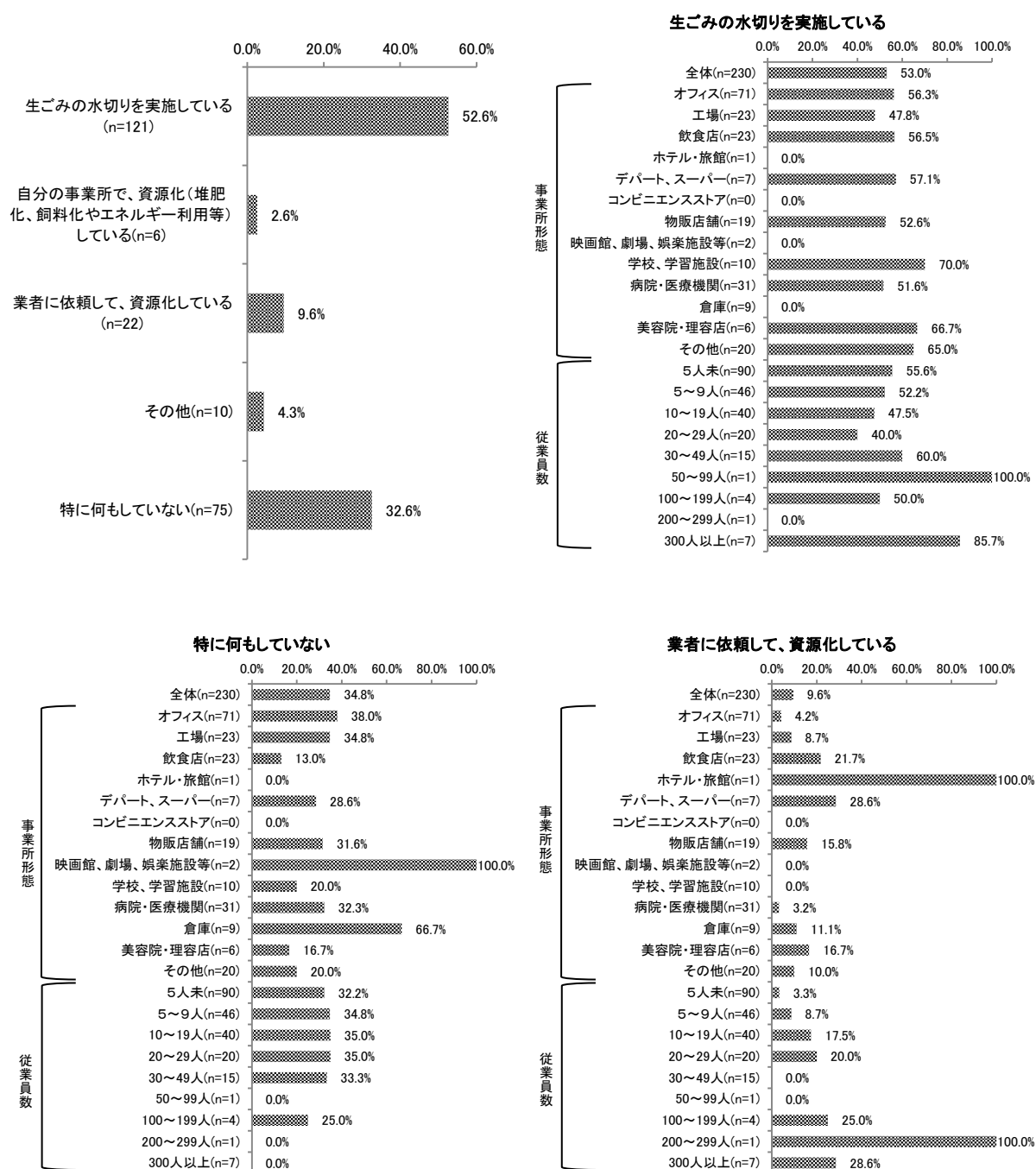
事業所形態別に比較すると、「従業員が飲食する弁当や茶葉等の残さ」と回答した事業所は、「ホテル・旅館」、「映画館、劇場、娯楽施設等」、「倉庫」が同率で100.0%となった。

経年変化



発生する生ごみについて、年度別に比較したところ、回答に大きな差は見られなかった。

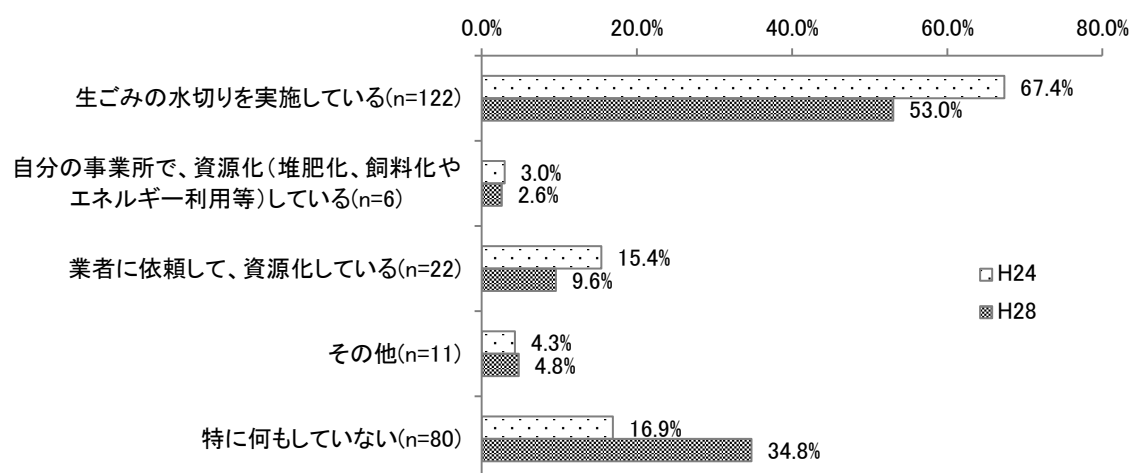
問 15 問 14 で 1 ～ 4 を選択した方におたずねします。排出する生ごみについて、減量・資源化するために工夫していることはありますか。○はいくつでも。(N=230)



全体集計では、「生ごみの水切りを実施している」が 52.6%で最も高く、次いで「特に何もしていない」が 32.6%、「業者に依頼して、資源化している」が 9.6%と続いている。

事業所形態別に比較すると、「生ごみの水切りを実施している」と回答した事業所は、「学校、学習施設」が 70.0%で最も高く、次いで「美容院・理容店」で 66.7%、「デパート、スーパー」で 57.1%という結果になった。

経年変化

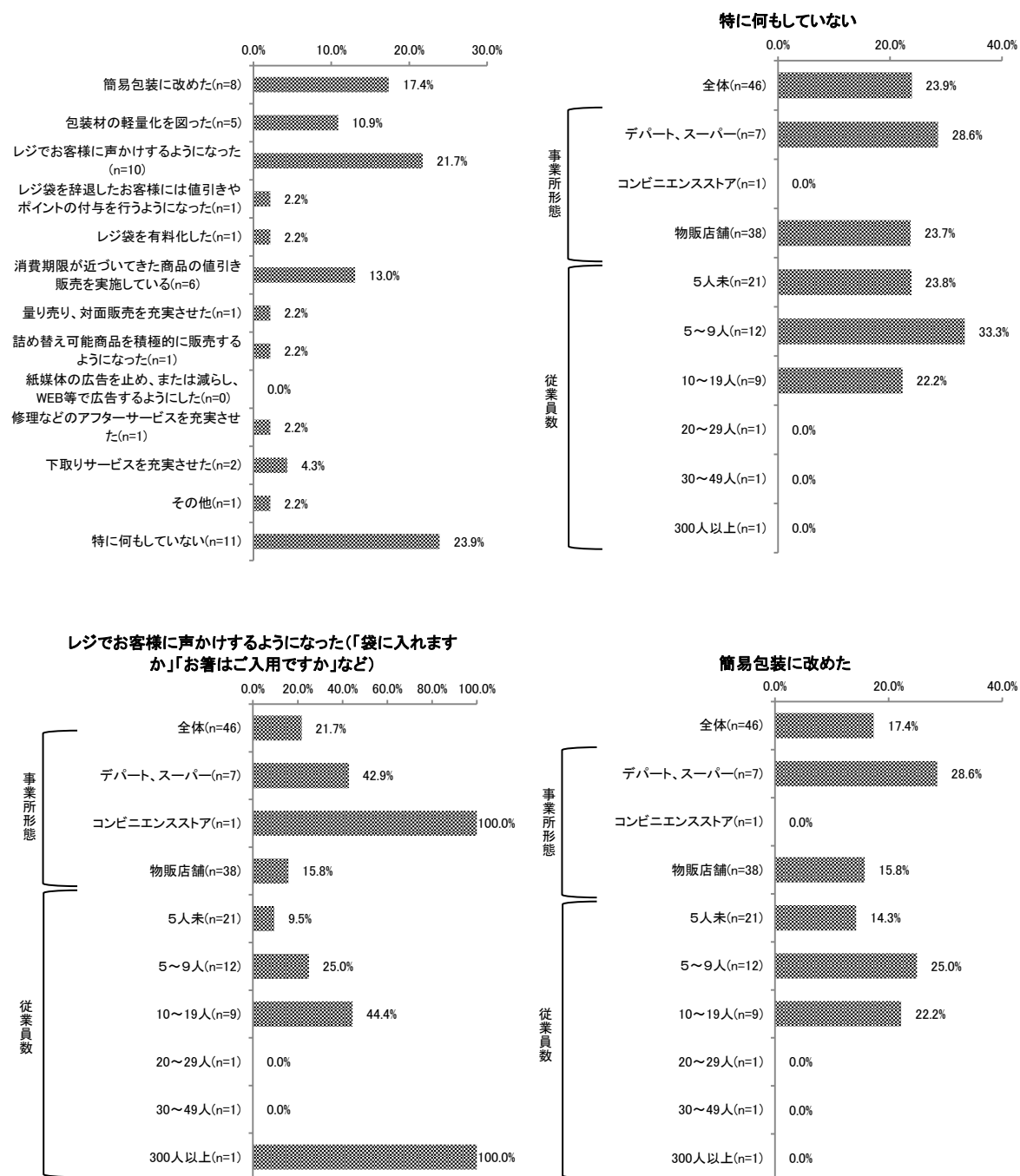


生ごみを減量・資源化するために行っている工夫を年度別に比較すると、「生ごみの水切りを実施している」、「自分の事業所で、資源化(堆肥化、飼料化やエネルギー利用等)している」、「業者に依頼して、資源化している」の比率は低下しているが、「特に何もしていない」の比率は高くなっている。

以上の比較結果から、ごみ減量の取組を促進させるため、事業所向けの啓発活動に取り組んでいく必要がある。

3.7 小売販売（デパート、スーパー、コンビニエンスストア、物販店舗）

問 16 貴事業所は、容器包装、使い捨て製品などごみの発生抑制、減量に対する具体的な取組を行っていますか。○はい/いくつか。○はい/いくつでも。(N=46)

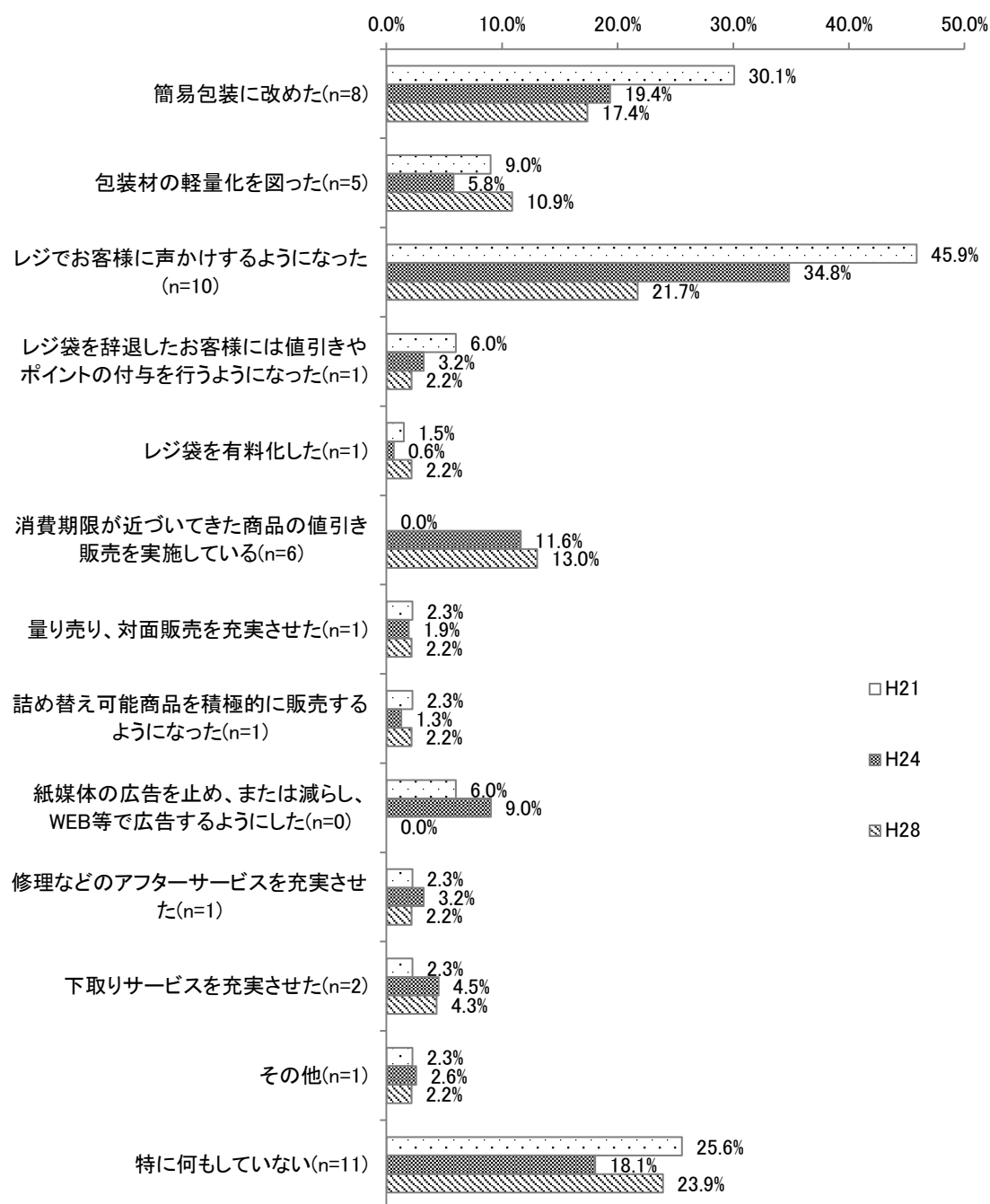


全体集計では、「特に何もしていない」が23.9%で最も高く、次いで「レジでお客様に声かけするようになった」が21.7%、「簡易包装に改めた」が17.4%と続いている。

事業所形態別に比較すると、「特に何もしていない」と回答した事業所は、「デパート、スーパー」が28.6%で最も高く、次いで「物販店舗」が23.7%という結果になった。

経年変化

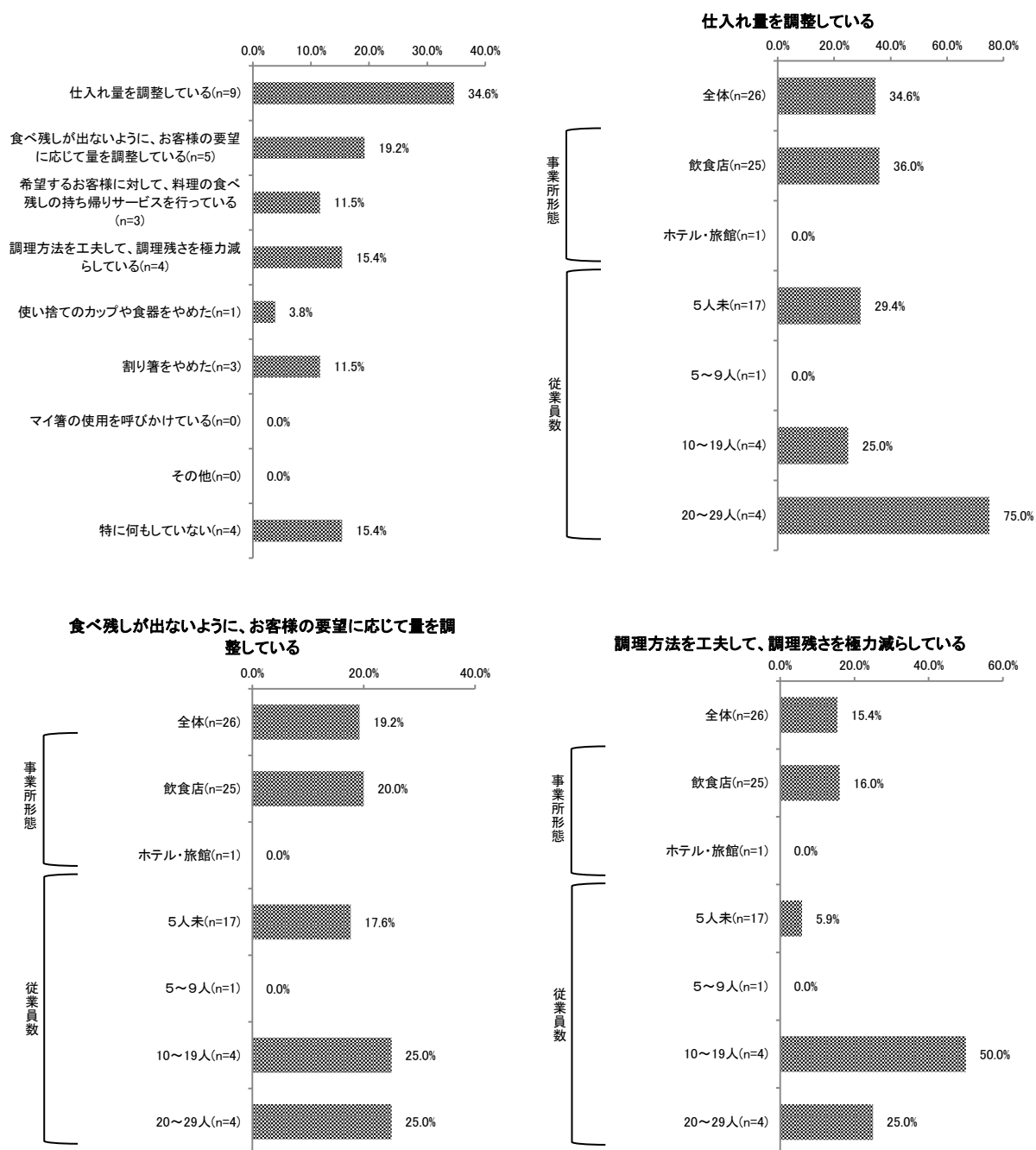
※平成 21 年度調査では、「消費期限が近づいてきた商品の値引き販売を実施している」の選択肢がない。



年度別に比較すると、「簡易包装に改めた」、「レジでお客様に声をかけするようになった」と回答した比率が低下している。

3.8 飲食店・ホテル・旅館

問 17 貴事業所は、ごみの発生抑制、減量に対する具体的な取組を行っていますか。○はい
くつでも。(N=26)

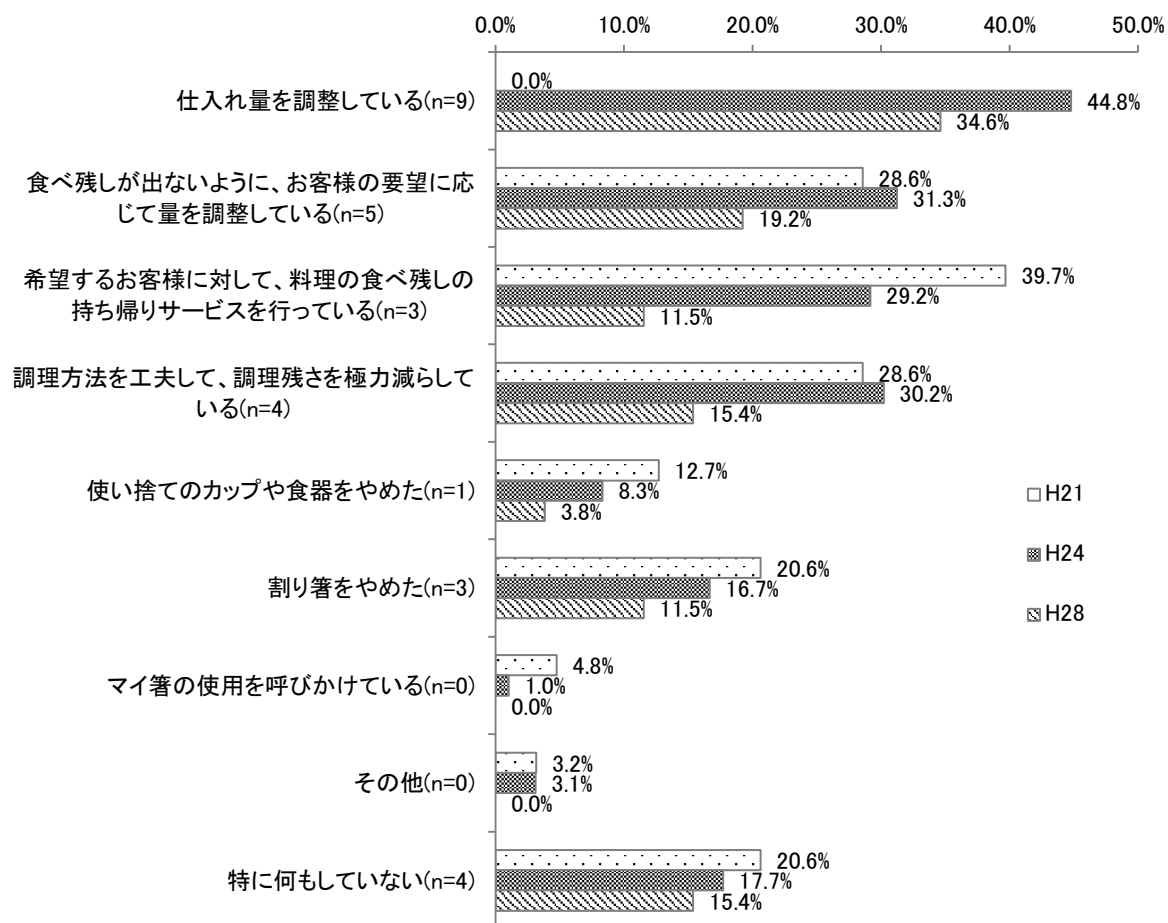


全体集計では、「仕入れ量を調整している」が34.6%で最も高く、次いで「食べ残しが出ないように、お客様の要望に応じて量を調整している」が19.2%、「調理方法を工夫して、調理残さを極力減らしている」、「特に何もしていない」が同率で15.4%と続いている。

従業員数別に比較すると、「仕入れ量を調整している」と回答した事業所は、「20～29人」が75.0%で最も高く、次いで「5人未満」が29.4%、「10～19人」が25.0%と続いている。

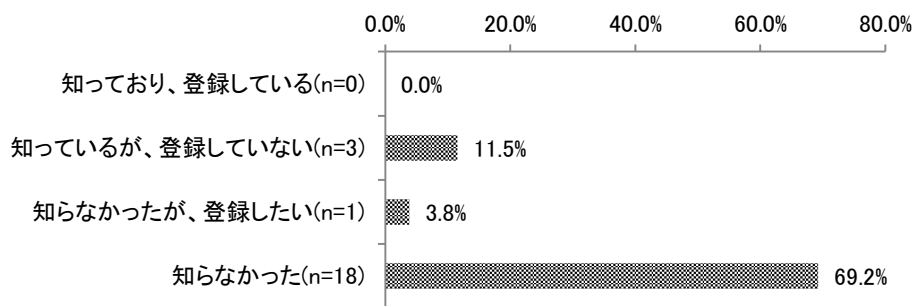
経年変化

※平成 21 年度調査では「仕入れ量を調整している」の選択肢がない。



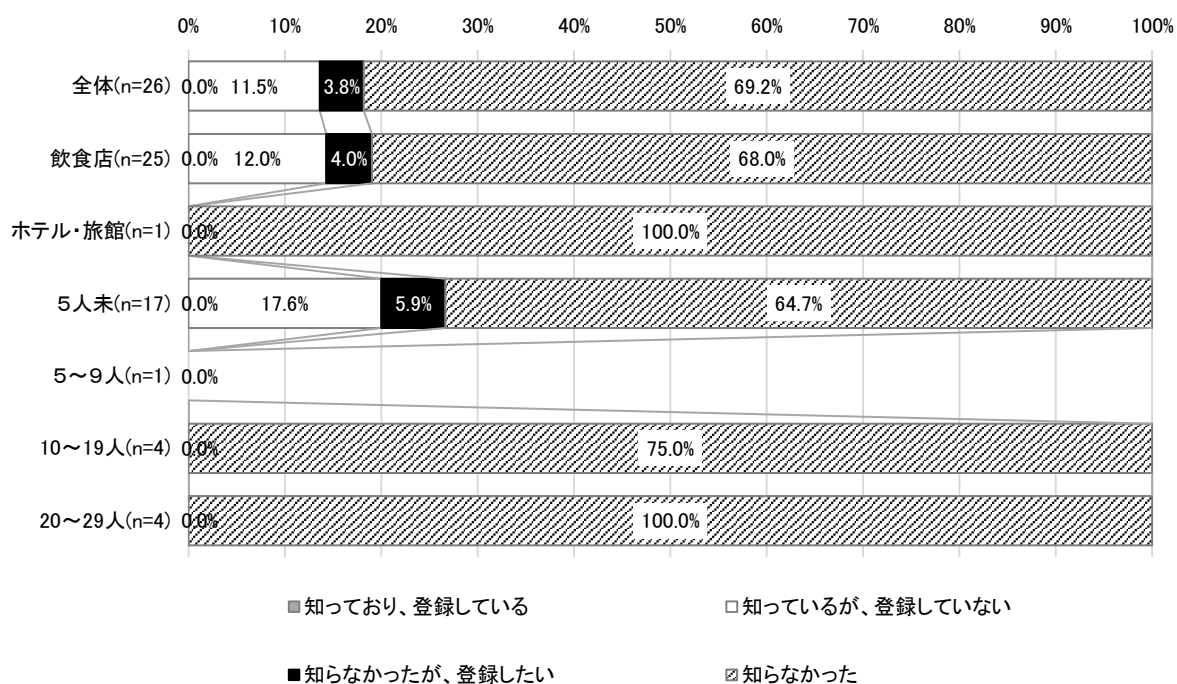
ごみの発生抑制、減量に対する具体的な取り組みについて年度別に比較すると、「希望するお客様に対して、料理の食べ残しのお持ち帰りサービスを行っている」と回答した比率が大きく低下している。

問 18 「食べ切り協力店」事業を知っていますか。○はひとつ。(N=26)



全体集計では、「知らなかった」が69.2%で最も高く、次いで「知っているが、登録していない」が11.5%、「知らなかったが、登録したい」が3.8%と続いている。

事業所形態別、従業員数別に比較すると、全ての区分で「知らなかった」が最も高くなっており、食べきり協力店の周知が課題であると考えられる。



■考察 事業活動により排出するごみについて

事業活動により排出されるごみの量は、年々変化が少なくなっており、ごみ排出量が「増えた」事業所は、わずか 5.7%にとどまった。ごみの排出量が減少した事業所の主な理由としては、事業規模の縮小、従業員の減少が 62.6%で最も高い。一方で、事業規模の縮小、従業員の減少による影響により、分別するためのコストや人員を配置できず、結果としてごみの減量・リサイクルに取り組むことが困難になる面もある。しかし、ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる事業所の 53.9%が、「分別によるコストの削減」を理由に取り組んでいる。以上のことから、合理的な取組方法を広報することで、小規模の事業所でもごみの減量・リサイクルに取り組むことができるのではないかと考えられる。

ごみの排出量を削減するためには、従業員の教育も実施するべきである。事業所で排出される生ごみで最も多いのは、「従業員が飲食する弁当や茶葉等の残さ」が 48.8%であり、ごみの減量を進めるために取り組むべきことでは、「従業員に対する教育を徹底する」が 36.0%最も高く、従業員の教育の重要性は認識されている。社内でごみの減量・分別に関する意識を共有することができれば、事業所から排出されるごみは減少するはずだと考えられる。

分別ルールに関しても、改めて周知を行うことが望ましい。ごみ処理上の問題点は、「特にない」事業所が多数であるが、「家庭ごみと事業系ごみの分別基準が異なるため、分別しづらい」という意見も挙げられた。

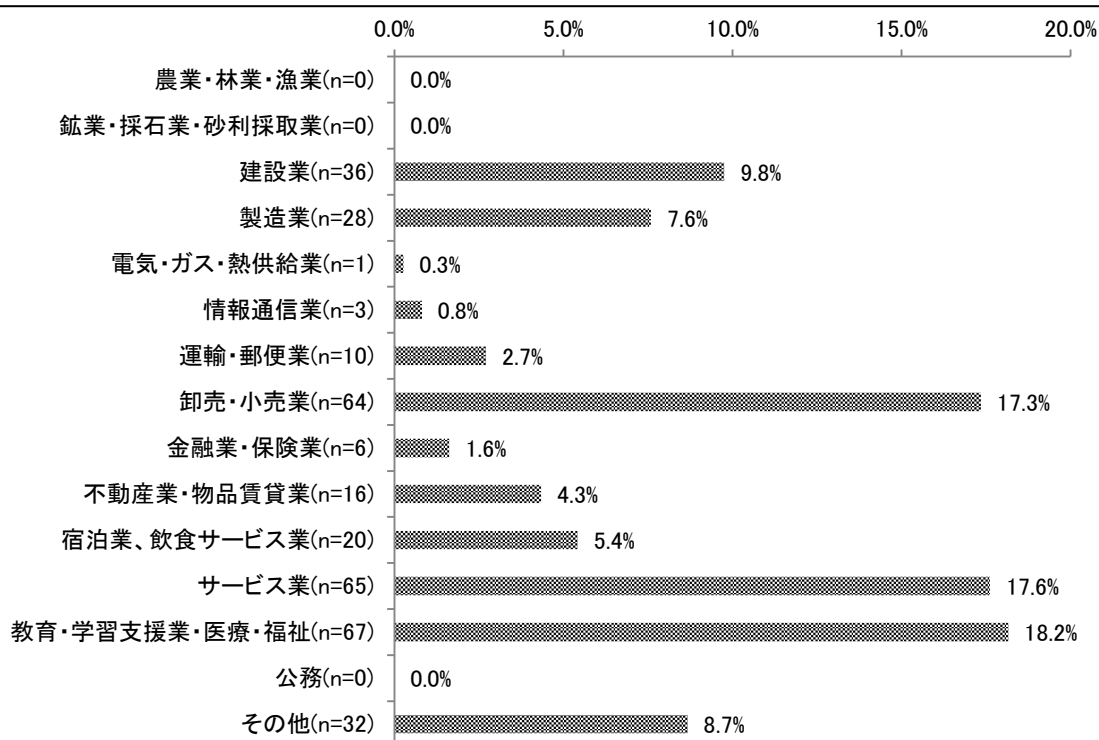
ごみの分別方法が分からないときは、「ごみの収集運搬業者に聞く」事業所が多く、「独自で判断している」事業所は、パンフレットの個別配布を望んでいる。横浜市が主体となって事業系ごみの分別ルールを周知することで、事業系ごみの分別が徹底されるのではないかと考えられる。

ごみの発生抑制につながる取組として、容器の簡易包装や、使い捨てになるものの提供をやめるなどの取組を行っている事業所は 30.4%であった。デパート、スーパー、コンビニエンスストアなどの小売事業者では、「レジでお客様に声かけするようになった」、「簡易包装に改めた」など、ごみの減量に取り組んでいる。包装に関しては、事業者の立場として、「過剰包装を好む顧客自身の考え方を改めるべき」という意見と、顧客の立場として、「店の過剰包装を是正するべき」という意見があった。双方ともに過剰包装については改善を求めているため、継続して議論していくことで、顧客に簡易包装が受け入れられることを期待したい。

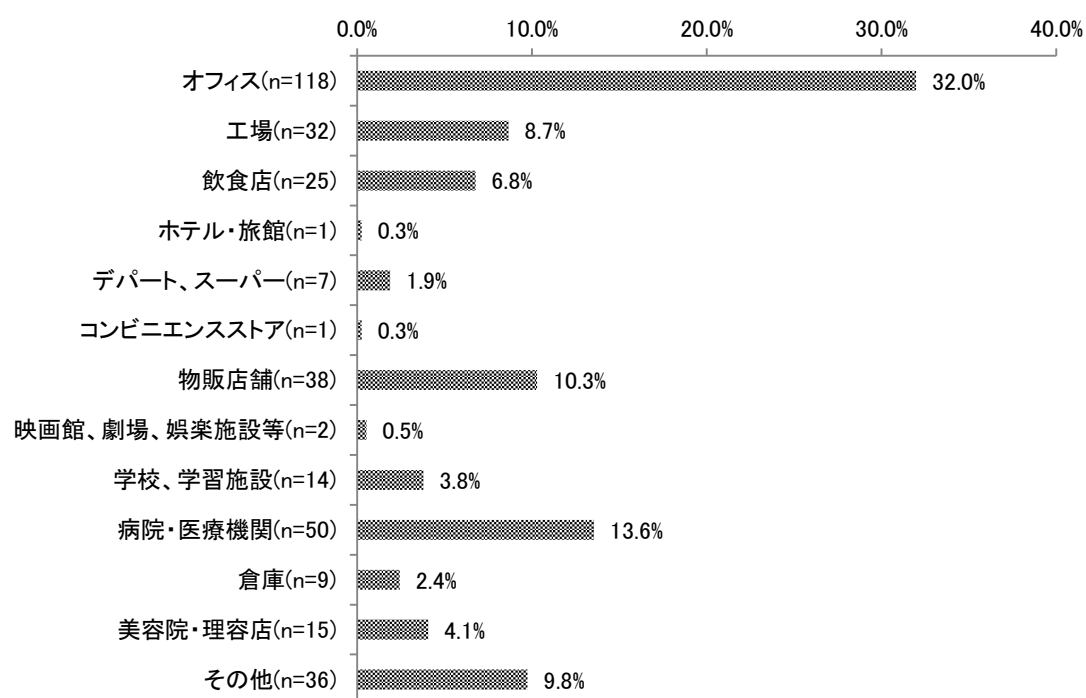
飲食店、ホテル、旅館では、「仕入れ量を調整している」が 34.6%、「食べ残しが出ないように、お客様の要望に応じて量を調整している」が 19.2%など、意欲的にごみ量の削減に取り組んでいる。しかし、「食べきり協力店」を「知らなかった」事業所が 69.2%で、「知っているが、登録していない」事業所は 11.5%であったため、その事業の周知だけでなく、協力店として登録するメリットも周知できれば、「食べきり協力店」の登録数も増加するのではないかと考えられる。

3.9 回答事業所の属性

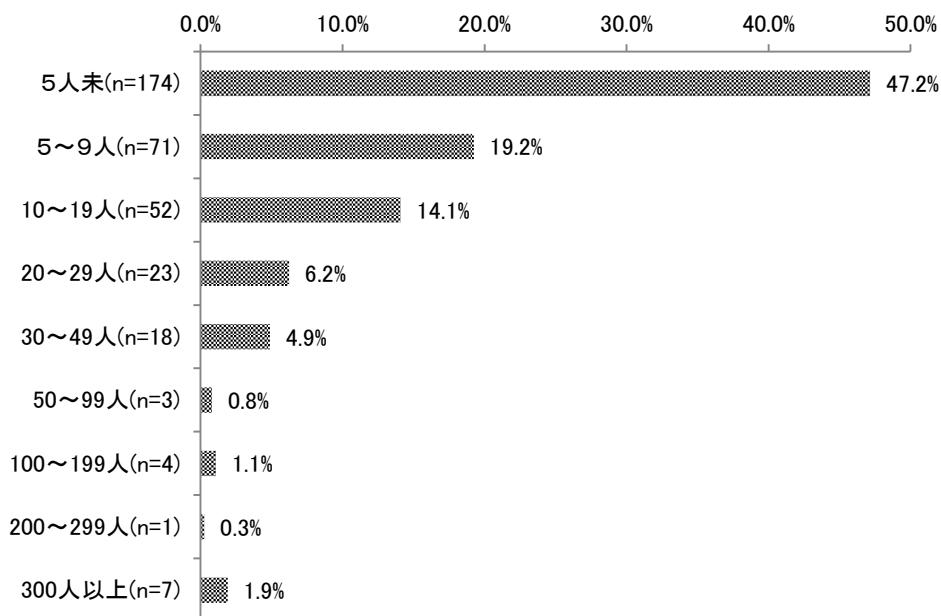
F 1 貴事業所はどの産業に該当しますか。あてはまる分類をひとつ選んでください。
(n=369)



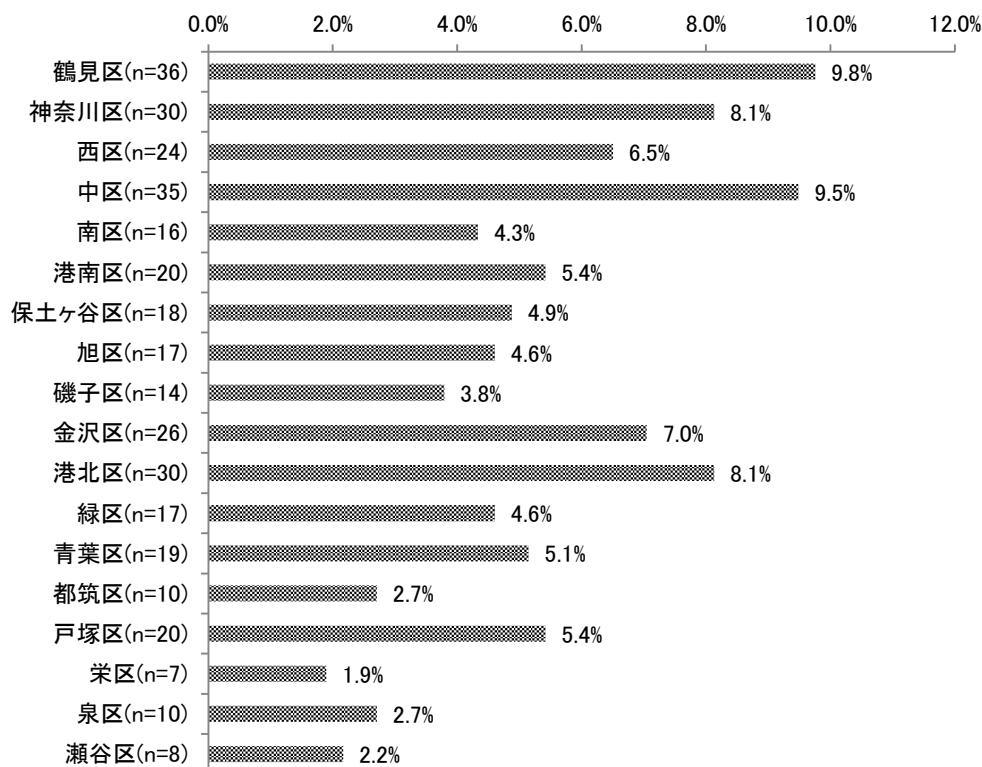
F 2 貴事業所の形態は、次のどれにあてはまりますか。ひとつ選んでください。(n=369)



F 3 貴事業所の従業員は何人ですか。次の中からひとつ選んでください。（常用雇用者及び長期のパート・アルバイト含む。）（このアンケートが送られた事業所の人数のみ。貴社の他事業所を除く。）（n=369）



F 4 貴事業所の所在地は、何区ですか。（n=369）



第 4 章 資料

4.1 市民向けアンケート調査資料

日本語版調査票

「家庭から出るごみについてのアンケート調査」

ごみ問題への関心についておたずねします

問1 あなたは、「ごみ」や「資源」と聞いて何を思い浮かべますか。○はいくつでも。

- | | | | | |
|------------|-------------------|-----------------|------------------|----------|
| 1 分別 | 2 リデュース
(発生抑制) | 3 リユース
(再使用) | 4 リサイクル
(再利用) | 5 食品ロス |
| 6 ごみ屋敷 | 7 まちの美化 | 8 水銀 | 9 小型家電 | 10 資源の枯渇 |
| 11 地球温暖化 | 12 有料化 | 13 戸別収集 | 14 焼却工場 | 15 埋立処分場 |
| 16 その他 () | | | | |

問2 あなたは、「ヨコハマ3R夢プラン」を知っていますか。○はひとつ。

- 1 目標や取組を知っている 2 聞いたことはあるが、詳細はわからない 3 知らない

ごみの減量や処理についての満足度についておたずねします

問3 あなたは、横浜市のごみ収集などの取組をどう思いますか。○はそれぞれひとつ。

ごみの収集	1 満足	2 どちらかとい うと満足	3 どちらかとい うと不満	4 不満	5 どちらとも いえない
ごみに関する 情報提供	1 満足	2 どちらかとい うと満足	3 どちらかとい うと不満	4 不満	5 どちらとも いえない
ごみ減量への取組	1 満足	2 どちらかとい うと満足	3 どちらかとい うと不満	4 不満	5 どちらとも いえない
住んでいる 地域の清潔さ	1 満足	2 どちらかとい うと満足	3 どちらかとい うと不満	4 不満	5 どちらとも いえない

3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）についておたずねします

問4 あなたが実践している「ごみを出さない取組（リデュース）」はどれですか。○はいくつでも。

- 1 買い物をするときは、冷蔵庫などの在庫を確認し、余分には買わないようにしている
- 2 マイバックを持ち歩き、できるだけレジ袋を断るようになっている
- 3 過剰包装は断るようになっている
- 4 マイボトルを持ち歩き、できるだけペットボトルや缶入り飲料を買わないようにしている
- 5 コンビニやスーパーなどで、割りばしやおしぼりを断るようになっている
- 6 マイ箸を持ち歩いている
- 7 生ごみは、よく水を切ってから出している
- 8 生ごみを資源化している（土壌混合法やダンボールコンポストなど）
- 9 なるべく詰め替え商品を買うようになっている
- 10 適量を作り、料理の食べ残しはないようにしている
- 11 野菜を丸ごと使うなど、調理くずが少なくなるような調理方法を実践している
- 12 ダイレクトメールは断るようになっている
- 13 一時的に使うものは、レンタルを利用するようになっている
- 14 その他 ()
- 15 特に実践していない

問5 あなたが実践している「繰り返し使う取組（リユース）」はどれですか。○はいくつでも。

- 1 フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に活用するようにしている
- 2 繰り返し使えるびん容器やふた付き容器を利用して、食品などを保存している
- 3 裏紙をメモ用紙などに使用している
- 4 着られなくなった洋服は、リメイクするようにしている
- 5 家具や家電製品などが壊れたときは、修理してなるべく長く使用するようにしている
- 6 その他（_____）
- 7 特に実践していない

問6 あなたが実践している「リサイクルに向けた取組」はどれですか。○はいくつでも。

- 1 市の分別ルールに従って、適正に排出している
- 2 トイレットペーパーなどを選ぶときは、再生品を購入している
- 3 牛乳パックや食品トレイは、販売店などの店頭回収に持って行っている
- 4 自治会・町内会やPTAなどの資源集団回収を利用している
- 5 その他（_____）
- 6 特に実践していない

問7 あなたが3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）を実践するきっかけはどれですか。○はいくつでも。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 市のホームページ・広報・啓発イベントを見て | 2 家族からの勧めで |
| 3 町内会など、近隣住民からの勧めで | 4 限りある資源を有効活用するため |
| 5 地球温暖化防止のため | 6 ごみを減らしたいから |
| 7 お店などの特典（割引きなど）があるから | 8 その他（_____） |

問8 あなたが3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）などの環境に関する情報を得る主な手段はどれですか。○はいくつでも。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 新聞 | 2 本・雑誌 |
| 3 テレビ | 4 ラジオ |
| 5 横浜市の広報誌・パンフレット | 6 横浜市のホームページ |
| 7 報道機関、企業や民間団体のホームページ | 8 メールマガジン |
| 9 ブログやツイッター、SNSなど | 10 家族や友人・知人 |
| 11 イベント・セミナー | 12 その他（_____） |
| 13 情報を得ていない | |

ごみの分別ルールについておたずねします

問9 あなたは、横浜市の分別ルールを守っていますか。○はひとつ。

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 1 守っている | 2 大体守っている | 3 あまり守っていない |
| 4 守っていない | 5 わからない | |

問10 あなたは、分別を負担に感じますか。○はひとつ。

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1 負担に感じる | 2 少し負担に感じる | 3 あまり負担に感じない |
| 4 負担に感じない | 5 わからない | |

問 11 あなたは、ごみの出し方が分からないとき、どうしていますか。○はいくつでも。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 横浜市のパンフレットなどを見る | 2 横浜市のホームページで調べる |
| 3 分別アプリで調べる | 4 家族・知人に聞く |
| 5 市に電話して聞く | 6 自治会・町内会の環境事業推進委員に聞く |
| 7 燃やすごみに出す | 8 その他 () |

問 12 あなたは、分別についての次のような考え方をどう思いますか。○はひとつ。

現在の分別（ごみや資源物の出し方）は、リサイクルの品目や手法に合わせています。
分別をより細かくすると、市民の皆さまの負担は増えますが、中間処理費用の削減やより質の高い資源として再利用できることが期待されます。
逆に、分別品目を少なくすると、市民の皆さまの負担は減りますが、委託などによる分別の中間処理費用の増加やリサイクル手法が制限されます。

- 1 分別を増やし、更にリサイクルする品目を増やすべき（増やす品目： ）
- 2 缶・びん・ペットボトルなど、より細かく分別することで、リサイクルしやすくするべき
- 3 リサイクルする品目を減らし、分別も簡単にするべき（減らす品目： ）
- 4 委託費用などがかかっても、分別を簡単にするべき
- 5 現状のままでよい

ごみと資源物の出し方についておたずねします

問 13 あなたやあなたの家族は、ペットボトルをどのように出していますか。○はひとつ。

横浜市では、ペットボトルは、中を軽くすすぎ、キャップとラベルをはずし、ペットボトル本体は、缶・びん・ペットボトルの収集日に、キャップとラベルは、プラスチック製容器包装の収集日に出すことになっています。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 出し方を知っており、実践している。 | 2 出し方を知っており、一部実践している |
| 3 出し方を知っているが、実践していない | 4 知らなかった |

問 14 あなたやあなたの家族は、プラスチック製容器包装をどのように出していますか。○はいくつでも。

- 1 汚れていないものは、プラスチック製容器包装の収集日に出している
- 2 汚れているものは、中を軽くすすいでプラスチック製容器包装の収集日に出している
- 3 汚れているものは、燃やすごみとして出している
- 4 全て燃やすごみとして出している

問 15 あなたは、缶・びん・ペットボトルを別々の袋に入れて、缶・びん・ペットボトルの収集日に出すことは負担だと思いませんか。○はひとつ。

横浜市では、缶・びん・ペットボトルは、缶・びん・ペットボトルの収集日に、一緒に袋に入れて出すことになっています。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |
| 5 どちらともいえない | |

問 16 あなたやあなたの家族は、次の古紙をどのように出していますか。○はいくつでも。

段ボール	1 古紙	2 店頭回収	3 燃やすごみ	4 その他 ()
紙パック	1 古紙	2 店頭回収	3 燃やすごみ	4 その他 ()
包装紙	1 古紙	2 店頭回収	3 燃やすごみ	4 その他 ()
お菓子の紙箱	1 古紙	2 店頭回収	3 燃やすごみ	4 その他 ()
メモ用紙	1 古紙	2 店頭回収	3 燃やすごみ	4 その他 ()
シュレッター紙	1 古紙	2 店頭回収	3 燃やすごみ	4 その他 ()
レシート	1 古紙	2 店頭回収	3 燃やすごみ	4 その他 ()

問 17 あなたは、古紙や古布など（地域によって異なります）は、自治会・町内会やPTAなどが回収業者と直接契約を結び、資源集団回収として回収していることを知っていますか。○はひとつ。

- 1 知っている 2 聞いたことはあるが、詳細は知らない 3 知らない

問 18 次の各品目は、通常のごみと一緒に焼却などの処理ができないため、横浜市では収集していません。

あなたやあなたの家族は、これらを廃棄するとき、どのように処理していますか。○はそれぞれひとつ。

	1 販売店に引き取ってもらった	2 処理業者に引き取ってもらった	3 ごみとして出した	4 廃棄できず、家に置いてある	5 特にない
灯油・ガソリン	1	2	3	4	5
薬品	1	2	3	4	5
農薬	1	2	3	4	5
塗料	1	2	3	4	5

具体的な排出方法は ()

例)「布に染み込ませて、燃やすごみとして出した。」「缶のまま、缶・びん・ペットボトルの収集日に出した。」

集積場所についておたずねします

問 19 集積場所には設置基準があり、利用する人達が維持管理することになっていますが、あなたは知っていますか。○はひとつ。

- 1 知っている 2 知らない

問 20 あなたが集積場所で困っていることはどれですか。○はいくつでも。

- 1 集積場所が遠い 2 集積場所が汚い
3 カラスなどの小動物に荒らされている 4 分別ルールを守らないごみの取り残しが多い
5 事業系廃棄物が排出されている 6 集積場所が自宅の前にあり、汚い・臭い
7 その他 () 8 特にない

問 21 問 20 で 1 から 7 を選択した方におたずねします。あなたは、集積場所改善（改善）隊の取組を知っていますか。○はひとつ。

集積場所の問題を地域だけでは解決することが難しい場合、各区の収集事務所にある集積場所改善（改善）隊が、地域と協働して改善に取り組んでいます。

- 1 知っており、一緒に取り組んでいる 2 知っているが、一緒に取り組んだことはない
3 知らなかったが、今後一緒に取り組んでみたい 4 知らなかった

戸別収集についておたずねします

問 22 あなたは、ごみの戸別収集についてどう思いますか。○はひとつ。

戸別収集とは、①戸建住宅の場合は、各家庭の道路際の敷地内から、②集合住宅の場合は、1棟ごとに敷地内の集積場所から収集することをいいます。

戸別収集をすることで、経費の増加などのデメリットがありますが、市民一人ひとりに自分が出すごみに責任を持ってもらえるようになる、集積場所までの持ち出しの負担が減る、道路上の集積場所が無くなることで街の美観が向上するなどのメリットがあります。

- 1 賛成（理由_____）
- 2 反対（理由_____）
- 3 どちらともいえない
- 4 その他（_____）
- 5 わからない

ごみ処理費用の負担のあり方についておたずねします

問 23 横浜市では、出すごみの量に応じた手数料の負担を求めているため、ごみの減量に努力した人と、たくさん出す人で、有料指定袋などの金銭的な負担に差がありません（粗大ごみ手数料は除く）が、あなたはどう思いますか。○はひとつ。

- 1 不公平だと思う
- 2 どちらかという不公平だと思う
- 3 どちらかという公平だと思う
- 4 公平だと思う
- 5 どちらともいえない

問 24 あなたは、家庭ごみの収集を有料化して、それぞれの市民が、出すごみの量に応じた費用を負担するという考え方についてどう思いますか。○はひとつ。

- 1 賛成（理由_____）
- 2 反対（理由_____）
- 3 どちらともいえない
- 4 その他（_____）
- 5 わからない

問 25 仮に横浜市で、資源物以外の燃やすごみや燃えないごみの有料化制度を導入するとしたら、あなたはどのような点に配慮すべきだと思いますか。○はいくつでも。

- 1 不法投棄が増えないように対策を行う
- 2 分別ルールを厳格化する
- 3 有料化による収入の使い道を明らかにする
- 4 有料化による効果を明らかにする
- 5 ごみを減量する人にとって公平な仕組みとする
- 6 分別収集の品目を増やし、リサイクルを推進する
- 7 戸別収集方式を実施する
- 8 低所得者に配慮する
- 9 子育てや介護をしている世帯に配慮する
- 10 ごみ減量について、生産者や小売店への働きかけを強化する
- 11 その他（_____）
- 12 わからない

ふれあい収集などのサービスについておたずねします

問 26 あなたは、ふれあい収集や粗大ごみの持ち出し収集などのサービスを知っていますか。○はひとつ。

ふれあい収集や粗大ごみの持ち出し収集とは、ご家族や身近な人の協力が困難で、自ら家庭ごみを集積場所まで持ち出すことのできないひとり暮らしの方などを対象に、敷地内や玄関先まで直接ごみを収集に伺うサービスです。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 両方とも知っている | 2 ふれあい収集のみ知っている |
| 3 粗大ごみの持ち出し収集のみ知っている | 4 両方とも知らない |

問 27 問 26 で 4 を選択した方におたずねします。条件に合えば、あなたはふれあい収集や粗大ごみの持ち出し収集などのサービスを利用したいですか。○はひとつ。

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1 ふれあい収集を利用したい | 2 粗大ごみの持ち出し収集を利用したい |
| 3 両方利用したい | 4 他の支援サービスを利用しているので、必要ない |
| 5 必要ない | |

焼却工場についておたずねします

問 28 あなたは、市内にあるごみ焼却工場について知っていることはどれですか。○はいくつでも。

- 1 ごみの焼却には、軽油や都市ガスなどの燃料を使用していない
- 2 24 時間連続して焼却処理している
- 3 焼却によって発生する熱エネルギーを使って、発電している
- 4 生ごみを水切りすることによって、発電量が増える
- 5 発電した電気を売却している
- 6 分別により燃やすごみが減り、工場が廃止や休止となり、現在、4 工場での焼却処理を行っている
- 7 ごみを燃やす大きな理由は、衛生（悪臭や病気を防ぐ）のためと、ごみの体積を小さく（約 1/40）して埋立処分場を長く使うためである
- 8 焼却工場では、焼却によって発生する排気ガスの処理に必要な薬品や、老朽化した設備を補修するなどの維持管理に、多額の費用が発生している（平成 26 年度に約 116 億円）
- 9 特に知らない

埋立処分場についておたずねします

問 29 あなたは、市内にある埋立処分場について知っていることはどれですか。○はいくつでも。

- 1 燃えないごみやごみを焼却処理して残った灰は、南本牧にある海面の埋立処分場に埋めている
- 2 現在、新たな埋立処分場を建設している
- 3 新たな埋立処分場の開設につなげるため、現在供用している埋立処分場では、既に埋め立てられた廃棄物の減容化や灰の資源化を実施し、延命化を図っている
- 4 平成 30 年度以降は、現在建設中の埋立処分場が横浜市唯一の埋立処分場になる
- 5 現在建設中の埋立処分場は、現在のペースで埋め立てると、平成 60 年ごろ満杯になってしまう
- 6 現在建設中の埋立処分場以降、次の埋立処分場の建設計画は無い
- 7 特に知らない

食品ロス・生ごみの削減についておたずねします

問 30 あなたは「食品ロス」という言葉を知っていますか。○はひとつ。

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1 言葉の意味も知っている | 2 聞いたことがあるが、言葉の意味は知らなかった |
| 3 知らなかった | |

問 31 あなたやあなたの家族が出したことの「食品ロス」はどれですか。○はいくつでも。

家庭から出される「食品ロス」とは、「何も手がつけられずに捨てられている食品（手つかず食品）」や、「食べ残された食品（食べ残し）」、「皮を厚くむき過ぎたりして過剰に捨てられているもの（過剰除去）」の3種類があります。

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 「手つかず食品」 | 2 「食べ残し」 |
| 3 「過剰除去」 | 4 「食品ロス」を出したことがない |

問 32 問 31 で 1 を選択した方におたずねします。あなたやあなたの家族がよく出してしまう「手つかず食品」はどれですか。○はいくつでも。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 主食類（米類、パン類、麺類） | 2 野菜・果物 |
| 3 生肉・鮮魚 | 4 豆腐・納豆 |
| 5 お菓子類 | 6 保存食品（レトルト食品・缶詰・冷凍食品） |
| 7 惣菜・弁当類 | 8 その他（_____） |

問 33 問 31 で 1 を選択した方におたずねします。あなたやあなたの家族が「手つかず食品」を出してしまう主な理由はどれですか。○はいくつでも。

- 1 期限切れの近い見切り品を買ったが食べきれなかった
- 2 安売りや大袋などで大量に買ったが食べきれなかった
- 3 家にある在庫を忘れ、同じものを買ってしまい食べきれなかった
- 4 口に合わず、食べきれなかった
- 5 その他（_____）

問 34 あなたやあなたの家族が「食品ロス」を出さないために、工夫していることはありますか。○はいくつでも。

- 1 買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、買い物メモを持参する
- 2 ばら売りや小袋などを活用し必要な分だけ買う
- 3 賞味（消費）期限を食品に大きく書いて食べ忘れないようにしている
- 4 出された料理を食べきる
- 5 野菜の皮や芯などを料理に使うなど、食材を無駄なく使っている
- 6 その他（_____）
- 7 特にない

問 35 あなたやあなたの家族が「食品ロス」を出さないために、取り組みやすいと思うものはありますか。○はいくつでも。

- 1 買い物に行く前に冷蔵庫の中身を確認し、買い物メモを持参する
- 2 ばら売りや小袋などを活用し食べ切れる分だけ買う
- 3 賞味（消費）期限を食品に大きく書いて食べ忘れないようにする
- 4 出された料理を食べきる
- 5 野菜の皮や芯などを料理に使うなど、食材を無駄なく使っている
- 6 その他（_____）
- 7 特にない

問 36 あなたは、「食べきり協力店」を知っていますか。○はひとつ。

横浜市では、市内の飲食店や宿泊施設等と連携して、「小盛りメニュー等の導入」や「持ち帰り希望者への対応」などを実践し、食品廃棄物を減らす取組として「食べきり協力店」事業を行っています。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 知っており、利用したことがある | 2 知っているが、利用したことがない |
| 3 知っており、利用してみたい | 4 知らなかったが、利用してみたい |
| 5 知らなかったが、利用する気もない | |

問 37 横浜市のごみ減量・リサイクルに関することについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

[illegible]

あなたご自身のことについておたずねします（統計的な分析のためだけに使用します）

F 1 あなたは、男性ですか、女性ですか。

- 1 男性 2 女性

F2 あなたの年齢は、いくつですか。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1 20 歳代 | 2 30 歳代 | 3 40 歳代 |
| 4 50 歳代 | 5 60 歳代 | 6 70 歳以上 |

F3 現在、いっしょに住んでいる家族の人数は、あなたを含めて何人ですか。

- 1 1人 2 2人 3 3人 4 4人 5 5人以上

F 4 あなたのお住まいは、何区ですか。

- | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|--------|
| 1 鶴見区 | 2 神奈川区 | 3 西区 | 4 中区 | 5 南区 |
| 6 港南区 | 7 保土ヶ谷区 | 8 旭区 | 9 磯子区 | 10 金沢区 |
| 11 港北区 | 12 緑区 | 13 青葉区 | 14 都筑区 | 15 戸塚区 |
| 16 栄区 | 17 泉区 | 18 瀬谷区 | | |

F5 あなたは、横浜市に何年くらい住んでいますか。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上～5年未満 | 3 5年以上～10年未満 |
| 4 10年以上～20年未満 | 5 20年以上 | |

F 6 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。

- 1 一戸建て 2 集合住宅（マンション、アパートなど）

Questionnaire on Household Garbage

Your interest in garbage problem

Q1. What comes up your mind when you hear "garbage" or "resource"? Choose as many as you want.

- | | | | | |
|----------------------|------------------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------------|
| 1. Separation | 2. Reduce | 3. Reuse | 4. Recycle | 5. Food loss |
| 6. House of Garbage | 6. City Beautification | 8. Mercury | 9. Small Home Electronics | 10. Depletion of Natural Resource |
| 11. Global Warming | 12. Charging fees | 13. Door-to-door Collection | 14. Incineration Plants | 15. Landfills |
| 16. Others (_____) | | | | |

Q2. Do you know "Yokohama 3R Dream (Slim) Plan"? Choose one.

1. I know the aims and activities 2. I've heard of it but doesn't know the detail 3. I don't know

Satisfaction of garbage disposal and reduction

Q3. What do you think about garbage collection in Yokohama City? Choose one each.

Garbage Collection	1. Satisfied	2. Moderately Satisfied	3. Moderately Unsatisfied	4. Unsatisfied	5. Neither
Provision of Information on Garbage	1. Satisfied	2. Moderately Satisfied	3. Moderately Unsatisfied	4. Unsatisfied	5. Neither
Activities on Reducing Garbage	1. Satisfied	2. Moderately Satisfied	3. Moderately Unsatisfied	4. Unsatisfied	5. Neither
Cleanliness of the Area You Live	1. Satisfied	2. Moderately Satisfied	3. Moderately Unsatisfied	4. Unsatisfied	5. Neither

Your 3R activity (Reduce, Reuse, and Recycle)

Q4. Which of the following "Reducing" activities do you do? Choose as many as you want.

1. I check the stock before going to shopping to prevent from buying too much.
2. I carry reusable bag and refuse plastic bags.
3. I refuse excessive packaging.
4. I carry thermos bottle and try not to buy plastic bottle drink or canned drink.
5. I refuse disposable chopsticks and wet wipes at a convenience store and supermarket.
6. I carry washable chopsticks.
7. I drain liquid completely from wet garbage before disposing of the garbage.
8. I use food scraps as a resource. (e.g. Soil mixture, cardboard compost)
9. I tend to buy refill products.
10. I try not to cook too much for preventing leftovers.
11. I try to reduce kitchen scraps by cooking techniques, such as using a whole vegetable.
12. I refuse advertising direct mails.
13. I use a rental for something temporary.
14. Others (_____)
15. I don't do any activity

Q5. Which of the following "Reusing" activities do you do? Choose as many as you want.

1. I positively use free market and recycle shops.
2. I use reusable containers to keep the food stuff.
3. I use scratch papers as notepads.
4. I remake the clothes that I can't no longer wear.
5. I fix furniture and electronics to use those for a long time.
6. Others (_____)
7. I don't do any activity

Q6. Which of the following "Recycling" activities do you do? Choose as many as you want.

1. I follow the city's rule of separating garbage.
2. I buy recycled paper for things like toilet paper
3. I take milk cartons and trays to the in-store collection
4. I use community group collection of residents' associations, neighborhood associations, and PTA
5. Others (_____)
6. I don't do any activity

Q7. What is your reason to participate in 3R activity as a start (Reduce, Reuse, and Recycle)? Choose as many as you want.

1. By city websites, publicity and events
2. Recommendation from family
3. Recommendation from your neighbor
4. To wisely use the limited resources.
5. To prevent global warming
6. I want to reduce the garbage
7. Grants from the store (such as discount)
8. Others (_____)

Q8. How do you get the environmental information such as 3R activity (Reduce, Reuse, and Recycle)? Choose as many as you want.

1. Newspaper
2. Books and Magazines
3. Television
4. Radio
5. PR brochure from Yokohama City
6. Yokohama City Website
7. Websites of media, company, and NGO
8. E-zine
9. SNS such as blogs and Twitter
10. Friends and Family
11. Event or Seminar
12. Others (_____)
13. I don't receive any information

Garbage separation rule

Q9. Do you follow the Yokohama City garbage separation rule? Choose one.

1. I do.
2. I roughly follow the rule.
3. I don't follow the rule much.
4. I don't
5. I don't know.

Q10. Do you feel a burden in garbage separation? Choose one.

1. I do.
2. I feel a little burden.
3. I don't feel much burden.
4. I don't.
5. I don't know.

Q11. When you don't know how to dispose of the garbage, what do you do? Choose as many as you want.

1. Look at the brochure of Yokohama City
2. Search on Yokohama city website
3. Search on separation application
4. Ask friends or family
5. Ask the city from phone
6. Ask local environmental promotion committee.
7. Dispose as the burnable garbage
8. Others (_____)

Q12. What do you think about the following idea about garbage separation? Choose one.

Garbage separation is determined by recycling items and style.

If the garbage separation is detailed, the burden of separating garbage will rise, but disposal fee would decrease and enrich sources would be recycled in many ways.

On the other hand, when reducing the items of separation, burden of separating garbage would decrease, but the expense of separation would rise, and recycling style would be limited.

1. Increase the sorting items and recycling items (increasing item : _____)
2. Make recycling easier by dividing cans, bottles, plastic bottles separately
3. Decrease the sorting items to make garbage separation easier.
(decreasing item : _____)
4. Must make garbage separation easier even though the expense rises.
5. Current condition is fine

About garbage and recyclable waste

Q13. How do you and your family dispose of a plastic bottle? Choose one.

In the city of Yokohama, you must remove caps and labels, and rinse the insides. The bottle itself must be flattened and collected at the date of cans, bottles, and plastic bottles. As for caps and labels are collected on a date of plastic containers.

- | | |
|--|--|
| 1. I follow the rule | 2. I know the rule and partially follow it |
| 3. I know the rule, but not following it | 4. I didn't know |

Q14. How do you and your family dispose of plastic containers and packaging? Choose as many as you want.

1. I dispose of the clean one as plastic containers and package on the collection day
2. I dispose of the dirty one as plastic containers and package on the collection day washed
3. I dispose of the dirty one as a burnable garbage
4. I dispose of those as a burnable garbage

Q15. Do you feel a burden to sort cans, bottles, and plastic bottles into each garbage bag and dispose them on the collection day? Choose one.

In Yokohama city, cans, bottles, and plastic bottles are collected all together in a garbage bag on the collection day.

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. Agree | 2. Somewhat degree |
| 3. Somewhat disagree | 4. Disagree |
| 5. Neither | |

Q16. How do you and your family dispose of used paper? Choose as many as you want.

Cardboard	1. Used Paper	2 In-store Collection	3. Burnable Garbage	4. Other (_____)
Milk Cartons	1. Used Paper	2 In-store Collection	3. Burnable Garbage	4. Other (_____)
Wrapping Paper	1. Used Paper	2 In-store Collection	3. Burnable Garbage	4. Other (_____)
Paper Packaging for Candy	1. Used Paper	2 In-store Collection	3. Burnable Garbage	4. Other (_____)
Notepads	1. Used Paper	2 In-store Collection	3. Burnable Garbage	4. Other (_____)
Shredded Paper	1. Used Paper	2 In-store Collection	3. Burnable Garbage	4. Other (_____)
Receipt	1. Used Paper	2 In-store Collection	3. Burnable Garbage	4. Other (_____)

Q17. Did you know that your residents' associations, neighborhood associations, and PTA directly make a contract with disposal company as a local community group collection for used paper? Choose one.

1. I know 2. I've heard of it but doesn't know the detail 3. I don't know

Q18. Following items are not collected in Yokohama city. If you and your family were to dispose of following items, how do you dispose of them? Choose one on each.

	1. In-store Collection	2. Collected at the disposal company	3. Disposed of as garbage.	4. Couldn't dispose it and left at home	5. N/A
Gasoline	1	2	3	4	5
Medicine	1	2	3	4	5
Agrichemical	1	2	3	4	5
Paint	1	2	3	4	5

Details on how to dispose of them

()
e.g.) "Absorbed oil in cloth and disposed of as burnable garbage." "Disposed of as a can on the collection day of cans, bottles, and plastic bottles."

Garbage collection site

Q19. Did you know that the garbage collection site has installation standards and people who use there must operate and maintain the place? Choose one.

1. I know 2. I don't know

Q20. What troubles you at the garbage collection site? Choose as many as you want.

- 1 Garbage collection site is too far 2 Garbage collection site is unclean
3 Crows and small animals are messing with garbage 4 Garbage is left due to not following the separation rule.
5 Industrial wastes are disposed 6 Garbage collection site is near my house, and it smells and dirty
7 Others () 8 N/A

Q21. For participants answered 1~7 on Q20, Do you know the activity of "garbage collection site Kaizen squad"? Choose one.

For problems that the community cannot solve, "local garbage collection site Kaizen squad" would corporate with the community to solve the problem.

1. I know it, and I participate in it 2. I know it, but I never participate in it
3. I didn't know, but I want to participate in it 4. I didn't know

About door-to-door collection

Q22. What do you think about the door-to-door collection? Choose one.

The door-to-door collection is ① for detached house garbage is collected at street beside your house.

② for collective housing garbage is collected at the collection site on each building.

The door-to-door collection may increase the expenses, but door-to-door collection benefits as the following, citizens would take responsibility to their garbage, decrease the burden of bringing the garbage to the collection site, and city beautification due to not having collection site on the street.

1. Agree (Reason _____)
2. Disagree (Reason _____)
3. Neither
4. Others (_____)
5. I don't know

About household garbage fees

Q23. At Yokohama city, garbage disposal fee is the same between people who give effort in reducing garbage and people who don't (except for oversized garbage). What do you think about it? Choose one.

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. Unfair | 2. Somewhat unfair |
| 3. Somewhat fair | 4. Fair |
| 5. Neither | |

Q24. What do you think of charging household garbage depending on the amount of garbage you dispose of?

Choose one.

1. Agree (Reason _____)
2. Disagree (Reason _____)
3. Neither
4. Others (_____)
5. I don't know

Q25. If Yokohama city will charge burnable garbage and non-burnable garbage, in what points do you think the city have to consider? Choose as many as you want.

1. Take measure of reducing illegal dumping
2. Stricter the garbage separation rule
3. Be explicit on uses of the incomes on charging fees.
4. Be explicit on the effects of charging fees.
5. Make it a fair system for people who reduce the garbage.
6. Increase the separating items and promote recycling
7. Operate door-to-door collection
8. Consider citizens with low income
9. Consider child-rearing and nursing family
10. Enforce the approach to manufacturer and retail store on reducing garbage
11. Others (_____)
12. I don't know

Services such as Fureai collection

Q26. Do you know services such as Fureai collection and oversized garbage collection service? Choose one.

Fureai collection and oversized garbage collection service are the services which waste will be picked up from inside the house/ apartment for those who live alone and are unable to take their waste to the collection site.

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. I know both services | 2. I know Fureai collection |
| 3. I know oversized garbage collection service | 4. I don't know both services |

Q27. For participants who chose 4 on Q26. If it's possible, do you want to use Fureai collection and oversized garbage collection service? Choose one.

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. I want to use Fureai collection | 2. I want to use oversized garbage collection service |
| 3. I want to use both services | 4. Unnecessary because I use other supporting service |
| 5. Unnecessary | |

About incineration plants

Q28. What do you know about incineration plants in the city? Choose as many as you want.

1. Town gas and gas oil are not used for incineration
2. Runs 24 hours continuously
3. Electricity is generated by the thermal energy of the incineration
4. Generating electricity would rise by draining the liquid from kitchen scraps
5. Selling generated electricity
6. Burnable garbage has decreased by separation, and some incineration plants have closed or stopped.
Four incineration plants are running now.
7. The reason to burn the garbage is for sanitation (prevent stink and sickness) and to make garbage smaller (1/40 of a size) to use landfills longer.
8. To maintain incineration plants, the large amount of cost has been spent on chemicals to treat exhaust gas and to repair deteriorated facilities (In 2014, 11.6 billion yen)
9. I don't know much

About landfills

Q29. What do you know about landfills in the city? Choose as many as you want.

1. Non-burnable garbage and ashes from incineration plants are further disposed of in The Minami-honmoku Waste Landfill Site
2. New landfills are now under construction
3. For the future, running landfills are trying to reduce disposal and recycling the ashes to prolong the life of the landfills
4. After 2018, landfill that is now under construction will only be available in Yokohama City
5. In Landfills that is now under construction will be full around 2048
6. There is no plan on making new landfills after the ones that are under construction
7. I don't know much

About food loss and reduction of garbage

Q30. Do you know a word "food loss"? Choose one.

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. I know what it means | 2. I've heard of it, but I don't know the meaning |
| 3. I didn't know | |

Q31. Which of the following “food loss” occur at your house? Choose as many as you want.

Domestic “food loss” can be divided into 3 types: food being disposed unopen “Uneaten food,” uneaten served food “Leftovers,” and peeling too much “Vegetable and fruit peels.”

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. “Uneaten food” | 2. “Leftovers” |
| 3. “Vegetable and fruit peels” | 4. I never caused “food loss” |

Q32. For participants who answered “1” on Q31.

Which of the followings remain as “uneaten food” at your house? Choose as many as you want.

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. Staple (Rice, Bread, Noodle) | 2. Vegetable, Fruits |
| 3. Meat, Fish | 4. Soybean Curd and Fermented Soybeans |
| 5. Snack, Candy | 6. Preserved food (retort food, canned food, frozen food) |
| 7. Delicatessen, Bento | 8. Others (_____) |

Q33. For participants who answered “1” on Q31.

What is the main reason to have “Uneaten food” at your house? Choose as many as you want.

1. I bought bargain products near its date perishables, but couldn't eat it before the date.
2. I bought a cheap product or a big bag, but it was too many that I can't eat all.
3. I bought the same product which was in the stock at the house and couldn't eat it.
4. I couldn't eat it because it was unappetizing.
5. Others (_____)

Q34. Which of the following activities that you and your family do to prevent “food loss.” Choose as many as you want.

1. Check the stock before going to shopping and bring shopping memo
2. Buy only a necessary amount buying products sold loosely and small bag
3. Write consumption (appreciation) expiration date larger not to forget to eat.
4. Eat all food served.
5. Use peel and core for cooking to reduce kitchen scraps.
6. Others (_____)
7. N/A

Q35. Which of the following activities that you and your family can do to prevent “food loss.” Choose as many as you want.

1. Check the stock before going to shopping and bring shopping memo
2. Buy only a necessary amount buying products sold loosely and small bag
3. Write consumption (appreciation) expiration date larger not to forget to eat.
4. Eating everything that is served.
5. Use peel and core for cooking to reduce kitchen scraps.
6. Others (_____)
7. N/A

Q36. Do you know "Eat Everything Cooperating Restaurants and Shops"? Choose one.

The city of Yokohama cooperates with restaurants and accommodations to reduce food loss by making small dish menu and takeout service. This program is called "Eat Everything Cooperating Restaurants and Shops."

- | | |
|--|--|
| 1. I know it, and I've used it | 2. I know, but I haven't used it |
| 3. I know it, and I want to use it | 4. I didn't know, but I want to use it |
| 5. I didn't know, and I don't want to use it | |

Q37. Please indicate your opinions/comments on waste reduction and recycling in Yokohama City.

The following questions ask about yourself. (Only for statistical use)

F1. Are you male or female?

1. Male 2. Female

F2. How old are you?

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 20-29 | 2. 30-39 | 3. 40-49 |
| 4. 50-59 | 5. 60-69 | 6. Over 70 |

F3. How many family members do you live now including yourself?

1. One 2. Two 3. Three 4. four 5. Five or more

F4. Which district do you live?

- | | | | | |
|----------------|----------------|-------------|----------------|-----------------|
| 1. Tsurumi-ku | 2. Kanagawa-ku | 3. Nishi-ku | 4. Naka-ku | 5. Minami-ku |
| 6. Kounan-ku | 7. Hodogaya-ku | 8. Asahi-ku | 9. Isogo-ku | 10. Kanazawa-ku |
| 11. Kouhoku-ku | 12. Midori-ku | 13. Aoba-ku | 14. Tsuzuki-ku | 15. Totsuka-ku |
| 16. Sakae-ku | 17. Izumi-ku | 18. Seya-ku | | |

F5. How long do you live in Yokohama City?

- | | | |
|---------------------|---------------------|--------------|
| 1. Less than a year | 2. 1-4 years | 3. 5-9 years |
| 4. 10-19 years | 5. 20 years or more | |

F6. Which type is your residence?

1. Detached House 2. Collective housing (Such as condominium and apartment)

《关于家庭生活垃圾的问卷调查》

关于生活垃圾的问题

第1题 您听到“垃圾”、“资源”就想起什么？（多选）

- | | | | | | | | | | |
|----|------------|----|-----------------|----|----------------|----|------------------|----|-------|
| 1 | 分类 | 2 | 减量化
(Reduce) | 3 | 再利用
(Reuse) | 4 | 再循环
(Recycle) | 5 | 食品损耗 |
| 6 | 家里塞满了垃圾 | 7 | 美化城市 | 8 | 水银(汞) | 9 | 小型家电 | 10 | 缺乏资源 |
| 11 | 全球气候变暖 | 12 | 收费化 | 13 | 上门收集 | 14 | 垃圾焚烧厂 | 15 | 垃圾填埋场 |
| 16 | 其他 (_____) | | | | | | | | |

第2题 您知道“普通废弃物处理基本计划（横浜3R梦计划）”（ヨコハマ3R夢プラン）吗？（单选）

- 1 知道计划的目标和内容 2 听说过, 但不知道计划的具体内容 3 不知道

关于垃圾减量化及处理的满意度

第3题 您对横滨市的收垃圾、减量化等工作满意不满意？（每个回答单选）

收垃圾	1 很满意	2 比较满意	3 不太满意	4 不满意	5 一般
向市民提供的关于垃圾的信息	1 很满意	2 比较满意	3 不太满意	4 不满意	5 一般
推进垃圾减量化	1 很满意	2 比较满意	3 不太满意	4 不满意	5 一般
居住区保持干净	1 很满意	2 比较满意	3 不太满意	4 不满意	5 一般

关于环保 3R (减量化 Reduce · 再利用 Reuse · 再循环 Recycle) 的问题

第4题 为了减少生活垃圾 (Reduce), 您平时做些什么? (多选)

- 1 去买东西之前，弄清冰箱里放些什么、家里储存什么，免得购买不需要的东西
- 2 购物时使用布袋子，拒绝使用一次性塑料袋
- 3 拒绝过度包装
- 4 使用保温杯，避免购买 PET 瓶装饮料、罐装饮料
- 5 在便利店和超市购物时拒绝一次性筷子和一次性湿巾
- 6 出去吃饭时使用自己的筷子，拒绝使用一次性筷子
- 7 充分去除厨房（食物）垃圾中的水分
- 8 将厨房垃圾转化为肥料、资源（将厨房垃圾倒在泥土拌匀、利用食物垃圾处理器）
- 9 日用消耗品用完后，保留原有的容器用以放置新买的消耗品
- 10 做饭不多做，按需做饭而不剩饭
- 11 做饭时尽量实践减少厨房垃圾的做法
- 12 拒绝广告邮件
- 13 只使用一、两次时，利用租赁（出租）的东西
- 14 其他（_____）
- 15 没有特别的行动

第5题 为了资源的再利用 (Reuse)，您平时做些什么？（多选）

- 1 积极地利用跳蚤市场、旧货市场
- 2 利用带盖子的容器（如玻璃杯），保存食品
- 3 利用打印纸的背面，用于便签纸
- 4 旧衣服改造穿
- 5 坏了家具、家电时自己维修而继续使用
- 6 其他（_____）
- 7 没有特别的行动

第6题 为了资源的再循环 (Recycle)，您平时做些什么？（多选）

- 1 按照横滨市的垃圾分类规则，妥善处理垃圾
- 2 购买卫生纸时选择再生纸卫生纸
- 3 将牛奶纸盒与一次性食品包装盒带到超市里的回收站
- 4 利用自治会、町内会与 PTA（家长教师联合会）进行的资源集体回收
- 5 其他（_____）
- 6 没有特别的行动

第7题 您为何实践 3R 行动（减量化・再利用・再循环）？（多选）

- 1 看到横滨市的网页・宣传海报・启发活动
- 2 家人的建议
- 3 自治会、町内会等邻居的建议
- 4 为了充分利用有限的资源
- 5 为了阻止全球气候变暖
- 6 为了减少垃圾
- 7 因为可以享受商店的优惠活动
- 8 其他（_____）

第8题 您通过哪些渠道获取关于 3R 行动（减量化・再利用・再循环）与环保的信息？（多选）

- 1 报纸
- 2 书、杂志
- 3 电视
- 4 收音机
- 5 横滨市的宣传杂志与小册子
- 6 横滨市的网页
- 7 媒体、企业与民营团体的网页
- 8 电子杂志
- 9 博客、微博等 SNS
- 10 家人・朋友
- 11 集会・研讨会
- 12 其他（_____）
- 13 没有获取信息

关于分类垃圾的问题

第9题 您遵守横滨市的垃圾分类规则吗？（单选）

- 1 遵守规则
- 2 有时候遵守规则
- 3 有时候不遵守规则
- 4 不遵守规则
- 5 不明白

第10题 您认为分类垃圾是一种负担吗？（单选）

- 1 有负担
- 2 有点负担
- 3 没什么负担
- 4 一点不感到有负担
- 5 不明白

第 11 题 您不知道如何分类垃圾时如何解决问题？（多选）

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 查看横滨市的小册子 | 2 用横滨市的网页查询 |
| 3 用 App（手机软件）查询 | 4 问家人・问朋友 |
| 5 给横滨市打电话咨询 | 6 问自治会・町内会的推进环境事业委员 |
| 7 可燃垃圾回收日倒垃圾 | 8 其他（_____） |

第 12 题 您认为如下想法怎么样？（单选）

目前，垃圾分类为按照可再利用的种类与方法。

如果进行更详细地分类，就增加市民的负担。但是，不仅缩减垃圾中间处理成本，而且能够将垃圾变成高品质的资源而再利用。

反过来，如果减少分类种类，就减少市民的负担。但是，因为要委托分类业务，所以增加垃圾中间处理成本，并且，限制再利用的方法。

- 1 应该进行更详细的分类，要增加可回收垃圾的种类（可以增加哪些：_____）
- 2 回收垃圾应该分为罐・玻璃瓶・PET 瓶，更详细的分类便于再利用
- 3 要减少可回收垃圾的种类，还要减少垃圾分类种类（可以减少哪些：_____）
- 4 尽管花垃圾分类业务的委托费，还是要减少分类种类
- 5 和现在一样分类就行

关于处理垃圾与资源的问题

第 13 题 您与您家人如何处理 PET 瓶？（单选）

横滨市规定扔 PET 瓶时，需要取下盖子、标签，清洗瓶里面后，把它扔在“罐・玻璃瓶・PET 瓶”收集日。取下后的 PET 瓶盖、标签扔在“塑料制容器包装”收集日。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 知道处理方法，平时按规则扔垃圾 | 2 知道处理方法，有时候按规则扔垃圾 |
| 3 知道处理方法，但不遵守分类规则 | 4 不知道应该如何处理 |

第 14 题 您与您家人如何处理塑料制容器包装？（多选）

- 1 如果没那么脏，把它扔在“塑料制容器包装”收集日
- 2 如果容器里面有点脏，清洗容器里面后把它扔在“塑料制容器包装”收集日
- 3 如果容器里面太脏了，把它扔在“可燃垃圾”收集日
- 4 无论是什么样的塑料制容器，都是扔在“可燃垃圾”收集日

第 15 题 如果将罐・玻璃瓶・PET 瓶分开装在垃圾袋里，然后各个扔在“罐”、“玻璃瓶”、“PET 瓶”的每个收集日，您会感觉负担（麻烦）吗？（单选）

目前，横滨市规定将罐、玻璃瓶、PET 瓶装在一块儿，然后一块儿仍在“罐、玻璃瓶、PET 瓶”收集日。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 感觉有负担 | 2 感觉稍微有点负担 |
| 3 不太感觉有负担 | 4 不感觉有负担 |
| 5 无所谓 | |

第 16 题 您与您家人扔如下废纸时选择哪种处理方法？（多选）

硬纸板	1 废纸垃圾	2 超市里的回收站	3 可燃垃圾	4 其他（_____）
饮料纸盒	1 废纸垃圾	2 超市里的回收站	3 可燃垃圾	4 其他（_____）
包装纸	1 废纸垃圾	2 超市里的回收站	3 可燃垃圾	4 其他（_____）
饼干等的纸盒	1 废纸垃圾	2 超市里的回收站	3 可燃垃圾	4 其他（_____）
便签纸	1 废纸垃圾	2 超市里的回收站	3 可燃垃圾	4 其他（_____）
碎纸机处理过的碎纸	1 废纸垃圾	2 超市里的回收站	3 可燃垃圾	4 其他（_____）
发票	1 废纸垃圾	2 超市里的回收站	3 可燃垃圾	4 其他（_____）

第 17 题 您知道自治会、町内会及 PTA 与资源回收企业订合同而进行收集废纸・旧布吗？（单选）

- 1 知道 2 听说过，但不知道活动的具体内容 3 不知道

第 18 题 如下表格上的垃圾不能与生活垃圾一起焚烧处理，所以横滨市不能收集这些。如果您与您家人废弃这些垃圾，应该如何处理？（各个单选）

	1 售货店（厂家）回收	2 专门处理企业回收	3 倒垃圾	4 不知如何处理，放置家里	5 没有
煤油・汽油	1	2	3	4	5
药品	1	2	3	4	5
农药	1	2	3	4	5
涂料	1	2	3	4	5

具体的垃圾分类种类（_____）

例如）“让煤油渗入旧布后，可燃垃圾收集日废弃”、“罐里装着，就把它罐・玻璃瓶・PET 瓶收集日废弃”

关于垃圾投放场所的问题

第 19 题 垃圾投放场所按规定而选定地点，并且应该利用垃圾投放场所的人们亲自管理该场所。您知道这样的管理规则吗？（单选）

- 1 知道 2 不知道

第 20 题 您遇到什么事感到为难？（多选）

- 1 指定的垃圾投放场所离家远 2 垃圾投放场所不干净
3 乌鸦弄乱垃圾 4 有很多人不遵守垃圾分类规则
5 事业活动上产生的废弃物被废弃 6 您家面前有垃圾投放场所，很脏，很臭
7 其他（_____） 8 没有感到为难的事

第 21 题 《第 20 题选第 1 到第 7 的人回答一下》您知道“改善垃圾投放场所队（集積場所快善隊）”的活动吗？（单选）

难以解决在垃圾投放场所发生的问题时，每个地区的收集工作办公室组织的“改善垃圾投放场所队”跟地区居民一起解决问题。

- 1 知道，而且现在参加他们的活动 2 知道，但没参加过他们的活动
3 原来不知道，但希望参加他们的活动 4 不知道他们的活动

关于上门收集垃圾的问题

第 22 题 您认为上门收集服务怎么样？（单选）

所谓“上门收集”就是①如果独院式住宅，在住宅的靠马路边、②如果公寓，在每栋楼指定的垃圾投放场所收集垃圾。

如果进行上门收集，就增加收集经费、成本。但是，市民会自觉分类垃圾，没必要将垃圾搬到指定的投放场所，马路上没有了垃圾投放场所，因此，提高街道的美观。

- 1 同意上门收集（理由_____）
- 2 不同意上门收集（理由_____）
- 3 无所谓
- 4 其他（_____）
- 5 不明白

关于承担处理垃圾费用的问题

第 23 题 横滨市没有要求市民承担处理垃圾的费用，也没有从量收费。因此，努力地减少垃圾的市民与扔掉大量垃圾的市民承担的费用都一样。这样的情况您认为怎么样？（单选）

- | | |
|--------|---------|
| 1 不公平 | 2 比较不公平 |
| 3 比较公平 | 4 很公平 |
| 5 无所谓 | |

第 24 题 对于处理垃圾收费，市民承担按垃圾的重量支付处理费（从量收费），您认为怎么样？（单选）

- 1 同意从量收费（理由_____）
- 2 不同意从量收费（理由_____）
- 3 无所谓
- 4 其他（_____）
- 5 不明白

第 25 题 如果横滨市开始针对除了可再利用资源之外的可燃垃圾及不可燃垃圾进行收费收集，您认为横滨市应该采取什么样的措施？（多选）

- 1 为了防止垃圾的非法投弃采取有效措施（非法投弃是指在指定场所之外的地方随便丢弃垃圾）
- 2 更要严格垃圾分类规则
- 3 公开收费收集收入的用途
- 4 公开收费收集的效果
- 5 建立对于努力减少垃圾的市民有好处的制度
- 6 要增加垃圾分类的种类，推进资源垃圾的再利用及再循环
- 7 实施上门收集垃圾
- 8 应该考虑到低收入者的经济情况
- 9 应该考虑到养孩子的、养老护理家庭的经济情况
- 10 横滨市提倡生产者与零售商店要减少垃圾
- 11 其他（_____）
- 12 不明白

关于“HUREAI 收集”服务的问题

第 26 题 您知道“HUREAI 收集”与大型垃圾的上门收集等服务吗？（单选）

“HUREAI 收集”与大型垃圾的上门收集是指针对难以寻求家人或邻居的帮助，不能自行将生活垃圾或大型垃圾搬到指定场所的单身生活的人、老人、残疾人、孕妇等，横滨市将上门收集垃圾的服务。

- 1 知道“HUREAI 收集”与大型垃圾的上门收集服务
- 2 只知道“HUREAI 收集”服务
- 3 只知道大型垃圾的上门收集服务
- 4 都不知道

第 27 题 《第 26 题选第 4 的人回答一下》如果您符合条件，想利用“HUREAI 收集”与大型垃圾的上门收集等服务吗？（单选）

- 1 想利用“HUREAI 收集”服务
- 2 想利用大型垃圾的上门收集服务
- 3 想利用每个收集服务
- 4 现在利用别的收集服务，所以不需要
- 5 不需要

关于垃圾焚烧厂的问题

第 28 题 您对于横滨市的垃圾焚烧厂有哪些了解？（多选）

- 1 焚烧垃圾不需要轻油、天然瓦斯（都市瓦斯）等燃料
- 2 垃圾焚烧厂昼夜 24 小时不间断地运转
- 3 利用在焚烧中产生的热能发电
- 4 充分去除厨房（食物）垃圾中的水分，就增加发电量
- 5 发电又卖电
- 6 由于垃圾分类，减少可燃垃圾。有几个焚烧厂已停止运转。目前，只有 4 所焚烧厂处理垃圾
- 7 垃圾焚烧的最大的理由是为了防止散发恶臭及消灭病原体。另外，焚烧处理后，减量化效果显著，节省用地，能够长期使用垃圾填埋场
- 8 垃圾焚烧厂需要处理烟气的药品，为了维修陈旧设备等，投入巨大成本（2014 年花了约 116 亿日元）
- 9 没有

关于垃圾填埋场的问题

第 29 题 您对于横滨市的垃圾填埋场有哪些了解？（多选）

- 1 不可燃垃圾及焚烧处理后灰渣都填埋在横滨市南本牧地区的海面垃圾填埋场
- 2 横滨市现在建设一所新填埋场
- 3 开设新填埋场之前，目前，在原有的填埋场采取将已经填埋的废弃物进行减量化，将灰渣资源化等措施，因此，谋求拖延填埋场的寿命
- 4 到了 2018 年，横滨市的填埋场只有现在建设的一所而已
- 5 新填埋场按照和现在一样的进度填埋垃圾，到了 2048 年左右，就没有了填埋的地方
- 6 建完现在建设的填埋场后，暂时没有其他的修建计划
- 7 没有

关于食品损耗及减少厨房（食品）垃圾的问题

第 30 题 您听说过“食品损耗（食品 loss）”这个词吗？（单选）

- 1 知道什么意思
- 2 听说过，但不知道什么意思
- 3 不知道

第 31 题 您家里产生过的“食品损耗（食品 loss）”是哪个？（多选）

家里会产生的所谓食品损耗有 3 种。第 1 是没有上餐桌被倒掉的食物（一点也没吃的食物），第 2 是没吃完被倒掉的食物（剩饭菜），第 3 是削水果皮、蔬菜皮削得太厚（和皮一起倒掉的食物）

- | | |
|-------------|------------|
| 1 一点也没吃的食物 | 2 剩饭菜 |
| 3 和皮一起倒掉的食物 | 4 没产生过食品损耗 |

第 32 题 《第 31 题选第 1 的人回答一下》您家里平时有哪些食物一点也没吃而被倒掉的？（多选）

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1 主食（米饭·面包·面条） | 2 蔬菜·水果 |
| 3 生肉·鲜鱼 | 4 豆腐·纳豆 |
| 5 点心 | 6 易于储藏的食品（速食品·罐食品·速冻食品） |
| 7 熟菜·便当 | 8 其他（_____） |

第 33 题 《第 31 题选第 1 的人回答一下》您与您家人将一点也没吃的食物倒掉的主要原因是什么？（多选）

- 1 买了快过期的食品，但没吃掉在保质期内
- 2 买了便宜拍卖的、大盒装的食品，但没吃掉
- 3 忘了在家里储存的食品，再买了一样的食品，所以没吃掉
- 4 觉得不适合胃口，没吃掉
- 5 其他（_____）

第 34 题 为了防止产生“食品损耗”，您平时做些什么？（多选）

- 1 去买东西之前，弄清冰箱里放些什么，将要买的东西记在便条上
- 2 选择散装的、小盒装的食品，只购买需要的分量
- 3 在食品包装上大字写着保质期
- 4 吃光菜，不剩饭菜
- 5 烹饪时连蔬菜皮都用，节约食物
- 6 其他（_____）
- 7 没有

第 35 题 为了防止产生“食品损耗”，您与您家人觉得哪些行动容易参加？（多选）

- 1 去买东西之前，弄清冰箱里放些什么，将要买的东西记在便条上
- 2 选择散装的、小盒装的食品，少点儿买
- 3 在食品包装上大字写着保质期
- 4 吃光菜，不剩饭菜
- 5 烹饪时连蔬菜皮都用，节约食物
- 6 其他（_____）
- 7 没有

第 36 题 您知道“参与吃光活动餐馆”吗？（单选）

横滨市与市内的餐馆及酒店协作进行为顾客“提供小份菜”、“鼓励将没吃完的剩菜打包带走”等为了减少食品垃圾的活动。参与这个活动的餐馆叫做“参与吃光活动餐馆”。

- | | |
|------------|--------------|
| 1 知道，去过 | 2 知道，但没去过 |
| 3 知道，想去 | 4 原来不知道，现在想去 |
| 5 不知道，不打算去 | |

第 37 题 您对于横滨市的垃圾减量化・再利用・再循环工作有建议或意见吗？请您任意填写一下。

.....

关于您本身的问题（您的回答只用于统计分析）

F 1 您的性别

- 1 男 2 女

F 2 您的年龄

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 20-29 岁 | 2 30-39 岁 | 3 40-49 岁 |
| 4 50-59 岁 | 5 60-69 岁 | 6 70 岁以上 |

F 3 现在，您家有几口人？（包括您在内的人数）

- 1 1 口人 2 2 口人 3 3 口人 4 4 口人 5 5 口人以上

F 4 您居住在横滨市哪个地区？

- | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|--------|
| 1 鹤见区 | 2 神奈川区 | 3 西区 | 4 中区 | 5 南区 |
| 6 港南区 | 7 保土个谷区 | 8 旭区 | 9 磯子区 | 10 金泽区 |
| 11 港北区 | 12 绿区 | 13 青叶区 | 14 都筑区 | 15 户塚区 |
| 16 荣区 | 17 泉区 | 18 瀬谷区 | | |

F 5 您居住在横滨市多长时间了？

- | | | |
|-----------------|---------------|----------------|
| 1 不到 1 年 | 2 1 年以上不到 5 年 | 3 5 年以上不到 10 年 |
| 4 10 年以上不到 20 年 | 5 20 年以上 | |

F 6 您的住宅情况

- 1 独院式住宅 2 公寓、单元楼等集体住宅

(1) 問 37 自由意見記述

① 3R行動（リデュース、リユース、リサイクル）について

- ・リサイクルを利用したいと思うが、何処に店があるのかよくわからない。たまに車で出かけて見かけるが遠い
- ・生ゴミのリサイクルを検討してほしい
- ・粗大ゴミ等で出された物で利用出来そうな物をリサイクルして必要な人に使ってもらいたいと思う
- ・収集されたリサイクル品が何にリサイクルされているか知りたい
- ・気軽に参加出来るフリーマーケットのような事を定期的にやるのもいいかと思います。東京大田区には不要品 BOX など家前に置いてあり、中の物を必要な人は、自由に持って行くという日を見た事があります
- ・リサイクルだけでなくリユースがすすむ取組がほしい。リサイクルの種類が少ない
- ・リサイクルは定着していると思う。また、リユースもリサイクルショップの普及で進んでいると思う。あとはフリートレードのしくみなどを行政も取りくんでいくのがいいと思う
- ・限りある資源であり、自分たち世代だけのことではないので、考えていかなければならないと思う。ゴミを減らす工夫は必要。日本は今まで過剰包装しすぎであると思う
- ・生ゴミだけに限ってですが、流し台のどこかに粉碎機のような設備を取り付け、そこに全て入れみじんにして下水道に直接放流できれば良いなと思います
- ・ごみの減量もリサイクルもきちんと取り組んでいると思います。手間(お金も)かけても何か"嬉しい"気持ちになることができれば良いかと思います。今より少し頑張る→人の為になる→自分の為にもなる→嬉しいことがある・・・など

②ごみの分別・収集について

- ・カン・ビン・ペットボトルは分別して、別々の袋に入れるようにした方が良いのではと思っています
- ・ボタン電池の回収も普通の電池と同じようにして欲しい
- ・紙ゴミおよびプラの回収頻度がかなり少ないと感じており、改善を要望します。特に紙ゴミに対し、断れる過剰包装は徹底的に排除し、全企業に不要 DM を止めさせ、インターネットで済むものは全てネット閲覧しゴミを出さないように相当力を入れて取り組んでいます。それでも市の回収頻度では全く足りていません
- ・分別を細かくするなら、収集日を増やすべき。燃えないゴミの収集基準がよくわからない。粗大ゴミが出にくい
- ・紙ゴミの日にはメモなど個人情報の分かるものを出すことに抵抗があります。どのような会社かどのように集めているのか、どのようにリサイクルまで進むのかもっと明確にしてほしいです

- ・全く個人的な理由からですが、8:30 収集開始は早すぎて苦痛です。かといって生ゴミはカラスなどに食いちらかされるおそれがあり、前夜から出すわけにいきません。福岡市のように夜間収集だとよいのですが
- ・プラスチック製容器包装の分類について以前から疑問に思っています。実際には回収後どの様に処理(埋め立て?焼却?)されているのでしょうか
- ・ゴミ分別でリサイクルは大事だと思いますが、これから高齢化社会に入り、分別する種類も多くなれば、それだけ負担が多くなり結局ゴミ屋敷が増える様な気がします。その事も考えて頂きたいと思います
- ・分別のパンフレットを見ても分別方法がわからないことがある。プラスチックについては具体的に書いて欲しい
- ・いつもゴミ収集をありがとうございます。個人的な要望としては分別の案内(冊子・HP)をもっとシンプルに分かりやすくしてほしい。分別例を増やしゴミの区分と品名索引のどちらからでも全品目が検索できると良い。(イメージとしては小学生でも理解。検索が出来るレベル)また分別項目は必要最小限に留めてほしい。細かく分けるほど公共心のない人以外にも、諸事情により理解が難しい人が分別をあきらめてしまい、燃やすごみの増加・不法投棄やゴミ屋敷の増加の一因になると思う

③ごみ処理費用の負担のあり方について

- ・有料化したいのはわかるが、賛成しかねる。現在でも不法投棄などルールを守らない人がいて自治会でこまっているというのに、さらに拍車をかけることにつながるのではないかと
- ・逗子市のマンション管理員をして働いております。ごみ有料化によってごみの量がたいへん減った事を実感しました。是非、有料化の方向で検討をお願いします
- ・転居前の地方都市はゴミ袋が有料でした。財政のキビしい横浜を認識しています。有料化されても仕方ないと思うが有効に使ってほしい
- ・既に多額の市民税を払っているのに、ゴミ収集を有料化するなど言語道断である
- ・ごみ袋の有料化やごみ袋に名前を書いて出す、等した方がいいと思う
- ・ゴミの有料化は賛成しかねます。それぞれ家族の人数も違うし…ゴミを出さないようにして逆にため込んでゴミ屋敷になる家があっても心配…害虫がわいても嫌だし…この時期、枯葉など道のそうじもやっていますので結構ゴミが多いです
- ・ごみ収集の有料化には反対です。子供が多い為、負担が大きくなる為
- ・有料化したからと言ってゴミが減るとは限らない。むしろ、有料化になると困るから減らすという考え方もある。ごみ屋敷が増えたり、不法投棄が増えたり、公共のゴミ箱への投棄が増えたりと街が汚れる可能性も上がる。保育や介護は限定されたサービスであるがゴミは、市民全員が受けるサービスであるため、現状維持のサービスでお願いしたい。他市に比べても満足のいくサービスと思っている
- ・全国的にゴミの有料化が進んでいる中、横浜市がなぜ有料化にならないか理由が分からない

④食品ロスについて

- ・食べきり協力店これについて知りたい。冬場の外食の時、ドギーバッグを持参しています。タッパウェアなど。旅館に泊まる時、とにかく食事(特にメのごはん)は少な目に、とお願いしています。夏場はNGですが、冬の忘年会シーズンなど、残す料理を見るたび心が痛みます。ドギーバッグがトレンドになる文化になってほしいです。お金をムダにしているのと同じです
- ・割に有名なお店で沢山なので持ち帰りたい、と言ったら断られた事がありましたのでそれからは言わぬ事にしていましたが、久し振りの友人と食事をした時、勿体なくて頼んだら心よく食器に入れてくださいました。我が家で美味しく頂きました。食べきり協力店が出来たのは何よりの事だと思います。頑張ってください
- ・今後、食品ロスが減るよう市民が理解するよう、公報 etc で広く大切さを訴えて欲しい
- ・現代は少人数世帯ですので、食品はスーパーで良く 2 ケでいくらといった組合せ販売をやっているが、それより 1 ケを 1 割位へらして 1 ケ売りをした方が高齢者は良いかと思う
- ・買い過ぎた時には、冷凍するか、早やめに明日の分でも料理しておく。期限切れに気をつける様にしている
- ・会社の社員食堂で働いていますが、やはり余ると捨ててしまいます。衛生上持って帰ることができませんが、当日作った物なので、まだ食べられる物を大量に捨てるのはどうかと思います
- ・食品ロスをなくすために家に余っている食材をさしあげる事が出来るシステムが気軽にあればよいと思う
- ・食品ロスにより、中身を出して分別しなければいけない時、一番面倒に思う。結局食品ロスをしない努力がまず大切とあらためて思います。一人だとどうしても出てしまう事も多々あると思いますが、食は大切なので楽しみは無くさず、なにか考えてロスのないようにしたいと思います。食材の食べ切る方法は子供達にも伝えています
- ・食べきれなかったものを、持ち帰れるレストランなどが増えるととても良い
- ・小売店にロスの出ない様、バラ売り、計り売り、包みも簡素にするように。外食の際は、残った物は持ち帰れるように

⑤行政・企業の取組について

- ・ごみ減量のためには販売店や生産者がもっと容器のシンプル化、統一、互換性を図るべきだと思います。ビンやボトル他は生産者が責任をもって回収したり、消費者も日常的に意識を高く持つべきです。海外の簡易包装、マイバッグは見習うべきです。野菜、果物、魚他、パックで蓋うのではなく、必要量を測り売るシステムが大切
- ・ゴミ捨て場の掃除やカゴの管理など、有料でもいいので市で管理してもらう方法がほしい。掃除したあと、人が出したゴミを持ち帰らなければならない、とてもいやな思いをしている
- ・粗大ゴミを、インターネットで申し込みできますと言っているわりには、選べる品目が少なく、電話で確認しなければならない。非常に非効率的だと思います

- ・分かりやすいルールや仕組みを作ってもらいたい。収集所もカラスに荒らされたりするので、ネットだけでなく箱型のネットのようなものをどこの収集所にも設置してもらいたい
- ・個人の努力には限界があります。製造業者も含めて社会全体のシステムを作らないと解決できません
- ・外国人の方で日本語がわからない方が、ゴミの出し方を間違えています。英語の説明を貼るなど工夫があってもよいかと思います。お互い気持ちよくゴミ出しができると思います
- ・ごみ収集は公共サービスというイメージが強く、どうしても住民のニーズに自治体が応えるべきといった考えの方が多いと思う。自治体はもっと相互努力の重要性を「具体的に」広報すべきでは
- ・市内の企業や商店街モールなどへの実施結果を報告義務化～店頭での包装簡素化。・小売店の仕入れ商品を簡素化
- ・横浜市への市外からの転入者等への通知等、資源政策課の人は市内の見廻り等を行うべき。本紙を作成してまとめるだけでは対策にはならないと思う

⑥ルール・モラルについて

- ・ごみ収集場所をお当番でそうじしていますが、共働きのご夫婦の家庭やご年配ご夫婦のお宅はお当番をしていません。ご年配の方が分別できなかつたり、曜日を間違えたりしているのはやむをえないと思いますが、お当番をしない家庭の方が、やはりゴミは他人事と思っているのを感じます。自分の出したごみに責任をもつようにしてほしいと思います
- ・ごみの分別や、またそれを出す日をいい加減にしている人が少なからずいることが不快である。戸別収集になれば自分が出すごみに対して責任を持ち、いい加減な出し方は減少すると思う。そのために有料化(袋など)は仕方ないことと考える
- ・利用区域外のルール外の投棄が多く、その掃除が課題
- ・横浜市のイメージは都会的だと思いますが色々な区によりゴミ集収場所などは汚いイメージがあります。カラスもよく見かけます。集収時間も場所により早かったり遅かったり。ダンボールも箱のままボンと出している人もいてイライラしました。きちんと分別している人もいますが分別しない人多すぎる。人口が多いので仕方ないとは思いますが横浜市のゴミ、リサイクルがもっとクリーンなイメージになったら良いです
- ・ゴミの出し方を理解出来ない、自分の都合で出され収集されない、出し方が悪く小動物に荒らされる、など課題が多く有料化や分別数増加など厳しくすればするほど守れない人が多くなり道が汚れます。集収場所の掃除が大変
- ・道路にたばこの吸いがら、飲んだビールの缶、コンビニで買って食べたあとの袋など、平気で捨てている人が多い。ゴミを平気で道に捨てている大人があまりにも多く、情けない
- ・今回のような詳細なアンケートに答えられる人は元気もあり、ある程度以上の教養のある人。アンケートに答えるような人は分別にも3R行動にも協力的。当アンケートに答えられない高齢者・無分別者がルールをなかなか守れないのではないかと思います。無回答者こそ隠れ違反者だと思うのですが

- ・分別しない人は同じ人です→もっと巡回して御指導下さい(貼り紙では効果みられない)3. 最近市の取り組みは同じ事のくり返しの様な気がします。ゴミの出し方、分別について市民のマナーに訴える様な事を考えて下さい
- ・近所の人が分別してゴミを出さない。分別していないゴミを出す人が分かっているときの対応はどうしたらいいかホームページ等で教えてほしい。近所なのでキツク言ってしまうと何されるか分からないから
- ・横浜市と各町内会の負担でゴミ収集場所にカメラを設置し不法投棄・曜日別ゴミ出しのチェック拡大・犯罪防止等、捨てる人が「カメラで監視されている」という認識の中でルールを守れるようにする事が、分別・不法投棄を減少できると考えます

⑦広報・啓発・教育について

- ・今回のアンケートをきっかけにごみの減量、処分場について考えるようにします。さし迫った問題とは別に、学生生活の中で習慣づけるような教育が長い目でみて効果的ではないでしょうか
- ・小学生の時にゴミ処理場見学に行き、その熱でプール(リネツ金沢)があったり、ゴミ処理の仕方を知ることができた。あのよう、どのように取り組んでいるのか、見せることが子どもたちにとっても興味をもたらし、とても良い機会で、ぜひ続けてほしいと思った
- ・広報誌やイベントでも積極的に取り組んでいるように思います。しかし、個人の努力や気持ち(やる気)はさまざまなもの。啓もう運動を続けていくのが良いでしょう
- ・ゴミ行政についての情報提供を増やしてほしい
- ・環境事業推進委員として活動していますが資源循環局の職員の方々がとても協力的で戸塚区では各イベントでのごみが少なくなりました。各町内会の会合で推進委員の方がゴミの分別方法について詳しく説明したり、早朝ウォークラリーを実施したり職員の方と一緒に地域の人たちにごみ減量に協力してもらっている
- ・リサイクルなどされたゴミなど、どうなっているのか 3R を広報に載せて欲しい
- ・通常 3R として整理されている三つのアプローチに加えて、REAWAKEN(啓発)を推進して、行政・市民・事業者全体で実施していくという視点を貫いて下さい
- ・焼却工場や埋立地などについては全然知らない、横浜の広報などで特集したり(1回ではなく、四半期に1回とか)して、周知してほしい。その他食べきり協力店も全然知らない、こちらも教えてほしい
- ・G30 は知っていて結果が出ていたことは知っていたが、その後どうなっているのかは知らなかった。新しい取組が行なわれていることもこのアンケートで知ったくらいなのでもっとアピールしても良いと思う。G30 の時は結果が出ているということを TV でも取上げていて、市民としてモチベーションがあがったのを覚えている
- ・機会があり資源循環局の方にご指導いただいたことがあります。(講習会)大変参考になりましたので、たくさんの人がそういう機会に恵まれゴミの出し方やリサイクルが良い方向に向かえばいいなと思います

⑧その他

- ・街路樹の落葉。家の前の落葉に悩まされています。40 年以上住み、街路樹が育ち年々その量たる(落葉)が多くなるばかり、週 7~8 袋あります。この数年枝切りがなく育つばかりです。枝切りを毎年していただけないでしょうか。ごみの減量になります。80 歳になるととても苦です
- ・カラスにくいちらかされない様に考えてほしい。ゴミの集積場がせまい事※場所ない無理に設置している。町内でゴミ入のカゴ、置きたいが金が掛かるので困っている
- ・プラゴミは種類が多かったり、汚れたものが混ざったりするのでリサイクルは不可能だと思うが実際どう処理しているのか知りたい
- ・50 cm以上の長い棒など(80 cm位の釣り竿とか・植木のそえ木等)整理したいが方法がわからない
- ・ごみ減量やリサイクルを率先してやるには、自分に直接的な利益があればやると思う。例えば分別したらポイントが貯まる。ポイントがある程度貯まると、商品と交換など
- ・ゴミ収集車の運転が荒い
- ・良くやっており、先進的だと今は思っています
- ・このアンケートについて、例えば問 4 ではあなたが・・・となっているが、例えば問 13 ではあなたやあなたの家族はとなっている。それで問 4 の質問では私個人について書いたが、家族を加えると答えは違ってくる
- ・現状で満足している
- ・少人数にのみアンケートを取る理由がそもそも理解できない。40 代から下の世代であればネットなどを通して数多くのアンケートが取れるはずではないかと思います。アンケート調査をやっている側からの本気をまず感じません

4.2 事業所向けアンケート調査資料

「事業活動により排出するごみについてのアンケート調査」

事業所から発生するごみ処理の実態についておたずねします

問1 貴事業所では、事業活動に伴って発生するごみや資源物をどのように処理していますか。それぞれの品目の処理方法を下記の選択肢から選んで、該当する番号を記入してください。

品目		処理方法 (選択肢の番号記入)
古紙類	新聞	
	雑誌	
	OA用紙（コピー用紙、電算用紙等）	
	機密文書	
	段ボール	
	紙バック	
	雑紙（メモ用紙、伝票、封筒、空き箱、シュレッダーくず等）	
金属類	空き缶（飲料用、食品缶）	
	金属類	
ガラス陶磁器	空きびん	
	陶磁器くず、ガラスくず	
プラスチック	ペットボトル	
	プラスチック製品（弁当ガラ、ビニール袋等）	
	発泡スチロールや食品トレー	
古布（制服、リネン、その他布類）		
木くず、剪定くず		
廃油	廃食用油	
	廃機械油、潤滑油	
生ごみ	調理くず、食品加工くず	
	食べ残し（残飯）、売れ残り廃棄食品	
一般ごみ（燃やすごみ）（使用済みのティッシュペーパー、リサイクルできない紙等）		

- 【選択肢】
- 1 横浜市の家庭ごみ（燃やすごみ）の収集に出している
 - 2 横浜市の資源物の収集に出している
 - 3 ごみの収集運搬業者にごみとして出している
 - 4 ごみの収集運搬業者に資源物として出している
 - 5 リサイクル業者に売却している
 - 6 処理費用を支払って、直接リサイクル業者に資源化を依頼している
 - 7 企業内、企業グループ内でリサイクルしている
 - 8 納入業者（販売者）が回収している
 - 9 本社（本店）に任せているのでわからない
 - 10 建物の管理会社に任せているのでわからない
 - 11 発生しない

ごみの排出量の増減についておたずねします

問2 貴事業所では、ここ2～3年の間に、「一般ごみ（燃やすごみ）」の排出量は増えましたか、減りましたか。○はひとつ。

- 1 増えた 2 減った 3 変わらない 4 わからない

問3 問2で1を選択した方におたずねします。増えた理由は何ですか。○はいくつでも。

- 1 生産、販売量など事業規模が拡大・増加したから
2 従業員が増えたから
3 回収業者が資源物として回収しなくなったから（品目_____）
4 リサイクルせずにごみとして排出するようにしたから（品目_____）
5 ごみやリサイクルに関する専門部署や担当者を設置していないから
6 その他（_____）
7 わからない

問4 問2で2を選択した方におたずねします。減った理由は何ですか。○はいくつでも。

- 1 生産、販売量など事業規模が縮小・減少したから
2 従業員が減ったから
3 回収業者が資源物として回収するようになったから（品目_____）
4 分別してリサイクルするようにしたから（品目_____）
5 ごみやリサイクルに関する専門部署や担当者を設置したから
6 従業員の教育を徹底したから
7 その他（_____）
8 わからない

ごみ処理上の問題点や対処方法についておたずねします

問5 貴事業所は、ごみを処理する上で困っていることはありますか。○はいくつでも。

- 1 事業系ごみの出し方がわからない
2 最近ごみ量が増えて、処理に掛かるコストが増えてきた
3 ごみの収集運搬業者や処理業者の情報がわからない
4 処理しにくいごみが増えてきた（具体的に_____）
5 リサイクルしたいが引き取ってくれる業者がない
6 分別の仕方がわからない
7 従業員に分別排出の意識が浸透しない
8 新しく店舗を構えるとき、ごみ処理について質問や相談する所がわからない
9 その他（_____）
10 特にない（この選択肢を選んだ場合は、他の項目に○をつけないでください）

問6 ごみの分別や処分方法についてわからないとき、どのように対処していますか。○はひとつ。

- 1 市役所、区役所または収集事務所に聞く 2 市から配られたパンフレット等を見て調べる
3 市のホームページで調べる 4 ごみの収集運搬業者に聞く
5 その他（_____） 6 独自で判断している

問7 問6で6を選択した方におたずねします。今後、どのような情報提供があればよいと思いますか。○はいくつでも。

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 パンフレット等を個別に配布してほしい | 2 説明会等を開催してほしい |
| 3 店舗の新規申請時に教えてほしい | 4 その他 () |

ごみの減量・リサイクルへの意識と取組状況についておたずねします

問8 貴事業所では、ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組んでいると思いますか。○はひとつ。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 積極的に取り組んでいると思う | 2 ある程度取り組んでいると思う |
| 3 あまり取り組んでいないと思う | 4 まったく取り組んでいないと思う |
| 5 わからない | |

問9 問8で1か2を選択した方におたずねします。ごみの減量・リサイクルに取り組んだきっかけは何ですか。○はいくつでも。

- 1 横浜市が積極的にごみの減量に取り組んでいるから
- 2 横浜市から直接指導を受けたから
- 3 ごみの収集運搬業者から提案があったから
- 4 分別することで、ごみが減り、コスト削減になるから
- 5 ごみやリサイクルに関する専門部署や担当者を設置したから
- 6 取引先から要請があったから
- 7 イメージアップのため
- 8 ISO14001 やエコアクション 21 の認証を取得した、またはしたいから
- 9 CSRの取組に位置づけられているから
- 10 その他 ()

問10 問8で3か4を選択した方におたずねします。ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組んでいない理由は何ですか。○はいくつでも。

- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| 1 ごみの分別がわからないから | 2 ごみやリサイクルに関する専門部署や担当者を設置していないから |
| 3 回収業者から情報提供がないから | 4 分別することで、コストが新たに増えるから |
| 5 分別の手間をかけたくないから | 6 ごみの発生量が少ないから |
| 7 その他 () | |

問11 貴事業所では、ごみの減量を進めるためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。○はいくつでも。

- 1 事業所内の分別ルールや処理方法を見直す
- 2 従業員に対する教育を徹底する
- 3 ごみの減量・リサイクルなどを経営方針として位置づける
- 4 ごみやリサイクルに関する専門部署や担当者を設置する
- 5 ごみになるものを事業所に持ち込まないようにする
- 6 近隣の事業所と共同して回収ルートを構築する
- 7 その他 ()
- 8 取り組むべきことはすべて行っており、これ以上ごみは減らない
(この選択肢を選んだ場合は、他の項目に○をつけないでください)

商品やサービスに対するごみの発生抑制の取組についておたずねします

問 12 貴事業所が製造する製品や販売する商品の包装を簡易にしたり、使い捨てになるもの（例：割り箸、おしぼり、紙ナプキン等）の提供をやめるなどの、ごみの発生抑制につながる取組を行っていますか。○はひとつ。

- 1 行っている 2 行っていない

問 13 問 12 で 2 を選択した方におたずねします。ごみの発生抑制につながる取組をやめるにあたっての課題は何ですか。○はいくつでも。

- 1 サービスの一環であり、お客様が離れることが想定されるため、やめられない
2 衛生上の問題から使い捨て製品を使用せざるを得ない
3 梱包材等は運搬や輸送に欠くことはできない
4 使い捨て商品のほうがコストが安い
5 製造段階で、すでに必要以上に包装されている
6 商品のイメージを維持するうえで、簡易包装はできない
7 自社のイメージを維持するうえで、簡易包装や使い捨てになるものの提供は中止できない
8 その他（_____）

生ごみの削減についておたずねします

問 14 貴事業所では、生ごみは何が出ますか。○はいくつでも。

- 1 従業員が飲食する弁当や茶葉等の残さ
2 商品の売れ残り
3 調理くず
4 その他（_____）
5 生ごみは出ない（この選択肢を選んだ場合は、他の項目に○をつけないでください）

問 15 問 14 で 1～4 を選択した方におたずねします。排出する生ごみについて、減量・資源化するために工夫していることはありますか。○はいくつでも。

- 1 生ごみの水切りを実施している
2 自分の事業所で、資源化（堆肥化、飼料化やエネルギー利用等）している
3 業者に依頼して、資源化している
4 その他（_____）
5 特に何もしていない（この選択肢を選んだ場合は、他の項目に○をつけないでください）

- 小売販売（デパート、スーパー、コンビニエンスストア、物販店舗）の事業所の方 →問 16、問 19 へ
- 飲食店、ホテル・旅館業の方 →問 17～問 19 へ
- 上記以外の事業所の方 →問 19 へ

小売販売（デパート、スーパー、コンビニエンスストア、物販店舗）の方におたずねします

問 16 貴事業所は、容器包装、使い捨て製品などごみの発生抑制、減量に対する具体的な取組を行っていますか。○はいくつでも。

- 1 簡易包装に改めた
- 2 包装材の軽量化を図った
- 3 レジでお客様に声かけするようになった（「袋に入れますか」「お箸はご入用ですか」など）
- 4 レジ袋を辞退したお客様には値引きやポイントの付与を行うようになった
- 5 レジ袋を有料化した
- 6 消費期限が近づいてきた商品の値引き販売を実施している
- 7 量り売り、対面販売を充実させた
- 8 詰め替え可能商品を積極的に販売するようになった
- 9 紙のチラシやダイレクトメールを止め、または減らし、ホームページや電子メールで広告するようにした
- 10 修理などのアフターサービスを充実させた
- 11 下取りサービスを充実させた
- 12 その他（_____）
- 13 特に何もしていない（この選択肢を選んだ場合は、他の項目に○をつけないでください）

飲食店、ホテル・旅館の方におたずねします

問 17 貴事業所は、ごみの発生抑制、減量に対する具体的な取組を行っていますか。○はいくつでも。

- 1 仕入れ量を調整している
- 2 食べ残しが出ないように、お客様の要望に応じて量を調整している
- 3 希望するお客様に対して、料理の食べ残しの持ち帰りサービスを行っている
- 4 調理方法を工夫して、調理残さを極力減らしている
- 5 使い捨てのカップや食器をやめた
- 6 割り箸をやめた
- 7 マイ箸の使用を呼びかけている
- 8 その他（_____）
- 9 特に何もしていない（この選択肢を選んだ場合は、他の項目に○をつけないでください）

問 18 「食べ切り協力店」事業を知っていますか。○はひとつ。

「食べきり協力店」事業とは、市内の飲食店や宿泊施設と連携して、「小盛りメニュー等の導入」や「持ち帰り希望者への対応」などを実践し、食品廃棄物を減らす取組です

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 知っており、登録している | 2 知っているが、登録していない |
| 3 知らなかったが、登録したい | 4 知らなかった |

問 19 横浜市のごみの減量・リサイクルに関することについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

貴事業所の概要についておたずねします

F 1 貴事業所はどの産業に該当しますか。あてはまる分類をひとつ選んでください。

- | | | |
|-------------------|----------------|------------|
| 1 農業・林業・漁業 | 2 鉱業・採石業・砂利採取業 | 3 建設業 |
| 4 製造業 | 5 電気・ガス・熱供給業 | 6 情報通信業 |
| 7 運輸・郵便業 | 8 卸売・小売業 | 9 金融業・保険業 |
| 10 不動産業・物品賃貸業 | 11 宿泊業、飲食サービス業 | 12 サービス業 |
| 13 教育・学習支援業・医療・福祉 | 14 公務 | 15 その他 () |

F 2 貴事業所の形態は、次のどれにあてはまりますか。ひとつ選んでください。

- | | | |
|------------|----------------|--------------|
| 1 オフィス | 2 工場 | 3 飲食店 |
| 4 ホテル・旅館 | 5 デパート、スーパー | 6 コンビニエンスストア |
| 7 物販店舗 | 8 映画館、劇場、娯楽施設等 | 9 学校、学習施設 |
| 10 病院・医療機関 | 11 倉庫 | 12 美容院・理容店 |
| 13 その他 () | | |

F 3 貴事業所の従業員は何人ですか。次の中からひとつ選んでください。(常用雇用者及び長期のパート・アルバイト含む。)(このアンケートが送られた事業所の人数のみ。貴社の他事業所を除く。)

- | | | | | |
|----------|------------|------------|----------|----------|
| 1 5人未 | 2 5～9人 | 3 10～19人 | 4 20～29人 | 5 30～49人 |
| 6 50～99人 | 7 100～199人 | 8 200～299人 | 9 300人以上 | |

F 4 貴事業所の所在地は、何区ですか。

- | | | | | |
|--------|---------|--------|--------|--------|
| 1 鶴見区 | 2 神奈川区 | 3 西区 | 4 中区 | 5 南区 |
| 6 港南区 | 7 保土ヶ谷区 | 8 旭区 | 9 磯子区 | 10 金沢区 |
| 11 港北区 | 12 緑区 | 13 青葉区 | 14 都筑区 | 15 戸塚区 |
| 16 栄区 | 17 泉区 | 18 瀬谷区 | | |

(1) 問 19 自由意見記述

- ・工場から出るものはすべて産業廃棄物として費用を支払ってゴミとして処理しています。数年前からゴミを見直し、缶・鉄などはリサイクル業者に売却しております。従業員 10 人以下の事業所としては、事業所からでる資源物（古紙）を横浜市の資源物の収集に出すことが可能なら分別に気をつけ、ゴミを減らすことは可能だと思います
- ・税金を払っているのにゴミの回収を無料でしてもらいたい。有料の収集業者のコストも無駄に感じる。家庭用一般ごみと一緒に回収してもらいたいです
- ・産業廃棄物の種類毎の回収・リサイクル業者・情報の告知化。優良業者の認定
- ・運搬用木製パレットについて廃棄費用が増えており、リサイクル可能な制度があると良い
- ・企業に対してゴミの減量・リサイクルに取り組んでいる会社については、税制の優遇をとる様にしてほしい
- ・過剰包装を好むお客様自身の考え方を、市で取り組むことを一つの方法かと思います
- ・ゴミ処理の状況を体験してもらうため、従業員に本年 11 月横浜市の焼却工場を見学させていただきました。参加者からとてもためになったと意見が出され、今後も行っていこうと思います
- ・それ以前にこんな年末の忙しい時にアンケートを送ってくる事事態がおかしい。もっと違う時期にして下さい。この紙もゴミになるんですよね？1000 件分。ゴミがでない方法を考えてアンケート作成して下さい。税を無駄に使わないで下さい
- ・事業系ゴミ→専用の袋（有料）などにして、回収専用 TEL などを出しやすくしていただけると助かります。費用の事ではなく、ルールわかりにくく、個別回収をお願いする程にはゴミが出ません
- ・ごみの減量リサイクルはとても大切だと思っています。元々無駄や不要なぜいたくは出来ない性なので、省エネが叫ばれる以前と以後で何も変わらない様に思います。（私共の仕事や家族で）全く別件ですが、回答が遅くなってしまったこととお詫び致します。ただ年末の忙しい時季にこの様なアンケートを避けて頂けるとありがたいです
- ・木くず等でバイオマスエネルギーの促進を市が主導して実施すれば企業の誘致できて良いのではと思います
- ・金属類と電池を別にあつかって収集する日をもうけたらいかがでしょうか？現在は家庭ゴミの日にビニール袋に入れて別あつかいで出しています
- ・リフォーム業の為にゴミは減りません
- ・同じものを捨てる時に家庭ゴミ、事業系とで分別基準が異なる為、混乱が起こりやすい。同一基準として頂けるとわかりやすい

ヨコハマ3R夢プランについての
市民・事業所アンケート調査

－平成29年3月発行－

横浜市資源循環局総務部資源政策課

〒231-0013

横浜市中区住吉町1丁目13番地

TEL : 045-671-2503